

UFOS & SPACE

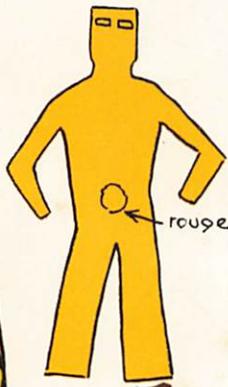
AMAZING  
NONFICTION  
STORIES

# UFOと宇宙

## 1978 2

### コンドン白書大批判

### 札幌市異星人コンタクト事件最終報告



ライヒ博士の  
UFO撃墜装置

「混乱ニューヨーク」  
未知との遭遇

星からの  
無人口ロボット船



サムジャーゼは  
何を語ったか

5大予言者による "1978年に何が起きるか"

アメリカ、カナダで今、爆発的人気!!

# バイオフィードバック

《GSR-1で時代を先取りしよう》

**GSR-1**  
ジー エス アール ワン



高級天然木（クルミ）使用  
長さ10cm 巾6.2cm 高さ3cm 重さ100g

定価 ¥30,000（送料共）練習用カセットテープ説明書付 | 年保証

●受験生、経営者、タレント、  
プロスポーツ選手、管理職、  
サラリーマン、OL、教師、医師…全ての方々

## ●GSR-1バイオフィードバックは何に有効か？

GSR-1は「健全な心」を自分で作り、それを保つためのモニターと云えます。ですからGSR-1は「心の鏡」とも云われます。毎日「心」を鏡に映して、具合が悪ければ、自分でメークアップして「美しい心」にしましょう。

### 1. ストレスを追いはい、リラックスできます。

精神的なイライラやストレスを自分自身で、GSR-1を使いながら追いはい、ゆったりとリラックスした快感を味わうことができます。今までにない幸福感すら味わえるようになります。

### 2. 精神統一が上手くなり集中力が養えます。

毎日GSR-1の練習を続けますと、集中力が高まります。受験生などはイライラすることなく勉強に集中できるようになりますし、野球の選手などは、バッターボックスで打つ球に集中できるようになります。

### 3. 深い瞑想に入れます。

GSR-1の練習を積みますと、禅やヨガで得られる瞑想に早く入ることが出来ます。

### 4. 赤面、対人恐怖の不安を克服でき、あがらなくなります。

GSR-1に習熟すると、いたづらに不安を感じたり人前でドキドキしたり、顔が赤くなったりすることが、次第に少なくなってゆきます。自分自身に今までよりもっと自信がもてるようになります。

### 5. ピンチに強くなります。

野球の投手はピンチを迎えても今迄とちがうはずです。ゴルフの選手もこゝ一番に強くなります。受験生も本番で強くなるはず。すぐカーッとしたり、イライラする性格が改善されてゆくからです。

### 6. ESP能力が増します。

ヨガ瞑想者や禅瞑想者は、通常普通の人が出ているβ波とちがうα波と云う脳波を出すと言われます。GSR-1で精神統一をするとα波が出るようになり、この訓練を続けるとESP能力が増すと云われます。

リラックスする方法は2,3日で習得でき、その日から効果が出ますが、他は3~6ヶ月以上の練習が必要。アメリカでは「21世紀はバイオフィードバックなしには考えられない。」と云われているほどです。GSR-1でストレスを追い出すことを憶え、タフな精神を養い、平和で豊かな心で人生を快適なものにしましょう。

問合せ、カタログ請求は下記へ。

●使用方法・効果については詳しい説明書とガイド・カセット・テープがついています。

お申込みは、氏名、住所、年令明記捺印の上、代金は現金書留又は郵便振替（東京・4-8703）でポラックス(株)へお願い致します。現品急送します。

輸入総発売元



ポラックス株式会社 U 係

東京都中央区日本橋小舟町2-7 ☎ 666-0511(代) 〒103

製造元



THOUGHT TECHNOLOGY LTD.  
CANADA



**CLOSE ENCOUNTERS  
OF THE THIRD KIND**

**大旋風!**

# 「未知との遭遇」

● **ニューヨーク  
現地レポート**

去る11月16日、ニューヨークで封切られたUFO映画「未知との遭遇」は、いま全米を興奮の渦にまき込んでいる。観客は口々に、「こんなショッキングな体験は初めてだ。我々は、まさにこの映画によって宇宙人と遭遇したのだ。」と語っているという。

あの「ジョーズ」の監督でもあり、自らもUFO体験を持つスビルバーグの特異な才能はいま、全世界に再び熱狂を呼び起こそうとしている。日本公開(2月25日)が待たれる!

文 ■ 富川正弘  
(在・ニューヨーク)

話題のUFO映画『Close Encounters of The Third Kind』（邦題『未知との遭遇』）が、アメリカで封切られた。

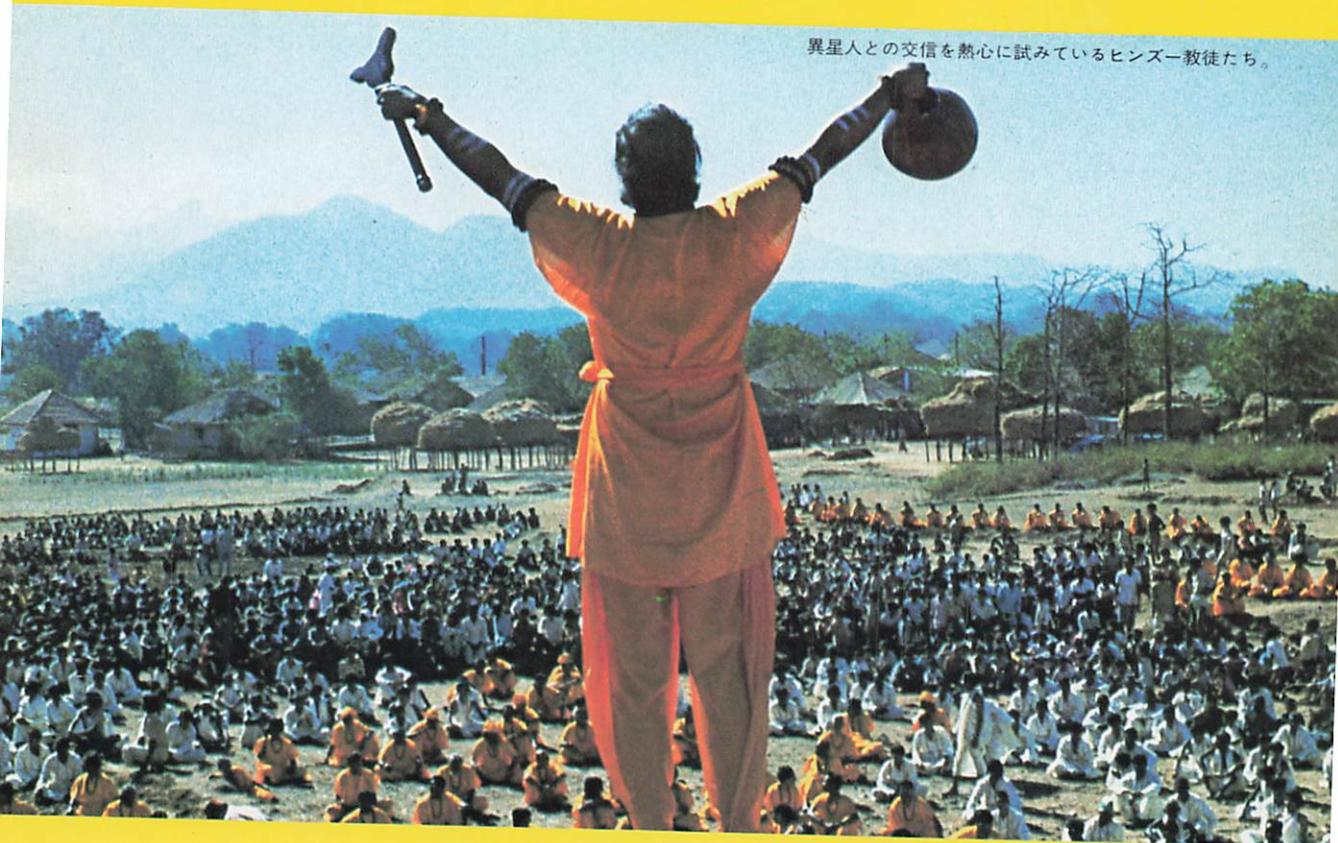
コロンビア映画が、『ジョーズ』で一躍有名になった、弱冠29才のスピルバーグ監督を起用し、約50億円もの巨費を投じ、社運を賭けて製作していた超大作が、去る11月16日ニューヨークとロス・アンジェルズで全米公開にさきがけて封切られた（日本公開は2月25日の予定）。製作中は、ストーリーなどが外部にもれるのを防ぐために、徹底的な秘密主義を通し、今年の春頃から、時々ニューヨーク・タイムズなどの一流紙に思わせぶりの全頁広告を載せたりする他は、秘密のベールに包まれていて、UFOファンのみならず、一般市民の興味をそそっていた話題作だが、いよいよ公開されたわけだ。

### ●封切初日から大騒ぎ

11月16日の封切初日に、筆者は友人と誘い合わせて、ニューヨークでの封切館、ジークフェルド劇場へと、期待と不安に胸躍らせて出かけた。もしもこの作品が駄作であるならば、ひいてはUFO事象そのものに対する世間の人々の無関心と冷笑を招く事になるかもしれないからだ。

アベニュー・オブ・アメリカスと54丁目の角にある劇場の近くまで来て驚

異星人との交信を熱心に試みているヒンズー教徒たち。



### ●光と大音響の中、映画は始まる！

いた。まだ夕方5時半頃だというのに7時半からの回の切符を買うために長蛇の列ができているのだ。さらに驚いたことには既に7時半開演の切符を買った人々までもが入場を待って長蛇の列を作っていることだ。我々もさっそう切符を買うべく列に加わったが、6時を少し過ぎる頃には、何ともう7時半の回の切符は売り切れてしまうほどの騒ぎだった。やはり若者達が圧倒的に多い。ABCの6時の全米向けテレビ・ニュースで流すためカテレビカメラが道端にセットされ、群集にインタビュをするなど初日から大評判だ。

さて、いよいよ開演である。題名の字幕が消えると、突然、画面が暗くなり、大音響と共に光が爆発。観客は初めから息をのむ。場面はメキシコのソノラ砂漠。猛烈な砂嵐の中を国際UFO研究チームの一行がジープに乗って現われる。メキシコ陸軍が嚴重な警備をしているにもかかわらず、その場所に、何と30年以上も前にあのバミューダ・トライアングルで消滅したアメリカ海軍機が5機、整然と並んでいるのだ。海軍機は、まるで、ついさっきまで、空を飛んでいたかのような完全な状態だ。だが乗員達の姿は見えない。一体どうして、あの海軍機がこんな所にあるのだろうか。近くに住む老人の話では、昨夜、真夜中に太陽が現われ

# CLOSE ENCOUNTERS

て、この飛行機を置いていったという。その老人の顔の皮膚は不思議な事に強い日焼けをしたように赤く炎症を起こしている……。

場面は変わって、ここはインディアナ州の田舎町マンシー。電力会社に勤めるロイは、UFOによって引き起こされたらしい、原因不明の大停電（ニューヨーク大停電を思い出す）の修理を命じられて、小型トラックに乗って真暗な夜道を出かける。その上空を飛行する怪しい光体。踏切の所で道に迷った彼の頭上に、突然、不思議な光を点滅させるUFOが現われる。近くの野中の軒屋に住む、3才のバリー坊やと母親のジュリアンの前にも、UFOが出現する。（特に、雲の中から現われるUFOの場面は美しく圧巻だ。この映画の特撮監督は、あの『二〇〇一年宇宙への旅』の特撮をてがけたトランブル監督だから素晴らしいのも不思議はない）

ジュリアンは自分の目前で起こった驚き過ぎる出来事、バリー坊やがUFOと通れたいかたことを訴えるが、誰からも相手にされない。またロイも、UFOを見たと言ったばかりに、気遣い扱ひされてしまう。それでも、ロイやジュリアンの頭の中には、どこかの平原にそり立つ奇怪な形の巨大な岩山のイメージが焼きついて離れない。何故だろうか？ どうして、見たこともない岩山のイメージが見えるのだろうか。この岩山は一体どこにあり、何を意味するのだろうか。ロイはこの謎の



真相を知りたくて悩む。（この場面はUFOの不思議さにとりつかれて、時には他の人々から奇異な目で見られがちな、我々UFOマニアの共感を呼ぶだろう）

国際UFO研究チームの科学者達による科学的な研究結果は、UFOが地球人類と正式なコンタクトを欲しているらしいことを明らかにする。しかし、一般大衆のパニックを恐れる米政府はこの事を必死に隠そうとして、コンタクト予定地の住民を、科学戦用の神経ガスがもれたからと嘘をついて避難させ、地域一帯に目撃者を寄せつけない。テレビのニュースで、このことを知ったロイとジュリアンは避難する人々の流れに逆らって、ワイオミング州の荒野にそびえ立つ、デビルズ・タワー（悪魔の塔）と呼ばれる巨大な岩山のもととまで、たどり着く。この場所こそが、未知のUFO乗員達が地球人との最初の正式なコンタクトの場所として選んだ場所だったのだ！

科学的装置を備えて待ちかまえる科学者達。いよいよ夜になった。やがて次々と現われるUFOの大群と、ぼう然と立ち尽くすロイ、ジュリアン、それに科学者達（アレン・ハイネック博士が特別出演している）。

そして……ついにデビルズ・タワーの上空に怪しい雲がわき起こり、巨大な大母船が姿を現わす……。この映画のクライマックスだ。まさに光と音との一大交響楽だ。観客は、興奮の極に達し、あちこちで「ウォーッ！」



という叫びがあがる。画面の中で立ち  
尽くす科学者達と、映画を観ている観  
客とは今や一体となり、未知の巨大な  
ものを目のあたりにする恐れと興奮の  
るつぼの中に居る……………。

大母船が着陸し、人々の見守る中で  
底部の入口が開き、中からまばゆい光  
があふれ出て、やがて、その光の中に  
動く影が……………。この続きが、また、  
息詰まるような緊張と興奮の連続とな  
るのだが、あまりここで書いてしまっ  
ては、見る楽しみが減ってしまうので  
やめておくことにしよう。

END・MARKが出ると、どの観  
客の顔にも素晴らしい映画を観たという  
興奮と満足感があふれていた。出口に  
向かう列の中で、筆者の前にはいたひげ  
をはやした若者が、「俺もUFOと一緒に  
に行きたいよ!」と言ったのが印象的  
だった。

確かにこの映画は、「いつか、我々  
の身にも同じ様な事が起こるのではな  
いだろうか。ああ、その時が待ち遠し  
い!」という期待感をいだかせる。こ

の点が今年大ヒットした「スター・ウ  
ォーズ」と違う所だ。「スター・ウォ  
ーズ」も宇宙映画としては出色の出来  
であったが、見終わった後の迫力は比  
べものにならないほどだ。

この映画は大ヒットするだろう。そ  
して、今までUFOに対して無理解、  
冷淡であった人々の態度をも暖かい、  
期待に満ちたものに変えるのではない  
かという予感がする。そういう意味で、  
この映画は、映画史上のみならず、U  
FO研究史上でも画期的なものになる  
だろうと筆者は確信する。

### ● ハイネットワーク博士の 3種の遭遇とは?

なお、この映画の原題「Close Encounters of The Third Kind」はハイ  
ネットワーク博士がUFOとの遭遇を次の3  
種類(3段階)に分類していることに  
よっている。

第1種遭遇……UFOを近距離から  
目撃すること。

第2種遭遇……UFOの目撃に続い  
て物的証拠(着陸跡  
等)が得られること。

第3種遭遇……UFO乗員が目撃さ  
れ、またUFO乗員  
との物理的コンタク  
トがなされること。

### ● 各紙絶賛!

この映画を、ニューヨーク・タイム  
ズその他の映画批評欄は、ほとんど手  
放して褒めているので、参考までに紹

介してみよう。

ニューヨーク・タイムズ紙

これまでに作られたSF映画の中  
で最高、最も精巧に作られた映画  
だ。思わず息をのむ場面、「二〇  
〇一年宇宙への旅」以来の美しさ  
だ。クライマックスは驚きと感動  
を呼ぶ。

——ウィンセント・キャンビー  
ニューズ・ウィーク誌

壮観だ! 豪華絢爛だ! 映画史  
上歴史的な地位を占めるに値する  
この映画は天上界を地上にもたら  
してくれる。

——ジャック・クロール  
タイム誌

目がくらむ様だ! これは祝典だ。  
スピルバーグ監督は見事にやりと

げた。映画の終りに観客は宇宙の  
神秘に包まれて自分達の身の上に  
新しい不可思議がふりかかってく  
る事を待ちわびる気持になる。

NBC放送

これまで作られた映画の中で最も  
壮大な映画だ。今年作られた映画  
の中でこれほど人々に語られるも  
のではないだろう。この映画のクラ  
イマックスは信じられぬほど真に  
迫って力強い。

ABC放送

スピルバーグ監督は、申し分のな  
い映画製作者であり、同時に稀に  
みる洞察力を持った芸術家である。

——ロナ・バレット



▲ロイの前方に黄金色の光が! 一体何が起こるのか?

米航空宇宙局が未発表写真公開

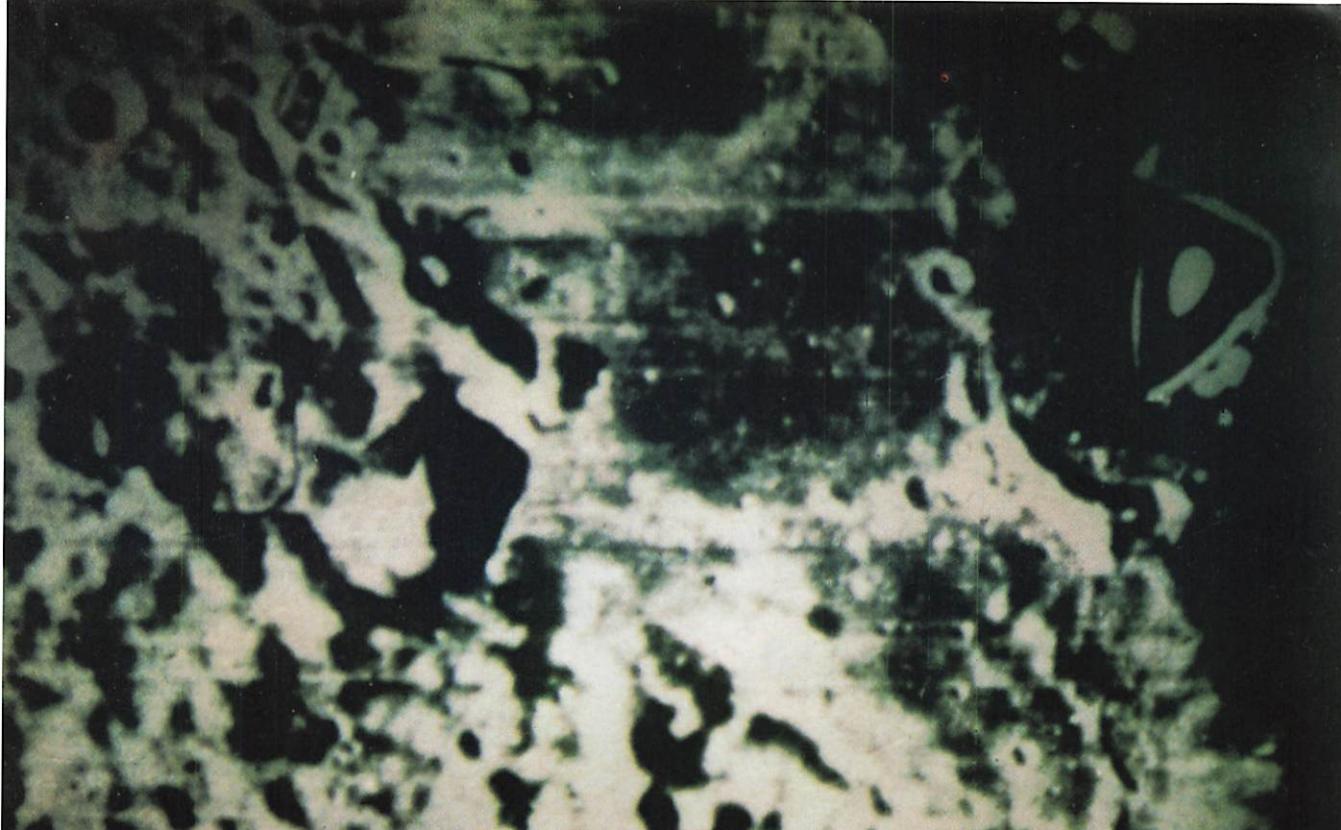
# 月と火星とNASA



▲月面上空に浮かぶ雲？ 同一方向に向かっているのは気流の流れにのっているためだろうか。

▼火星の表面。丸味を帯びた凹凸が積雪を思わせる。平坦部を左右に隆起が走っている。

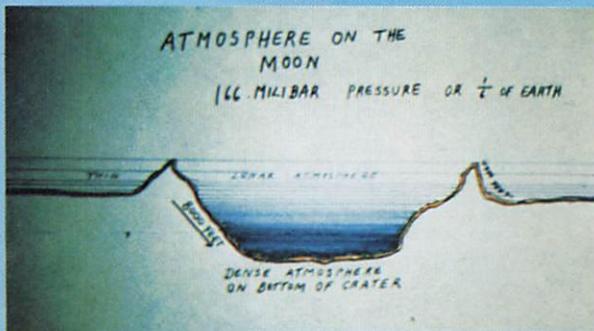




▲▶月表面でとらえられた三角模様(右上)も自然の造形であろうか。右の写真はカリフォルニアの人工池。どこか類似している。

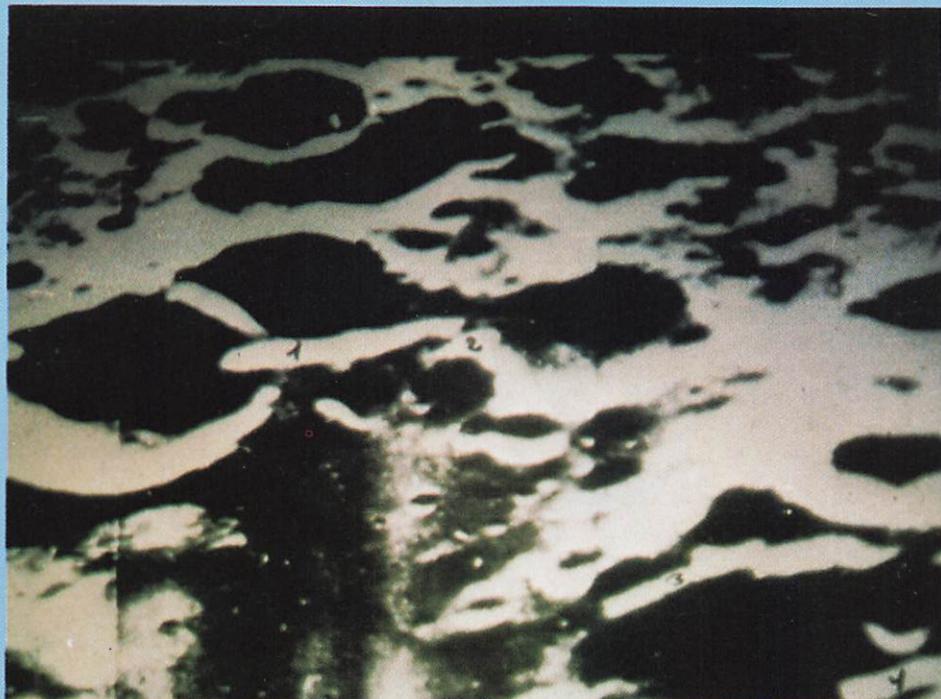


▼月面上のクレーターの底では大気が周囲より濃密になることを示す模式図。



アポロ計画とヴァイキング計画で月と火星を探索したNASAは、これまでに入手した情報のごく一部しか公表していないといわれていた。ここに紹介する写真はいずれも先頃NASAが新たに公開したものである。火星上空を流れる雲、月面の人工湖に似た地形など、新たな疑問を投げかけるに十分な景観がとらえられている。

# 月と火星とNASA



▲月面のクレーター上を雲状の物体が流れているように見える。

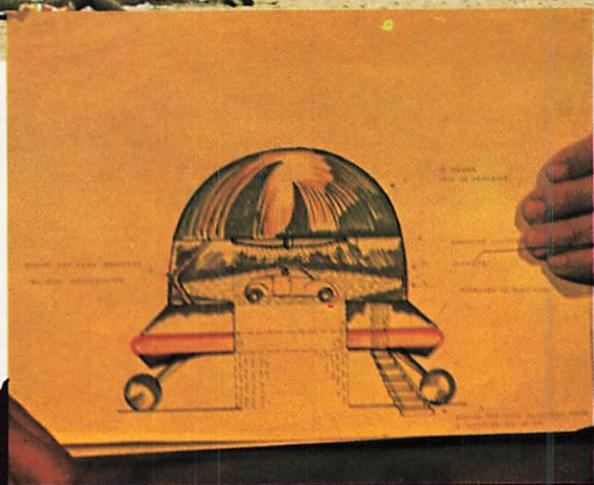
▼火星表面に刻まれた複雑な隆起模様。



# の大陸



▲ UFOに誘拐されたエルミーニョ夫妻と娘。



▲エルミーニョ夫妻がクルマごと吸いこまれたUFOのスケッチ。

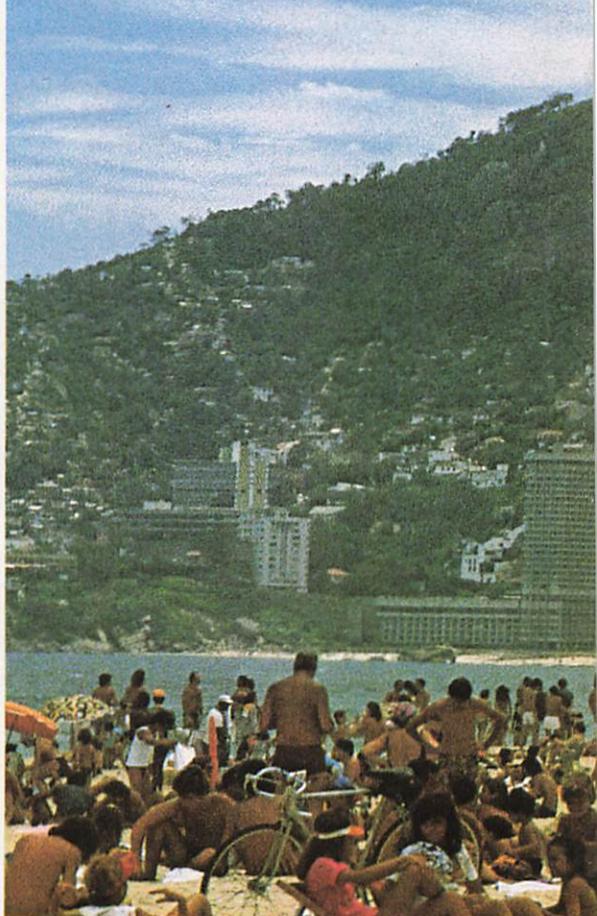
■矢追純一／ミステリーゾーンからの報告

# 南米…怪奇と情熱

ブラジル、ポリビア、ペルーに謎を追いかけて

▶コパカバーナ海岸には太陽がいっぱい。

▼美しくて情熱的なイパネマの娘。



南米……未知なるもの……怪奇と情熱、輝く太陽とサンバのリズム、スピリチュアリズム（心靈崇拜）とマウンバ（呪術信仰）、数々の謎の遺跡とひっそりなしに現れるUFO……。これらが混然一体となった南米大陸は、訪れる人を誰しもひきこまずにはいない、神秘的魅力に満ちている。

私もその魅力にとりつかれ、1977年10月16日から12月8日までの50数日間、6回目の南米取材旅行をはだし、帰国したばかりである。

今回の取材中、とくに興味深かったのは、サンパウロで見たカンドンプレ……。



▲イスピリット…心霊治療を受ける老婦人。患者の眼にナイフをあてる霊媒の男は自信に満ちている。

ブラジルには、アフリカから渡来した原始信仰のカンドンブレとウンパンタキンパンタなどがあり、マウンパはこれらの信仰が白人呪詛の呪術に変化したものだが、カンドンブレはとくにアフリカ時代の原初要素を多く残しているといわれる。

写真に見られるように、毛髪をそり落して頭のとつべんに、鶏の生血を凝

固させて作った角をおき、催眠状態のまま踊り狂う。これは1カ月以上もの秘密修行を無事終えた記念に催される踊りて、心霊を自分の体内に呼びこみその心霊の力で生来病弱な身体や、精神の不安定などを治療するという密行なのだ。

もう一つの神秘は、ブラジルの人々の間で広く行われている心霊治療で、

これは、霊媒が心霊の力をかりて患者の治療を行う。ナイフなどの器具を使うものや、自分の指だけで患部を切開するものから、単に暗示を与えて治療するものまで、種類は多い。

太陽がいつばいのコバカバーナの海岸と、美しい娘たちで有名なリオ・デ・ジャネイロにも、UFOの出現は多い。

1977年9月、UFO内に連れこまれ、身体中を奇妙な光線で検査されて火傷をおったバス運転手アントニオ・ラルビアや、夫婦でドライブ中、クルマごとUFO内に吸いこまれるという怪奇な経験をしたエルミー・ヨ夫妻などにも、会うことができたが、世にも奇怪なその経験談は次の機会にご紹介しようと思う。

トウピラジオ局では毎週定期的に聴取者参加のUFO公開討論会を、各界の識者を集めて行っており、APRO（空王現象調査機関）のブラジル支部長イレーネ・グランチ夫人といっしょに出席したが、ここのUFOへの関心の高さを再認識させられた。（矢追純一）



# 矢追純一 ■ ミステリーゾーンからの報告



▲アフリカから渡来した原始信仰のカンドンブレ。頭のとっぺんにツノを立て、催眠状態のまま踊り狂う。

# 本誌を読んで答えてください!

豪華賞品が当たる

## UFOと宇宙

# クイズ

### 賞品



### 金賞

ポケットカメラ  
(スリーピーチ ¥14,800) 1名  
●ストロボフラッシュと標準レンズ、望遠レンズ(ワンタッチ  
切換式)内蔵。(使用フィルム)ポケットカメラ用13×17% (レ  
ンズ固定焦点)標準25% F9.5 望遠40% F11 (シャッタ  
ー)1/125秒メカニカルシャッター (ストロボ)ガイドナンバ  
ー16 (大きさ)59%×30%×166% 205g。



### 銀賞

ブランセット  
(ボックス ¥5,000) 2名  
●西洋式こっくりさん。人間の意志とは関係なく  
動きだして文章や図形が記される。精神統一に有益。

### 銅賞

角川文庫/超自然の謎シリーズ  
(角川書店 各¥260) 30名  
●シリーズの中から「円盤製造法」(J・F・ブ  
ルームリヒ)、「宇宙人の謎」(E・V・デニケン)、  
「地球内部からの円盤」(B・ルポア・トレンチ)  
をそれぞれ10名、計30名の方に。



〔問題〕 アメリカ メイン州ラングレー近くのオルゴ  
ーネ研究所で、1942年のある夜、ふつうの航空機とは  
違う飛跡の明るい光体が、夜空に出現するのを目撃した男  
がいた。研究所の上空に出現し始めたこの物体が、遠い外  
宇宙からくるらしいことを、ケネス・アーノルドの目撃よ  
りも先がけて、彼はすでに推察していた。歴史、社会  
学などの著作物によっても世界的に知られるこの人の名前  
は、次のうちどれでしょうか? 記号で答えてください。

- A ジークムント・フロイト
- B ウィルヘルム・ライヒ
- C フランク・エドワーズ

### 応募のきまり

- 必ず官製はがきを使用。
- 締切り 昭和53年2月20日。当日消  
印有効。
- 発表 『UFOと宇宙』4月号(3  
月20日発売)誌上。正解者多数の場合  
は抽選で決定します。

### はがきの書き方

- あて先 郵便番号110  
東京都台東区上野5-1-6 ヤマ

トビル ユニバース出版社

『UFOと宇宙』2月号クイズ係  
●裏面には、あなたの住所・氏名・年  
齢・職業(学生は学校名/学年)、そ  
して次の順序でお書きください。

- ①解答
- ②本号で良かった記事の題名2つ
- ③本誌への感想または企画
- ④あなたが読んでみたい本
- ⑤今後、クイズの賞品として希望す  
る商品名

### 『UFOと宇宙』12月号 クイズ——当選者発表!

『UFOと宇宙』12月号の(太陽の  
ピラミッド)の大きさを当てるクイズ  
は、◎が正解でした。

応募総数1048通のうち、正解は  
835通、抽選により左記の方々があ  
てたく当選されました。

- ☆金賞(ポラウォッチT75/1名)  
内藤 晃(〒949-43 新潟県三島郡  
出雲崎町滝谷399)
- ☆銀賞(UFOコードペンダント/2  
名)  
寺田幸江(北海道函館市)

中村博文(京都市下京区)  
☆銅賞(消えるボールペン/50名)  
賞品の発送をもって、発表にかえさ  
せていただきます。

# UFO 2月号 と宇宙

■カラー■

- 1 大旋風！「未知との遭遇」
- 5 月と火星とNASA
- 8 南米…怪奇と情熱の大陸



新春四大企画

- 14 ●——世界五大予言者 **1978年を診断!** 中岡俊哉
- 20 ●——**女性宇宙人セムジャーゼ**  
は何を語ったか ウェンデル・ステューブンス
- 38 ●——**星からの無人探測船** 斎藤守弘
- 60 ●——ライヒ博士の **UFO撃墜装置** ジェリー・グライムズ

新春四大企画

- 28 **コンドン白書大批判** アリゾナ大学/ジェイムズ・E・マクドナルド
- 46 **フレッド・ステックリング氏に聞く**(完) 編集部
- 52 **札幌市で異星人と接触!**(完) 編集部
- 68 **月は異星人の宇宙基地か**(完) 久保田八郎
- 78 **宇宙教育の原点を探る!** 高坂剋魅
- 82 「**奇跡の力**」を訪ねて 瓜谷侑広
- 105 (続) **宇宙・引力・空飛ぶ円盤** (13) レナード・クランプ



- 36 新連載/高梨純一のブック・ガイド
- 88 ミステリー・トピックス
- 90 情報パック/海外
- 96 情報パック/国内
- 100 科学ニュース
- 115 読者のページ/声・蚤の市
- 12 豪華賞品が当たるクイズ



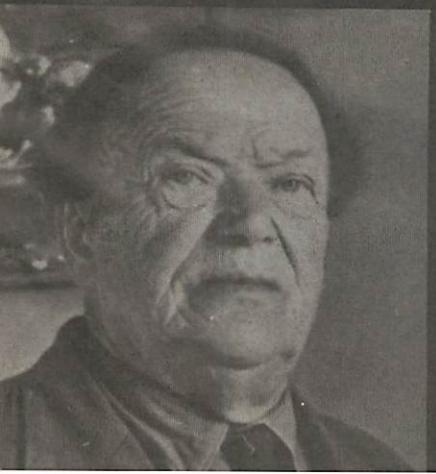
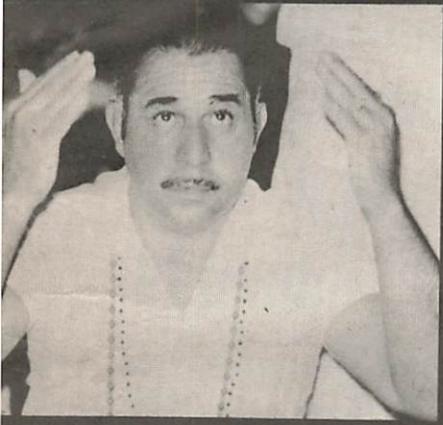
1978年に起きる  
世界の事件予知メロ

# 1978 地球上に何が起きる？

世界から選んだ五大予言者、1978年をズバリ診断

「人生、一寸先は闇」。明日のことも、一瞬後のことすら、全くわからない。五人のウルトラ予言者が予知する1978年とは？  
政治・社会・自然災害・事故等—の予言、  
はたして、その的中率は…？

■超常現象研究家／中岡俊哉



### ◆予知力とは何か？

予知力、それは未来に起こるいろいろな事柄や事件を、前もって知ってしまふ能力のことで、「プレコグニション」といわれているものである。

この予知能力による予知は、そのほとんどが映像となつてあらわれ、占いによる予言とはまったく別のものと考へるべきであらう。

人生一寸先は、闇という言葉がある。これは、明日、明後日のことはおろか、次の瞬間に何が起るか分からないという意味である。

人間は、だれもが1日でも、1週間でも先のことを知りたいと思つてゐるものであり、それが1年先、10年先のことまで知ることができたなら、すばらしいことだと思ふ。

ところが、先を知るといふことに對して、一部の人は「つまらなくなつてしまふ」、夢がなくなり恐ろしいなどといつて、予知・予言を嫌つてゐる。

しかし、予知されたことを、心の準備の参考として受けとめたらどうだろう？ 不幸なことが予知されたなら、それをさける努力をすればいいのだし、幸せなことが予知されたならば、それを実現させるように努力すればいいのである。

人間が生きていく上で、仕事の面で

あれ、対人関係の面であれ、予知能力ほどプラスになるものはほかにないと考えてゐる。

次に紹介する今年の予知についても、そうした心がまえで読んでもらえ

## ★予言① タイ国—スーチャン僧

タイ国にはかなりたくさんの方の予知能力者がいるが、そのなかでその高い確率からして、ナンバー・ワンといわれているのはスーチャン僧である。

彼のすばらしい予知力については、「エニグマ誌」(1977年第4号)にも発表してあるが、その予知能力は、10歳のころから現れており、すでに30年以上もその能力を保ち続けているのだ。

スーチャン氏は、もともと小学校の教師になることが幼い頃から望みであったが、父親の意志で仏門に入り、そこで僧侶としての修行を積むうちに、予知能力と、物事を透視する能力とが強まり、以来、僧籍に身をおきながら、そのすぐれた能力を使って多くの人を助けているのである。

スーチャン氏は、数年前、日本を訪れたが、そのとき、東京タワーを見て、ショッキングなことをいった。

「このタワーは倒れる。なぜならば、タワーの1本の脚が墓地の跡にたつて

ばいと思う。なお、これらの予知は、それぞれの能力者から私のところへ、1977年12月7日までに送られてきたものである。

★ ★ ★



いるからだ」

彼のこの言葉は、われわれにとつてショッキングなものであった。私は調べてみた。すると、確かに、タワーの1本の脚は増上寺の墓地の所にたつていたし、専門家の測量でも心もち傾きつつあるのだ。

これは、スーチャン氏の透視力である。彼は、1976年12月19日、東京へ商用で出かけようとした知人に対し、彼が乗ろうとしている飛行機が事故を起こすと予知したのだ。

その予知は次のようなものであった。

1976年12月25日、バンコク国際空港に着陸しようとしたエジプト航空864便ボーイング707旅客機が、空港近くの工場に墜落し、乗員、乗客全員が死亡し、工場でも多数の死傷者がでる。

スーチャン氏は、かなりくわしくこの事故を予知したわけだが、100パーセントという高い確率で的中してい

たのである。

さて、スーチャン氏が1977年11月1日付けの手紙で送つてくれた1978年の出来事の予知は次の通りである。

### (1)どんな自然災害が起きるか？

1977年よりも多くなるだろう。しかも地域的なものより、地球全体の大きな自然災害になる可能性が高い。

南半球では、水による害があるだろう。気温も暖、冷が極端にあらわれるだろう。

アジア地域での自然災害で大きなものは、やはりなんといっても地震だ。

中国、インド、インドネシア、日本ではかなり大きな地震が数回起きるだろう。大きなものではマグニチュード8ぐらいのものが、中国、日本で起きるかもしれない。

集中豪雨による被害も、かなりあるだろう。特にヨーロッパで。大きな河の災害もある。

中国、モンゴルで大きな日照りがある。農作物はひどい打撃をこうむるだろう。アメリカでも日照りがある。

### (2)どんな事故が起きるか？

空の事故がやはりある。といつても空中での事故ではなく、航空機の墜落事故である。

100人以上の死者をだす旅客機の事故は3月、5月、8月、10月のどれ



▲9月ごろ、UFOが発見、捕獲される?!

かの月にアジア、ヨーロッパで起きるだろう。

6月か7月に、東ヨーロッパで旅客機の墜落が原因となった大事故が起き、有名人が死亡するだろう。

陸上での事故も多く、列車事故はイギリスとインド、ソ連で起きる。

日本では新幹線大事故が危機一発で防止されるだろう。その原因は宇宙的なものである。

### (3) 政治・経済と事件はどうか？

世界的に政治不安が起き、経済不況はますますひどくなり、失業者が増えて、そのための事件、暗殺などが起きる。

アフリカでは反独裁の事件が起き、そのため多数の死傷者がでるだろう。カーター政権、ブレジネフ政権を震動させる事件が起きる。カーターは経済問題で危機におちいる。

大物人物の暗殺未遂が3、4回ある。ゲリラも暴れ続け、ハイジャックはアジアとヨーロッパで起きる。それによって、死傷者が多数でるだろう。

### (4) その他のことでは？

世界的に奇怪な、原因不明の病気が流行するだろう。その病気は、人間の骨をむしばむもので、治療方法はまったくない。

## ★予言② ブラジル—ビアルト氏

ブラジルのサンパウロ市に住むビアルト氏は、予知力と念力がとてもすぐれていると評判の人である。

その予知力は、90パーセント以上で、特に事業面での予知力は100パーセントに近く、ブラジル全国100社以上の顧問になっている。

ビアルト氏は、非常に高い確率の予知力を持っていながら、自分の予知したことを「あくまで参考にしてもらいたい」といつている。

ビアルト氏は、1977年の出来事を予知してくれたが、その中での出したものをあげてみよう。

①中国では大きな地震が数回ある。最も大きなものは多数の死者をだし、地域全体が全滅する可能性がある。その地震は中国の東部と南部だ。(雲南な

宇宙から謎の降下物が、アジア各地で発見され、その降下物が原因でテレビ、ラジオが大きな被害をこうむるだろう。

9月ごろ、ドイツかスイスで、UFOが発見、捕獲されるだろう。また、6月か7月ごろ、アジアの国で「宇宙生物」(人間そっくり)が捕えられるが、それが原因で宇宙から「光線」の攻撃をうけるだろう。



(ど)

②日本では大地震はないが、火山の爆発があるだろう。(有珠山噴火)

③ジャンボ機の事故が起き、多数の死者がでるだろう。アジアで。(クアラルンプール日航機墜落事故など)

④中国で政変に近い変動が起きるが、現体制は変わらず、経済は好転する。

⑤カーター新政権は黒人問題で苦境に立ち、人気はおちる。

⑥インドで政変がある。政治的にこれまでの信頼から考えられないことが起きるだろう。(ガンジー政権敗北)

⑦南米でUFOに人間がさらわれる事件がある。

以上はビアルト氏が予知した9項目のうち、的中した7項目である。①、⑥までは新聞で大きく報道されたもの

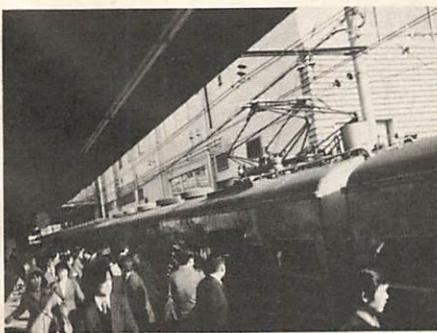
であるから、特に説明は必要ないと思うが、⑦は1977年8月21日、ブラジルのピラスマンガで、陸上に降下したUFOに、19歳の青年がさらわれる事件が起きているのだ。ブラジルでは大きな話題になった事件である。さて、次にビアルト氏が1977年10月10日付けで送ってくれた1978年の予知は次の通りである。

### (1) どんな自然災害が起きるか？

大きな自然災害のある年だ。まず、東洋とヨーロッパにおいて、かなりの雪害があるだろう。特にヨーロッパの雪害では、死者もでる。

また、異常冷害による被害が、アメリカと東ヨーロッパであるだろう。そのため、農作物に大きな被害がでるだろう。

地震は、中国、イタリア、インドネ



▲日本では、列車事故が多いそうだが…？

シア、日本が最も多くの被害をうけるだろう。南米のペルーあたりでマグニチュード7くらいの大地震がある。

日本では、マグニチュード4か5くらい地震が1、2回はあがるが、それ以上のものはまずない。

1年間を通して、日本では異常な低温、高温があり、そのための被害もかなりありそうだ。6月までの間に集中豪雨が関東、東北に2、3回あって、死者も出そうだ。

(2) どんな事故が起きるか？

もっとも多い事故は、自動車、列車、飛行機、船の順だが、自動車の事故では史上最大の死傷者をだすものが、ヨーロッパで5月ごろにある。

日本では列車事故が3月、6月、10月にあり、多数の死傷者がでるだろうし、その事故で何か爆発がありそうだ。

飛行機事故は、日本では成田新空港

でかなり大きなものがある。その事故を起こす旅客機はヨーロッパのものと、日本のもので、みなジャンボ機だ。

東南アジアの航空会社の旅客機で、海中に墜ちるものもあるようだ。

船の事故は、中近東からの帰りのタンカーで、海上爆発を起こす。どここの国の船かはつきりしないが、東洋のもののような。

日本で超高層ビルの火災が起きる事故が7月ごろにありそうだ。死傷者がある。

(3) 政治・経済と事件はどうか？

政治は世界的に不安定である。特に6月以降、米ソ2大国が直接関係した政治事件がアフリカとヨーロッパで起きるだろう。

クーデターも起きる。それは南米と東洋で、特に東洋では大国で無血クーデターがある。

中国ではこれまでの政治方針を変える動きが活発化するだろうが、成功しない。トップクラスの人物の変動と、死亡がある。

カーター政権には危険信号がついているが、もっと苦しくなるだろう。その原因は国内外の経済問題と人種問題である。

中東で戦火が見られる。大きく、長びくことはないが、一時は激しい戦いがある。4月から6月にかけて、その可能性が高い。

インドの政治事件は深刻化しよう。ハイジャック事件は、1年間に5つ以上起きる。ヨーロッパでのハイジャックでは死傷者がでる。その中に有名な人物が含まれる。

(4) その他のことでは？

アメリカでUFO事件が起き、科学者によって、科学的に説明されよう。

心霊力による病気の治療が医師によって認められる事件がドイツやイタリアで起きるだろう。

★予言③  
イタリアー・パストーレ氏



イタリアーには、予知能力を持つ人が数百人いるが、その中でも的中率の高さからして、ナンバー・ワンといわれているのが、パストーレ氏である。

彼は18歳のときから、さまざまな予知をしているが、これまでの25年間に平均90パーセントの確率で的中させている。

パストーレ氏が予知してくれた1977年の出来事で、的中したものだけをあげてみると次のようになる。

①アジアと中近東で大きな地震がある。中国では1地域が全滅するような大地震が1、2回あるだろう。

②アジア、アメリカ、ヨーロッパの空港で、飛行機事故が数回起きるだろう。

③アジアの大国で、その国の体制を変えるような事件が起きる。特に中国で。

④日本で選挙のようなものがあるが、反体制勢力は負ける。

⑤南米で、世界的な注目をあびる発見がある。古代遺跡のようなものである。(ピルカバン遺跡発見など)  
パストーレ氏が1977年の予知として送ってくれた内容は、8項目であった。  
さて、パストーレ氏が1977年11月5日付けで送ってくれた1978年

の予知は次のようなものである。

(1) どんな自然災害が起きるか？

① アメリカの一部地域とヨーロッパで大雪が降り、かなりの被害をもたらすだろう。

② 中国では冷害のためと、水害のために農業に大きな被害をもたらす。また、中国の南部と、カンボジア、ベトナムでは虫害が起きるであろう。

③ ソ連では水害と、高温による被害がかなり大きくある。

④ 地震の害は、アジアと中東である。特に日本、中国では、マグニチュード6から8ぐらいの地震がある。そのた

▼大きい地震が…？ (写真は関東大震災による焼跡)



め、多数の死傷者をだす。

日本ではまた、かなり大きな台風が6月から7月にかけて1、2回あるし、3月ごろ雪害も起きるだろう。

日照りの被害は、東ヨーロッパに起き、それによって農業は大きな打撃をうけるようになる。

(2)どんな事故が起きるか？

もっとも気になるのは、原因不明の船の事故だ。特に大西洋でそれが起きそうだし、タンカーの事故もいくつかある。

事故の種類としては、爆発と船体が折れるものだが、どちらもはつきり原因はつかめない。

つぎは飛行機事故で、アメリカ、ソ連などで、軍用機の大きな事故がありそう。この事故で、多くの死傷者がある。いくつかの旅客機事故もあるが、それらはヨーロッパとアジアの空港で起きる。

日本の空港では、ぶつかる事故で死者がたくさんでる。4月ごろだろう。

アメリカでは人工衛星打上げで大事故が起きるだろうし、ソ連では人間を乗せた衛星を1、2回打ちあけるだろうが、事故を起こす可能性が高い。列車事故もかなりある。日本では新幹線事故が起きる。死者はない。

(3)政治・経済と事件はどうか？

政治・経済ともに安定に向かうだろう

うが、経済不況の影響は大きく、アメリカ、イギリスなどは失業者、倒産の問題でかなりの苦境に立つ。

事件としては、かなり大がかりなスパイ事件が米ソと、中東の一国をからんで起きるだろう。

カーター大統領の暗殺事件があるが、未然に防止される。フランスとイギリスでも要人暗殺事件が起きよう。

ハイジャック事件は、成功するものは1つもないだろう。事件としては4、5回ある。

(4)その他のことでは？

スポーツ界で、驚異的な記録がつく

### ★予言④ チエコーローゲル氏

ローゲル氏は、チェコスロバキアでは数少ない予知能力者の1人で、科学者も認めている平均的中率の高い人である。

ローゲル氏は、予知能力を使い始めてからすでに37年になるが、彼の能力は30歳すぎになってから発見されたもので、政治的な事件の予知はすばらしい。

ローゲル氏が1977年の政治事件として予知したものは次の通りであった。

カーター米大統領の人氣は下り、身

られる。アメリカとソ連の選手によって。

全世界をまきこんでしまうような新しい音楽が、中近東から発生する。

電気関係で大発明がなされよう。発明者はヨーロッパ人だ。

パラサイコの世界では、これまで謎であったいくつかの部分が科学的に解明され、世界的な話題となる事件が起きよう。

ものすごい超能力者が中東から出現する。

ノーベル賞受賞者に2人の女性を選ばれるだろう。アジア人が含まれる。

UFO墜落事故がある。アメリカで。



の危険もかなり強まるので注意が必要だ。

アフリカで政治指導者が殺されそうになる事件が起き、米ソの対立がアフリカではつきりと現れる。

中国で指導者の交代に結びつく事件が起きるが、軍の圧力で成功はしないものの、変化が政策上にてくる。

以上の予知は、ほとんどの中している。

ローゲル氏が、1977年11月25日付けて送ってくれた1978年の予知は次の通りである。

(1)どんな自然災害が起きるか？

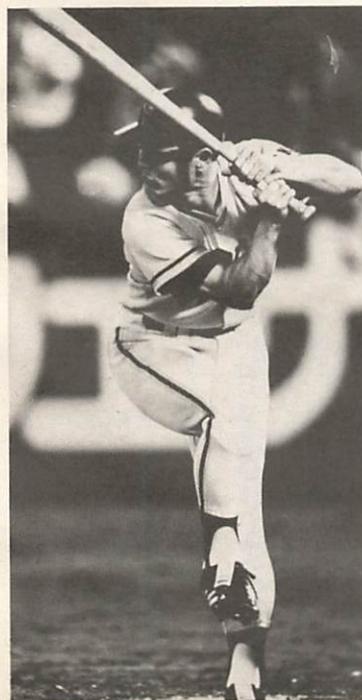
かなりの災害が起きるだろう。しかも、異変が原因してのものだ。

風水害は、アジア、南米、アメリカで多く起きるだろうが、人命はそう失われることはない。

地震もかなりある。もっとも多いのは中東と、イタリア、中国で、日本でも中位の地震がある。

イタリアと中国ではかなり大きな地

▼スポーツでは、どんな記録がうまれるか？(写真・ホームラン新記録達成の王選手) 写真提供・ベースボールマガジン社





▲火山の爆発も予知されたが…?! (写真・富士山)

震で死傷者もでるだろう。

冷害がヨーロッパにある。農作物の被害は大きいだろう。特にフランスはそのために苦しくなる。

(2) どのような事故が起きるか?

空中での事故だ。アメリカとソ連で、軍用機と旅客機の事故が、6月から8月にある。

ヨーロッパで、旅客機が都会に墜ち、大きな被害をだすだろう。

誤報による軍事的な事故もある。ヨーロッパで、9月ごろ。

日本では、タンカーの事故で大きな被害をうけるだろう。3月末ごろだ。また、日本で大きな列車事故が、2月と9月にある。多数の死傷者がでる。

(3) 政治・経済と事件はどうか?

大きな政治事件が起きる。中東、ア

フリカ、中国、アメリカで。

小さいながら中東戦争が起き、サダト派が勝利するだろうし、真の中東和平の土台が築かれるだろう。

アメリカでは、アミンに反対する勢力が強くなり、失脚するかもしれない。

アフリカ全体に民主勢力が強くなる。

中国では、現在の指導層の中で争いが表面化し、華主席が不利になるだろう。この争いの結果は、一時的にも中国政治を乱す。

アメリカでは、カーターが危くなる。原因は経済、外交上での失敗だが、なんとか危機を乗りきるだろう。

## ★予言⑤ 日本—小野田京子さん



小野田京子さんの予知力の確率は、80パーセント以上といわれ、問題によっては90パーセント以上とされている。

次に紹介する1978年の予知は、1977年12月10日に行われたものである。

(1) どのような自然災害が起きるか?

大きな地震はないが、マグチニユーD3くらいのものが、関東地方を中心に2、4、7、12月に何回かあるだろう。

山くずれの害が、和歌山、四国など

日本では政治指導者が交代するだろう。民主勢力はあまり伸びないし、中道勢力も強くはならない。日本は経済不況からぬけどすことはむりだ。

(4) その他のことでは?

これといって大きなことはないが、人びとの霊的現象への関心はますます強まるだろう。

電気関係で大きな発明がある。発明はヨーロッパでなされ、たちまちのうちに世界的なものになるだろう。

歴史を変えるような遺跡が中東と南米で見られる。9月ごろ。

に8月ごろあるだろう。また、台風の影響もかなりある。

10月ごろ、火山の爆発がある。浅間山などのようだ。

日本海に面した地方で、タツ巻きの被害があるだろう。

(2) どのような事故が起きるか?

7月末ごろ、東北線で脱線事故があるし、新幹線の事故もある。脱線ではないがそれに近いものだ。

7月ごろ、青函連絡船の事故がある。火事の多い年だ。

7月から10月にかけて、不時着など

▼グリーンと茶が流行色に。



の飛行機事故、ニアミスなどがある。

(3) 政治・経済と事件はどうか?

経済不況はひどく、失業者が多くなる。

新しい手口のサギ事件が多くなる。銀行を舞台とした事件が東京以外の所から起きる。

10月、ハイジャックが起きる。東京で。

7月、大阪で、怪奇殺人事件がある。

(4) その他のことでは?

グリーンと茶色が流行する。巨人軍が日本一になる。北の湖の優勝が多くなる。

注目をあびる人は、×藤、藤のつく名前を持つ人だ。

以上の1978年の予知がどれだけの的中するか、確かめてみてはどうだろうか。予知はあくまで「参考」でしかないので、念のためにつけ加えておく。

# 女性宇宙人 セムジャーゼは何を 語ったか

すべては1975年1月28日に始まった。地球の科学をはるかに超えた美しい宇宙船が近づき、ヒンウィルの近くの人気のない林間の空地に着陸。宇宙船から一人の宇宙飛行士が降り立ち、メイヤーに近づいてきた。そして、メイヤーと長時間にわたる会話をかわしたのである。

これは、スイスのチューリッヒ郊外で起きた不思議なコンタクト事件の締めくくりとなるものである。430光年も離れたプレアデスから地球を訪れたというこの宇宙人とフィジカル・コンタクトを経験した地球人は、エドアルド・メイヤー氏ただ一人である。

## 地球人とのコンタクト

エドアルド・メイヤーがプレアデスの宇宙飛行士と2度目に会ったのは、最初のコンタクトからちょうど1週間後の1975年2月3日である。その日の夕方早く、彼は外出せよとの強烈な印象を受けた。午後9時過ぎになって、彼は心の命じるまま外に出た。彼が足をはこんだのは、最初に宇宙人と

出会った場所に近い、さびしい場所だった。午後10時10分ごろ、見覚えのある宇宙船が近づいてきて、草地にふわりと着陸した。円盤からは女性とおぼしい搭乗員が姿を現し、彼のほうに近づいてきた。それは、彼が最初に会って話をしたのと同じ人物だった。彼女はセムジャーゼと名のり、私たちがプレアデスと呼ぶ星団から地球にやって来たのだという。彼女はメイヤーの自国語であるドイツ語で挨拶し、彼もそれに答えた。

これをきっかけに、以前と同じように、ドイツ語による会話が続き、メイヤーは帰宅したとき、その一語一語をはっきり記憶させられていた。会話の内容は次のとおりである。

**セムジャーゼ** 最初に会ったとき、あなたには本当に驚かされました。私たちが思っていたよりも、ずっとずっとあなたの理解力がすぐれていたものからです。

**メイヤー** どきまぎするようなことを言わないでくださいよ、セムジャーゼ。おせじを言われるのは好きではありません。あなたは私の心の中まで読みとれるのですか。

**セムジャーゼ** ええ。でも、絶対必要なときしか他人の心の中に入り込むことは許されていません。もちろん、そ

# スイス・コンタクト事件最新情報



## ウェンデル・C・スティーブンス

うでもしなれば、私たちが知る必要もない個人的な事柄までわかってしまいます。もしあなたにそのようなことをしたら、あなたがいついさつき考えていたことや、個人の秘密まで知ることになりますよ。

**メイヤー** どうもすみません、セムジャーゼ。でも、ひとつ質問があります。UFOのコンタクトティーのなかには宇宙の友人たちとテレパシーで意思疎通をしていると言っている者がいますが、これは本当ですか。

**セムジャーゼ** たしかに、お互い同士テレパシーで意思を伝達しあう異星人がいます。もっぱらこの手段にたよっている者もいます。最初からそういう風にしていた者もあれば、もはや発声器官を必要としなくなった者の場合もあります。

**メイヤー** コンタクトティーのうちにはベテン師もいると聞いていますが……  
**セムジャーゼ** そのとおりです。

**メイヤー** 本場にコンタクトした人もいますか。

**セムジャーゼ** います。私たちの宇宙船を多くの人が目撃していますし、写真を撮影した人もいます。私たちと個人的に接触したのはほんのわずかの人で、彼らはその事について口をつぐんでいるのが普通です。まわりの者からバカにされたくないためです。多くの場合、宇宙旅行者たちは他の星から地球にやってきました。私たちの

# スター・ビープルの任務

ように、とても遠くの銀河系から来る者もいます。時には、偶然のことで地球人とコンタクトするという珍しいこともあります。また、時々、地球人がむりやり宇宙船の中に連れ込まれ、医学的な検査をされるということも起きています。しかし、宇宙人たちは捕らえた地球人を解放していません。危害を加えるつもりはないからです。しかしながら、宇宙には邪悪な心を持っていて、権力にとりつかれている生物もいるのです。彼らは地球や他の惑星から人々を力づくでさらっていき、自分たちの故郷の惑星に連れて行っていきます。さらわれた人たちは、見世物にさらたりしています。

**メイヤー** どうもありがとうございます、セムジャーゼ。とても興味深く、有益な話でした。ケネス・アノルドの体験は本当だったのでしょうか。

**セムジャーゼ** 多くのパイロットが、私たちの宇宙船や他の宇宙船に出会っています。現在、あるいはこれからあなたにとって重要な意義を持つ人を7名ほど教えてあげましょう。でも他言しないでください。(メイヤーは7人の氏名と住所を教えられた)そろそろお別れしなければなりません。またお話ししましょう。

セムジャーゼは背中を向けて宇宙船に乗り込み、立ち去っていった。この晩の会見では1枚も写真を撮っていない。

3回目のコンタクトは1975年2月8日の午後3時半に行われた。かわされた会話は次のようなものである。  
**セムジャーゼ** 私に呼びかけていましたか。

**メイヤー** ええ。お聞きしたいことがあるのですが、いいですか。  
**セムジャーゼ** もちろん、いいですとも。どうぞ。

**メイヤー** このあいだお会いしてからあと、UFOに関する書物を読みあさりました。そのとき気づいたのですが、あなたがた「スター・ビーブル」

(こう呼びしてよければ)は、この

世のものとは思えないほど美しく、力があるように記述されています。実際、普通は地球人の保護者として描き出されています。時には、あなたがたは全知全能で、ほぼ完全と言えるほどだとまで述べてあります。私の知性では、どうもすんなり受け入れられないのですが……。私としては、これと全く反対の考えです。こうした風変わりな空想は、地球での現実の生活の厳しさに耐えかねた人たちが、自分たちにとって理想的と思える世界に逃避し

て、あらゆる悩みや困難の解決策や援助を期待しているものだと思います。

**セムジャーゼ** まさにあなたの言うとおりです。地球人は自分を上回ると信じるものに、とかく責任をゆだねてしまふ傾向があります。もしあなたが言うように、知識もない人たちが私たちをあたかも完璧な存在だというように描写しているとしても、正しいはずがありません。私たちがだって完璧にはほど遠いし、あなたがたと同様に絶えず進化しなければならぬのです。私たちは超人類でもなければ伝道者でもありません。でも、私たちがある種の任務をひき受けています。たとえば、宇宙で発達しつつある生命、とくに人類を監視したり、秩序が保たれるよう方策を講じたりしています。こうした任務を通じて私たちがあちらこちらで様々な世界の住民と接触し、いく人かの個人を選んで彼らに教授しています。

私たちがこうしたことをするのは、その人種がより高い進化の段階にある場合だけです。私たちは彼らに、宇宙の中で思考力を持つ生物が彼らだけではないと説明し(そして実証し)ているのです。時によっては、私たちはテレパシーを使って手助けすることもあります。これは、ふさわしい精神へと発達、成熟させて、必要とされてきた技術的な発明を確実なものとするためです。

**メイヤー** それなら、なぜあなたがた

は大勢で地球の大衆の面前に姿を現さないのですか。それに、どうして政府に接触しないのですか。

**セムジャーゼ** 残念なことですが、あなたがたの惑星のほとんどの政府は、権力への欲が強い人々によって占められています。彼らは、すぐさま私たちの宇宙船をつかまえようとするでしょう。私たちの科学技術を奪い取って、地球全体を支配するためです。さらには、宇宙を支配しようと望むことでしょう。でも、彼らは地球の平和はおろか、自国の平和すら維持できないのです。もうすでにこの段階まで発達しているのに、私たちの宇宙船に代表されるような権力の道具を、どうして彼らに与えなければならないのでしょうか。広範な大衆の精神は、いまだに卑小で抑圧されており、限界の中に閉じ込められています。昔と同様、私たちを神様あつかいするかヒステリーになるのがせいぜいです。だから、しばらくの間は、個人とだけコンタクトするほうが賢明だと考えたわけです。こういうふうにして、彼らを通じて私たちが存在していることと、この惑星にやって来ていることを広めようとしているのです。先祖が私たちと同じということもあって、私たちは地球の人々に義務を感じています。

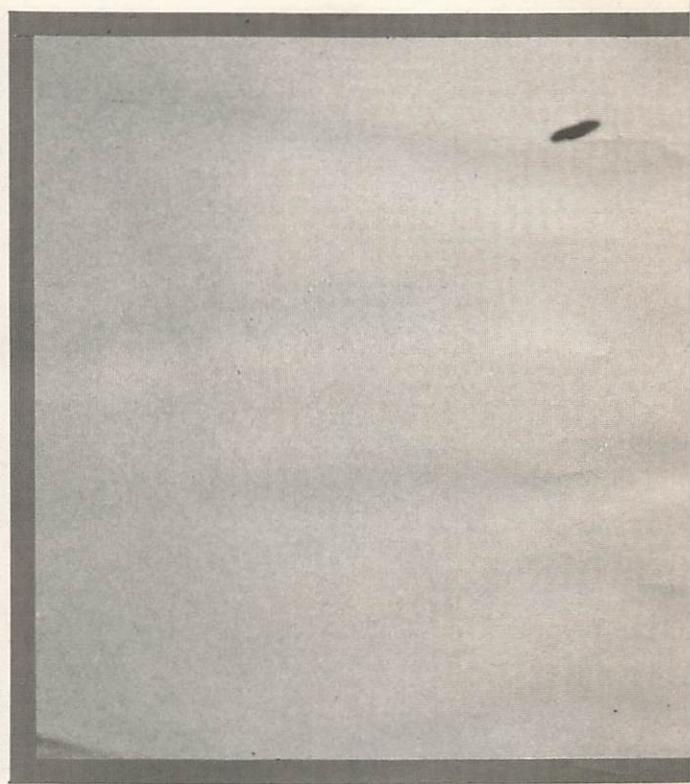
### ●長い寿命について

**メイヤー** 詳しく教えていただきたいです

みません。セムジャーゼ。でも、もうひとつ聞きたいことがあります。私の読んだところでは、異星人が非常に長い寿命を持っているという記述が一度ならずありました。本当なんですか。  
**セムジャーゼ** あなたはどうですか。信じますか。

**メイヤー** いいえ、ありえないように思えます。私が想像できるのは人間だけですけれど。そんなに長い期間にわたって生存しているとしたら、もはや人間ではありえず、多かれ少なかれ霊的な存在でしょう。

**セムジャーゼ** そのとおりです。もしある人が高度の完全さへと到達したなら、彼の精神はもはや物質的な肉体を



必要としなくなります。彼は霊界で暮

## 地球の言語の学び方

それからわずか7日後の2月15日、午後1時48分に、4回目のコンタクトが行われた。この時の会話は次のとおりである。

**セムジャーゼ** ここ数日、あなたの思念が頻繁に伝わってきました。ほとんどが質問でしたけれど。ただ、私としては、すべての質問にお答えできる立場にはいません。それに、ある程度はあなた自身の安全のためにもその方がいいでしょう。

**メイヤー** でも、あなたはおっしゃ

らすようになり、進化を続ける世界の水準からは彼と直接コンタクトすることが事実上不可能になります。  
**メイヤー** ちょっと質問させていたいただきたいのですが、セムジャーゼ、あなたは何歳ですか。  
**セムジャーゼ** 別にかまいませんが、何歳だと思われまます。  
**メイヤー** 地球の基準で私なりに判断すれば、33歳ぐらいでしょうか。  
**セムジャーゼ** ええ、それぐらいの年齢にあたるでしょう。実際には、あなたがたの年になおすと350歳になりますが、それでも私たちの概念ではまだまだ若いほうです。私たちの平均年齢は1000歳ですから。それはそうと、もう行かなければなりません。では、さようなら。

たでしょう。緊急の場合をのぞいて、私の考えていることを読みとったりはしないと。ちがいますか。

**セムジャーゼ** そうです。あなたの思念の世界をのぞこうとしたことはありません。でも、あなたがあんなに強烈に思念を私に向けてくるのでは、キャッチせざるを得ません。

**メイヤー** それは申し訳ありませんでした、セムジャーゼ。あなたを悩ますつもりはなかったのです。

**セムジャーゼ** まあ、そのことには良

い面もあります。こと細かにお答えできないにしても、あなたの質問に注意を払うことができますから。もちろん私たちはあなたを信頼しています。でも、もしあなたが秘密を知れば、勝手気ままな権力者があなたから秘密をむりやり聞き出そうとするでしょう。私たちは、いかなる状況でも危険をおかしたくないのです。それはともかく、質問なさってください。

メイヤー まず最初に、あなたはドイツ語をとて上手に話しますね。どのようにして学んだのですか。

セムジャーゼ 私たちも、いろいろな言語を学びます。でも、あなたがたより学習は容易です。もっと簡単な方法を採用していますから。私たちは、現在地球上で話されている言葉と、これまで話された言葉を所有しています。

これらについて正確なデータを持っていますので、それによって語学コースを開発しているのです。これは、言語学者や専門の科学者の監督のもとに、コンピュータに似た装置によって行われます。ほかの装置を使って、このコンピュータと私たちを接続し、まるでその言語が自発的に浮かんでくるかのようにします。これは催眠状態に似た形で行われます。この学習過程を全部終えるには、(地球時間にして)約21日かかります。このあと10日間ほど、その言語を流ちょうにしやべれるよう訓練しなければなりません。だから、

ら、全部で31日かかります。最後の段階では、言語学者とフリー・トリーキングを行います。あなたがたは現在、テープを使用していますね。それは、私たちと同じような装置を作るための第一歩です。私の知るかぎりでは、もうすでにそうした研究が進められています。

その後、2人の間で長時間にわたる会話が交わされた。ブレアデスから地球まで、彼女の宇宙船が(地球時間に直して)7時間で旅行するというが、いったいどのようにしているのか。さらには、宇宙船とその搭乗員をどのようにして保護しているのか。こういった話題がとり上げられたが、すでに紹

介したのでここでは省略する。(本誌24号「驚くべきコンタクトの全貌」を参照)。

だが、その少し後に行われた別のコ

## 時空と物質の関係

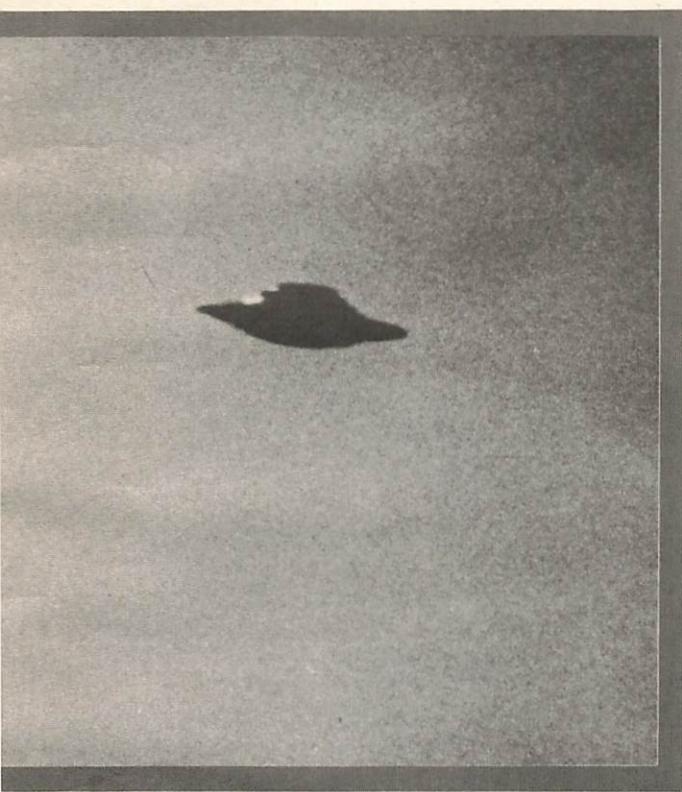
1975年3月18日、ヒンウィルの近くで8回目のコンタクトが起きた。

このとき、エドアルド・メイヤーは相対性理論と時間の膨張について質問している。返事は次のようなものだった。セムジャーゼ その質問にお答えするには、すこし基本に戻る必要があります。ご存じのように、空間を意のままに支配する方法にはさまざまなものが

ンタクトでも、信じられないスピードで宇宙旅行をする方法とか、時間と空間と物質の相互の関係について、再度会話をしている。

あります。でも、そのすべてをお話するつもりはありません。地球の人たちにとってあまりにも空想的か、あるいは理解しがたいことでしょうか。けれども、飛行物体が外宇宙を安全に飛行する方法は、たった一つしかありません。それは、亜空間に到達することです。そこでは時間の膨張が相殺され、あなたがたの知っている相対性理論がたんに一つの理論にすぎないことが明らかになります。時間の推移(つまり時間の膨張)を相殺できるのは、この亜空間に突入した場合だけです。ただ、これについては詳しくお教えできないことになっています。いづれにしても、それは質量の膨張をとまらう一種の跳躍、急速な転移のことで、その際の速度があまりにもすごいため、防護スクリーンが一時的に役に立たなくなるほどです。物質は1秒の何分の1という短時間で変形し、分解してしまうので、亜空間を通過中はまったく時間が経過しません。

しかし留意していただきたいのは、これがたんに超高速の問題だけではないということです。たしかに光速の1



00万倍という速度になります。これには他の事態もかわってくるのです。この速度によってのみ物質の変化という効果を達成でき、それ自体がこの「亜空間跳躍」を行う条件となっています。物体の質量は速度の増大ともなって増大します。だから、質量は無限にまで増大することになります。

私たちの宇宙船は、この過程から保護されています。変形効果が得られるように、スクリーンのスイッチを切るだけですけれど。この瞬間に私たちはまさに現実の変形を加速させる過程を用いて、真の非物質化を生み出すわけです。私たちは、時間と空間を同時に無効にできるのです。時間と空間はお互いに打ち消し合います。これはとても短時間に、ほんの一瞬のうちに終わるので、生命体でも全然気がつきません。まったく変化を感じないのです。宇宙船が光速を下まわる速度で巡航するときは、ものすごく多くの時間がかかります。新たに宇宙旅行に乗り出す者の場合がこれにあてはまります。だれでも経験から学ばなければなりません。でも、こうした時間のかかる宇宙旅行には危険がともないますし、その試み全体を危険にさらすことにもなりません。もし宇宙船が光速の壁を突破しながら直ちに亜空間に入らなければ、宇宙船と搭乗員にとって大惨事となります。この大惨事は、あなたがたの相対性理論に合致したものです。光

速を上まわりながら亜空間に入るのに十分でない速度というのは、危険に満ち満ちています。時間の膨張は、その危険の一つにすぎません。もっと本当に恐ろしい危険は、宇宙船の質量が膨張しつづける可能性があることです。これは宇宙船の完全な破壊をもたらすこととなります。

あらゆる形態の生命は、知恵と経験を身につけるのに進化の過程を経なければなりません。私たちの先祖も、こうした問題を解かねばなりません。こうした彼らの何人かは、時空のなかで姿を消してしまいました。このため、時間旅行者が時々過去から出現して、あちこちの惑星に着陸しているのです。

彼らの多くは自分たちの故郷の惑星に戻れないでいます。そして、帰り道を探すのをあきらめ、現在いる場所に定住しています。でも、ほとんどの者は宇宙の迷子となり、死んでいます。

速度の危険は、時速数マイルからすでに始まっているのです。自動車や航空機に十分な防護がされていなければ、でも、もしあらかじめ適切な保護手段をとっていなければ、最低の速度でも物質の形と構造、安定性をそこなうこととなります。つまり、あなたがたの自動車や飛行機は気づかないほどわずかですが膨張します。これはゆっくりとした破壊の進行の最初です。けれどもあなたがたの技術では、この膨張

を確認できないでしょう。高速では、この損傷は数年以内に効果を表してきます。

この破壊の過程には、すべての生命体も含まれます。速度によって生命体の質量も変化をこうむりますから。大脳の質量も変化するので、大脳の機能もすぐさま影響を受けます。このためすべての機能は不活発になり、大脳組織に空白部分が蓄積してきます。そして生命体は自らのコントロールができなくなり、宇宙船もコントロール不能になります。もちろん人間は適応できませんが、どうしても適応しきれない限界というものがあります。どうしても自然に服従する時点がくるのです。この限界はそれぞれの人によって違っていますが、すべて同一の要因が適用されます。ひとたびこの限界に達したら屈服しなければなりません。質量の膨張の影響に対して特別な保護を講じてある乗物でないかぎり、飛行機を操縦したり自動車を運転したりということは無理です。しかし今日でも地球人は自分たちが創造物の王者だと思ひ、宇宙で唯一の人間型生命だという妄想にしがみついています。

### ●大きな変化の時代

メイヤーなんとも奇想天外なお話ですね、セムジャーゼ。あなたの説明に比べると、地球のSF作家の想像力は貧困としか言いようがありません。

**セムジャーゼ** 彼らを見くびらないほうがいいですよ。彼らの多くはきわめて真実に近いところまで来ています。それに、彼らのうちのある者は、たとえば私たちがインスピレーションを受けています。人類が来たるべき新たな事態を受け入れる用意ができるのは彼らの著作を通じてです。科学者たちでさえ新しい領域に入る心構えをし、私たちのインスピレーションを通して新たな可能性を探っています。この事実に気づいている人々はすでに数多くいます。

**メイヤー** それでは、この1世紀の間に人類が急速な技術上の発達を遂げたのは、人類だけの力によるものではないのですか。

**セムジャーゼ** ええ。私たちや他の多くの者がそろうした発達を援助してきました。たしかに、すべての新しい発見は特定の時代に生じますけれど。

**メイヤー** 宝瓶宮の時代のことを言っておられるのですか。

**セムジャーゼ** そのとおりです。この時代には、良きにつけ悪しきにつけ、重大な変化がもたらされるでしょう。中でも最悪のものは宗教的な大変動です。宝瓶宮の時代は知性と精神の時代なので、新しい宗教が統々と誕生して今まで以上に人間の思考に影響を及ぼすようになるでしょう。私たちはこうした事態を避けるため、できるだけ力のぞえをしたいと思います。これ

によってあなたがたが先祖と同じ失敗をするかもしれないのです。あなたがたの科学者は神々のように振舞いはじめ、地球さらには太陽系全体に、私たちの先祖や他の種族に起こったのと同じ大破局をもたらすかもしれません。寿命の長いことについて質問すると

**セムジャーゼ** は次のように答えた。「重要な要因はたくさんあります。最も重要なのは、生態学的な、外部から

## いまも円盤は訪れている

その後もコンタクトは続けられ、メイヤー氏の記録したノートは1500ページ近くになり、写真も300枚を上まわっている。コンタクトは現在でも断続的に行われているが、いまでは記録をとるのに飽きて、カメラも持参しないようになっていっている。彼にとって

真実ならそれで十分なので、彼に敵意をいだいている社会と体験を共有することには関心がない。彼の体験が一般に広まったことでメイヤーは言うに足るほどの利益をこうむってはいないし、それどころか、近所の人々や地域社会から反感をかっただけである。彼が得た金銭といってもささいなものにすぎず、自宅を手はなして年老いた父親と一緒に暮らさなければならぬ結果になっている。彼の記録管理はお世辞にも素晴らしいとは言えないので、ノートは散逸してしまっている。おかげ

の影響です。私たちがあなたがたより長い寿命をエンジョイしているとすれば、それは私たちの生活様式が異なるからです。長寿には研究の成果と進化も重要な役割を果たしています」

**メイヤー** 地球人が自分たちの知識レベルによって、寿命に影響を及ぼすということは出来るでしょうか。

**セムジャーゼ** ええ、でもそれについてはお話できません。

で批判者からは絶好の攻撃的になっているほどである。彼が立ち退いて老父の家に移り住まなければならなかったため、記録や写真はますます散逸し、もはや元通りに回収することが不可能なほどになっている。

彼はこれまでに、ブレアデスの宇宙船と搭乗員についてのモーション・ピクチャを少なくとも9本は撮影している。この真びょう性については、写真の専門家の間で意見の一致を見えない。インチキ写真を作れるかどうか、光線の具合が報告と一致しているかどうか、焦点に違いが見られないかといった点である。彼らは物体の動揺と振幅の割合を計算したが、それが37cmの糸から吊り下げた7cmの模型なのか、7・5mの糸から吊り下げた90cmの模型なのか、それともメイヤーが言うように6・5mの宇宙船なのか意見

はバラバラである。彼らは3〜4機の編隊が写っている場合にもやはり模型や糸を探しているが、そのフィルムを片腕の男が一人で、こわれたカメラを使用して撮影したことを忘れてしまっている。もしそんなにインチキが簡単なら、どうしてだれかが同じまねをしてそれを実証してみないのか。

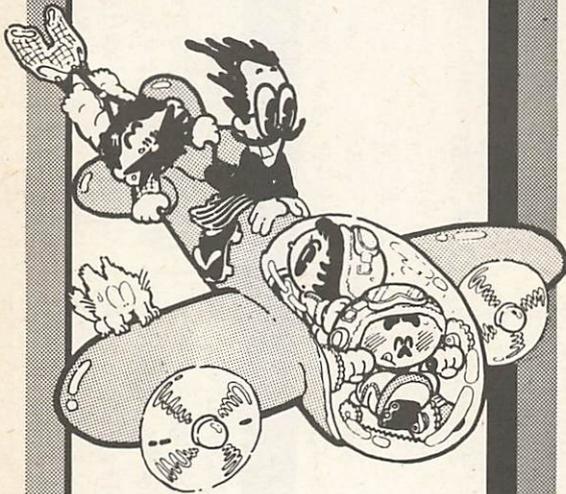
このヒンウィル事件を絶対本当だと証明することはできない。たった一人の体験だからである。しかし、インチキだと片づけてしまうこともできない。目撃者は300枚以上の素晴らしい写真を撮っており、その中には目撃者や宇宙船の乗員だと主張する者も写っているのである。メイヤーの住んでいる村はとても小さく、住人たちはお互をすみからすみまで知っている。大衆雑誌やUFO関係の書籍など手に入らない。もし模型を作ろうとしたら、その地方で簡単に手に入るものしか使えない。それに目撃者は自動車事故で左腕を失うというハンディを負っている。模型を作るには、かなりの手助けが必要だろう。もしそれに成功したとしても、その運搬手段としては旧式のミニバイクしかない。また搭乗員を写すために俳優や衣装も必要となる。宇宙船が着陸した奇妙な跡や焼けこげを作るための道具もあるだろう。宇宙船の模型を投げ上げたり、吊り下げて動かすのはとても大変だし、そのうえファインダーがこわれ、ピント調節ので

# 宝島

毎月10日発売 480円



雑誌宝島へ上陸すると——音楽が聞こえてきます。映画も上映中です。読みたい本もいっぱい。今まで知らなかったことや新しい生活を発見します。——未来への宝ものを自分で探すことの楽しさを覚えます。



①162東京都新宿区揚場町15セントラル  
・コーポラス207 電話03(268)6312

## ●UFO 研究者による調査

きない35ミリ・カメラで模型を撮影するととなると不可能に近い。それにもかかわらず、3機から4機の宇宙船が編隊飛行するところを彼は撮影しているのである。

この事件については、とりわけ2人の有名なUFO研究者が広範囲にわたる調査を実施している。まず、UFO研究グループを主宰しているルー・チンシュターク女史。

そして、これまたヨーロッパではよく知られているUFO研究者、イルザ・フォン・ヤコビ女史である。2人はかなりの時間をかけてメイヤー夫妻

や彼らの知人から話を聞き、共犯者がいないか、模型が見つからないか調べ、さらに現場まで足をはこんで事実を確かめている。

あるオーストリアのチームは改造したレーダーを持ち込んで宇宙人を捕らえようとしたし、赤外線装置や犬まで使った者もいる。しかし、いずれもコンタクト現象を目撃することはできなかった。べつにメイヤーが反対しているわけではないのだが、宇宙人たちは彼らの満足できる条件の下でないかぎりコンタクトを行わないのである。この理由については、彼らはメイヤーに説明している。チンシュタークとヤコビ両女史にとっては納得できるものであ

った。

この事件の動機をさぐるうとする、メイヤーが彼の体験によってほとんど利益を得ていないことがわかる。彼は自分が撮影した素晴らしい写真でとりたてて金もうけをしていないし、使用料の請求をこぼんでいるほどである。

彼のコンタクトの報告はあまりにも常識からかけ離れているので、受け入れてくれる読者の数はとても少なく、決して大衆受けするものではない。彼の体験のおかげで近所のほとんどの人と疎遠になったし、おどろかされたり、悩まされたりということもしょっちゅうである。彼の暮らしている迷信深い社会から何をされるかわから

ないという不安もある。にもかかわらずコンタクトは一年以上にわたって定期的に行われ、いままなお続けられている。コンタクトをもっと多くの人に広げ、近いうちに他の人々を現場に行きたいというのが、メイヤーの唯一の望みである。彼は宇宙人にたのんでみたが、いまのところ認められていない。彼は友人のシャッツバックを会合の現場に連れて行こうとしたことがあるが、彼は宇宙船が着陸する前に100m以上離れたところに止まっていなければならなかった。シャッツバックは宇宙船が飛来し、飛び去るところを目撃したと証言している。

中村省三訳

過去22年を越える歳月を通じて大衆の強烈な関心がUFO問題に集中し、科学の本流を離れた多くの研究者によって、この問題に関する刺激的な調査が行われてきた。だが、殆どの科学者はそれを無駄な問題であるとみなし、

科学的に真剣な配慮を示すに値しないと考えてきた。

コンドン白書と、引き続き開かれた国立科学アカデミー「11人特別委員会」による白書への強烈な保証は、とりわけ問題の後者の立場を肯定するの

に役立っている。しかし白書にしろ11人特別委員会にしろ、彼らの立場を支持する科学的で適切な論議を示していない、というのが私の見解である。コンドン白書中の特殊事例を数カ月間チェックした後、選別したおよそ500

のUFO事例について目撃者を2年以上にわたる個人インタビューで追跡しながら、私はまったく、かくも不適切な報告書が、かくも明確な国立科学アカデミーの保証を入手していることに、どうしても合点がいかなかった。

## 見せかけの結論に 終始した白書

ところで11人特別委員会のだれひとりとして、この問題の科学的接触の前に何ひとつ証拠を握っていなかった点、および、私の知る限りではだれひ

とりとしてコンドン白書の事例についてクロス・チェック調査を試みなかったことなどはすでに十分承知しているので、私としてはこれは「合点がいか

ない」ことの例外である。およそ見せかけの根拠に基づいて、国立科学アカデミーの保証を得ている科学問題というものは殆ど存在しない。したがって、この強烈なる裏書きは結局「憲法街2101」を通りながら自らのねぐらへ戻ってくるだろう、というのが考え抜いた末の私の結論である。

と同時に私の考えは、20年以上も大衆を悩ませてきたこの問題について、このような見せかけの結論を下した白書に、なぜ承認のスタンプを押したのか！と、国立科学アカデミーはいつかその弁解を余儀なくさせられるにちがいない、という認識に到達している。私は常にこのことを主張している

## ●UFO資料発掘

●アリゾナ大学  
大気物理学研究所

ジェイムズ・E・マクドナルド

# コンドン白書大批判

事例をチエックしてみてもわかった

「間違いだらけのUFO白書」への反論



▲筆者のジェイムズ・E・マグドナルド。



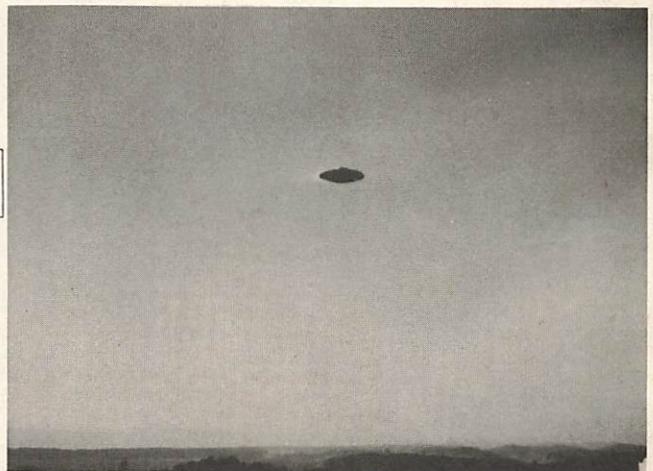
▲エドワード・U・コンドン博士。

が、それにもかかわらず  
白書問題は表面的な段階  
にとどまっている。

**批判①** アメリカ国内  
だけに限ったところで、  
現在記録に残っている数  
千のUFO報告書から、  
せいぜい90事例が白書に  
よって分析されているに  
すぎない。このサンプリ  
ングは、有益なUFO報  
告類の1パーセントにも  
満たないのである。

**批判②** しかもこの比  
較的小さなサンプルの中  
でさえ、何年間も最も高  
貴な信頼性を勝ち得てき  
た目撃者が寄せてくれた実に困った報  
告書に対して、白書は、真面目な神経  
を集中するのを避けている。そのかわ  
りといつては何だが、白書は、空軍が  
「UFOミステリーを解決する」と約  
束したために外部の支援を求めざる  
を得なかった、そういうタイプの報告  
類に目もくれず、とるに足らない事例  
にあまりに重点を置きすぎ、そのくだ  
らない事例の混合物となっている。コ  
ロラド・プロジェクトが期待されてい  
たのは一筋縄ではいかなない報告類であ  
ったが、実際は安易なリポートの説明  
にとどまっている。

**批判③** 白書は記録に残されている  
最も有名な報告類(多数)を完全に削  
除している。その報告類は数多くあ  
り、私はそれらをチェックした調査員  
を知っているが、それらは最終的ドラ  
フト会議において真剣な討論が展開さ  
れたものであった。1957年11月2  
日、テキサス州レヴァランドの事件。  
1968年2月4日、カリフォルニア  
州レッドランド事件等々……。その省  
略にはまた多数の貴重な歴史的事例も  
含まれていて、あたかも私のような、  
自由な立場で行える独立調査員による  
特別検査をせきたてているようであ



▲コンドン白書はUFOの存在を否定しているが……

る。それらは空軍の基礎資料になっているが、前面に出されることはなかったのだ。

● 1948年7月24日イースタン・エアラインズ事件。

● 1948年10月15日、日本の福岡事件。

● 1949年4月24日、ニューメキシコ州ホワイトサンズ事件。

● 1949年7月3日、ワシントン州ロングビュー事件。

● その他多数。

**批判④**

白書が討議している多数事例について言えばその分析のレベルと論議の完全性は極めてお粗末である。

● 1956年8月13日、英国レイクンヒース事件。

● 1966年4月22日、マサチューセッツ州ビバリー事件。

● 1967年10月6日、バンデンバーグ空軍基地事件。

● 1957年9月19日、ルイジアナ・テキサス間のB47のケース。

● 1957年1月4日、カートランド空軍基地事件。

以上、ほんの数例を引用したにすぎない。

**批判⑤**

基本的事項に関する記述さえ、ひどく不完全である。

● 1952年8月5日、羽田空軍基地事件。

● 1967年1月13日、ミズリー州ジョプリン事件。

● 1967年7月28日、カリフォルニア州パチエコ・パス事件。

● 1954年6月29日、ケベック州セブン・アイランズ事件。

これらの事例はもちろん前記の点、とくにB47事件と関連して引用されている。

**批判⑥**

目撃の重要人物に関して、彼らとの接触さえ試みられなかった。その意味深長な事件についてはまったく不満足な月並みの説明が行われたにすぎない。

● マサチューセッツ州のビバリー事件。

● カートランド空軍基地事件。

● ケベック州セブン・アイランズ事件。

● 1952年7月19日と26日の、首都ワシントン事件。

**批判⑦**

白書が、遂に説明不可能と譲歩した数例については、その重要目撃者たちは一度もコロラド・グループからインタビューされなかった。私は彼らと容易にコンタクトできたし、彼らも快くインタビューに応じてくれたのである。

● 1957年、B47のケース。

● 1955年6月23日、定期航空便のニューヨーク州ユチカの事件。

**解説**

コロラド大学UFO科学調査委員会と  
「コンドン」白書

1960年代半ばから、アメリカではUFO目撃報告が激増、一般市民のUFOに対する関心もそれとともなう高まっていた。1966年4月には米下院でUFO公聴会が開かれるまでになっている。

ひとつにはこうした世論や議会の圧力もあって、米空軍は20年間にわたって悩まされつづけてきたUFO問題に最終決着をつけるため、大学に依頼してUFOの科学的調査に踏み切る決意を明らかにした。

これが具体化したのが同年の10月6日。コロラド大学の物理学者エドワード・U・コンドン博士を中心とする調査委員会が発足した。「コロラド大学UFO科学調査委員会」、いわゆる「コンドン委員会」である。

国際的に有名なコンドン博士を委員長として、12人の科学者がスタッフとして参加した。物理学者、心理学者、化学者、天文学者など、様々な分野の科学者がUFO問題にあらゆる角度から取り組むべく計画が立てられた。

当初予算31万3千ドル、期間18カ月。空軍からは資料面で全面的な援助を受けるが、いっさい束縛されない。まさに画期的な規模と内容を持つものとして、コンドン委員会は、UFO論争に

関わるあらゆる方面の期待を集めながらスタートした。UFOの本格的な科学研究という期待が実現されたかに見えたのだが……。

しかし、調査活動の進行につれて、様々な問題が浮かび上がってきた。まず、方法論上の意見の不一致で心理学者ウィリアム・スコットが辞任。コンドン博士自身のUFOに対する否定的な態度。連絡調整に携わるロバート・ロウの言動に見られる偏向ぶり。さらには、UFO地球外起源説をめぐる内部論争などである。

結局のところ、スタッフのうちだれ1人としてUFO報告の調査経験がないというのが致命的だった。委員会のフルタイム・スタッフとして最後まで残ったのは、ロウを含めてわずか3人という有様である。

それでもコンドン委員会は、当初予算を大幅に上回る57万2146ドルという経費と約2年という歳月をかけてなんとか予定の調査を完了した。「未確認飛行物体の科学的研究」と題された最終報告書は、公表に先立ち、まず国立科学アカデミーに内容の評価がゆだねられた。アカデミーはこれを受けてさっそく委員会を設置、報告書の対象範囲、方法論、勧告と結論の吟

● 1956年11月14日、キャピタル・エアラインズ事件。

**批判**

● 90以上の核心点が討議された事例がありながら、そのうちの59事例すべては、正確な日付、地理的位置、目撃者名が省略されている。残りの事例は日付と現場が示されているが、目撃者の氏名は省略されている。このようなやり方は今日展開中の論議を妨害するのみならず、別の調査員が他からの干渉なしに事例をチェックしていくことを明らかに困難にさせている。目撃者への一般的な干渉を防ぐためだ、というのが公表された理由である。しかしこのような省略に関係しなくとも、実際問題としてUFO事件に精通し、かつコンドン・プロジェクトが調査した特殊事例資料をもっている者たちだけが、独自の立場で白書を評価できるというのが、かけひきのない適切な意見であろう。

**批判**

● 白書の事例分析は科学性に乏しく、表面上の論議に終始している。残念ながらこれは長い論議が誌面を埋め尽くすので、単なる評価という範囲では不可能であり、ただ特別論評によつてその任務を裏付けしたにすぎない。だが数例のサンプルだけでも引き合いに出すべきであった。

● 1950年5月20日、アリゾナ州フラッグスタッフ事件。

● 1957年、B47のケース。  
● 1952年8月5日、日本の羽田空軍基地事件。

● 1952年12月10日、ワシントン州オデッサ事件。

● 1953年1月26日、ニューメキシコ州米大陸分水界での事件。

● 1954年6月29日、ケベック州セブン・アイランズ事件。

● 1967年9月10日、バンデンバーグ空軍基地事件。

● もっと多くのサンプルを引用できたはずである。

**批判**

● きわめて貴重な少数事例しか取り扱われていない一方、言及すること多いらしい取るに足らない事例が多数、組み入れられている。さらに科学上もつとも苦しめられてきた1947年から1967年にかけてのUFOケースが省略され、とどのつまり、このような事例提示とその分析は一般的にいつて不適切であるとだけしか言えない、そういう白書にもかかわらず、この白書のまったく驚くべき点は（白書の結論を自ら下したコンドン博士と、その決定を裏書きしている国立科学アカデミーの双方から、その真相がおのずと漏れ出している感がある）、雑に検討された90事例のうち、実に30以上も部分で、最終的に「説明不可能」とされている事実である（白書の173頁および961頁の索引部分「説明不可能飛行物体」

味を行い、全面的な同意を表明した。

こうして1969年1月8日、最終報告書いわゆる「コンドン白書」は記者団に公表された。スタッフと顧問あわせて36人が分担執筆、1485ページにも上る膨大なものである。その内容をざっと紹介すると、

主として1年以内のUFO報告を対象に59件の詳細な調査。UFOの歴史。諸外国のUFO研究活動。過去20年間UFO報告。知覚問題。知覚から報告にいたる過程。UFO報告の心理的側面。光学。リーダー。音響。空中放電とプラズマ。気球。UFO観測器具。統計分析。

だが何といつても重要な影響を及ぼしたのは、コンドン白書の第1節で述べられている答申と評価であろう。「過去21年間のUFO報告の調査からして、科学知識につけ加えられるものは何もなくあった。われわれに入手でき

は、この点を説明する手助けにならう。しかし数例はきわめてあいまいに取り扱われているので、最終的事実を確定することはできないかもしれない。思うに、このような長期間にわたる重要問題に関し、その調査の結論が90事例中30事例も十分得心のいく説明ができなかったのに、なぜコンドン委員長は「UFOについての進んだ実際の研究によつて科学が進歩するだろうという期待は、多分満足されることはあるまい」と、決

た記録を慎重に検討した結果、これ以上UFOの研究を続けても、それによつて科学が発達するという期待が満たされることはおそらくあり得ない、という結論に到達した」

そして、当局によるUFO情報の秘匿、UFOのもたらす国防上の危険性のいづれについても、なんら証拠は見出せなかった、としている。したがって今後のUFO目撃に関しては、プロジェクト・ブルトックのような特殊部隊の必要性に頼らないで、通常の監視行動の中でこれを取り扱うべきであると勧告した。

この勧告を受けて、米空軍は1969年12月17日、プロジェクト・ブルトックの打ち切りを正式に発表した。だが、このコンドン白書によつて「ついにUFOの実在が科学的に否定された」のだろうか。

定を下してしまつたのか？

**批判**

● さらに、これまでの論評に加えて、私は次のように指摘したい。基本的に関連のない多くの詰め物か白書を分厚くしてしまつたので、ある読者はその範囲の広大さに驚き、また他の読者は、容易な研究に挑戦しようとするほどの、かくも詳述するものなのだろうかという印象を多分受けられるだろう。過度にかさばつた白書の

中でも、一部分の討論資料については、てきぱきとした公平な方法で処理されているが、それさえもまったく閉口させられるUFO特殊事例に対する直接的解明とはなっておらず、そのこと自体が、本当は、コンドン・プロジェクトに与えられている使命、すなわち「注意を怠らない科学的分析をして申し分のない説明が、過去20数年にわたる最大の問題であるUFO報告書に与えられるかどうか」という使命を、明らかに支持していないことを暗示するものである。

**批判** ② このように欠点だらけの白書にも、いくつかのとりとえと、ある程度

## 羽田空軍基地事件の経緯

これまでの論評をもっとはつきりと証すために、1952年8月5日から6日にかけて発生した羽田空軍基地事件をとり上げて見よう。

長期にわたって未解決とされてきたこの難事件は、これまでに多くの書物、例えばルッペルト、キーホー、ホール、その他の人々の著書の中で詳述されている。

私はここに、極東空軍部隊の直接調査による情報書のオリジナルから作成された、プロジェクト・ブルーブック・ファイルの25頁を所有している。コ

度価値のある部分(例えば、写真事例に關するもの、器具使用提示など)が見られる。そこでは、印象的な調査レベルで行われた数例の個人的ケースが見られる。

● 1967年5月20日、マニトバ州ファルコン・レイク事件。

しかし、かき乱された研究から生じる多くの弱点の方が、それらよりもはるかに顕著である、と私には思えた。



ンドン白書は証明において、不思議にもその重要な詳述部分を省略してしまつた。

光る未確認空中物体を目撃した空軍の管制塔員は、これを「異常に輝く光点」と記録している。その異常物体は、実際に体験した空軍の管制塔員から情報書が送られてからずっと「着陸照明をつけた飛行物体である」という支持されたコメントがあるにもかかわらず、この意味深長な証言は、白書から省かれているのである。

この日はすがすがしい満月の夜で、

視界は60マイルもあった。だが、その光源は数回にわたって突然消滅し、高度を急速に変えた(白書はついに、これを御者座の主星で一等星のカペラと同等視しようとしていた)。

「私は丸ガラス越しに、それが2度にわたって消滅するのを目撃しました。それは東方の方向へ猛烈なスピードで上昇してゆき、その速さはジェット機の比どころではありません。ついにジェット機が上空を旋回し始める頃にはすでに消えており、また戻ってきてはその姿を見せました」

カペラ星は方位40度に位置していた。ところがこの物体は2度にわたって東方へ遠のき、それからまた戻ってきているのが羽田から目撃できた、と空軍の情報書は記している。

コンドン白書から省かれている以下の情報は、白書が下したカペラ説とははるかに縁遠いものであることは、明らかであろう。

他の空軍基地、すなわち立川空軍基地から、別の管制塔員が、北北東方面ではなく東京湾上空を飛行中の物体を目撃した。その物体は、東方からもしくは東南東、カペラ星の南50度、東京湾羽田上空を横切りつつあった。これは羽田と立川の報告によって、異常な光体が、まさに同一方向に目撃されたことを示すものである。その後ただちに、リーダーと飛行機がこの異常な出来事が発生した現場を確認した。だが



重力研究所  
〒798 宇和島市中央局私書箱33号

### 空飛ぶ円盤の科学研究誌 宇宙艇 隔月刊 B5判 (増頁)

内容 A) 空飛ぶ円盤の理論研究 B) 空飛ぶ円盤の試作  
C) 時間反転機の理論研究と試作

☆ 部分品を頒布します(カタログは、宇宙艇巻末にあり)。

年会費 A) 4,000円(大学生及び社会人)

B) 3,500円(高校生以下)

入会金 500円

振替 徳島 28986 (又は、現金書留にて・切手は不可)

☆ 超相対性理論(原著) 定価 3,000円

発売中

〒 200円

(同じく切手は不可)

白書はカペラ説を支持する場合に限りその飛行航跡を引用し、説明している。

「回折説」がカペラ星への抛り所として、滞りなく言及されているその事実こそ、みせかけの分析以外の何のものでない。ちょうどコロナ効果現象には「一定間隔」の水滴が必要である、というのと同様だ。加えて、カペラ星の明確な輝きが「ラーマン線効果」によっていっそう強烈になったのかも知れない、という考えは、後者の場合と同じく、光学的効果の歪曲以外の何ものでもなからう。

(訳注)「ラーマン効果」は光を物質の分子で散乱させると、光のスペクトル中にはかの線すなわちラーマン線が現れる現象のこと。インド物理学者ラーマン氏が発見した。氏はノーベル物理学賞受賞。およそ8度のカペラ星の高度は、対照的な地平線との合理的な相関性を認めるにはあまりにも大きすぎる。が、とにかくラーマン効果というものは存在するのである。

結局、空軍の情報レポートからは、星の回折説どころか、他の光学的歪曲説をもってしても、あまりに大きすぎる発光体の角直径を説明することは不可能なのである。加えて、これを裏書きする膨大な説明がなされている。

その角直径は、肉眼の解像力では限界があったが、管制塔員が使用した倍率7倍の双眼鏡では、約20分(20度)の弦がはっきりと目撃されている。空軍のファイルは次のように記録し

ている。

「その光体の形は円形でした。いつも輝いていて、そのために、あたかも自分たちの前を横切るような気がしました。光点は、黒々とした巨大な円形部分の一部をなしていたようで、その黒黒とした巨大な物体は、その光点の直径の大きさの約4倍もあつたでしょう。説明できるほどに物体が十分接近してくると、もっとうす暗い光源が左方下部に目撃され、さらにうす暗い2、3の光源が、黒色物体の底辺に沿って曲線状に回っていました」

この要を得た説明部分を白書は省略している。それでもなお白書のカペラ回折説は妥当どころではないから、まったく私は苦笑を禁じ得ない。空軍の情報ファイルでは次のように報告されている。

「奇妙な回折的イメージが羽田空軍基地の観測者から伝えられました。このような光学的伝達効果に関する精度は、現段階では推測の程度にとどめておくべきものと思われます」  
だがコンドン白書は、この有名な目撃事件を次のようなやり方によって、すらすらと「ある光源から生ずる光学的効果」として片づけてしまったのである。

●立川空軍基地での光体目撃は、カペラ星の位置から離れること約50度の方向でなされた、という重要な点を省略している。

●きわめて急速に高度を変えたという報告を省略している。

●飛行士が、確かに黒色物体の底に二次的な光源を見たと言及しているものを、白書は単なるビーズ状の光にとどめている。

●その黒色物体の外周はこれまでの光学的効果とはまったく異なっている、という点を完全に無視している。

●地平線の回折効果やラーマン線の干渉によって、重大な影響をこう

## 事例資料にみる

## 白書のやり方

私は白書の別事件において、これと同じやり方を行っている、まごつくほど膨大な量の比較事例を引き出すことができた。レーダー問題に関する誤った処理と当を得ない反論についても話しておかねばなるまい。これは一事例を通じて要約した私の異議である。

羽田から警戒警報を受信した米空軍白井レーダー基地(レーダーCPS-1、CPS-4を設置しているADC幕僚地)

は、東京湾北側上空を右軌道を描きながら飛行中の未確認飛行物体をついに発見した。ジョンソン空軍基地から、APG-33空輸式レーダーを積んだF94・Bジェット機が緊急発進した。この件につきコンドン白書の下した結論は次のとおりである。

むるには、カペラ星はあまりに高角度に位置していた、という点を白書は無視している。

●これらの幾何学的相関性を誤って解釈している。

●加えて「この現象はきわめてまれに発生するものである」と、まるでびっこをひきながら歩くように、断言して論を閉じている。



「GCI白井幕僚基地レーダーが、F94・B機搭乗員が述べているような急速度物体を当時追跡していたかどうかは定かではない」

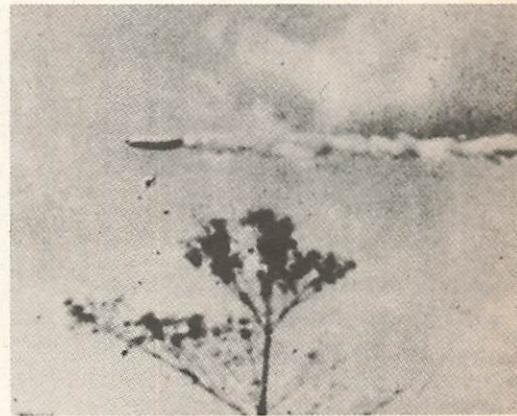
白書を読まれた方にはこの言明を真実のものとして、殆ど受け入れざるを得ないだろう。だがこの情報ファイルを徹底的に調査した私の結論は、まったく逆なのである。

この事件に関係した他の者たちとともに、F94・Bジェット機の後部でレーダーを操作していた搭乗員も、サイン入りの証言書を提出している。そのオリジナルはケースファイルに保存され、そのコピーは、例のコロラド・プロジェクトへ送付された。

レーダーマンの証言。

「地方標準時刻午前零時15分、われわれは「ハイ・ジックス」(白井幕僚基地暗号)によって320度の方向転換を指示されました。ハイ・ジックスは未確認飛行物体をレーダーにはっきりととらえ、われわれにそれをつかまえるよう指示しました。その物体の位置は、距離4マイル、11時の方角にあると計算されました。午前零時16分、ついに私は左方角10度、下方角10度、距離6000ヤードの位置を飛行中の物体をレーダーで傍受しました。しかし、その物体は、突然左方向から右方向へ急速転換してしまったために、私は軍務をはたすことができなかったのです」

この証言で言えることは、追跡飛行中のF94・Bジェット機がレーダーでとらえた時の未確認飛行物体の位置とその前に白井幕僚基地がジェット機へ方向指示した時のUFOの位置とは、その正確度がきわめて一致している点である。だが白書はやはりこの部分を省略している。そして空輸式レーダーによる物体観測と地上式レーダーによるそれとが、やはり符合している、ということを示す別の関連情報ファイルをも省略しているのである。まったく白書のやり方には合点がいかない。このようなやり方は、白書の全ページを通じて多くの事例資料にうかがえる、象徴的な措置方法といつてよからう。また、異なった省略問題を考える以



前に、次の点にも注目しておくことは重要である。つまり、「レーダーそれ自体の異常な伝達原因が、思いがけなくもレーダー上にはっきりとした未確認物体の形跡を生み出した」

と、コンドン白書が結論づけている点である。このような推理は、何となく信じられそうな響きをもっているけれども、これは前に述べたように、地上式と空輸式レーダーが同時に物体を追跡したという明確な事実を、極力引き合いに出すことを避けようとしていることの表われ以外の何ものでもない。

白井幕僚基地がF94・Bジェット機へ方向指示を与える前に、基地は、2度にわたる完全な飛行軌道を描きながら飛んでいる未確認物体を追跡目撃している。白書はあえてこの部分の引用を回避した。そのことによって、いっ

そう真実性を高め、いかにももっともらしい響きを前述の推理に与えたのである。この間、未確認飛行物体は、はっきり速度を変化させ、時おり空中旋回して見せたりした。

極東空軍部隊の情報資料は語る。

「そのとき地上は混乱し、未確認飛行物体は右飛行軌道を描きながら、さまざまにスピードを変化させているのが目撃されました。正確なスピードはわかりませんが、大きざっぱに推測して大体100から150ノットの間だと思われまます。物体は時おり空中停止したり、あるいは空中旋回したりしていましたが、第2回目の軌道をとりに始めてから、速度は最も速くなり250から300ノットまで上昇したようです。それは白井幕僚基地からF94・Bジェット機が方向指示を受ける前のことです。情報によれば、午前零時12分頃、未確認物体は距離約4分の1マイルの間隔を維持しながら、小さな3個の接触レンズを出しました。そのうちのひとつは、どちらかという他のレンズよりも明るく輝いていました。F94・Bジェット機はこの物体と同一方向へ進路をとったのです(幕僚基地からの報告によれば、午前零時15分にF94・Bジェット機はレーダーに現れ、18分にはその姿を消したということです)。そして、数秒以内にF94・Bジェット機とその物体は地上混戦状態に入り、双方とも再びその姿を見せませんでした」

引用されているこの一節において、白井幕僚基地が同時にF94・Bジェット機と未確認物体を追跡していること、またF94・Bジェット機が未確認物体とともにレーダー上に写っていたことなどは、はっきりと指摘されているので、十分留意しておかなければならないと思う。「光の変則的伝達作用である」などとは、馬鹿さ加減にもほどがあるし、ゆえに、さらにスペースをさいて、その理由を詳述する必要もあるまい。

当初、F94・Bジェット機が、レーダーで水平線下10度の方角に未確認物体を傍受したという点は、『光の変則的伝播説』に対してびんと張りつめた感じを与えはするが、しかし未確認物体は2度にわたる飛行コースを通じて確実に地上から追跡されているのである。F94・Bジェット機とともに、同時にレーダー追跡を受けているのであるから、コンドン白書の読者諸兄に対して、あえてこのうえ説明をつけ加えることもない、私は考える。

情報ファイルでは、白井幕僚基地の管制塔員とF94・Bジェット機のレーダーマンのいずれも、未確認物体を「敵意のまったくない飛行物体」と述べている。その物体はジェット機のちよつと下方のところをクロス飛行していた。このいかにも気取ったような飛行ぶりについては、コンドン白書の中で読者に与えられていない別の証言を引

用する。

「CPS-1レーダー上に写し出されるブリップは小さく、比較的ひ弱なものに感じられましたが、しかし鋭くはつきりしていました(訳注。ブリップとは電波が物体にあたってはね返ってきた時にレーダー上に写し出されるΛ字形の印)。

明るさが幾分変化し、一時は以前よりもっと速いスピードで、鋭角ターンするときは非常に光度を強めました。

記録されている2回にわたる飛行コースは大体同じ位置であり、ある場所では、物体は数度動きまわり、毎分4回転の割合いで空中旋回したりしました……」

後者において注目すべき事柄は、時

速数百マイルと推測された飛行活動の

あいだ中、ならびに最後の段階でF94・Bジェット機が出したスピード、時速400マイル以上にのぼる速度に明らかに達していながら、未確認物体が約40〜50秒間、空中を円舞したことが言外に含まれている点である。まったくナンセンスなのは、異常なるレーダー伝播効果説の方だ。

例証はこれくらいにしておこう。最近私自身が行った広範囲にわたる研究に基づくならば、白書の事例資料の中でもっと多くの点がきわめてすみやかに引き合いに出せることを断じて疑わない。

正確に言って、基本的使命に最も従

順でなければならぬ研究を、コンドン・プロジェクトチームが十分に遂行しているとは思われないのである。ただめぐら判をボンと押した国立科学アカデミー委員会だけがこの報告書を支持したが、委員会自体がまったくフリーな立場にあったのでもなければ、また積極的に報告書をクロス・チェックできる立場に置かれていたのではない。不幸なことに、UFO事例資料に関してほんの少しでも精通している科学者は、依然として少数者の領域を出ない。そういうわけだからコンドン白書の否定的結論は回避し得ない短期間の回答として、現在においても一

般的に認められているのである。だが、長期の戦線において、白書の結論と、それを支持した保守的おえら方の信憑性が必ずやノックアウトされるであろう、と私は確信する。その理由は、これまでの全期間よりもっと下方へくだらない問題として引きずり落とそうとしている主流派のたくらみを放任しておくことが出来ないほどに、UFO現象は本質的にチャレンジできるからであり、また、そのような最高の科学的才幹による知的関心が切実に求められ始めているからである。

私は、現在のやり方に対しては、絶対に首を縦に振らない。  
森脇十九男訊

地球から  
数万光年の彼方  
広大無辺の大銀河に展開する  
驚異のスペース・ロマン!



全米で四百万人が読んだ話題の原作。  
映画公開(77年7月)に先がけ緊急出版!

ジョージルーカス  
野田昌宏 訳  
海外ベストセラー・シリーズ  
最新刊 980円  
★日本語版翻訳権独占

# STAR WARS

## スター・ウォーズ

角川書店

〒102 / 東京都千代田区富士見 2-13-3  
TEL 03(265)7111(代) / 振替東京3-195208

= UFO 図書完全紹介シリーズ 第1回 =

## BOOK-GUIDE

## □ 今月の本 □ 高梨純一選

「UFO入門」・「UFO発見法」 並木伸一郎著

「UFO事典」 南山宏著

「空飛ぶ円盤実在の証拠」 高梨純一著

「日本空飛ぶ円盤研究会」が昭和51年3月現在で作成した「空飛ぶ円盤・UFO・宇宙人・宇宙生物・宇宙考古学関係図書」一覧表を見ると昭和26年から51年までの広い意味でのUFO関係の図書は156冊となっている、今回はその中でも、UFOの一般的な入門書となるものを取りあげてみたい。(定価は現在のものを記す)

## □ 初心者のために □

●「UFO入門」 並木伸一郎著  
(大陸書房刊 昭和49年9月初版 定価950円)

著者は現在の我が国5大UFO研究団体の1つである、「日本宇宙現象研究会」の会長である。本書はまず、「第1章、UFOその発端と謎」として、UFO騒ぎが始まった初期の状況と、それまでにすでに起こっていた謎の現象を述べ、「第2章、未知の訪問者」では宇宙の彼方からの外来者の意図の可能性を述べ、それに対する米空軍その他の調査、研究の具合と、その現状、および1966年の米軍ギャラップの世論調査の結果などを述べている。「第3章、UFOの形態」ではNICAP(米国のUFO研究団体)の分類をもとに、その各型、たとえば、皿型、ドーム型、土星型などの実例をいくつかずつ並べている。「第4章、UFO実在の証拠」では、UFOと地球製の航空機と異なる点を幾多の実例をあげて

述べている。「第5章、UFOパイロット」ではこれまでに目撃されたUFOの搭乗員の外見の多様性と、その分類結果などを紹介し、「第6章、UFO写真の信憑性」では、著名な数点のUFO写真を紹介している。「ブラジル海軍省公認写真」や「スウェーデン国防研究所公認写真」、1973年6月30日、皆既日食の調査のため、英米仏の科学者をのせてアフリカ上空を飛ん



でいた、超音速ジェット機コンコルドから撮った写真などを紹介している。後半の8、9章では、実際にUFOの研究、観測をしたいと思う場合に役立つことがらを述べている。

巻末に「日本空飛ぶ円盤研究会」代表荒井欣一氏による「世界UFO事件史」というのがついている。項目の取り上げ方の基準が確立されておらず、内容的に不ぞろいなどの弱点は幾つかあるが、一応の参考としては、役に立つだろうし、また読んでいておもしろい項目もたくさんある。いずれにしろ、初心者は一読するとよいだろう。

## □ 本物のUFOの見分け方 □

●「UFO発見法」 並木伸一郎著  
(大陸書房刊 昭和50年12月初版 定価950円)

これは同じ著者が後に書いたもので書くのに随分苦労したろうと思われる。というのは、UFOが比較的良好に現れるアメリカや南米ならば別として、この数年、「UFOを見た」という話ばかりが多いが、その大方は誤認(流れ星や、人工衛星、鳥などをUFOと考えてしまう)臭くて、本物は果してどの位なのか、はなはだ心細い我が国では、そう簡単に発見できるものではない。そうかといって、テレビ番組でUFOが呼べるなどは、世界的本格的なUFO研究者は、ほとんど信じていないし、さらに「UFO探知器」で本当に探知できるものなら、世界のUFO研究者は、皆それを使っているだろう。しかし、そういうものに役に立たないことは周知の事実で、「ワラをもつかみたい」熱心なUFO愛好者の心やすめで、科学的な遊びにすぎない。そういう悪条件でこういう本を書くということは(多分、出版者から与えられた題目なのだろうが)非常に困難なことでもまともには書けはしない。「この本を読めば、UFOを見られる」と思って読んだ人は、ずいぶんがっかりしただろうが、そういう題名どおりの目的に対しては、何の役にも

立たない、「羊の肉をかかかげて犬の肉を売る」ような内容ではあるが、初心者には是非一読をお勧めするのは、UFOと誤認するものが、この世の中にはごちゃごちゃと山程あること、また一般の人が最も信頼できると考える写真にもレンズによる光の屈折の具合でいろいろなゴースト（虚像）が現れることが非常にたくさんあるし、カメラによるトリックというものも非常に簡単な

もので、近年、我が国で評判になった、はつきりとしたUFOの写っているUFO写真は、ほとんど片っぱしから、みんなトリックであることなどが、たくさん具体的な実例をあげて述べられているからである。今後、ずるい人間や、見栄っばりの人間が作ったトリック写真にひっかかって馬鹿をみないためにも、この本を読んでおくことは非常に肝要なことであると思う。



## □ UFOの百科全書はこれ！

●「UFO事典」南山宏著  
（徳間書店刊 昭和50年12月初版  
トクマ・ブックス 600円）

南山氏は、もう随分前から、主として青少年向きにUFO記事を書いてきており、「少年サンデー」「少年マガジン」などの少年雑誌からは、大変重宝がられてきた人である。今まではマ

スコミが求める通りの興味本位の記事を書いてきたと思われるフシがあり、内容的に問題が多く、感心しなかったが、（私の毒舌は自他ともに有名なのである。南山さん、ごめんなさい）最近では、「SFマガジン」の編集長という職も辞退されて、UFO問題に没頭されているとお聞きしたが、その成果あつてか、非常に正確になってきたと思われる。

この本は、氏の努力の結晶ともいへべきもので、山程にもある興味ある話題（または重要な問題）の中から193のテーマを選び出し、それを24の章に分け、ほとんど各頁に絵や写真がはいっているようにしている。「日本のUFO目撃事件分布図」「世界のUFO目撃事件分布図」などという図を巻頭につけ、巻末には「索引」までついており、手頃で魅力的な本としてまともしている。我が国のUFOファンにとっては、大きな贈物だろう。

内容は私の見た限りでは非常に正確であり、基本的な問題や興味ある話題を広く網羅してあるので、一般のUFO研究者にとっても非常に役立つ参考資料となるだろう。

## □ UFO実在の根拠は何か？

●「空飛ぶ円盤実在の証拠」高梨純一著（高文社刊 昭和48年初版 定価900円 カバー付き）

これは、筆者の著書であるが、空飛ぶ円盤騒ぎが始まった当初からこの問題に興味を持ち、広く内外の資料を集め、いろいろ吟味し、研究誌などを発行してきた私が「空飛ぶ円盤は実在する」としか考えられぬ」とする根拠を中心に、私なりの考えでの入門書として書いたものである。

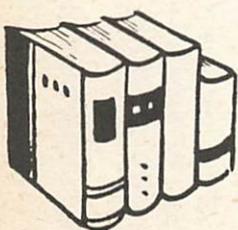
「空飛ぶ円盤は実在するか？」という最初の章では、この問題の発端、それに先がけて起こった出来事、その後の

3大クラシカル・ケース、「空飛ぶ円盤」や「UFO」などという名称の使い方、米空軍のUFO研究の歴史とその弱点、今後のUFO研究のあり方などを述べた「空飛ぶ円盤の着陸痕」「空飛ぶ円盤の写真」「空飛ぶ円盤からの落下物」「空飛ぶ円盤の追跡」などの章では、実在すると考えられる根拠の一つ一つについて、実例を豊富にあげて解説している。この次は、もっと内容豊富なものを書きたいと張りきっている。

☆☆☆☆☆☆

なお本文中に述べた「空飛ぶ円盤・UFO・宇宙人・宇宙生物・宇宙考古学関係図書」の一覧表を御希望の方は50円切手を貼って、宛名を書いた返信用封筒を同封の上、近代宇宙旅行協会（〒530-191 大阪中央郵便局私書箱910号）へお申し込みになれば、コピーを送呈するそうです。

☆☆☆☆☆☆



# 太陽系の軌道上のどこかに

もう、ながいこと待っていた。この太陽の軌道にとどまって、やがて千年になるか一万年になるか、いや、もっとかも知れない。

暗黒の宇宙空間のど真ん中。そこにひっそりと浮かぶ無人の機体。それでもまだ芯まで冷えきってはいない。かすかな原子時計の息づきとともに、永劫とも思える時間、ただひたすらにかなを待ちつづける。

遠い太陽の光をうけて、長大な機体の一部が鈍い銀色の光を反射する。見たことのない外観、エキゾチックなデザインである。どうやら地球の科学の所産ではない。

それは遙かなる宇宙の深奥から送られてきた他の文明星からの使者であり、無人の探測ロボット船なのだ。

そのメカニカルな内部には、想像を絶する素晴らしい賜物が蔵されている。宇宙の他の文明星の最

# ロボット船 待機軌道を さがせ

科学ジャーナリスト  
齋藤守弘

高の文明と文化、その優れたエッセンスだ。

それをひとたび発見し、学ばなら、私たちはさっそく明日にも星へ向かって飛びたつことができる。大宇宙の気の遠くなるような光年空間を突破し、かれらの星の世界へ到達できるのだ。

膨大な星の世界への最短距離のとびら。いまの私たちの科学レベルではとうてい不可能ともおもえる超光速飛行の秘密をにぎる素晴らしい知識。それが、かれらの無人探測船のコンピュータには蔵されているかもしれず、すでに地球の歴史上、いくどとなく私たちとの接触を試みたが、ことごとく失敗に終わったようだ。

その一つは1908年、中央シベリア上空に飛来し、なぞの大爆発を起こした「ツングース隕石」とよばれる飛行体である。そう考えれば考えられる根拠がいくつか挙げられるのである。

そればかりではない。そうした星からのロボット船はそれ一つだけでなく他にもまだいくつもあり、それぞれの内蔵コンピュータの判断にしたがって太陽系の軌道上のどこかに、今も待機中。そして、常時、太陽系内の文明の成熟度を見守っているかと思われるふしもあるのである。

### ●文明の成熟度をチェック

では、そんな離れた軌道上にありながら、いかにしてロボット宇宙船は、惑星の文明の成熟度をチェックできるのか。

頻繁な電波交信の活動、これである。

すでに40〜50年前から、地球では超短波から長波までさまざまな電波活動を、ほとんど爆発的に増加している。

したがって、宇宙的に見ると、地球からもれる電波は水面の波紋のよう

# 星からの無人 その

に広がって、最前部はすでに40〜50光年かたに達していることになる。広大な空間であり、少なくとも

数百の星をカバーしているだろうなかには、いち早く文明の発達した星もあるかもしれない、そういう星に向かって私たちはそれと意識せずに、呼びかけの電波をもう送っているのである。

そのいちばん初期の頃の電波を、かれらがキャッチし、直ちに応答したとすれば、20〜25光年までの星の電波がいまや地球に到達しはじめているはず。

かれらは地球の放送開始期のラジオ電波を傍受して、どう解釈するだろうか。おそらく人工のものだと判つても、その電波の意味内容まで察することは不可能である。

それでもとにかく「あなたの星の電波を傍受しました。ひきつづき電波に

よる相互コミュニケーションが可能です。それを望むかどうか、あなたの方の意志をうかがいたい」といった内容の返信電波をさしあたり送りたい場合、どうしたらよいか。

いちばん簡単で効率的なのは鳥のオウムのやり方だ。つまり、オウム返した、傍受した電波とまったく同じ周波数、波形のものを送り返すのである。むろん、全体の強度はかなり増幅し、波形の一部補正も必要となるだろう。

その結果、地球では何が起ころか。40〜50年前に放送した過去のラジオ電波がこつぜんと幽霊のように甦り、現代の受信機から流れだす。

おそらく星から来て待機中のロボット探測船も、同じ方式をつかうだろう。地球の方向から来た放送電波もしくはTV電波を探知したら、それをただちに録音なり録画し、ある時間間隔を置いて再放出すればいい。そうすれ



# 幻の「クリー」局に受信事件

ば相手は、その「幽霊電波」の出処をさぐろうとするのではないか。

ところがまさしくその幽霊電波らしいものがすでにキャッチされたことはあまり知られていない。3年前に消滅し、とくに放送されていないはずのTV電波がブラウン管に映ったのだ。

放送関係者も首をひねるこの不可解なミステリーは1953年の夏から翌年の冬にかけて、一度ならず繰り返して起った。受信されたのはアメリカ、テキサス州ヒューストンのクリーTV局のテスト・パターン、それがヒューストンの近辺でなく、遠く離れた南部イギリスでキャッチされた。

アメリカのTV電波がイギリスのブラウン管に映った。TV電波の異常長距離伝播。それだけでも素人にとって興味深いので、アメリカのクリーTV局に問い合わせの手紙が殺到した。ところがである。驚いたのはむしろアメリカのTV関係者の方だった。

なぜなら、クリーTV局は3〜4年前に局名が変わり、KPRC-TVとなり、以来、旧名クリーのテスト・パターンは一度も使用していなかった。長距離の異常伝播というなら、ごく稀だが、あり得ないことはない。しかし、何年も前に廃止された局名が現れたとなると、これはもう「幽霊電波」

以外のなにものでもない。

KPRC-TV局のポール・ヒューストンDLP主任技師の報告によると、この幽霊電波がキャッチされた地域はイギリスのロンドン周辺と、アメリカのウィスコンシン州ミルウォーキーの近辺に集中している。

とくにロンドンでは1953年9月14日から1954年1月8日までの間に何度も受信され、証拠の写真を撮る余裕さえ十分あった。

それのみではない。2年後の1955年11月23日になってもなお、イギリスのランカシア州ムーアケンプでキャッチされた。この時、それを受信したのは長距離のTV電波の受信を研究している電子専門家H・テイラー技師であった。

イギリスのTV受信機に映ったそのテスト・パターンの証拠写真を、KPRC-TVのヒューストンDLP主任技師は慎重にチェックしてみたが、たしかにクリー局のものであり、どこからその原文字板を手に入れたのか、まったく見当がつかなかった。

むしろ当時、まだビデオ装置は開発研究中だったし、たとえ原文字板を偽造するとしても、それを放送する装置は少なくとも10万ドル以上に達し、当然違法でもある。なんの目的でそんな

ことをしなければならぬのか。

「この事件はイギリスのある老発明狂のしわざであり、テスト・パターンのカードのコピーを再放送したに過ぎない」

と、1960年になって「ヒューストン・ポスト」紙は報じたが、この記事自体もまた曖昧なところがあった。肝心の老発明狂について、その名前、経歴どころか住所さえ明記されてなかった。

## ●ローズ夫人の見た警告

幻のクリー局の受信は1962年2月になってもなお続いていたところからすると、はるかなる軌道の無人ロボット船はかなり執拗なコンタクトの努力を継続していたらしい。かなり疑った最後の映像をキャッチしたのはアメリカのウィスコンシン州ミルウォーキーのロゼラ・ローズ夫人である。

その日、一日の仕事を終えてホッと一息しTV受信機のスイッチをひねった。時間は午後7時半くらいの間だったという。いきなりクリー局のテスト・パターンが現れたのだ。

「むろん、私はこの局について、それまで聞いたことがなかったし、何も知らなかった。はじめ、像も音もなく、ただテスト・パターンだけ現れ、何度か明滅した。そのあと、なにやらドラマらしい一場面がいきなり見えたのです」  
それは一人の少女だった。どこかバブルコニーの方に向かって駆けてくる。

そのうしろから男が迫り、むんずと肩をつかまえた。2人はなにか言い争っていたが、最初は聞きとれなかった。そして、急に声が聞こえた。

「行かせて。あなた達の計画していることを私は全世界に知らせるんだから！」

そう、少女が言い、身をよじって肩にかかる男の手を振りほどいた。

場面がちよつと変わり、第二の男の後頭部と肩が映った。男は少女に話しかけ、少女はそれに答えたが、なにを言っているのか意味不明であった。かろうじて判ったのは男の言。

「おお神よ、人間よ、そんなことをしてはいけない。そんなことをすればカラストロフィー（大破局）をひき起こすだろう」

その警告とともにブラウン管は薄れていき、ふたたびクリー局のパターンが現れ明滅した。なんとも理解に苦しむのはそれからだ。クリー局のパターンに重なって、太々と大きな文字が浮かび上がった。

「助けて！」

たしかにそう読めた。その文字が目だつように明るく光り、暗くなり、また光った。そして、すべては消え去りブラウン管は暗くなった。

## ●応答の機会は失われた

では、ローズ夫人の見た警告は一体なんだったのか。切迫した雰囲気の下

ラマで何を訴えようとしたのか。

KPRC-TVのヒューンドルフ主任技師は三つの可能性を考えている。

まず地球の周りを飛ぶUFOが電波をキャッチし、再放送する可能性。だがUFOならもっと直接的行動をおこなえるはずで、なぜ、そんなまだるっこい方法に訴えるのか、よく判らない。

第二の可能性は、地球の電離層を突きぬけた電波が宇宙空間を直進し、どこかの天体に跳ね返って戻ってくる。しかし、それなら、他のTV局の電波でも起こりそうなものを、なぜクリー局だけに限られるのか。天文学的に見て、往復3年、片道1・5光年の場所に発見されている天体はない。

第三の可能性。これは今のところ全く手掛りがないが、時間の乱れである。宇宙空間を伝播中、どこか時間の狂った場所にとびこみ、未来に飛んで戻ってきた。いわばTV電波のタイム・トンネル現象である。

いずれも一長一短あり、にわかには認めがたいのが難。しかし、もうひとつ第四の可能性があるようだ。すなわち星からの無人ロボット船によるコンタクトと、その応答だ。

太陽系内の軌道上でなくともよい。たまたま地球から1・5光年のあたり

に達した時、ようやく開始されたTVの試験電波をキャッチすれば、その電波を再発信しながら、その電波に乗り、この太陽系へコースを変えたかもしれない。

そして、後続の電波を解読しながら無人ロボット船のコンピュータは一つのドラマを組み立て、いちばん最後に警告するだろう。

「このオウム返しに『幽霊電波』に気づいた惑星の知的生物よ。このことをまだ公にするな。もっとコンタクトが進んで準備の整うまで待て。でないとなあなたの星はいたずらな不安のあまり大混乱に陥り、かならずカタストロフィーを起こすだろう。だから待て。また世界に告げるな」

おそらくこれは、同時に確認を希望しているものであり、当然「了解」の電波を出さねばならなかった。つまり、同じくオウム返しの方法によって、この小ドラマの電波を、それが来た方向へ戻してやればよかったのだ。そうすれば、その時点でではじめて無人ロボット船との間にコミュニケーション回路が確立されたのだらうが、当時、それに気づきようもなく、ロボット船は執拗な努力の果てに「時期尚早」と判断。ついにコンタクトを諦めた。

# ラジオ電波の異常なエコー

こうした悲劇は、過去にも何回か繰

り返されたと考えられる。無線通信が

発明された20世紀の初期、いち早くその電波に反応して飛んできた無人ロボット船。それが例の「ツングース隕石」だったというの、私の仮説の一つだが、そのことについてはのちにもう一度触れよう。その前に地球上で無線通信のようやくひんばりになった1920年代に起こった、ある異常電波受信の報告を見よう。

それは二人の教授、ファン・デル・ポール博士とカール・ストローマー博士によってなされたもので、ラジオ電波の異常なエコー、その遅れの時間を測定したのだ。1928年10月11日、PCJJラジオ局のシグナルを基準にした。

その結果は左表のようになった。右欄が電波パルスの発信順。左欄はそのエコーの遅れの時間で、単位は秒である。

1	8
2	11
3	15
4	8
5	13
6	3
7	8
8	8
9	8
10	12
11	15
12	13
13	8
14	8

この観測にもとづいて、1973年スコットランドの天文学者ダンカン・

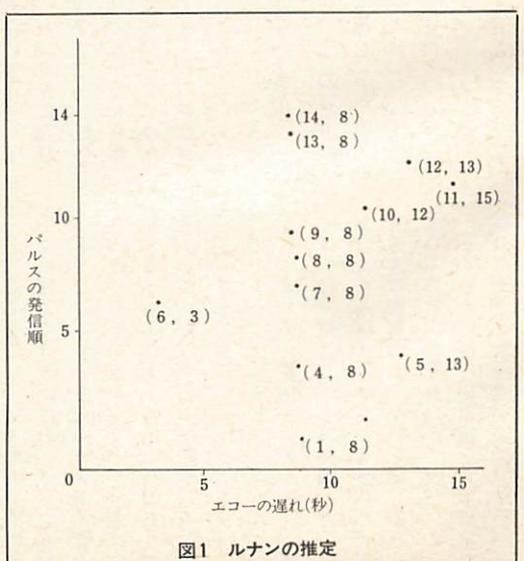


図1 ルナンンの推定

ルナンは一つのグラフを作製してみた。縦軸にパルスの発信順、横軸にエコーの遅れをとってみると、図1のようになった。

ほぼ真ん中に、縦の点のつながりがあり、その右と左とは大きく違っている。左にはわずかに1個の点しかなく、それに対して右側にはほぼ三角形をなす3点の組み合わせが上下に2つある。さて、このグラフをどう解釈するか。読者のみなさんも、しばらくグラフをにらんで考えてみるとよい。

## ●牛飼いブルケリーマ星

まず真ん中の縦線。これは明らかに左右のしきりと見なして大体まちがいないだらう。その右側にある6個の点の配置には、天文学者のダンカンは見

▲ペルセウス座

覚えがあった。5  
 6月頃の星空に  
 特徴的な牛飼座の  
 星である。ほぼ天  
 頂あたりにかか  
 り、とりわけ首星  
 のアークトゥルス  
 は黄色い一等星で  
 あり、昼間でも見えるほど明るく輝  
 き、全天に君臨する。



星座の図像にあてはめれば、牛飼  
 座の十数個の星は右手につえ、左手に  
 猟犬を御する綱をにぎって高く上げ、  
 一歩踏みだす躍動的な牧夫の姿であり  
 グラフの右のいちばん上の点がβ星  
 で、牧夫の頭部にあたる。そのすぐ下  
 のδ星とγ星のあたりが左右の肩、ε  
 星とθ星は腰の帯で、ζ星が右足、η  
 星、ι星が左足で、首星『アークトゥ  
 ルス』は左のひざのところにある。

ところでグラフの点のならびには、  
 ε星が欠けている。ε星は天空にある  
 もっとも美しい二重星であり、『ブル  
 ケリーマ』(もっとも美しいもの)と  
 よばれるくらい。その目だつ星の空所  
 を埋めようとすれば、しきりの左側の  
 単独点を水平移動すればよい。  
 なるほど、中央のしきりといい、左  
 側から『ブルケリーマ』の位置への水  
 平移動といい、これは単なる偶然では  
 なく、意図された配置、つまり暗号バ  
 ズルの一種と解さねばならない。

「たぶん、それはパルス信号のエコー  
 形式をとった無  
 人ロボット船から  
 の呼びかけであり  
 それへの応信の仕  
 方を暗示してい  
 る。すなわち、左  
 側の単独点を移動して右側の空所を埋  
 め、牛飼座の全配置を完成して送り  
 返せばよいのだ」  
 しかし、またしても、それに気づく  
 のは遅すぎたようだ。現在、このパル  
 ス電波の周波数は音楽専門のラジオ放  
 送などと重なっていて、ひじょうに検  
 出し難くなっている。  
 ダンカンの推定では、はるか牛飼  
 座に故郷をもつと考えられるその無人  
 ロボット船は、およそ1万3千年前に  
 太陽系にやってきたらしい。やはり、  
 グラフ上からそれを読み取れる。首星  
 アークトゥルスの位置である。それは  
 現在の位置よりもやや上方にある。  
 いい換えれば、グラフ上には1万3  
 千年前の位置にアークトゥルスが置か  
 れている！  
 それはたぶん、その頃、太陽系に到

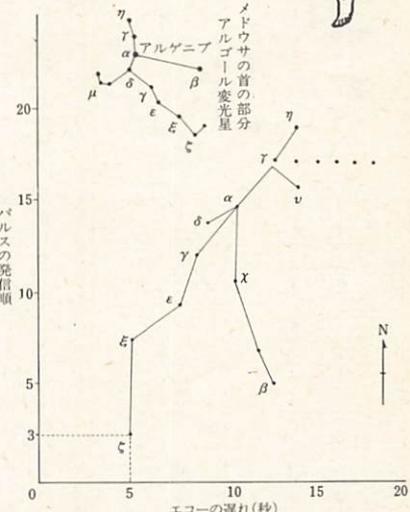


図2 ペルセウス座が浮かんでくる

着し、飛行コースを逆算して自分の故  
 郷の星を星座の中に確認した、その時  
 そのままなのだ。  
 全天の星の中で、アークトゥルス  
 は、その星の動きが非常に速い。つま  
 り星の固有運動が早くも18世紀に発見  
 されている。毎年2秒3割づつ南々西の  
 方へ進んでいき、満月の直径を80年  
 で通り過ぎるほどの速さ。さすがのロ  
 ボット船のコンピュータも、そこま  
 で修正しなかったのだから。

●待機軌道は一体どこか

では、そいつは一体、どこにひそみ  
 どのあたりの軌道に待機しているの  
 か。それを見当づけるには、エコーの  
 遅れの時間が一つの目安だ。  
 イギリスの学者アンソニー・ロウト  
 ンは、3秒の遅れを月軌道のラグラン

ジュ点からの反射と考え(1937年)  
 一方、ポーランドのゴルダイレウスキ  
 イは、同じく8秒の遅れを地球軌道の  
 ラグランジュ点からの反射に帰した。  
 ラグランジュ点というのは天体の軌  
 道上の、そこだけ安定な空間域であ  
 り、軌道上に60度ずつ離れて6つあ  
 る。そのうちの一点には惑星もしくは  
 衛星が位置するが、残り5つのうち3  
 つは比較的安定。で、同じ軌道上の  
 天体の前60度の点と、うしろ60度の点  
 がもっとも安定し、この二点の空間に  
 落ちこんだ宇宙塵や隕石はそのまま宇  
 宙のゴミ捨て場のように留まり、もう  
 ろうとしたゴースト・アリスやゴー  
 スト・ムーンをつくりだす。

視力に自信がある向きは、天空にか  
 かる月の60度前方と60度後方に目をこ  
 らしてみるとよい。よく晴れた日なら  
 そこにぼんやりとかすむ、雲のような  
 広がりを感じてとらえることができる  
 だろう。それがラングランジュ点に位  
 置する「ゴースト・ムーン」であり、  
 星から来た無人ロボット船のひそむ第  
 一候補である。

同じく「ゴースト・アリス」につい  
 ても、ポーランドのゴルダイレウスキ  
 イは肉眼で確認し、写真に撮ったと主  
 張したが、強力なカメラを使用したN  
 ASAの観測にもかかわらず、それら  
 しいものは認められなかった。  
 しかしその後、望遠鏡を人工衛星に  
 載せて測定した結果、いまだはその存

存在が不明である。しかし、このようにして、  
 宇宙の謎を解く手がかりが、  
 天体の軌道上に現れている。  
 ラグランジュ点という空間域で  
 ある。そのうちの一点には惑星もしくは  
 衛星が位置するが、残り5つのうち3  
 つは比較的安定。で、同じ軌道上の  
 天体の前60度の点と、うしろ60度の点  
 がもっとも安定し、この二点の空間に  
 落ちこんだ宇宙塵や隕石はそのまま宇  
 宙のゴミ捨て場のように留まり、もう  
 ろうとしたゴースト・アリスやゴー  
 スト・ムーンをつくりだす。  
 視力に自信がある向きは、天空にか  
 かる月の60度前方と60度後方に目をこ  
 らしてみるとよい。よく晴れた日なら  
 そこにぼんやりとかすむ、雲のような  
 広がりを感じてとらえることができる  
 だろう。それがラングランジュ点に位  
 置する「ゴースト・ムーン」であり、  
 星から来た無人ロボット船のひそむ第  
 一候補である。  
 同じく「ゴースト・アリス」につい  
 ても、ポーランドのゴルダイレウスキ  
 イは肉眼で確認し、写真に撮ったと主  
 張したが、強力なカメラを使用したN  
 ASAの観測にもかかわらず、それら  
 しいものは認められなかった。  
 しかしその後、望遠鏡を人工衛星に  
 載せて測定した結果、いまだはその存

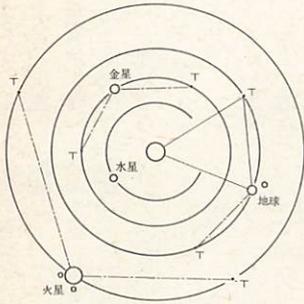


図4 惑星の軌道上有るとすれば……

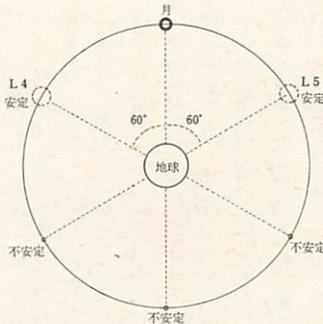


図3 月の軌道上有るとすれば……

在は確実となった。そのゴースト・ア  
ーの位置が第二候補である。  
だが、ゴースト・ムーン、ゴースト  
・アースいずれにしても地球から距離  
的に近く、現在のレーダー能力で十分  
触行可能な空間域である。筆者の個人  
の見解では、そいつはそこにいないと  
考える。なぜなら、地球上でこれだけ  
ラジオやTVなど有意義な電波活動が  
盛んなのにもかかわらず少なくともこ  
こ15年間、オウム返し幽霊電波らし  
いものは報告されていないからだ。

●自然現象説と探査機応答説

問題のエコー電波の遅れを、アメリ  
カのスタンフォード大学のクロフォ  
ード教授は人工のものでなく、自然的な  
メカニズムによるとして説明する。多  
くのアマチュア・ハム局の電波の遅れ  
を調べた結果、電波を反射する電離層  
内のプラズマ雲に関係があることをつ  
きとめた。

そうしたプラズマ雲に入ると、秒速  
30万キロの電波の速度はガクンと落ち  
て、秒速わずか900メートル、一種  
の凍結状態となる。が、ひとたびその  
雲を去れば、再び一気に光の速度に戻  
る。つまり、この凍結状態のあいだだ  
け、エコーが遅れるのだ。

1928年のファン・デル・ポール  
らの実験の場合、1〜5秒までの遅れ  
は小さな動きの遅いプラズマ雲のせい  
であり、5〜30秒あるいはそれ以上の  
遅れのもの、積乱雲のように大きく  
て急速に形の変化するプラズマ雲に原  
因するらしいと推定された。

一方、アメリカの学者ロウトンとブ  
レイスウェルらは1973年、より精  
確な別のエコー資料を使って、ダンカ  
ンとは違った星座を描きだした。その  
資料というのは1928年11月22日、  
パローラによっておこなわれたエコー  
実験である。

しかし、ロウトンらはダンカンのグ  
ラフ法に、もう一つ、新しいテクニッ

クを導入した。エコーの遅れだけに限  
らず、そうした遅れのなかったゼロの  
時の回数も、漏れなくグラフ化するこ  
とにした。その結果、電波パルスの発  
信順(右欄)と、エコーの遅れ(左欄)  
は左表のようになる。

0	1	10	15
0	2	11	16
5	3	12	17
0	4	13	18
0	5	14	19
0	6	15	20
13	7	16	14
5	8	17	0
12	9	18	14
0	10	19	0
7	11	20	
11	12		
0	13		
8	14		
9	15		

これをグラフ化すると、(図2参照)  
そこに出現するのはまさしく見事なべ  
ルセウス座の形、冬の初め頃、中天高  
く輝く星座であり、そのβ星は古くか

ツングースのなぞの飛行体

さて、すでに触れたように、太陽系  
の中に複数個あると推定されるそいつ  
の、おそらく「活動的」な一つは、20

世紀の初期に早くも地球に、想像を絶  
する宇宙情報をもたらそうとした形跡  
がある。れいひのなぞの飛行体「ツング  
ース隕石」である。  
それはマルコニによる無線通信の  
実用化を敏感にキャッチし、それに反  
応して飛来したのではない。

1901年の暮、マルコニは大西  
洋を越える最初の長距離無線通信に成  
功した。イギリスから2千700キロ  
離れたニューファウンドランドまで、

ら変光星として知られ、「悪魔」を意  
味するアルゴールと呼ばれている。  
グラフ上で見ると、とくに五等星の  
γ星の位置が異常だ。右へ水平に5つ  
の点がならんでいる。これは何を意味  
するのか。ロウトンは「そのγ星に5つ

の惑星があることを表示しているの  
ではないか」といつている。つまり「その  
点の位置が表しているガンマ・ベルセ  
イ星こそ、エコーを操作した無人ロボ  
ット船の母星ではないか」というわけ。  
果たしてそいつはガンマ・ベルセイ  
星から飛来したのか、それとも牛飼  
いブルケリーマ星から来たのか、願わ  
くば美しい星「牛飼いブルケリーマ」か  
らであって欲しい。

モールス信号の「S」をかすかに届か  
せたのだ。

これに刺激されて、ドイツ海軍はす  
ぐさま海岸局を設置し、さらにアメリ  
カも1905年、ニューヨーク市に強  
力な無線局をつくり、1906年には  
8万サイクルの交流発信機を完成。北  
大西洋の方々の船に最初の音楽放送、  
音声放送をおこなった。

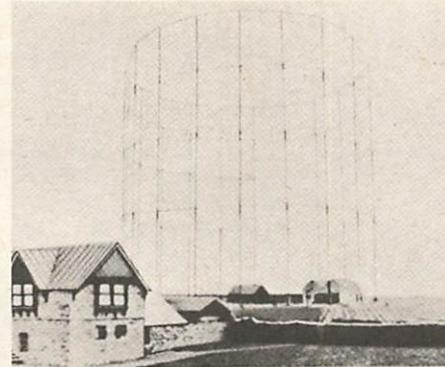
1907年から1908年にかけて  
アメリカの太平洋艦隊は無線通信のセ  
ットを27台注文し、各艦艇に備えたは  
かりか、冬の間中、世界を航海しなが  
らテストをおこなった。

そして、1908年の夏には、同じ  
アーク送信機と、鉱石および真空管受  
信機がパリのエッフェル塔に運び上げ  
られ、現代のラジオ放送と基本的にす  
こしも変わらぬ  
電波送信の実験  
をおこなってい  
る。もはや地球  
の空は人工的な  
電波でおおわれ  
だした。

これが190  
8年6月、中央  
シベリアの上空  
で怪飛行物体が  
爆発する前夜の  
雰囲気である。

それは核爆発以外、匹敵するもの  
ないすさまじい大爆発だった。衝突地  
点は、およそ15平方キロにわたり一面  
の沼地と化し、周囲30〜60キロに立っ  
ていた樹木を根こそぎ外方へと押し倒  
した。猛烈な爆風の威力である。

このなぞの大爆発について、これま  
でいくつもの説明がなされている。科  
学者間ではほぼ定説とみられているのは  
彗星の頭部の落下。ほかにブラック・  
ホール、反物質、小惑星の通過衝撃な  
ど各説があるが、いちばん変わっている  
のは異星からの宇宙船の遭難事故説。  
その飛来コースに二説あり、どうや  
らツングース上空で180度近く方向  
を変えたらしいのがこの人工説の大き



▲1900年代初頭のマルコーニ電信局

な理由。1977年のゾロトフらの発  
表では、その物体は5千メートル上空  
で爆発し、大きさは長さ550メート  
ル、幅60メートルあった。待機中の軌  
道から地球まで  
飛んでくるには  
十分な巨体であ  
る。

現地調査によ  
り爆心地の付近  
から、バックグ  
ラウンドを2〜  
3倍上まわる放  
射能効果が検出  
されたので、お  
そらく飛行物体  
は内部に装備し  
た原子炉の過熱で大爆発したのではな  
いか。そうゾロトフらは推理する。

しかし、そうした放射能効果が認め  
られるからといって必ずしも原子炉の  
爆発とは限られない。そう判定するに  
はそれに伴う多くの核反応生成物が検  
出されねばならない。それにしても周  
星への招待状は目の前に

だが、まだ諦めるのは早すぎる。そ  
れを手にする望みが完全に失われたわ  
けではない。ツングース爆発体と同形  
の、あるいはやや小型かもしれない  
が、太陽系のどこかの軌道上におお  
数個、待機中の希望は残されている。

辺から発見される大量の微核マグネ  
イトなどから、おそらく長大な中空の  
合金物体が高熱で蒸発したことはまず  
間違いないようだ。が、隕石ではな  
い。爆心地に小さなクレーター一つな  
く、隕石のかけらは全く発見されてい  
ないのだから。

思うに、この大爆発を起こした物体  
は、どこか故障した無人のロボット船  
ではなかったか。地球近辺の軌道上で  
待機中に、致命的でない程度の隕石の  
衝突をこうむった。そのため着地のた  
めの自動操縦装置がうまく働かず、推  
力発生エネルギーが暴発してしまっ  
た。

とにかくその信じ難い爆発のエネル  
ギーが何であったか、今の地球の科学  
レベルでは推定のかぎりでないが、な  
んであれそのすさまじい高熱によつて  
機体は完全に蒸発(故障のさい、他の  
星の生物の悪用を避けて、そう仕掛け  
られていたのか)し、同時に、地球へ  
もたらされるはずであった何よりも貴  
重な「銀河エンサイクロペディア」も  
跡かたなく失われた。

太陽系への接近法から逆算すると、  
二通りのコースがある。一つは太陽を  
目標にしてまず惑星軌道面に直角に水  
星のあたりまで侵入し、そこから外方  
へ方向変換し、金星軌道、地球軌道へ  
と横切る。どの惑星軌道に静止する

好評  
発売中!  
アルファトーン  
バイオフィード  
バック装置



これを使って精神統一をすると  
速やかに効果が上がり超能力が発  
現します。  
超科学七、八号(各三〇〇円・  
送料共)参照  
二九、五〇〇円  
千五〇〇円

ESPカード…………… 五〇〇円  
千一四〇円  
キリリアン写真機用テストラコイル  
美颜器…………… 一三、〇〇〇円  
千五〇〇円  
超科学四号  
特集 超科学実験装置 参照  
五〇〇円 千一二〇円  
橋本電子研究所  
鎌倉市小町一―一五―一七  
0467(25) 3035

日本超科学会  
会員は右記の品一割引、会報進  
呈、切手六〇円送れ。

か、コンピューターの判断基準となるのは、人間に似た異星人の設計なら、それは水の常温・液体の温度域だろう。しかし、宇宙の星々にはわれわれ人間の他に、高温に強い珪素型や、低温に強い弗素型の生物の可能性もあるのだ、この判断基準もある固有範囲の曖昧さが残る。たとえば、高温タイプの異星人の設計なら、地球よりも金星の軌道に駐まる方を選ぶかもしれない。もう一つの接近コースは惑星の軌道面にはほぼ平行し、海王星のあたりから内側へ向かって天王星、土星、木星とその生息条件を探査しながら侵入する。この方がむしろ垂直接近よりもあり得るだろう。とすれば、必要条件をぎりぎり満たす火星の軌道上のラグランジュ域を選ぶ可能性が大。

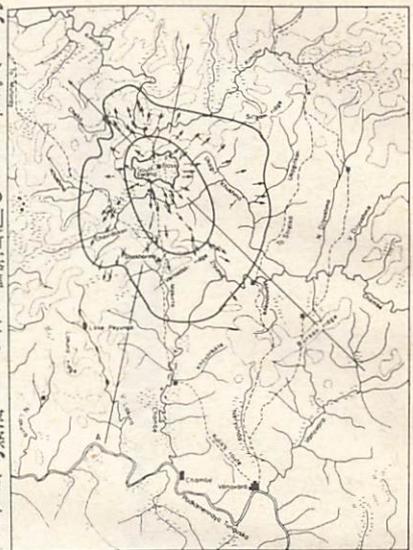
しかし、すぐ隣りにアステロイド・ベルトがあり、長期間の待機中にはそれだけ微小隕石と衝突する確率が高く、コンピュータの送り出したエクस्पローラーなど、そのあたりの軌道でしばしば原因不明の故障を起している。まさか、待機中の無人ロボット船の防御メカニズムの発動をこうむったわけではないだろうが……。

おそらく、そいつはどこか故障して動けないのだろう。執拗にクリーンTV局の電波をオウム返ししながら、その発信源である地球まで飛んでこれないのだ。

無惨な最後をとげたツングース爆発体と違って、そいつの内部には今なお貴重な「銀河エンサイクロペディア」が手つかずに蔵されている。それを発見し、激烈な獲得競争を避けて、その「星間文明情報」を国際管理下に移せば、私たちは数世紀分を一気に飛躍し、想像を絶する多様な数百万の銀河文明の仲間入りを遂げられるだろう。星への招待状はすぐ目の前にある。



図5 2つの接近コース



▲ツングース隕石の飛来コースは上図のように2通り推定された。ツングース上空で180度方向を変えたらしい。



▲ツングースのなぞの大爆発の現場から発見された蒸発鉄粒の分布。長大な中空の合金物体が高熱で蒸発したのか。

会員募集

日本GAP  
UFOと宇宙哲学  
研究グループ

わが国UFO研究界の先駆者久保田八郎はジョージ・アダムスキー研究者としても著名であるが、1961年よりアダムスキー主宰の世界GAP(知らせる運動)組織の日本代表となり日本GAPを設立。以来あらゆる困難と障害を乗り越えてアダムスキーの特異な体験と宇宙の哲学の促進活動を展開してきた。機関紙「GAPニュースレター」はすでに62号まで発行。毎月東京文化会館の月例会で宇宙哲学を指導し、宇宙の法則と人間の真の生き方を探求。大阪・高知・熊本・新潟・岐阜・福知山・仙台・山形・札幌各支部設立。個人的奉仕活動として啓蒙運動を続行中である。真剣な探求者の参加を歓迎している。

不定期機関誌

「GAPニュースレター」

第62号発行中

●本格的活版印刷・B5版・極上アート紙40頁●UFOに関連した他惑星における偉大な人類存在の認識と宇宙法則の探求専門誌  
主要記事■連載スペース・プラザースはなぜ来るのかG・アダムスキー／「太陽と神々の国」を訪ねて 久保田八郎  
／その他有益な記事写真満載

入会希望者は50円切手宛名明記返信用封筒を同封の上「UFOと宇宙」2月号で見たと書き添えてます案内書をお申し込み下さい。入会は高校生以上に限ります。非会員に機関誌の1冊売りはしません。

〒133東京都江戸川区本一色町365-818日本GAP(主宰)久保田八郎

●地球のある国の政府は、大衆操作の目的で、すでに空飛ぶ円盤の複製を完成させ極秘の基地から発進させている……ステックリング氏の驚異の発言はさらに宇宙人の見分け方、日本沈没の有無、われわれの太陽系の運命にまで及ぶ！

——米国にはたくさんのUFO研究グループがあるそうですね。

「ええ、たぶん日本と同じくらいか、もっと多いかもしれません」

——それらのグループはどのような目的を持ち、どのような活動をしていますか。

「ほとんどのグループはUFOを観測することだけに関心を持っていて、関係記事を新聞から

切りぬいて集めたり、それらを他のグループと交換したりといった活動をしているにすぎません。このようなグループは単なる好奇心の探求者の集まりで、一般の人々に真理をもたらすための行動は何もしていません。そのほかに心霊(サイキック)グループがありますが、これはUFOとは何の関係もありません」

## 贗物も多い

## UFO研究グループ

——なぜ関係がないのですか。

「私は心靈主義がまちがいであるとは思いませんが、それを信仰する人々が自分たちのしていることを本当の意味で理解してはいないと思います。」

石だとか木をはじめ万物から得られるテレパシーは、人間が理解していなければならぬ科学なのですが、このような心靈グループの人々は、人間のまわりにはいる幽霊だとか、奇妙なこ

# フレッド・ステック リング氏に聞く

完 ●インタビュー／編集部  
[於／銀座ルノワール他]

●来日したジョージ・アダムスキーの高弟に

## イ / ソ / タ / ビ / ユ / ー

とばかりを助長しています。彼らの多くは宇宙人との精神的接触(メンタルコンタクト)を望んでいるようですが、まず無理でしょう。なぜなら、テレパシックなコミュニケーションを生むためには、接触すべき個人を知らなくてはならないからです。その名前を知る必要はなくても個人を知らねばなりません。そうすることによって接触が生まれるのです」

——そうすると、心靈グループは宇宙人とは接触をしていないのですか。

「そうです。彼らに関する例を1つあげてみましょう。カリフォルニアのジャイアント・ロックで、心靈グループによるUFO集会がいくつも開かれています。ある時こんなことが起こりました。

心靈グループの人々が皆、集会が終わった後ずつと夜までその場に残っていたところ、上空に光る物体が飛んできたのです。夜空に浮かぶこの光を見て多くの人々は「あれは宇宙船にちがいない、自分達は宇宙人と接触することができたのだ」と言い、すぐに彼らが宇宙人から受けたというメッセージを発表しました。ところが、実際には

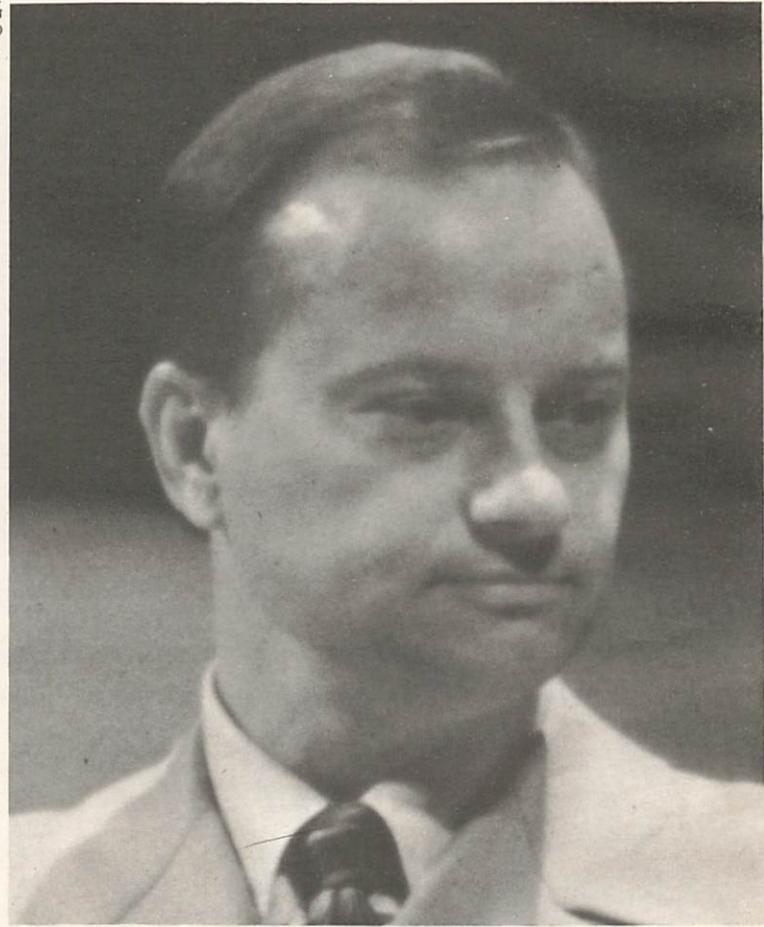
それはただの風船にし  
かすぎなかったの  
です。ある心霊グルー  
プの役員が下にゆらめ  
く炎をつけた風船らし  
きものをいくつか飛ば  
し、その風船が砂漠  
を、そしてジャイアン  
ト・ロックの上を通過  
したという事実が後で  
わかったのです。

このように米国では  
いろんなまぎらわしい  
グループが多くみられ  
ます」

——という、ほかに  
どんなグループが……

「たとえば、アダムスキ  
ーの秘書であったと  
か、彼の片腕だったと  
か、いろいろなグルー  
プが名のり

でいていますが、それらは本当  
ではありません。アダムスキ  
ー氏は腹心の部下を持たな  
かったのです。彼はあくま  
でも個人的な人で、この計  
画にも個人としてかわつて  
いません。もし彼の秘書とい  
うべき人がいるとすれば、  
それはルーシー・マクギ  
ニス夫人でしょう。彼女は、  
現在カリフォルニア州ビ  
スタのジョージ・アダム  
スキー財団の理事長である  
アリス・ウェルズと



もに1952年11月20日の  
金星人会見事件のとき現  
場に合わせた1人です。そ  
の他の人間でアダムスキ  
ーの秘書を名乗る人は、  
にせ物です。

また、アダムスキーの資  
料の版權を侵害するグル  
ープもあり。アダムスキ  
ーが死ぬ前にアリス・ウ  
ェルズに渡した「生命の  
科学」コース、「テレパ  
ン」コース、「宇宙哲学」  
を不法に複製して人々に  
配布している

例もあります。こうしたグル  
ープもやはりにせ物です。  
しかし、そのようなグル  
ープの名前は公表したく  
りません。彼ら人間とし  
て尊重したいし、また中  
傷などするつもりもな  
いからです。

逆に私に対する中傷も今  
まで数多くありました。そ  
れらはすべて根拠のない  
ものでしたが、この8カ  
月あまり数千通にのぼ  
る手紙に返事を書いたり、  
とに

次に、今までの事件を  
みると、UFOやその搭  
乗員の種類がたくさん  
あるようですが、これら  
をいくつかのタイプに  
分類できますか？

「まず、アダムスキ  
ー氏が会った好意的な  
宇宙人のグループ。彼  
らは地球上の人間の幸  
福と繁栄に興味を持  
ち、アダムスキー氏  
や我々とともに活動し、  
宇宙

## 地球製の円盤が

## 飛んでくる！

# 占 独 誌 本

中傷にかかわっている時間  
なかつたわけです。

そういえば、アダムスキ  
ー氏の活動についてひと  
つ言い忘れたことがあ  
りますのでつけ加えて  
おきます。

1965年の1月か2月  
ごろ彼は国連から議席  
を提供されましたが、  
返上しました。

その理由について彼は  
「もし私が国連に参加し  
たら、私は役人という  
ことになる。そうす  
ると当然秘密を守る  
ことを誓わされるこ  
とになる。そんな状  
況の中では人々に真  
実を語ることはでき  
ない」と私に語って  
くれました。

彼にあって国連のメン  
バーになるより、個  
人として仕事をす  
ることの方がずっと  
重要だったのです。

そうすることによって、  
感じたことをありのま  
ま人々に述べたので  
す。

の法則を我々にもたらしたグループで我々が最も注意を払うべき人々です。

次に幻覚やインチキの場合。たしかにこのようにして作り上げる人々がいます。特に私が先に述べた、炎を下につけた夜空の風船を見て宇宙人との精神的接触ができたと言っていたあの心霊グループなどは好例です。また、インチキ写真を作り上げ新聞雑誌に名前を売りこむ人々など、この種の人々は多数です」

——中には敵意を持つと思われる宇宙人がいるようですが……

「ええ、地球上にもいろいろな人間がいるように他の惑星にも同じことが言えます。つまりすべてが崇高な心を持った宇宙人であるとは言いが切れないのです。アダムスキー氏の著書『宇宙船の内部』に書かれているように「ある惑星では科学が極端なほど進歩してしまい、一方社会的な面での進歩は無視されている。また、すべての生命の調和や兄弟愛を忘れて利己的になった宇宙人もいる」というのも本当です。誘拐されたとか、宇宙船の中で検査されたあとと解放されたという人の話などが私のところにも伝えられています。



▲「地球上のある国では静電気の原理を操作して宇宙船を完成させ、極秘の基地から発進させています……」

次にUFOにつきまとう怪物については、宇宙人が地球に送り込んだロボットを目撃した人々がそれらを怪物と間違えて恐怖心を抱いたにすぎません。

心配することはないのです。過去何千年もの間のUFO活動を調べると、彼らに敵意らしきものは全くみられません。逆に彼らは我々に教えるため、助けるために来たのです。たとえばペルーの古代都市、エジプト、チベット、アメリカ、メキシコ、イースター島、オーストラリア、ニュージーランドなど世界中のいたる所に宇宙人の形跡がみられます。誘拐とか敵意とか、その他悪い話を聞くようにはなつたのはつい最近、この20年ほどの間のことです」

——すると実際に発生している残酷な事件はだれが行っているのですか。

「少し長くなりますが、それについて私の考えを詳しく述べてみましょう。1965年にアダムスキー氏は、この地球には空飛ぶ円盤を複製して、宇宙人が造るのと同じくらい大量に航空船を造っている国々がある、と私に知らせてくれました。しかし当時の航空船は、宇宙人の宇宙船と同じくらいのスピードで

飛ぶことができず、惑星から惑星へ移動するのに母船を必要とするために大気圏外へ出ることができませんでした。ところが現在地球上のある国々では、静電気の原理を操作して宇宙船を完成させ、それらを限定された航空基地に極秘においているのです。政府関係者が混乱をつくり出すためこれらの宇宙船を使ったと考えるのが当然でしょう。そして地球製の宇宙船が我々に敵対行為を行ったのだと確信を持て言えます」

——どうして政府がそのようなことをする必要があるのですか

「それは公衆をコントロールするためです。恐れ、混乱している公衆はちょうど、火事を起こしている建物の中に逃げこむ羊と同じです。人々が恐れおののき、混乱し、正気でなくなっているとき、一握りの巧妙な人間は彼らをコントロールして自由自在に動かせます。だから我々は落着いて自分自身をじっくり検討しなくてはなりません。我々は宇宙人がもたらしてくれた教えを学ぶことにより、よりすばらしい個人になるでしょう。

あるとき、私のところにプロテストの一派の人々が来て

こう言いました。

「私達は宇宙人を信じています。でも我々の指導者は、宇宙人は邪悪なことを教えるためにこの地球に來ていると言っています」

それで私は彼らに、  
# 飢え、恐怖、差別、憎しみ、  
しつと、これらは我々人間がつかり出したものです。あなた方の指導者に、これ以上邪悪なこ

## 宇宙人を識別する方法

——話は変わりますが、あなたは宇宙人と会ったそうですね。あなたが会った宇宙人はどこから来たのですか、また彼らはどんな人間ですか。

「1964年と65年にワシントン市で会いました。そしてアダムスキー氏がそのことを確認してくれました。彼らはアダムスキー氏に、彼らが私と話したことや私が彼らを見つけたことを話したそうです。私自身100パーセント彼らが宇宙人であったと確信しています」

——もう少し具体的に教えて下さい。

「私が妻と息子の3人でいたとき初めて彼らのうち1人が姿を

とを宇宙人が我々に教えることができるかどうか聞いて下さい」と言いましたが、それっきり彼らは私のところにやってきません。つまり彼らはこれ以上邪悪なことを考えつかなかったのです。だから我々は悪意を持つ宇宙人についてあまり考えなくともいいわけで、むしろ自身に内在する邪悪なものについてもっと考えるべきです」

現してくれたのです。その人はブロードの髪をもち、冬の間ほとんど太陽を浴びたことのないような白い肌をした6フィートほどの背丈の男性で、後に金星人だとわかりました。

私達は彼と幾度も会話することができました。

そういえばこんなこともありました。ある時、ワシントン市の通りで、ちょうど仕事に行く途中……妻と息子といっしょだったのですが、宇宙人は私達に挨拶をして洗濯屋に行きました。彼はレインコートを着て、髪は短めで、そして天気が悪い日だったのにサングラスをかけていました。金星は雲が厚く、

日光がさすことがめつたにないために彼らの目は大変敏感で、地球上にいるときはいつもサングラスをかけているのです。

彼が私達のそばを通過したとき、突然彼の姿が見えなくなりました。そして歩道の100mほど先で、突然姿を現して歩き始め、ふり返って私達に微笑みかけたのです。

またあるとき、1人の宇宙人が私と話した後、タテ3mヨコ3mほどの窓のない1つドアの物置きに入ったので、その10秒ほど後に私がそこに入ると、すでに彼の姿は見えなくなっていました。その人は、宇宙人が姿を見えなくさせることができるということを実証してくれたのです。

——後にこのことをアダムスキー氏に話したところ、彼は笑ってこう言いました。

「そうだよ。彼らはときどき首のまわりのくさりやベルトの上の小さなライターのような3センチ四方ほどの機械を持っているんだ。その機械は完全に密閉されているので開けたりすることはできない。もちろん地球上ではなく、彼らの惑星で製造されたもの。機械のボタンを押すと肉体は見えなくなるが、肉体

そのものは存在しているから、ふれることができるし、ふれた感触はがっしりした肉体そのものなのだ」

ある光線が肉体をつつむことによつてその人物は見えなくなつてしまふわけです。彼らは宇宙船に対しても同じようになっています。だから宇宙船は現に存在していても私達の目には見えないことがあるのです。

彼らは自衛のためにこのような手段を使っています。彼らは武器によつて自衛することはありません。彼らは我々を殺す前に自分自身の命を断つはずで、彼らこそは本当のクリスチャンであり、キリスト教、仏教その他あらゆる救世主の原理にもついで生きています」

——宇宙人はすべて白い肌をしているのですか？

「いいえ、地球人と同じように東洋人的肌をもつた人も白人も黒人もいます。したがって地球人と区別することは無理ですが、我々の日常生活で、ほとんどの人々は彼らに会っているに違いありません。仕事場でも、レストランでも、いたる所で、あなたが気づかないうちに彼らに会っていることは確かです」

——どうしたら彼らを見分けられませんか？

「地球人との違いを見わけける唯一の方法は意識を通して感じることです。これこそ彼らがコミュニケーションする方法で、我々がテレパシーに対してのもつと敏感になれば、たやすく彼らを認めることができるようになるでしょう。

彼らは隠れたいわけではなく逆にこの世の人々に知ってもらおうとしているのです。しかし私達が彼らの存在を否定し、火星、金星、木星やその他の惑星の生命を否定するならば、彼らは彼らの本体を我々に示すことはできません」

——地球上にいる宇宙人たちの活動について具体的に教えて下さい。

「彼らは我々の生活をもつと良いものにするため地球に來ています。生きるための本當の意味、相互依存、優しき、責任とは何であるかを我々が理解することを望んでいるのです。

一例をあげてみましょう。私の知っている1人の宇宙人がワシントン市のレストランで働いていましたが、中東の政治情勢が緊迫したとき、彼は直ちに仕事をやめて現地へ赴くことになりました。そこで私は彼に「さ

ようなら、またいつか」と言ったのですが彼は「どうかかわからない」と答えたきりでした。

その後私は彼といっしょに働

いていた人々にインタビュウをしてきました。彼がどうして突然いなくなっただかという質問に

対して全員が「彼の家族のだからに問題が起こって帰らなければならなくなっただけ」と答

え、彼をどう思うかという質問に対し、やはり全員が「彼のよ

うに優しく、理解があつて正義感が強く、意志が堅く、情緒が安定していて決して怒らない人

間はほかにいない。どんな状況のもとでもいつもトップにいるべき人だ」と答えました。

## 日本の沈没はありえない

——いくつかお聞きしたいことがあるのですが……まず最初に、日本のあるコンタクティーが宇宙人から太陽は冷たい天体であると言われたそうですが、それは本当ですか？

「本当です。プロンドの宇宙人について先に話しましたが、ワシントン市で自分の姿を消すことのできたあの宇宙人がこの質問に答えてくれたのです。

その人たちは彼が宇宙人であるとは知りませんでした。彼は宇宙の法則を彼らに残して去ったわけです。

このように宇宙人は我々の間に「生きた手本」として存在しています。

ある宇宙人は科学者を助け、現代の科学の発展に貢献しています。

地球は非常に長いあいだ、石器時代の状態にあつたのに、この50年ほどの短い間にすっかり変化してしまい、今や宇宙時代となつています。

これは我々の力だけではどうも成し得なかつたことなので「す」

私が妻と息子の3人でレストランにいた時のことで、その場に彼もい合せていました。

当時7歳であつたグレンが突然「ママ、太陽に人間が住んでる？」と質問したところ、妻の

イングリットがその質問に答える前に彼が次のように答えたのです。

「住んではいけないよ。でも太陽は我々が考えている程熱くはな

い。太陽のまわりには磁気が回

いていて、エネルギーは太陽のまわりの大気から発せられているので、太陽そのものはそれほど熱くはないのだよ」

彼が息子のグレンに言ったことを私は信じています。私達は太陽へ到達する力をまだ備えてはいませんが、彼らはその能力があるのですから」

——最近、世界の大変動や日本沈没などが話題になつていますが、それをどう考えますか？

「この考えに対し私は否定的です。私は地質学をはじめ世界中のガス層地域、地震地域などを研究してきて、日本がちょうどカリフォルニアと同じような地

学的条件におかれていて、地震の可能性はあると思つていますが、沈没することはまずないと思

います。3万年ほど前にアトランティスが存在したところ、日本もその一部分だったので

が、アトランティスの他の地域が消滅しても日本はそのまま

でした。他の地域は、その下にあつた大きなガス層の沈下によつ

て沈みましたが、日本は沈没し

ませんでした。つまり日本はガス層の上に位置していません。だから、日本が沈没する可

能性はないと言えるでしょう」

## 他の太陽系を

### 開拓した宇宙人

——太陽系内の宇宙人が他の太陽系に移動しているそうですが、本当でしょうか？

「本当です。アダムスキー氏はまだ我々と活動していたころ、我々のこの太陽系の状態につ

て話し合う会議がいくつか開かれましたが、そのうちメキシコ

での会議でアダムスキー氏は、我々のいる太陽系は大変古いも

ので崩壊の過程にあると述べています。イェス・キリストが2

千年前にすでに次のように言つて

います。

「地球上の天国は滅びるであらう。しかし私の誕生はけつして

滅びることはない。なぜなら新たな天国と新たな地球がその代

わりをなすからである」

これは宗教的な声明ではなく科学的声明です。当時すでに、

彼らはこのような状態を調査する道具を持っていたと思われま

す。宇宙人は「崩壊がいつ起こるかにはわからない。自然のなす行為は偉大なもので、我々にさ

えず知できない。したがって、こうしたことが起こるのは何千

年も先のことでしよう」と述べ、心配することはないと言つ

ています。彼らが他の太陽系に移動しているのは、彼らが偉大

なバイオニアだからです。ちょうどヨーロッパからアメリカに

初めて渡った人のように新しい地を求め、そこを開拓して人間



▲「我々の太陽系は崩壊の過程にあります…」

## ジョージ・アダムスキー

があなたにおくるメッセージ

### テレパシー

訳・久保田八郎 ￥550 送料140

テレパシーすなわち宇宙語／人間の四つの感覚器官／触覚／細胞から細胞へ伝わる印象／肉体細胞から来る印象／感情が肉体細胞におよぼす影響／他の遊星から来る印象と地球の習慣的な想念／自我の抑制／弛緩・関心・感受性／透視・透聴・予知／思考と推理

### 生命の科学

訳・久保田八郎 ￥650 送料140

生命の分析／心とその成分／宇宙の法則の応用／万物の相互関係／意識英知及び生命力／“新鮮さ”は人間の若返り薬／宇宙的記憶／宇宙の一体性／宇宙的細胞と肉体の細胞の活動／意識による旅行／宇宙空間の探険／絶え間なき進歩の報い

## フレッド・ステックリング著

### なぜ空飛ぶ円盤は来るのか

訳・久保田八郎 ￥750 送料140

好評発売中

当社の出版物が書店にない場合は振替・現金書留・小為替・低額切手などで直接ご注文ください。

文久書林 ● 〒113 東京都文京区白山1-29-12

電話(03)813-2495 振替 東京4-2521番

が住めるようにしていくので  
す。ある宇宙人達はすでに他の  
太陽系を開拓し、その人々と  
絶えず連絡を取りながら行き来  
しています。これは将来、我々  
の太陽系が崩壊することを前提  
とした予防措置かもしれないま  
ん」

——それでは話をもとにもどし  
て、あなたの著書に書いてある  
こと以外で、今公表できること  
があったら教えて下さい。

「私が宇宙人と接触したのは、  
大部分が著書にとりかかってい  
る最中のことでした。

私は自ら本を書こうという意

志はなかったのですが、彼らが  
私に書くようにと言ったので  
す。それで私は「なぜ私が本を  
書かなくてはならないのか」と  
尋ねました。私の持っているも  
のなどアダムスキー氏に比べれ  
ば貧弱なものだし、私の英語で  
の表現は舌足らずだし、アダム  
スキー氏がすべて語りつくして  
くれたと思っていたからです。

ところが彼らは、私が簡潔な  
言語と簡潔な方法で人々に真理  
をもたらすことにより、新しい  
チャンネルを開き、アダムスキ  
ー氏が到達し得なかった新しい  
異なった世界の人々の関心をも

引きよせることができると言っ  
て、私に本を書くよう要請した  
のです。それで私は彼らの指示  
に従い書き始めたわけですよ。

その当時、私はアメリカの市  
民ではなくドイツ国籍で、アメ  
リカに移住者として登録してい  
ましたが、宇宙人が私に6カ月  
間活動を中断してアメリカの市  
民権を取るように勧めました。

私はアメリカ愛国主義者では  
ないにしても、私にとっても私  
の家族にとっても、他のどの国  
よりも住みやすく豊かな良い国  
でした。もちろん、他の国にい  
る時と同じように生活のため一

生懸命働かなくてはならない国  
であることに変わりはありません。  
その意味では、私にとって  
この地球上の国は皆同じだと言  
えるでしょう。

とにかく私は宇宙人が言った  
とおり、アメリカの市民権を取  
るために仕事を中断し、市民権  
獲得のテストを受け、1966  
年に市民権を得ることができま  
した。

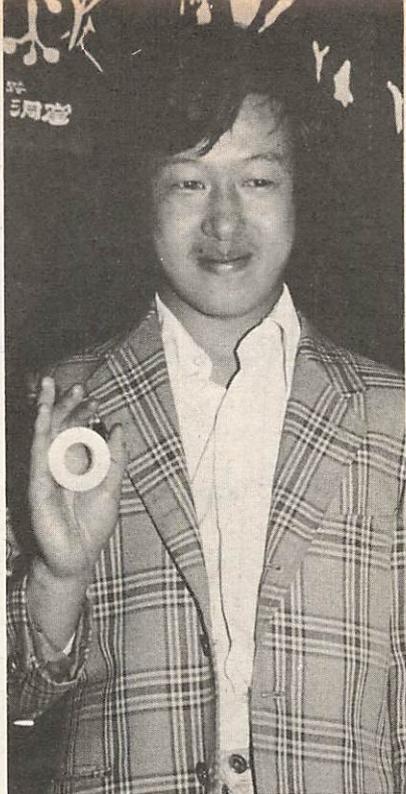
その後から現在に至るまでの  
間は、彼らとの接触はそれほど  
ありません。時折私の記憶を呼  
び起こさせる目的でやって来る  
ことがある程度です。ある時な

どは、私と妻に「やあ、いい日  
ですね。じゃあまた」と微笑み  
ながら親しみをこめて挨拶して  
去って行きました。まあ、こん  
なふうですね。私に対して特に  
指示することがあるわけでもな  
かったんでしょ」

——最後にあなたの将来の活動  
計画を聞かせて下さい。

「現在私が行っているように、  
将来においても人類のために奉  
仕活動を続けます。もちろん、  
地球での生涯だけでなく次の生  
涯でも同じことです。これが今  
私の考えうる未来です」

赤尾泉訳



## 本誌 特別取材



巨大UFO目撃から始まり、異星人ラミュー氏との出会い、連続テレポーターションと続いたこの札幌コンタクト事件もいよいよ最終回。今回は札幌市郊外でのUFO同乗事件、UFO内部にいたタコ型火星人、そしてラミュー氏から聞かされたという「地球人類への警告」の詳細を報告しよう――

〔前号までのあらすじ〕

異星人と接触したという青年が札幌に出現！ 北海道のUFO

研究家加藤さん（仮名）からこのような情報を得た記者は、さっそく現地へ飛び、本人の中野さん（仮名）とのインタビューに成功した。

中野さんの話では昨年（1977年）

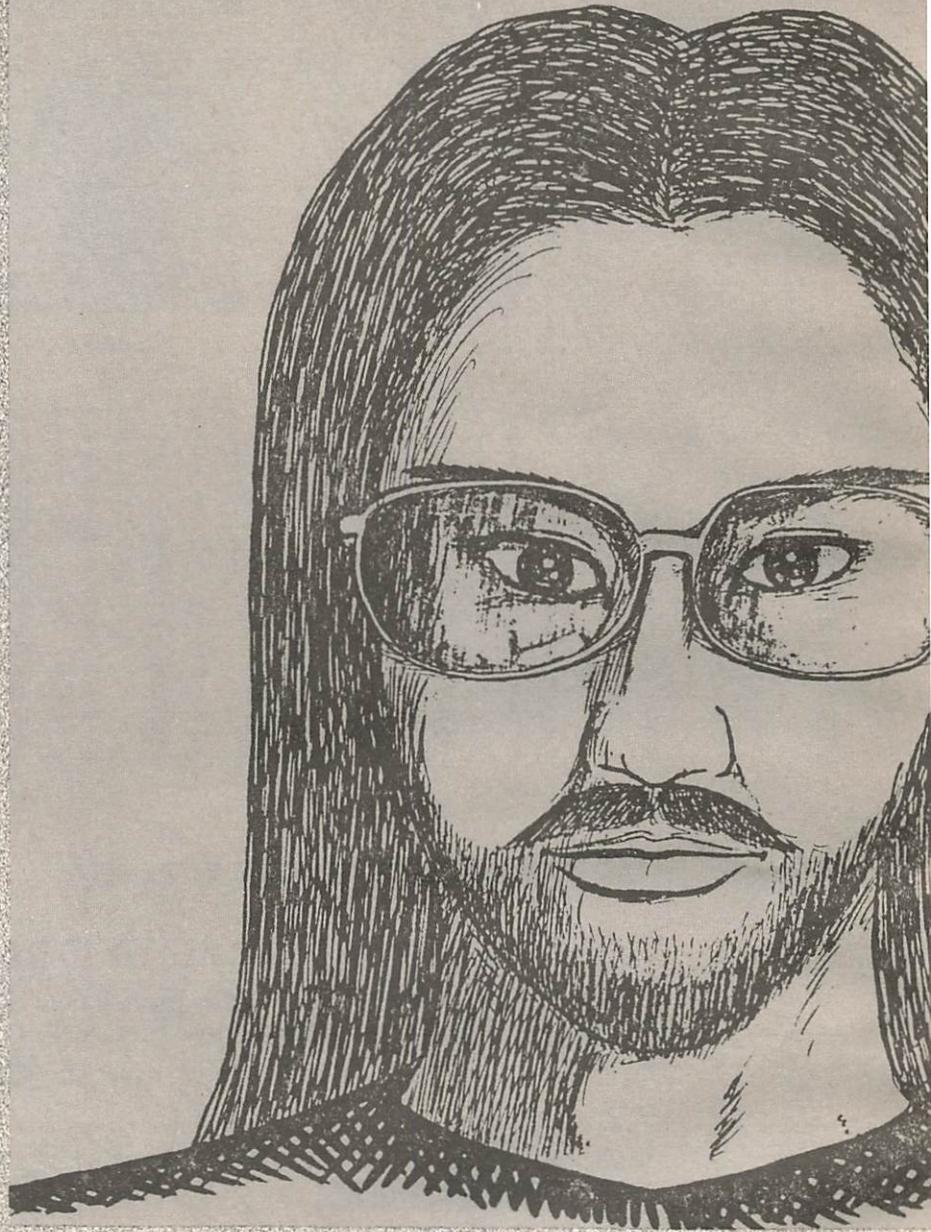
6月に自宅付近で巨大UFOを目撃。

その後続けて不思議な出来事が起こったという。異星人「ラミュー氏」の出現と謎の金属。STV札幌テレビ放送屋上からの連続テレポーターションと

月へのテレポーターション：事件は次々と進展し、8月4日午後3時すぎには、中野さんの自宅にラミュー氏が訪れるというハプニングが生じた。

ラミュー氏は、中野さんからボールペンを借りて「円盤内部」の図を描いたあと、「再び仲間といっしょにやって来て、ある場所に着陸す

# 札幌市で異星人との 驚異コンタクト発生！



# 10 新型UFO同乗事件

●ここに降りて下さい!

1977年8月16日午前零時30分頃、自宅付近でUFO観測をしている

「ここで降りて下さい」という言葉を残し、部屋から去って行った。そして、その約束

は数日後に実現することになるのである。

▶ラミュー氏の似顔絵(加藤氏画)

中野さんの頭上に、突然1個の光体が飛来した。光体はかなり低空をゆっくりに飛んでいる。

「UFOだ! なにか乗れそうな感じがする」

中野さんは、そう思うとすぐ、光体が見える方向に走り出した。

5分……10分……一生懸命走り続けるが、いっこうに光体に近づいた感じがしない。次第にあせり始め、思わず心の中で叫んだ。

「早くそばまで行きたい!」

次の瞬間、まわりの景色は一変。住宅地から田んぼのまん中へ来てしまった。またしてもテレポーテーション現象が起こったらしい。

だが、そんなことに驚いていない暇はない。UFOはどこだ……?

首を上に向けて、目ざす光体は先ほどよりかなり近くにいた。

「ここに降りて下さい!」

中野さんは光体めがけて必死にテレパシーを送る……。そのとたん、光体はこちらに向かって音もなく、すべるように近づいて来た。

目前にせまると、それは意外なほど大きく、「今までに見た

ことがない」形(図①)。一見ジェット機のようなが、音が全くしないし、奇妙な文字もある。UFOに違いない。中野さんは胸を躍らせながら物体の行動を見守った。

「あたりは田んぼばかりなので着陸するにはちようどいいなあ」

中野さんのそんな心を見抜いたよう



▲山本さん



▲加藤さん

● 火星人「キム」さん

中野さんは迷わず階段を登る：最後の1段を登り終え、1歩踏み出すと、そこはもう宇宙船の内部であった(図②)。

目の前には、たくさんスイッチやランプが並んだ計器盤や大きな窓。ほかに宇宙文字のようなものも見える。そして……ラミュー氏！ 数日前、自宅の部屋で話し合ったあのラミュー氏が乗っていたのだ。

いっぺんに緊張がとけ、安心感が全身をつつむ。だが、彼の横にいる2つの生物は何だろう。

中野さんは、背の高さが2mほどある「タコ型」の生き物に目をうばわれた(図③)。

よく見ると、目のようなものはあるが鼻も口もなく、色はモスグリーン。それに床から10mほどのところに浮いているのが奇妙だ。

「今までに見たこともない。そういうえ、3年前に北海道北見の藤原青年が見たという「宇宙人」にも似ている」

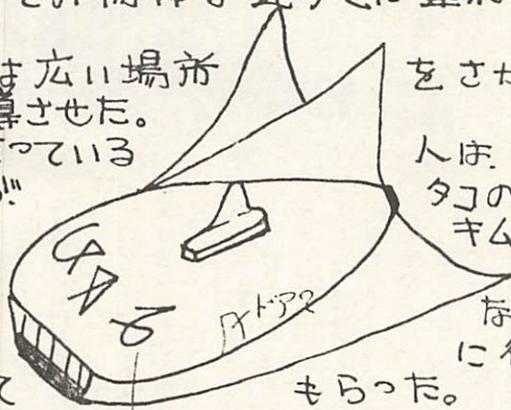
そんな考えに答えるかのように、ラミュー氏が生物の片方を向いて口を開いた。

「こちらは火星から来た「キムさん」です。そしてこの宇宙船は火星で造られたものです」

これが火星人!? 中野さんの頭に一

新型円盤が次々と出来ている!

Pm 11:40頃から僕は外に出てUFO観測をしていた。  
翌朝 0:30 11つも見ている星大のU.F.Oが来た!!  
送念を僕は送り続けた「ここへおりて下さい」とすると段々とその物体が近づくに連れて形も分かって来た。  
その為僕は広い場市所に誘導させた。  
その中に乗っている乗っていたが、  
の木星人少々恐る友好的な僕も乗せて  
をさがしその場人ほ、ラミュー氏もタコのおほ感じキム氏も居た。しかたがな彼等毎のひに従い、この円盤もらった。



文字

▲図①a 中野さんが描いた新型UFO(文中の木星人は火星人のまぢがい)

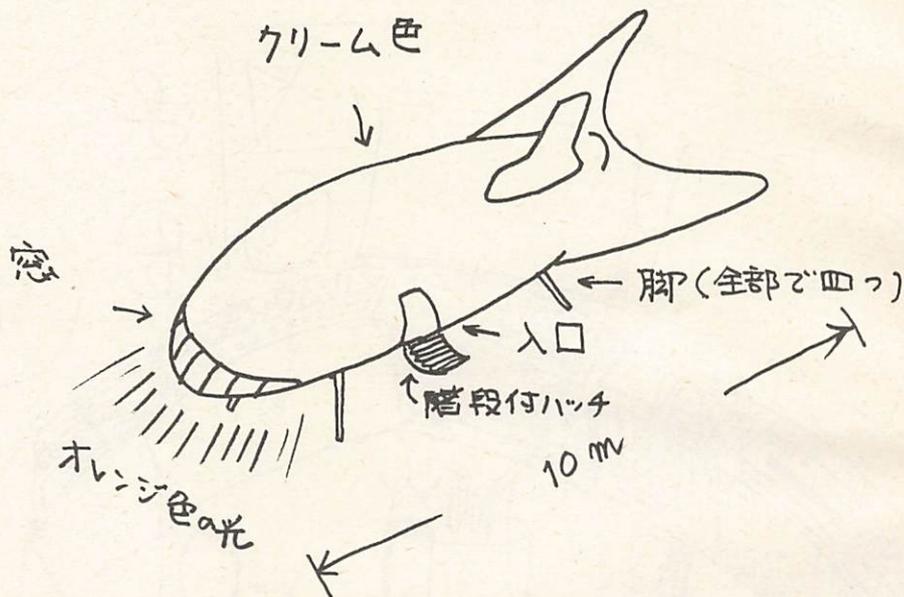
瞬疑いの念がよぎるが、その考えはすぐに否定された。

「各天体には、その天体にあった生物がいるのです……」

※なお中野さんの話によると、図①aと図②の中で「木星人キム」や「木星人らしい」「木星の星旗らしい」とあるのは、すべて「火

に物体はスーッと地面に近づき、胴体から4本の脚を出して音もなく着陸した。  
まさか本当に着陸するとは……。中野さんは事態の進展の早さに目を見張るが、それもつかの間。今度はジェット機型の胴体の中央に変化が起き、扉のようなものが外側に倒れた。よく見ると裏側が階段状になっているではないか。  
「乗ってもいいんだ!」  
強烈な印象が来た。中野さんは早速で物体に向かい、すぐに階段の下へたどりついた。見上げると、中の灯りが顔にあたってまぶしい。物音は何もしないが、だれかいる様子だ。

52. 8. 16



▲図①b 加藤さんが中野さんの証言をもとに描いた新型UFOのイラスト

星人"火星"の間違いであると  
いう。

●札幌市上空を飛ぶ

ラミュー氏の説明が続くあいだ、2人?の不思議な生物—火星人はだまっ  
たまま。

何を考えているのか全くわからない  
が、ときどき反応を示すことから考え  
て彼らにはテレパシー能力があるらし  
い。

中野さんがいろいろと推測を重ねて  
いると、3人の異星人は急に宇宙船の  
前方に向きを変え、操縦盤と思われる  
計器類に向かって強烈な想念を送り始

めた。

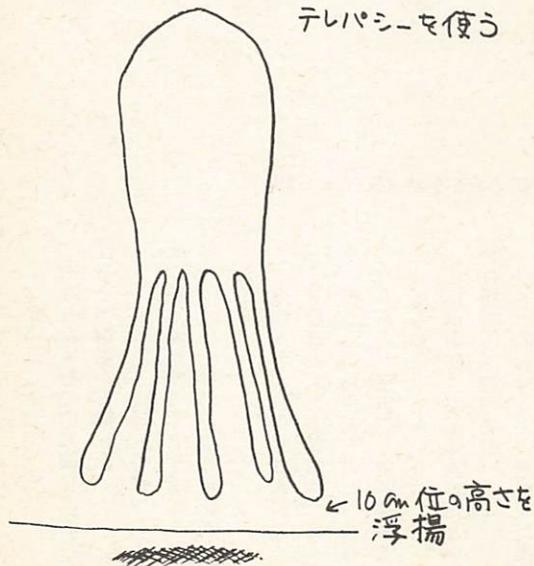
グン……実際はそんなショックなど  
なく、音もしなかったのだが、なにか  
宇宙船が地面から離れたような気配を  
感じる。

あわてて前方の窓を見ると、すでに  
空中を飛んでいるのがわかった。真っ  
暗闇の中に浮かぶ北海道の原野。街の  
夜景が次々と目に映る。

だが、このすばらしい空中旅行もす  
ぐに終わりに近づいた。4〜5分たつ  
と宇宙船はスピードをゆるめてしま  
い、さっき離陸した場所に向かって降  
下を始めたのである。やがて、着陸が  
無事に完了し、ドアが自動的に外に倒  
れた。

52. 8. 16

キムさん 身長 2m  
色 モスグリーン  
テレパシーを使う

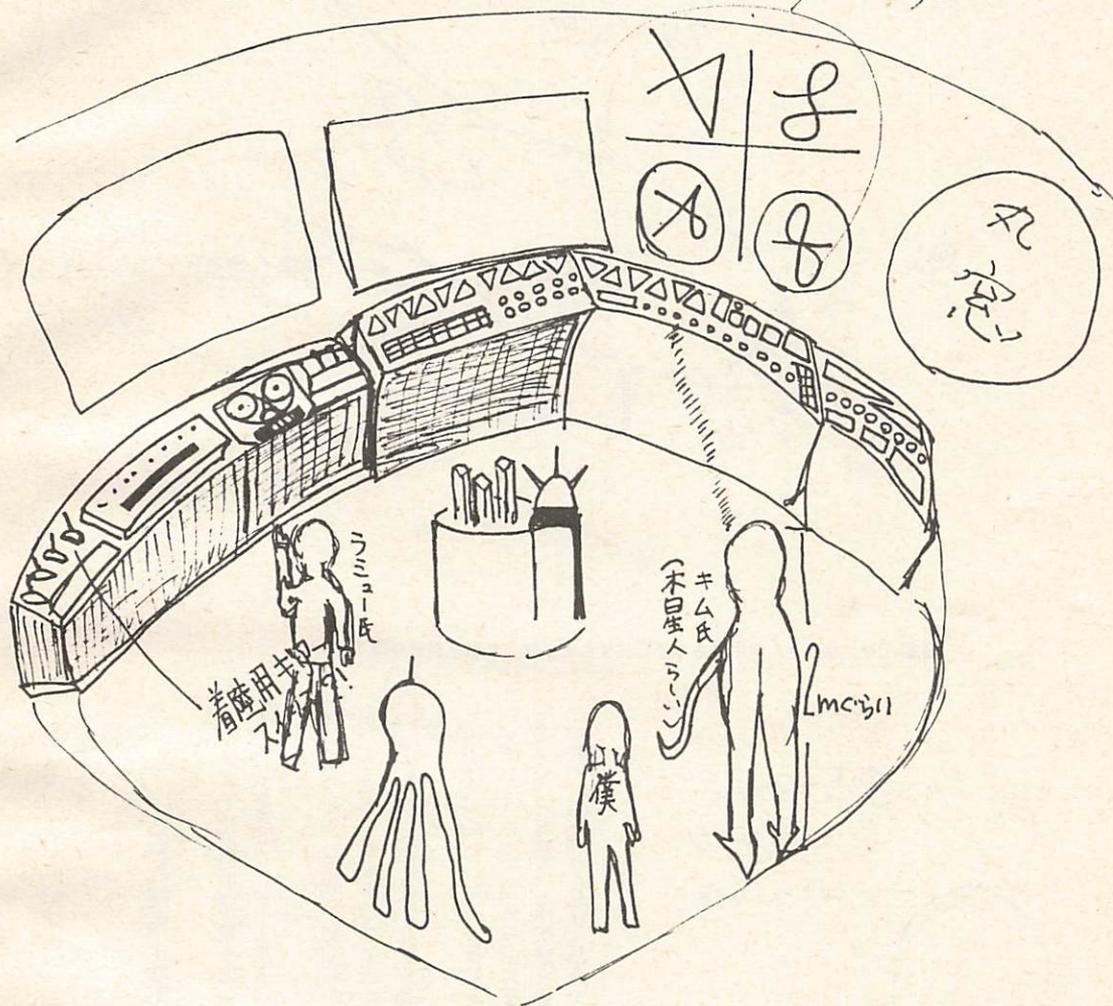


▲図③ UFOの内部にいた火星"キム" (加藤氏画)

S52.8.16.

Am 0:30~0:34.

木星の星標  
5us!



▲図② 中野さんが描いた新型UFOの内部(“木星”とあるのは“火星”のまちがい)

「また会いましょう」

中野さんは心の中で彼らに別れをつけると宇宙船から離れた。

ラミュー氏と火星人の乗った宇宙船は中野さんが降りるとすぐにドアをしめ、猛スピードで上空に飛び去って行った……。

※山本さん(中野さんの友人・UFO研究者)の話では、あとで中野さんから現場を教わって行ってみると、宇宙船の着陸跡らしいくぼみがあったという。

これが中野さんが体験したというUFO同乗の詳細である。

以上で取材時まで起こった事件のうち、ラミュー氏からメッセージを伝えられたもの以外のほとんどを紹介した。

だが、これですべてというわけではない。中野さんが記者に言い忘れたら、言いたくなかったことがいくつもあるように思われるし、取材後に直接本人から追加情報が入ったりもしている。

この追加情報については最後に述べるとして、いよいよ中野さんとラミュー氏とのコンタクト。それもテレパシーで行われるというような精神的なものではなく、面と向かってお互いに話し合い、地球人に対するメッセージを伝えられたという事件に入ることしよう。

# 11 喫茶店でのコンタクト

ラミュー氏とのコンタクトは、前述の事件を除くと数回。その中には、地球の危機について話し合ったものも含まれている。

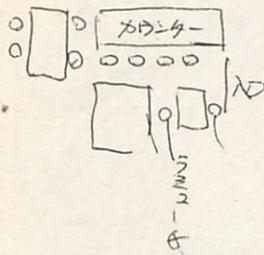
中野さんが明かしてくれたところによると、ラミュー氏との話し合いのうち喫茶店で行われたものが2回あるという。

それでは、その2回のコンタクトの様相、そしてラミュー氏のメッセージの内容へと話を進めてゆくことにしよう。

ある日の夕方、札幌市街から少しはずれたところを1人で歩いていると、突然、うしろの方から男の人の声がした。

「中野くん」

どこかで聞いたような声だな、と思つて振り返ると、ラミュー氏がこちらを向きながら立っている。



▲図④ ラミュー氏と会ったときの喫茶店内部(中野氏画)

「ああ……ラミューさん。お茶でも飲みませんか」

中野さんが何気なくそう言うと、彼は軽くうなずいた。

2人はそのまま近くの喫茶店へ。中に入ると混んでいたが、かまわずあいている席を見つけて向かい合わせに座った。

「レモンスカッシュを下さい!」

ラミュー氏は座るとすぐに店の人に声をかけた。

「ほくも……」

中野さんもあわてて同じものを注文する。

それからしばらくラミュー氏の話が続いた。話の内容について、中野さんは、

「そのコンタクトのときは、いまま

彼ら異星人が地球人に対して与えてきた警告を皆が実行していない、と怒られました」

と語る。

話は約15分で終わり、ラミュー氏は飲みかけのレモンスカッシュを半分ほど残して席を立った。中野さんも一緒に立つ。

ラミュー氏は店を出るとすぐに別れを告げ、来たときの方向に歩いていった。

これが1回目のコンタクト。2回目もだいたい同じようにして行われた。

ただ2回目については「北31条西5丁目付近の喫茶店」ということと、店の内の様子を図(④)に描きながら説明してくれた。

「この店には、奥の方に2、3人、カウンターのにも2、3人の客がいたので彼らは私たちを目撃していると思えます。このときの話も前回と同じような内容でした」

## 12 地球人類への警告

このほか同じようなコンタクトが何回も行われ、中野さんに伝えられた情報は次第に増えていった。

では、いったいどのような情報やメッセージが伝えられたのか。

### ●宇宙船の推進方法

——ラミュー氏と、どのようなことを話し合いましたか。

中 個人的なことや、地球人全体のことなどです。たくさんあるので、思い出せるものからあげてみましょう。

まず、宇宙船の推進方法。宇宙船はすべてテレパシー的なものでコントロ

ールされており、機械で動かすのではなく燃料も必要ありません。

### ●「宇宙連合」と「ブラックメン」

——宇宙船の船体の材料は?

中 船体には、現在の地球の科学では到達できないある惑星で採れる物質を加工したものが使われています。

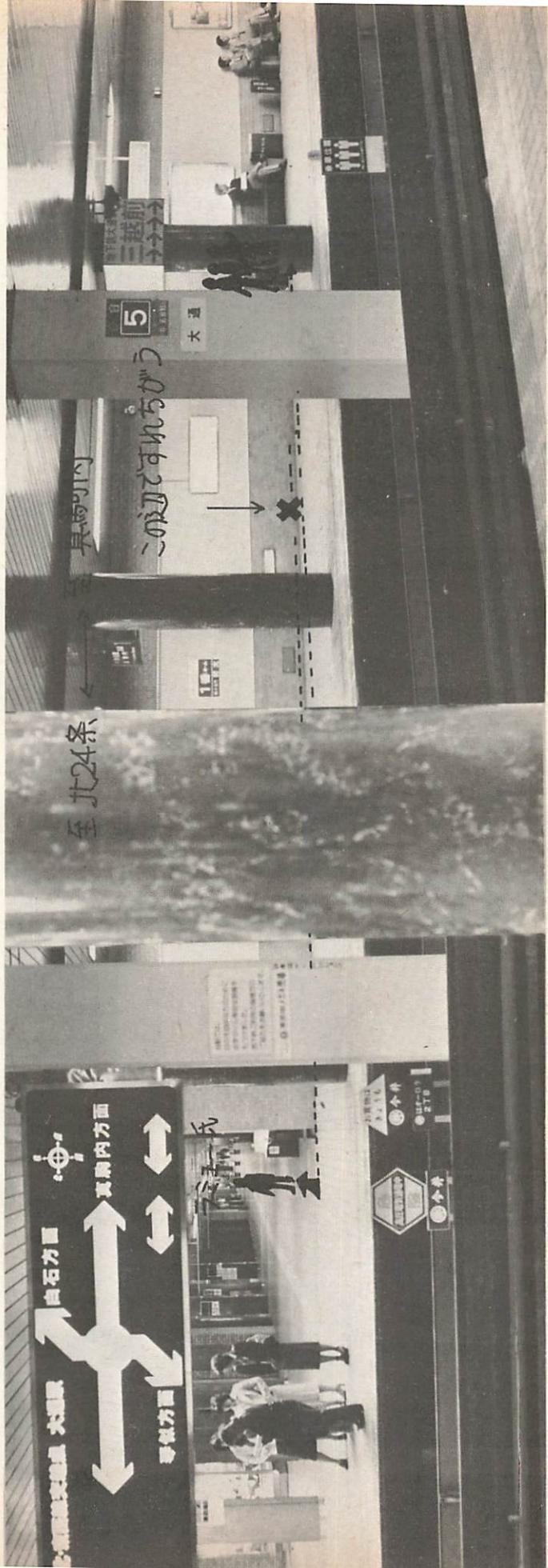
ただ、他の多くの惑星の人々がそれを求めて殺到しているので、争いを避け秩序を保つために「宇宙連合」が組織されています。有名な「ブラックメン」。彼らは「宇宙連合」の人物で、地球の危機を信じない人たちを信じさせるために活動を続けているのです。

### ●太陽にのみこまれる

——異星人は地球の危機を知らせに来ているのですか。

中 そうです。たとえば「地球人の悪い想念で太陽系内の天体が全部ブラック・ホールにのみこまれる」という説がありますが、それより前に太陽にのみこまれる危険性があるので、そのことを知らせに来ているのです。

地球人の想念波動のせいで危険を招いたのですから、本来ならば地球人が全部の責任を負わなければならないのですが、実際は彼らが必要になって地球の超能力者たちに語っているのが現状です。すでに地球以外の惑星では危険を避けるため、別な太陽系への移動が行われていますが、地球人は全然気



▲写① 1977年10月11日、中野さん、山本さん、有名なUFO研究者K氏の3人は、地下鉄・大通駅構内でラミュー氏とすれちがった。

がついていません。

このことを皆に伝えてくれ、とラミュー氏に言われました。

●異星人は「オーラ」を見分ける

——宇宙連合の人があなたをコンタクトイヤーに選んだ理由は。

中 自分で言うのもなんですが、彼らは「オーラ」で見分けているらしいのです。

彼らの宇宙船の中には地球人全員のものもあって、オーラが記録されているので、それをもとに判断しているのだと思います。

オーラは一種の生命体で、超能力をもっているとき、薄くなればなるほど死に近づきますが、彼らはその大きさを自由に変えることができるらしいのです。オーラを小さくして超能力を消すことも、大きくして超能力をつけることも可能なので、「超能力を悪

用している人がいたらすぐに消すので安心してよい」と言われました。

●別な太陽系への移動は完了した

——話をもともとして、別な太陽系への移動はどのくらい進行しているのですか。

中 言っていないかどうかわかりませんが、聞いたところによるとすでに移動は完了し、残っているのは地球の担当

者だけということです。

——担当者の人数は。

中 地球上の人間の133だそうです。——そうすると地球人の3人に1人は異星人？

中 そのへんのところはよくわかりませんが、たぶん生まれ変わって来た人も含めてでしょう。

それから、アメリカでUFOによる誘拐事件がありますが、ラミュー氏に



▲写② 中野さんが女性宇宙人とコンタクトしたという北24条駅近くの喫茶店「ニューしなの」

言わせると、そういうのは担当者だけを連れていっているということです。ただし、ちょうど現場に居合わせた地球人を連れて行ったこともあるそうです。

また、彼らは地球にしばしば着陸しますが、そのときはリーダーにひっかからない低空のコースと、人気のない場所を選びます。もし着陸しているところを大勢の地球人に見られた場合、何をされるかわからない、という判断のもとでそうしているのです。

●努力しない人は死んでも甦らない

——異星人たちは、知らせるだけでなく、地球を救うために来ているのですか。  
中 そうです。地球上にいる異星人も

地球救済の目的で来ているのです。

「もし地球が危いといったときには、彼らの天体全部の人材を集め、地球上へ来て救ってくれる」とラミュー氏は言いました。

けれど、他の天体の人たちだけにまかせてはいけません。「何もやっていない人間が他の天体に行っても同じことをくりかえすだけだ」と言っていますから、もしかしたらそういう人たちは救助されないかもしれませんよ。

そういうえば、このようにも言っていました。「最後まで努力しない人は、死んでも甦らない。一生そのまま地球に残るか、残る前に破滅して、その後は全く死んだままの状態で滅びる。意識を高めるだけでなく、実際に行動しなければダメだ」

●超能力開発の必要性

——地球人が何をすべきか聞いていますか。

中 ええ。「悪い方に超能力を使わないで、自分たちが住んでいる地球なんだから、それをなおすように努めなさい」と言われました。

また「超能力を開発した方がいい。どうやって開発したらいいかわからない場合には、スプーンでも何でもいい場合には、それを例の金属II念力増幅器のように思いこんで一生懸命念じなさい。そうすれば超能力がきます。だんだん慣れてくれば、念を送ってみてそれがどう変化するか……」など具体的なことも教わりました。

——中野さんたちは能力を高める努力をしているようですが、他に日本でそのような努力をしている人たちがいますか。

中 日本の某地区でもやっているそうです。地球人が努力しても地球が救われなければ、異星人は見なおして助けてくれるでしょう。

——現在、地球の危機はどの程度進んでいるのですか。

中 それについて彼らははっきりと言いませんでしたが、私はスレスレの時期ではないかと思っています。最近異常気象なども起こっているし……。

でも、今から努力を始めればまだ間に合うと思います。

——ほかに教えられたことは?

中 ありますが、あとは「みんなにしゃべらないほうがいい」と忠告された事柄やプライベートな問題などです。

言いたいことはほとんどすまみしたので、最後に異星人たちが地球から得たというある地球の格言を紹介して終わることにしましょう。

その格言とは……。  
「夢を持って、夢をつくれ」

〔追加情報〕

異星人とのコンタクトは取材後も続いているようだ。編集部にも新しい情報が入っているのです。そのうちのいくつかをあげてみよう。

まず10月10日には、中野さん、加藤さん、山本さん、Tさんの前に女性の異星人が姿を現し、翌11日には、中野さん、山本さん、有名なUFO研究者K氏の3人が地下鉄「大通駅」構内でラミュー氏とすれ違ったという(写①)。

そのほか、中野さんが女性の異星人とコンタクトしたという喫茶店の写真(写②)が送られて来たのでそれも紹介しておく。

さらに11月27日には、中野さんがレポートする様子を山本さんが目撃するという事件も起こっている。

1941年1月6日午後3時半、大きなオーバーを着た背の高い人物が、ニュージャージー州プリンストンでタクシーを降りた。嵐のためいつもより早く訪れた夕闇の中を、彼は風にさらって歩きはじめた。妙な黒い箱を大切にうにかかえた彼は、マサチューセッツ15番地でベルを鳴らし、訛りの強い英語で家政婦に話しかけた。家政婦は彼を居間に案内した。そこには暖かい火が燃えていた。彼女は彼の重いオーバーと雪でしめった帽子を受け取り、ウイスキー入りのコーヒーをすすめた。彼

●●●問題レポート

ジェリー・グライムズ

がうれしそうにコーヒーをすすっている、階段の上に1人の弱々しい内気そうな男が現れて会釈をした。

こうして、アルバート・アインシュタインは書斎で来客と対面した。

彼もウイテルム

・ライヒ博士の評判は知っていた。オーストリアに生まれた彼は、ジークムント・フロイトの同僚で、精神病学、科学、歴史、社会学などに関する著作で世界的



◀態度を豹変させたアルバート・アインシュタイン。

に有名だった。彼は共産主義を拒否して同輩から迫害されたし、ヒトラーが政権の座についてからは祖国から亡命もした。だからアインシュタインは、

彼を失意の人のつもりで迎えたのであ

る。ところがライヒは、豊かな生活をしていられるに精力に満ちあふれていた。彼の身のこなしはまるで運動選手

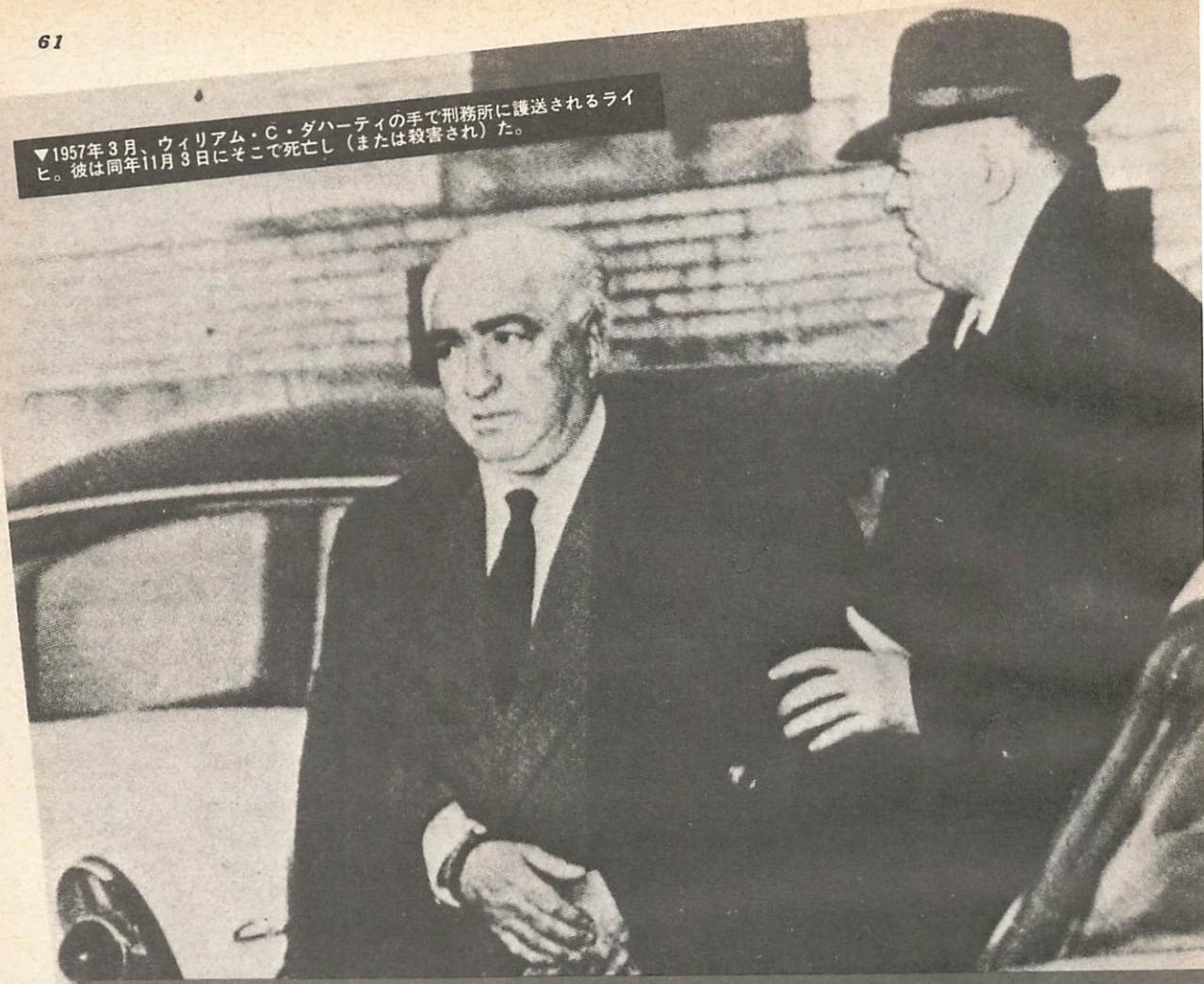
●精神病学、歴史、社会学などの著作物で有名なライヒ博士は、放射能に対する防御装置を發展させ、ガン治療にも画期的な道を開いた。

た。が、博士の身边に黒い触手を伸ばした政府の見解では、研究の真の目的は、UFO撃墜のための兵器の開発にあったというのだ！

|| 人里離れた砂漠地帯でオルゴネ・エネルギーの研究に没頭した男 ||

UFO撃墜装置

▼1957年3月、ウィリアム・C・ダハーティの手で刑務所に護送されるライヒ。彼は同年11月3日にそこで死亡し（または殺害され）た。



# ウィルヘルム・ライヒ博士の

のようで、肩はレスラーのように幅が広くて筋肉が盛り上がっており、小さいが表情の豊かな目はがっしりした額の下でビヨン燈のように輝いていた。しかし、話を始めるとアインシュタインは、ライヒが示す強烈な肉体的・知的精力にもかかわらず、彼が優しさと上品なユーモアにも恵まれていることを知った。

しばらくとりとめのない話をしたあとでライヒはアインシュタインに、電灯を消してよろい戸を下ろしてくれ、と頼んだ。目が闇になれるとライヒは彼の例の黒い箱を手渡し、小さな穴をのぞいてごらんさいと言った。

数学の大天才は物珍しそうに、でも疑わしそうに目を細くしてのぞきこんで、ギョッとした。無数のホタルのように、火花が明滅している。

「驚いてはいけません」  
ライヒは強いドイツ訛りで彼を安心させた。

「あなたがごらんになったのは、物質から開放された原始の前原子エネルギーな

のです。これは全宇宙に充満した宇宙エネルギーで、人類の生き方に革命的な変化をもたらし、地球を天国にすることも可能なのです！」

ふたたび電灯がつけられ、ライヒはノートブックにいろいろな数式を書き並べた。彼はそのエネルギーをオルゴーンと呼んでいた。自分はこの不思議なエネルギーを集中する装置を発明した、と彼はアインシュタインに語り、その集中装置の付近の温度が周囲の大気の温度より常に高いことを示す記録を出してみせた。

興奮したアインシュタインは、2人

の母国語であるドイツ語で話すようになった。

「ライヒ、このメモが真実ならあなたは、物理学界に爆弾を破裂させましたぞ！」

2人はそれから5時間も話し合い、アインシュタインは、もしこの理論が有益なものであることが判明したらこの発見を学界に紹介するよう彼の特権を利用してライヒを援助する、と約束した。

だがほんの数日後、アインシュタインは態度を変えた。彼はライヒに手紙を書き、助手の1人が彼の理論に欠点

があることを発見したので自分ほもはや彼の理論に興味を失った、と言ってよこしたのである。

アインシュタインはなぜ、あれほど興奮した新エネルギーに興味を失ったのだろうか？

フロイト流に言えば、「ライヒが物理学界に爆弾を破裂させた」かもしれないと語ったとき、アインシュタインは口をすべらせたのではないか。フランクリン・D・ルーズベルト大統領に、ドイツの科学者たちが原子爆弾の研究をしている、米國はヒトラーと競争して先に原爆を完成すべきだ、と手

紙を書いた1939年以来、アインシュタインは原爆の研究に関係してきたのである。疑いもなく彼はきびしい機密保持の要求にしばられており、ライヒの発見のような新理論の存在を知ればただちに報告することを求められていたのであろう。

プリンスストン訪問は誤りだった、というのは、その後ライヒは常に政府の監視のもとに置かれるようになり、やがて訴追され、投獄されて死を迎えるからである。

だが、UFO研究に基づくその後のライヒの新発見が、アインシュタインがルーズベルトをせきたてて完成させた原爆の放射能に対するただ1つの防御装置を発展させることとなり——同時に有望なガン治療法に道を開いたのは皮肉なことではないか！ この2つの発見を政府が弾圧したのはかなしいことだった。

## 群れを乱して 逃げまどう UFO

1942年にライヒは、メイン州ラングレーの近くの280エーカーの土地にオルゴーン研究所を建設して、オルゴーンと命名した。ある夜、超高電圧の実験を行っていた彼は、普通の航空機とは違う運動をする明るい光体



▲オルゴーン蓄積機は内部に座った者の活力を増加させ、精神を鋭敏にした。ライヒはUFOの動力と同じ宇宙エネルギーを発見したのだろうか。

が夜空に出現するのを見て、首をかしながら。ケネス・アーノルドが「空飛ぶ円盤」を目撃したと発表したのは1947年のことだが、早くも彼は、オルゴーン上空に定期的に出現を始めた物体が外宇宙から来るらしいことを推察していた。彼はまた、その物体は彼が発見してアインシュタインに説明したオルゴーンと同じ動力で推進されているらしいことも理論づけた。物体は、彼が全宇宙に充滿する力から引き出した「自由」エネルギーを発生させる実験を行っているので研究所上空に引き寄せられるのだろうと彼は信じていた。

ライヒはもとも口の堅い人間で、エネルギー源に関しては親しい協力者に対しても秘密にしていたが、あの物体を1、2機「撃墜」したら面白いだろうと語ったことがある。そうすればオルゴーン・エネルギーの発生と制御を完全に理解するために必要な糸口が発見できるのではないかと彼は考えていたのである。

筆者がインタビュールした彼の協力者の1人(匿名希望)は、ライヒがUFOを撃墜する武器や放射能を中和する装置を発見した、と信じていた。どちらも、実験がうまくゆかなかったさいの事故がヒントとなったものである。騒ぎは、彼がアインシュタインに見せた黒い箱を大型化した装置の中に少量のラジウムを入れたときに起こっ

た。ガイガー計数管は気違いのように鳴り出してこわれてしまい、実験装置を納めた金属で内張りをした建物は夜間も光を発して輝いた。協力者の1人は狂乱状態となり、ライヒ自身も発病して何週間も生死の間をさまよった。防護服を着ていた協力者がラジウムを取り出して地下に埋めた。後になってライヒがそれを掘り出してみると、そのラジウムは驚くほど大量の放射能を失っていた。このことは、原爆実験により次第に蓄積する放射能をオルゴーン・エネルギーが中和することを示すものだった。

## 天候制御実験に隠された真の目的

この驚くべき現象はオラヌールによるものとライヒは信じた。オラヌールというのは、オルゴーン・エネルギーが高度に活発化した状態に彼が与えた名前である。彼はまた、オルゴーンとオラヌールは医学の面でも役に立つと信じていた。

1954年にライヒはアリゾナ州ツーソンに50エーカーの土地を購入して、西部に移転した。オルゴーン・エネルギーを利用して雨雲を呼び寄せて天候制御の実験をする、というのが彼の発表した目的だが、筆者がインタビュールした協力者は、それは口実にすぎないと感じていた。その後開発してクラウドバスターと命名した新兵器を使用してUFOを撃墜するのがライヒの真の目的だ、と彼は信じていたのである。この目的には2つの面があった。

UFOはオルゴーン・エネルギーを燃焼させるとき周囲から触媒として水分

と酸素を引き寄せる、そしてこの2つの大規模な流出が水枯れを引き起こす、とライヒは信じた。彼はまた、UFOは彼がDORRと命名した有毒廃棄物を排出すると信じていた。UFOに対する防衛兵器を開発することこそ急務である。UFOの内部構造を調査すればオルゴーン実験継続のための突破口が見つかるだろう。人里離れた砂漠地帯なら、軍に邪魔されることもなくUFOを撃墜し、その残骸を調査できるだろう。

前記の助手は、ライヒはすでにその目的を達成し、少なくとも1機(たぶ

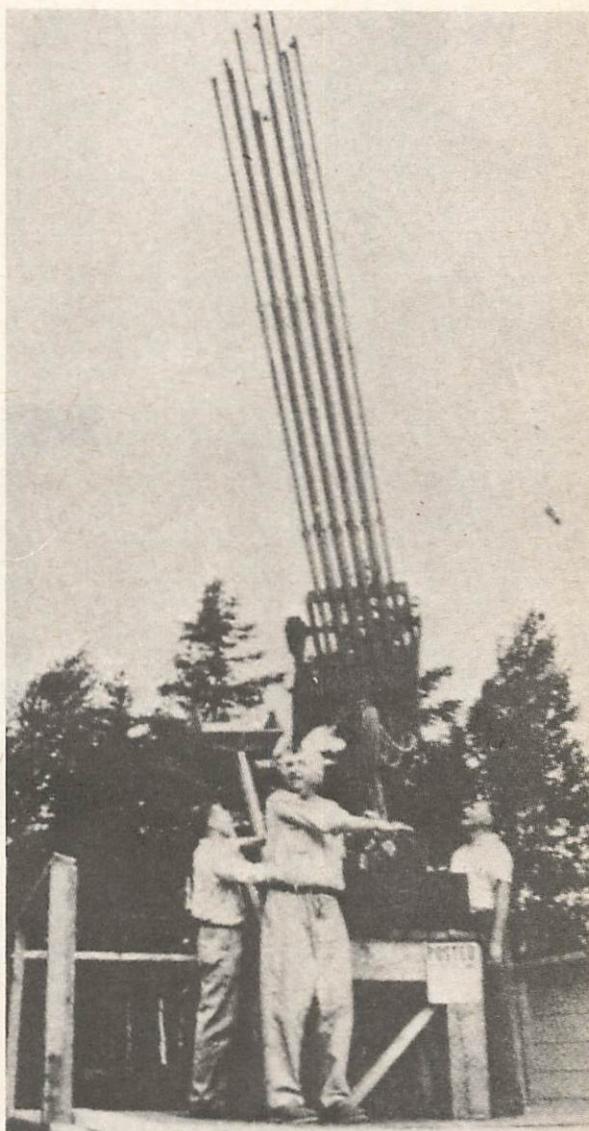
## 空飛ぶ円盤と宇宙人に関する教育誌

# UFO教室

宇宙人とのコンタクトや政界と民間への啓蒙活動をアダムスキーから実質的に引き継いで活動している米国グループからの最新情報と真実の宇宙的生命観の探究

### 第3号 (12月中旬発行)

- ◎UFOと宇宙と人類
  - ◎生命の科学講座の重要解説(古山晴久)
  - ◎重大会談の真相(米国センター活動報告)
  - ◎連載—アダムスキー著「宇宙のバイオニアー」月、火星、金星への旅・第三回
  - ◎宇宙的生命観による変革
  - ◎その他
- 頒価360円 送料140円



▲ライヒのクラウドバスター（対UFO兵器）は公表を禁止された。この威力に恐れをなした何者かが彼の死を企んだ張本人なのだろうか？

ん3機)の円盤を撃墜してその秘密を収集することができた、と信じていたのである。

だが、今もなおライヒの尾行を続けたいた密偵のため、事情は複雑なものになった。極秘の軍事機密の中にリーダー装置がある。リーダーの放射線も大量に集中されれば、UFOの推進誘導装置に影響を与えるものなのだ。1940年代の後半、数機の円盤が墜落して乗員の死体が回収されたのは、たぶんそのような軍の実験の結果だと思われる。乗員が防衛装置を開発する前の話である——フランク・スカリーたちが出版した本の中で述べられている機密もれの話は、このことがもとにな

っているのかもしれない。

軍が砂漠のライヒの研究所の近くに移動して来たので、彼は自分の実験が知られることを恐れてそこを逃げ出した。だが密偵は、彼がUFOと戦う装置を開発したと信じ、彼の実験をこっそり監視しながらも彼のなすままにさせておいた。彼が常に監視されていた理由は他にもある。ちょうど冷戦の最中だった。CIAは、ライヒが、自分から進んでか、あるいは圧力に屈してかは別にして、彼の秘密をソ連に提供しはしないかと心配したのである（事実は、ライヒは最後まで忠誠な米国民であり、反共の信念を持ち続けた）。

政府の密偵もライヒの秘密は知りた

いし、彼の実験を中止させることまでは態度を決めかねていたが、そのうえ彼には法律に違反したような行動はないし、迫害する理由も見つからなかったのである。しかし、東部の研究所で一連の事件が起こり、その結果とうとう彼も攻撃の口実を提供してしまっ

## 実験の過程で ガン治療法 を発見

彼は著名な精神病学者だったが、もともとは内用薬に詳しい医者だったの

で、例のラジウム実験とオルゴーンが恐ろしい原爆放射能を中和する可能性のあることは忘れなかった。それらの実験結果と、砂漠での研究で得た知識をもとにして、彼は動物実験を開始する決心をした。

彼のメモや装置類は後になって、やっと彼の実験を中止させる法的根拠を発見した米国食品薬品局の職員の手でいっさい破棄されてしまったので、その実験の全容は残念ながらよくわからない。彼は多数の職員を使用していたけれども、たぶん彼が予感していた自分の運命と同じ不幸が彼らを見舞ってはいけないと感じていたからだろうが、自分の知識を彼らにそう多くは伝えていない。彼の協力者の一部はもう死亡したし、残る者たちも政府の報復を恐れて、知っていることも知らないと言いつづけている。しかしそれでも私たちは、ライヒ晩年の多くの事件をある程度まで復元できるのである。

たとえば、彼は、アインシュタインに見せた後、大型化してラジウム実験に使用したオルゴーン・エネルギー蓄積機の新しい利用法を考え出し、この新装置を彼独特の命名法によりオラックと呼んだ。

原爆実験が大気中の放射能を危険なほど増大させることを環境学者が気づくずっと前に、ライヒは大気が汚染されつつあることを知り、それがガンの増加に結びつくことを、結果のあらわ

れる数年前から予見していた。彼の説が正しいか誤っているかどうかを証明するため実験を行わなくてはならないと彼は感じていたが、実験のための放射性物質を入手する方法がなかった。そのような実験が世界人類のため絶対に必要だと信じた彼は、代りにX線を利用することにした。その過度の使用はネズミにガンを生じさせることが知られていたからである。

最新型のオラクターと、ラジウム実験の副産物で彼がオルトルと命名した物質を使用して、彼はネズミを奇妙な箱の中に置き、大量のX線で照射した。

しばらく待ったが動物にはガンは発生せず、ライヒは自信を深めた。だがもっと重要なことに、その実験から「副産物」が生じ、彼を心の底から興奮させた。

彼は、放射能実験の1週間前に実験用動物を輸送して来た動物供給会社が欠陥動物ばかり送るので困ると1人の助手が不平を言っていたことを思い出した。ハツカネズミは明らかにビールスに感染していて赤血球が減少しており、2匹は実験の2日前に死んでしまった。だが代りを注文するには遅すぎたので、病気のネズミのため実験結果の一部に誤差が出るおそれはあったけれども、ライヒはしかたなく実験を続

けたのだった。

助手がネズミを箱から取り出して隔離し、ガンの発生を待っている間に、彼は驚くべき発見をライヒに報告してきた。どのネズミも、赤血球数が正常になっていたのである！  
「私がライヒ博士にこのことを報告すると」

と彼は、私が会った協力者に話した。「博士はいつものいらだたしさを顔に浮かべて、それは君の想像だ、と言っているのです。要するに博士は、オラクターが放射能を中和するという説に固執するあまり、私の発見を見当違いの意見だと思われたらしいのです。でも、かんしゃく持ちの先生も、それから10分後には思い直されたらしく、私を事務室に呼び戻して、実験結果をもう一度お聞きになりました。それから、病気の動物がまだ残っているか、とおた

ずねになったので、使わなかった動物は死んでしまいましたと答えました」

心の底では病気の動物を回復させることを考えていたようだが、ライヒはX線実験を続けた。彼は元気なハツカネズミを使って実験を繰返し、結果を待った。結果は同じことで、ガンにかかったネズミは1匹もいなかった！

彼は自分の発見に確証を得るため、一団のネズミはオラクターに入れてX線を照射し、他の一団はふつうのかごに入れてX線照射を行った。確証は得られた。保護装置のなかった対照群のネズミにはガンが発生した——。だが、オラクターに入れたネズミには発生しなかったのである！

その時から彼は、ビールスに感染したネズミが元気になったことでヒントを得た実験に、期待しつづつ没頭した。

▲厚い雲が消え、UFOは突然逃げ始めた。

彼はガンのできた対照群のハツカネズミを一晚オラクターに入れておいた。8匹のガンネズミのうち、1匹はすぐ死に、2匹は目立って元気になり（ただし、後になって悪化した）、3匹はすっかり回復してガンは完全に消滅してしまつた！

極度に興奮してこの装置を人体実験に使用できるという確信を抱いたライヒは、次の段階を考えた。自分の異端的な精神病理論と治療法のため彼は、勢力の強い米国医師会とは以前から仲たがいでいた。だから、この装置を病院へ持ち込むことは不可能だし、実験に医学界の協力を得ることもできない。

米国医師会は急進的なガン治療法を特に毛ぎらいしており、以前にもそのような治療法を調査することさえ拒否したことがある。だが彼は、自分がガンにかかった何人かの医師が自身に新療法を試みたことがあることも知っていた。

ガンによる死亡率が高いのは医師がより進歩した治療法の発見に乗り気でないからではないか、とライヒは考えていたのである。

彼は用心深く計画を進めなくてはならなかった。米国医師会は、連邦政府にも地方政府にも強力な圧力団体を持つており、食品薬品局を陰であやつっていたからである。だが、知識人というより人道主義者であった彼は敢然と







## ●クボタ・ミステリー・シリーズ③

体」がもっと謎である。地上の科学者は当初これを微小な隕石か、あるいは飛行士たちの視神経を刺激する宇宙線効果と考えたが、NASA（米航空宇宙局）の科学者フアールク・エル・バズは否定的見解をとって次のように述べている。

「アポロ16号の飛行士たちが目撃した光る物体は、外部で発生した現象だ。なぜならマティングリーは全然見えないからだ。地球から月へ行った宇宙飛行士のほとんどは、眼を閉しても閃光が見えると言っており、これは宇宙線が視神経を刺激する結果とみてよ

い。しかしマティングリーが見た物は宇宙船外にいて、月面上空を飛んで月の地平線のむこうへ消えた。これは全く奇妙な現象だ。おそらくUFOかもしれない。かなり大きな物体だろう。だがすごいスピードなので、我々が知っているようなタイプの宇宙船ではない。ソ連やアメリカの宇宙船は月面付近でそんなに急速に飛べない」

月面に宇宙人が着陸した形跡はないのにこれはどうしたことか、という記者の問に対して、バズは答えた。

「ああ、でも月面に宇宙人が着陸しなかったとはだれにも言えないよ！ 月面はまだ徹底的に調査されていない

だ。写真はかなり精密に撮影されてきたんだが、その写真でさえ肉眼で見える最小の物体は、さしわたし1・5kmはある。異星人の物体が月面にはないと断言できない」

■月面でUFOを見た！

1972年12月には一連のアポロ計画の最後を飾るアポロ17号が月へ向かって飛び立った。この宇宙船アメリカ号には船長のユージン・サーナンと、司令船パイロットのロナルド・E・エバンズのほか、ハリソン・H・シュミット博士が乗り組んでいた。シュミ

晴らしい様相が展開してくる。

月面に降り立った着陸船の上空を回る司令船のパイロット、エバンズが呼びかけた。

「何を知ったんだい？」

着陸船「月面上のすごい物体だよ、ジャック」

エ「その異常な物はどこにあるんだ？ すぐ簡単に知らせてくれ」

着「次に通過するときに知らせよう」

エ「おお、着地点に輝く物がひとつ見えるぞ。彼らが何かを燃やしたのかも」

管「了解。おもしろいぞ」

エ「おお、信じられないことだ。いまオリエンタルのふちの真上にいるんだ



▲月面上空を飛行するUFO。



▲中央左寄りに白い棒状の物が空中に浮き上がり、黒い影が見えている（アポロ12号司令船から撮影）。

ットは特殊な訓練を受けた科学者である。目指すは『静かの海』のふちに近いタウルスシリトロウ溪谷である。

美しくも不気味な月面の荒涼たる光景が、次第にズームアップして、宇宙船の窓から見る乗員たちの眼には、まるでSF映画の一場面のような素

◀「白い矢印が示した部分は人工のダムだろうか？  
な現象である（アポロ12号司令船から撮影）」

自然の産物にしてはあまりにも不思議



が、下を見たら、また閃光が見えたんだ」

管「了解。わかった」

エ「小川の端の所だ」

管「また確認するチャンスは？」

エ「オリエンタルの東側だ」

管「ウォストーク（ソ連の宇宙船）じゃないのか？」

エ「絶対に違う。地図でその位置を確認する必要がある！」

ソ連の宇宙船がアポロ17号より先に月面に到着して、アメリカの宇宙船に閃光で合図をしたとは、まず考えられないことである。到着していたとしても気づかれぬように極秘裡に行動するだろう。

ヒューストンの管制センターとエバンズ飛行士との交信中、しばしば『キロ』とか『ブラーボ』という暗号が使用されているが、これは月面でのUFO目撃を意味する合言葉らしい。先号のこの記事でも述べたように、NASAはアポロ計画でUFO問題を極秘にして、帰還する宇宙飛行士には厳重な箝口令をした。

「アメリカの宇宙飛行士は全員UFOを見ているが、他言してはならぬと厳命されている」

トップクラスの宇宙開発科学者ゲリー・ヘンダーソン博士までがこのように言っているのだ。結局エバンズは月面でUFOを2回目撃し、シユミットは1回見た。これらは写真やムービー

にも撮られている。そして極秘だとはいつても早晩洩れるのだ。秘密は絶対に保たれないというのが惑星地球の特性である。

### ■謎のドームと

#### 立体交差路を目撃！

さて、月面における不思議な現象のトップにあがるものに謎のドームがある。これは宇宙開発以前から観測されていたもので、1960年代に入るまでには200個以上もの白いドームが天体観測者によって発見されていた。なかには直径200mに及ぶ巨大なものもあり、これらの数は増加しているという。

英国の天文学者H・P・ウィルキンズによると、このドームが最初に発見されたのは1953年である。その年の9月26日に、天文学者のF・H・ソートンが、暗黒の月面に川のような光る物を望遠鏡で観測したが、これはたしかに円型のドームであった。

だがウィルキンズは当初それらを人工的なドームだとは思わず、火山活動で生じた丸い丘だろうと考えていた。地球で見られるすりばち山のように、熔岩の流出で出来たものではないかというのだ。そうだとすれば、かなり昔から観測されねばならぬのに、おかしなことに1953年までは地上の天体観測家のだれも気づかなかつたのである。20数年前からいわば雨後のタケノ

コみたいに月面で急に増加し始めたのだ。ただしアマチュア用の小望遠鏡では発見が困難で、強力な大望遠鏡でないと見えぬらしい。ウィルキンズやパトリック・ムーアは100個ほどのドームを発見したと言っている。現在もこれらのドームは月面に出現し続けており、なかには消滅したのもあるという。

それなら60年代に月面に到着した宇宙飛行士たちもドームを見たか？

見たのだ！ アポロ16号の交信記録をかかげよう。これは月面のデカルト・クレターに静止しているオリオン船から飛行士のデュークが地球の管制センターに報告したものである。

デュー「ここは柔らかな場所だ。ひとつお知らせしよう。ここに空気があってもなくても、たしかに美しい光景だ。ストーン山の頂上の光景——信ずるためには、そこへ行ってみなくちゃだめだよ。あのドーム群は信じられないほどだ！」

管「了解。その煙のような地域をよく観察してくれたまえ」

デュー「ドーム群のむこう側に、構築物が峡谷の中へ伸びており、頂上に伸びているものもある。峡谷の北東側の壁は輪郭が見えない。北東の方にトンネル（複数）があり、北へ向かってそのトンネルが約30度下へ曲がっている」

この驚くべき会話は、月面の人工建造物を描写した言葉以外の何物でもな

い！

だが、何のために、こんなドームやトンネルを建設したのだろう。

アポロ17号になると、もつと不気味な言葉が出てくる。

管「どうぞ。ロン」

エ「了解、ロバート。月の裏側から報告したいのは、双眼鏡でエイトケンの中に立体交差路を見たということなんだ！ 東側にはドームがあった」

管「了解、ロン。そのドームの色と『エイトケンの海』に何かの相違があるか？」

エ「うん、そこには……あのコンドールかコンドーセイカ、コンドルセだったかな、なんとかいいたな——そうだ、

コンドルセ・ホテルは、床にダイヤモンド型のつめ物のあるホテルだ」

管「ロバート、了解。コンドルセ・ホテルだな」

コンドルセというのは月面第一象限の壁平原で直径72kmある地域だが、これをエバンズがユーモラスにホテルにたとえて言ったのだろう。ダイヤのようにきらめく異様な物体を目撃したらしい。

エ「コンドルセ・アルファだ。一同はそこに地すべりを見つけたぞ——そこは北西側の壁の他面とは違うようだ」

管「了解。コンドルセ・アルファの北西壁をコピーする」

エ「その地域はタマゴ型または楕円型だ。もちろん、

その楕円は頂上にかけてだ」

アポロ宇宙船と管制センターとの交信には、

しばしば暗号が使用されている上に、宇宙飛行士たちは興奮しているせいか、地上との交信で前後関係の曖昧な会話を交わすことが多く、交

信記録の文脈を正確に把握する

のに難渋することがあるけれども、驚異的な物を目撃していることはたしかである。

## ■不思議な「トラック」の意味

宇宙飛行士たちが月面上に目撃した異様な物体はドームだけではない。もつと不思議な物も見ているのである。アポロ16号の交信記録をみよう。

オリオン船「オリオンは着陸。……とどれくらい離れているかわからない。ここは南の光線からさざぎらされている平地だ。——アルベド（月面の入射光と反射光との比）がすごく違うぞ。この岩石は別な場所まで来たものだという感じがする。直射光のあたる地面で我が見た所はどこも、アポロ15号の写真がハドレー、デルタ、ラドレーの各山で示すとおりの様子だった」

管「了解。どうぞ」

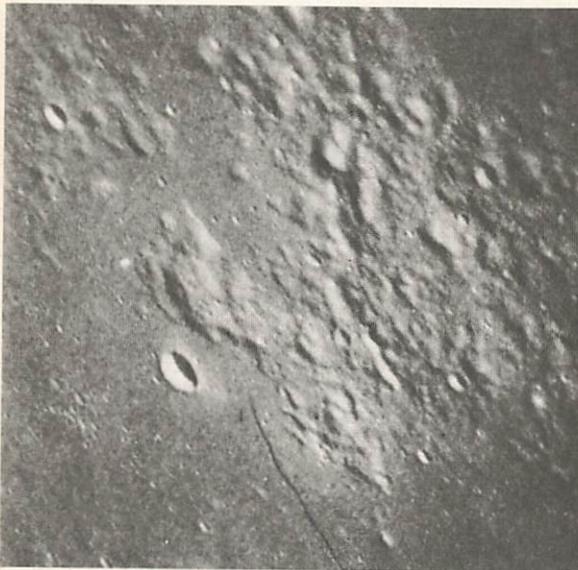
オ「いまストーン山の所で外を見ている。その山腹はまるでいままでだれかが耕していたかのようにだ。海岸——ベンチなど——山腹にかけてテラスが次次とつながっているみたいだ。まわりの等高線に従っている」

管「各テラスに相違があるか？」

オ「ないよ、トニー」

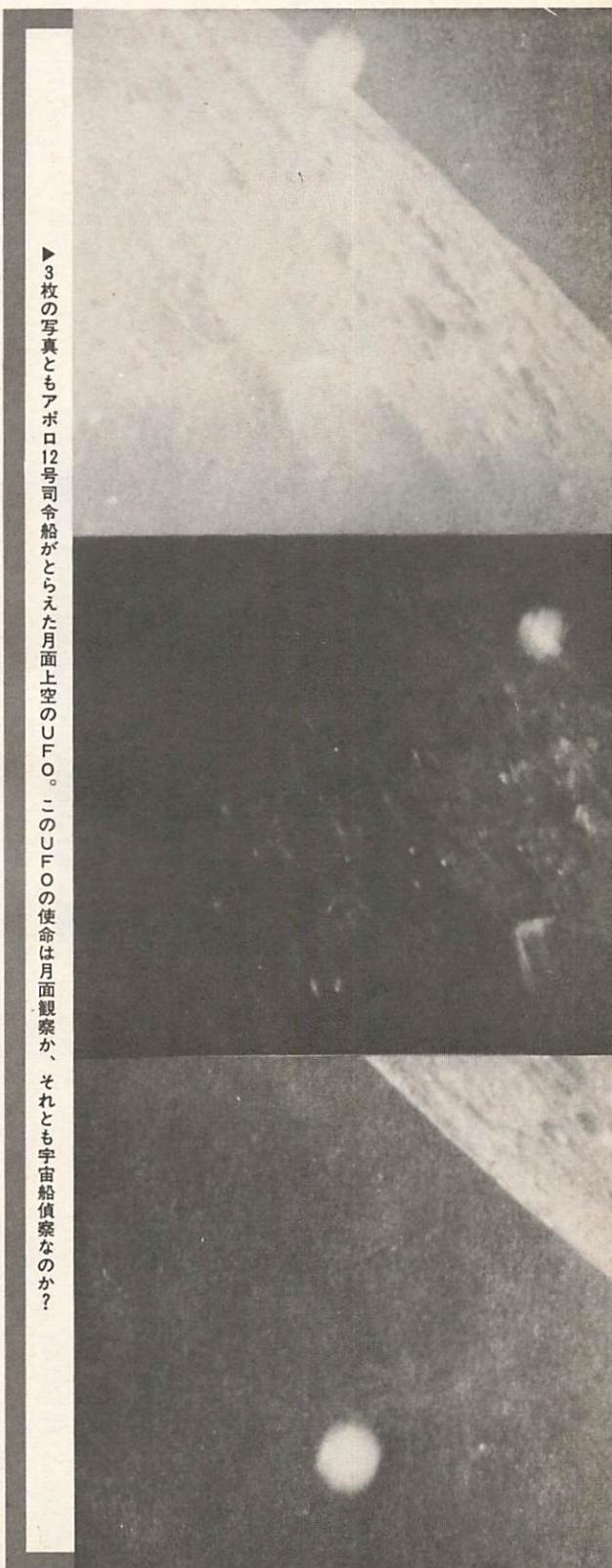
このとき、月を回る軌道にのつていた司令・機械船キャスパーのマティンダリーが伝えてきた。

「ここから別な不思議な光景が見える



▲月面の奇妙なトレンチ。

▶3枚の写真ともアポロ12号司令船がとらえた月面上空のUFO。このUFOの使命は月面観察か、それとも宇宙船偵察なのか？



ぞ。フラッシュライトみたいだ。アンベルの位置かな。別なクレーターは大洪水のように見える。同じ物質が外部へ流れ出ているらしい。この物質が内部へ吸い込まれている小部分も見えるぞ。その物質が堆積しているのか、それとも、その頂上に建設されていたのか——。だが、外側のもっと高い物(複数)の頂上にもたまっているぞ。すごく不思議な光景だ」

着陸船オリオン号のデュークが発した「さえぎられた平地」「海岸」「ベンチ」「テラス」などの奇怪な言葉が次々に出てくるところをみると、驚異的な人工建造物らしきものを見たのではないだろうか。

1972年12月29日に行われた次のアポロ17号の謎の交信記録に、ますます疑惑が深まってくる。

管「了解、アメリカ号。こちらでは地図上で貴船を追跡中」

ア「了解。アル・ブルニが床面に変化をとらえた。その明るさとアルベドの変化だ。まるで水が海岸に押しよせているような模様に見える。南側の小さな地域だ。その水で洗われているように見える部分はアルベドがはるかに低い。ただしその本当の原因は不明だ。構成物質は同じらしい」

このあとUFO目撃騒ぎが続くのだが、それはすでにかかげた。ここで問題になるのは、月面の水の跡である。

ア「いまこの——の上に鮮明な水流の水位マークを見つけたぞ」

司令船「このあたり一带は高い水位マークがある」

ア「『静かの海』の北部だ。マラルディかな？(マラルディは月面第一象限にある直径約38kmの隕平原)我々はいま約20km上空か？」

管「正確には22・4kmだ」

ア「ずいぶん曲がりくねった坂道が見えるぞ。低い平地を走っているばかりでなく、ある場所ではクレーターのふちまで登り坂になっているし、別な場所では丘に続いている。こりゃあ全く人工建造物みたいだ。行ってみたいほどに、はっきりとした人工建造物らしい尾根だ」

こうした建造物らしいものが本当に人工的だとすれば、人間が居住した形跡——足跡、機械の跡などが残っているようなものだが、それが見あたらないのはなぜか、という疑問が生じるだろう。

ところが、実際には月面に砂ボコリの大移動が発生することが確認されており、そのために「人間居住」の痕跡は消滅するかもしれないのだ。この砂ボコリ雲の発生はカリフォルニア大学のJ・J・レニルソン博士と他の1名の科学者が報告したもので、60年代後半にサーベヤー宇宙船が月面上で観測した「輝き」は、静電気で月面から持ち上げられた砂ボコリ雲ではないかという。これはUFOであったとも考えられるが、とにかくアポロ15号は1971年8月1日に不思議な跡を月面で発見している。

スコット「矢じりが実際に東から西へ走っているぞ」

管「了解」

アーウィン「傾斜を降りるにつれて、

「トラック」がある」

管「その跡をつけてみる」

ア「了解。かなり長い。こんな物には

とても勝てないよ。ハドレー山上にまで敷かれてるんだ」

ス「おれもだ。こりやすごい光景だ」

ア「ほんとに美しいなあ」

ス「機構について話してみろ」

ア「こんな見事な構造物は、いままで見たことがない！」

ス「幅がみな一定している」

ア「各トラックの頂上から底まで、こ

うまで同じ高さでそろっているのを見たのは初めてだ！」

この「トラック」というのが何を意

味するのか、さっぱりわからない。英語としては、何かを通った跡、痕跡、足跡、通路、軌道、線路、競争路、無限軌道などの意味があるが、このうちのどれを言っているのか？ 複数で表現し、しかも一定の高さや幅があると話しているからには、同じ形の構造物が無限に続いているかのようにも受けとれるし、あるいは暗号として「トラック」という語を使用したのか、皆目不明である。ひとつだけはっきりしているのは、言語に絶する驚異的な光景を宇宙飛行士たちが見たということだ。おそらく人工的な建造物による途方もなく壮大な「何か」を目撃したのだから。

これはアポロ17号のシュミット飛行士も興奮して叫んでいるのだ。「トラック(複数)が見えるぞ!」クレーターの壁まで続いている」ところがこの交信における管制センターの応答も奇怪な極なものだった。「君の写真はビアースとビアースのあいだをいつているぞ。ビアース・ブラーバ。ブラーボへ行け。ウイスキー、ウイスキー、ロメオ」明らかに暗号を用いて、肝心な点をぼかしている。これではもうお手上げだ。

月は空洞の宇宙船?

いったい月とは何なのか。先にも述

べたように、これは自然の衛星として、地球にとってはなほだ不似合な図体をしている。質量が比較的異常に大であること、表面がアバタだらけであること、クレーターの底が異様に浅いことやその他の特徴を考えると、これは本来、遠い宇宙の彼方から何者かによって内部をくり抜かれたうえ、一種の宇宙船として地球の近くまで持ってきたものではないかというの、ソ連の2名の科学者バシンとシチュエルバコフの月宇宙船説である。

これを裏付ける証拠として、すでに各種の不可解な現象を、アポロ飛行士の交信記録とともにあげてきたが、まだある。月のミステリーはアバタの数に劣らぬほどあるのだ。まず、だれの眼にも見える月面の現象で重要なのは、いわゆる「海」である。これは本当の海ではなく、前号にも述べたように、月の黒い平坦部を初めて望遠鏡で観測したガリレオが、海のように見えたので、そのように呼んだのが始まりである。実際は鉄に似た黒っぽい鉱石でおおわれているにすぎない。ところが巨大なクレーターの底に、これと同じ物質がしきつめられている例もある。径40kmもあるマリウス・クレーターがそうだ。地球から見える側の海で最大のものは「嵐の大洋」であり、この面積は518万平方km以上もあって、地中海よ

★この眼で見よう! 謎と神秘に満ちた雄大壮麗なエジプト・ギリシア・ローマの遺跡群と、奇跡のルールドの聖泉を!

企画 第2回 エジプト宇宙考古学遺跡の旅

行こう! 古代の神々の国へ!

大成功を収めた第1回の中米宇宙考古学遺跡の旅に引き続き、今度はエジプトを主体にまたもすばらしいツアーを企画しました。参加者多数が予想されますので、早目にお申し込み下さい。(定員50名)

- 期間 昭和53年8月12日→26日(2週間)
- 費用 50万円弱(航空運賃、朝食付ホテル代、その他の費用を含む)。12ヵ月、24ヵ月分割払いも可。
- 申込先 〒110 東京都台東区上野5-1-6、ヤマトビル ユニバース出版社ツアー係(140円切手同封お申し込みの方に詳細説明書をお送りします)
- 主要見学地 <フランス>パリ市内、ルーブル美術館、ノートルダム寺院、モンマルトルの丘、サクレクール寺院、凱旋門、その他。<パリより列車でルールド行き>洞窟・聖泉・大聖堂。<列車でヌベル行き>サンジルダール修道院のベルナデットの遺体。<イタリア>ローマ市内、パンテオン神殿、サンピエトロ寺院、バチカン宮殿、その他。ナポリ市内、ポンペイ遺跡。<ギリシア>アテナ市内、アクロポリスのアテナ、ケ、パルテノン各神殿、ゼウス神殿、コリント遺跡、ミネケネ遺跡。<エジプト>カイロ市内、エジプト博物館、ギゼーの3大ピラミッド、スフィンクス、サッカーラ遺跡、ルクソール神殿(これのみオプションツアー)。その他。久保田八郎(ユニバース出版社会長・UFOとミステリー研究者) ユニバース出版社 株式会社社長トラベル日本国際アカデミック・センター ユニバース出版社 エジプト政府観光局
- 同行者 催画 共 企 協

りも広い。『晴れの海』はイギリスとフランスを合わせたぐらいの大ききがある。

問題は、こんな広大な黒い地域がどのようにして形成されたかということだ。これには太古の熔岩流出説や、隕石の激突による岩石熔解説などがあるが、納得すべきものではない。『雨の海』は面積88万平方km、直径1200kmもある。これに大隕石落下説をあてはめれば、数百kmの深さの穴ができそうなのだが、そんな形跡は全くない。地球から見える側の月面の約3分の1を占める海と呼ばれる各平坦部分は大体に円形であり、また、そのうちの5分の4は右側の部分に位置しているのである。なぜこうまで片寄っているのか？

謎はまだある。あれほどに広大な各海の中になぜクレーターがないのだろうか？ 隕石は落下したけれども、その穴を熔岩が埋めたという説もあるが、いったい熔岩というものは88万平方kmもの広大な地域を平坦に埋めつくすほど大量に流出するものだろうか。

ここでバンとシチエルバコフが独特な説を出すのだ。それによると、月面内部から熔岩が流出したけれども、自然の火山活動によるものではなく、遠い昔、月を利用した未知の異星人が内部を掘ったときの岩石を熔岩のようなものに変えて、隕石が月面に落下するたびに、その熔岩を穴に流し込み、

いわゆる海を作ったのではないかというのである。この流動性のセメントに似た物質は、損傷箇所を埋めて固めるのに役立つ。こうして、海と呼ばれる部分が月の球体を形成するのに驚くほど正確に曲面をなしている理由が説明できるのだという。結局、人工的な「舗装広場」なのである。

だが地球から見える側にある広大な各種の海も、裏側へ行くとほとんど見あたらない。けわしい山やクレーターはむしろ多いほどだが、なぜこうも表面側と違うのか？

これについて2人は言う。はるかな昔、異星人が月を宇宙空間で連行したとき、一方の側のみが隕石の猛爆を受けたのかも知れない。その面を補修して地球側へ向けたうえ、比較的安全だった裏側を異星人の居住用にあてたのであるという。

1962年にNASAのトップクラス科学者ゴードン・マクドナルド博士が論文を発表し、その中で月は空洞らしいという説を公開した。ただしマクドナルド自身がこの説を信じていたわけではなく、仮説としてそうなるという程度であった。

たしかに月は地球に比較すると軽い天体である。密度が地球の60パーセントしかないために、鉄分の核がないのか、それとも部分的に空洞なのではないかと科学者たちは考えてきた。しかし衛星が自然に空洞の内部を持つとは

考えられないことである。そこでソ連の2人は、人工的に空洞化されたのではないかというのである。

しかし月の海の上空を通過するわが宇宙船が不思議な体験を持ったのは、ときとして異常に強い重力のために、軌道からはずれて下方へ引つ張られるという現象が発生するときであった。

これは特殊なマス・コンセントレーションによるものとして『マスコン(質量集積地帯)』と呼ばれるようになった。なぜこのような加速や減速が海の上空で発生するのか。特にひどいのは『雨の海』『晴れの海』『危機の海』

『湿りの海』その他で、重力異常の平均値は大体にプラス0・1cm/secを上まわる。しかもこれは主として円形の海でいちじるしく検出されるものなのだ。

そこでソ連科学アカデミーのトップクラス2人男は推測する。もと、ひどい亀裂の生じた個所に人工的な熔岩を埋めて修復した異星人が、その後の修復にそなえて地下に大量の材料を貯蔵したためではないかというのである。

球体としての月のふくらみは異常である。もともと真球ではなく、南方がつぶれて赤道が少しふくらんでいる。もっとも、あらゆる天体の形もいっ加減なもので、真球をなしているものはない。しかし月のふくらみかたについては不可解な点がある。当初これは地球の強烈な引力のためにそうなったの

ではないかといわれていた。だがこれが誤っていることを科学者は発見した。なぜなら月の裏側が表側よりもよけいにふくらんでいるからだ。これは月の内部に強力な力または密度の相違があるからではないか。

ソ連の2人の科学者によると、こうだ。おそらく月の地殻は二重構造になっていて、内核は約30kmの厚さの固い層で、その外側は厚さ平均約5kmの柔らかい薄い層ではないか。海やクレーターが存在する地域では外層が非常に薄くて、場所によっては全然存在しない箇所もあるだろう。したがって内核と地殻との距離は50km内にある。この空間には呼吸その他に必要な空気が満ちているという。

バンとシチエルバコフによれば、月の密度が低いのは、その内部が空洞になっているからだと言っている。月の奇妙な形や大きなふくらみを維持するのには、どんな奇妙な力が内部に存在していたのだろう。残念なことに、彼らはこれ以上語らない。

## 地球より古い

### 月の岩石の年齢

宇宙飛行士たちが月から地球へ持ち帰った「お土産」のなかで、科学者を最も驚かせたもののひとつに月の岩石がある。調査してみると、おそろしく年代が古いのだ。大抵の石は40億年前後のもので、なかには50億年前のもの

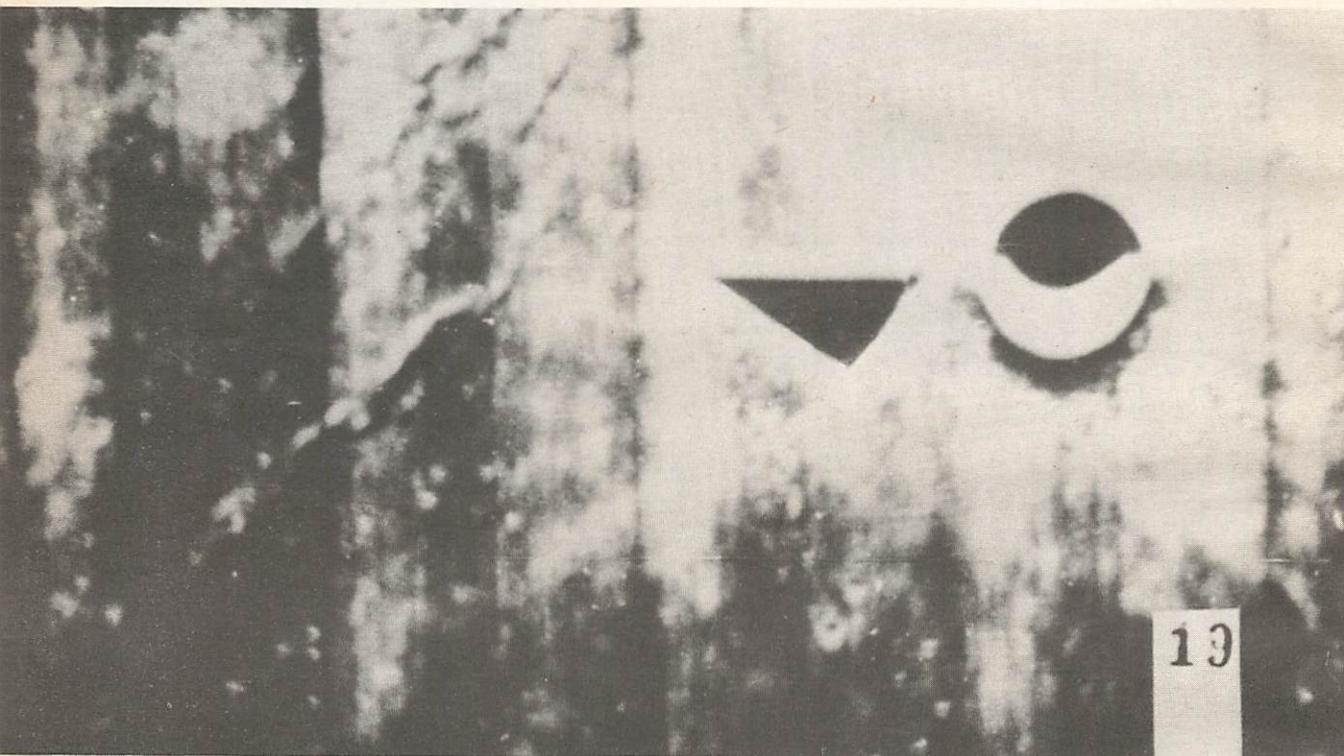
もあつた。ところがアポロ12号が採取した2個の石は、200億年も経過していたという！これはカリウムアルゴン法という測定法で検査した結果、判明したのである。鉱物内に含まれるアルゴンのカリウムに対する割合を出して鉱物の年代を測るのだ。

200億年というこの途方もない年代は、地球や太陽系の年齢より4倍も長い。そうだとすれば月は太陽系外で形成されたもので、それを地球のそばまで持ってきたということになる。

あまりに空想じみてるといって笑う人があればアメリカの科学者ユリー博士を引っぱり出すことにしよう。

実は博士も「月拿捕説」をとなえていた人で、太陽系の生成以前に月が別な場所で作られたという説を打ち出していたのだ。したがって月の岩石が気の遠くなる程の大昔にできたという年代測定結果は博士をよろこばせた。プルトニウム244の核分裂から生じるキセノン同位元素が月の岩石に含まれているということは、これが地球では見られない点からして地球よりもはるか古い証拠になると博士は言っている。

ごろごろと並んでいる月の岩石の年齢が、それぞれ大きく異なるという事実も不思議だが、もっと奇妙なのは、砂の年代が岩石と比較していちじるしく相違する事実である。アポロ12号が持ち帰った岩石の年齢は大部分36億年



13

▲月の裏側にあるこのダムのように見える奇妙な三角形と穴はなにか。人工建造物だろうか？（アポロ12号司令船から撮影）。

と測定されたのに、その岩石の真下の砂は46億年と出た。実に10億年からの差があるのだ。ということは、この砂は岩石が破砕してできたものではなく別な所から来たものではないかと推定されるのである。

とにかく月の成分が地球とはまるで異なる事実からみて、これが地球誕生時にそのボディから飛び出た片割れでないことはたしかで、バシンとシチエルバコフが主張するように、遠い宇宙空間から一種の宇宙船として飛来する途中、隕石をひろいながら進行したとすればさまざまな時代層を通過したと考えられるのである。そのため年代の異なる岩石が分布したのではないだろうか。

アポロ12号が持ち帰った土(砂)の年齢が、同じ場所にある岩石より10億年も古いということは、地球の衛星になる以前にどこかで10億年の時代差を生じたにちがいない。

月の岩石に含まれる元素類については解せないことが沢山あるけれども奇妙なのは鉄を異常に豊富に持っていることだ。しかもこれは地殻の真下に厚い層をなしているのである。月は常磁性体だけで成っているのではなく、鉄のような強磁性体物質が多量に存在していることは、月震計による調査でも明らかになっている。少なくとも長さ1000km、深さ1000kmに及ぶある活性帯が2種類存在しているのだ。



▲月面の奇妙なスジ…これは何を意味するのか？

ン両飛行士が『嵐の大洋』に残しておいた月震計から140 kmの位置に落下したのだが、この衝撃はTNT火薬の11トン分に相当するものだった。

ところが、この衝撃波は実に3時間20分も続き、40 kmも深部に達したことが確認されたのである！

続くアポロ14号のサターン・ロケット・ブースター4段目も、リモコンにより

月面に打ち込まれたが、これはまるで月全体が鐘のように鳴り響くという反応を示したのである。やはり3時間も振動を続け、40 kmの深部に達したのだ。

なぜこうまで巨大な月震が発生するのか。いわゆる地球の熔岩とは異なる性質の物質が「海」に満ちているからではないかという科学者もいる。そこで例の2名は言う。月の内部には人工的な金属性の「船体」があり、その外殻は更に金属性の物質でおおわれているのだ。

アポロ12号が残した自動送信機によって地球へ伝えられたデータを分析した科学者は、月の地表の成分は40 km内部まで同一の結晶性物質であることを確認した。

コロンビア大学のゲリー・レーサム博士は、次のような、月の内部の冷却

説をとっている。「これは流体物がなく、溶解物もない証拠だ。月の中心部は地球と違って冷えており、活性化していないのだ」

月震を起こした場合に謎となるのは振動の長時間ばかりではなく、衝撃波の伝播速度が異常に速い事実もある。「月震波の速度は24 kmの深部までは次第に増大して、次に急速に上昇する。この上昇は高密度の物質に伝わるからだろう。約60 kmの深さになると、速度は秒速約10 kmと推定される」とフォン・ブラウン博士も述べている。いかなる物質がこのような高速で振動を伝えるのだろうか。

### ■月はやはり異星人の基地？

以上の他にも月に関するミステリーは山ほどあるが紙数の都合で省略することにして、ソ連科学アカデミーの科学者バシントンとシチェルバコフの2人が、月を異星人製造の一種の宇宙基地または宇宙船そのものであると主張する根拠を次に要約してみよう。

- (1)月は地球の自然の衛星としては大きすぎて、気まぐれにできた天体とは思えない。
- (2)衛星としてはほぼ完全な円軌道を描いている。
- (3)月面の大クレーターの下が異常に浅い。
- (4)月の赤道面のふくらみが不自然。

ある。なぜこのようなベルトが交差もしないで内在しているのか？ サイエンス・ニュース誌によると、この大ベルトは鉄のブロックのような物質から成っていて、それが無数に埋められているのではないかという。そのような現象が自然に発生するものだろうか。

### ■最大の謎、月の振動！

しかし月に関して行われた具体的な調査で最大のミステリーは、月のボディに発生する奇怪な振動であろう。

1969年11月にアポロ12号は、月面の『嵐の大洋』に強力な月震計を設置した。月の地震は月震と呼ぶのだ。この月震計は地球で用いられている地震計よりも100倍も高感度なもので、人体の感覚よりも100万倍の感度をもつ装置である。

アポロ12号の月着陸船が司令船とドッキングし、切り離されて約8000 km飛行したあと、月面上におかれた月震計から70 kmの位置に激突したのだが、このときの衝撃は地球だったら小微動としてせいぜい2分間記録されるにすぎない程度のものである。しかし月震計はなんと55分間もこの衝撃波を記録したのだ！

NASAの科学者団は仰天した。しかも月震計がキャッチした記録の性質にまた驚いた。最初は小さな衝撃波で始まり、次第に大きくなって、それが信じられぬほど長時間続いたのだ！これは地球で観測される地震波とは完全に異なるものである。

謎はこればかりではない。アポロ13号のサターン・ロケット・ブースターの使用済み第3段を月面に衝突させたとき、アポロ12号のコンラッドとビー

(5)月の岩石は地球のものよりも古い。  
 (6)月は「裏返し」にされたような面だけを地球に向けている。  
 (7)海、マスコ、川の跡など、謎の現象に満ちている。

(8)完全に乾燥した世界のはずなのに、ときおり水蒸気雲が出現する。

(9)巨大な鐘のように長時間、振動を遠距離に伝える不思議さ。

(10)アポロ計画で発見されたデータなどに矛盾が多すぎる。

この他にもまだあるが、ここには書ききれない。

とにかくアポロ計画という人類初の事実により、月のペールははがされて、意外にも人工的要素をさらけ出したうえ、夢とロマンに満ちた神秘の天体は別な意味で謎の対象になった。地球よりも別な天体の人間が関係していたのではないかという憶測が生じたからである。

はかり知れない遠い昔に、宇宙空間のどこから異星人が内部をくり抜いて何らかの方法で地球のそばまで持ってきたのが月であるというソ連の科学者バンソンとシチエルバコフは、一流の科学者である。

彼らの説をあざ笑うわけにはゆかないだろう。

しかしそこまで飛躍した考え方もなくて、月にはすでに異星人が居住して、ひそかに基地を建設していたと推測するのは決してナンセンスでは

あるまい。なぜなら宇宙飛行士たちのほとんど全員が月面付近か月面上で UFO を目撃しているからだ。UFOばかりではない。得体の知れぬ建造物とおぼしき物も目撃されているし、巨大な人工基地を想像させるような奇怪な発言もある。われら UFO・ミステリー狂はこの事実を見のがしてはならない。

「NASA は多数の月面写真を公開しましたが、それらに写っている不思議な光景に対して一般人が関心を示さないために、公開するのをやめてしまったんです」

これは米国の UFO 研究者フレッド・ステックリング氏が筆者に語った言葉である。そうだろう、大衆は大気圏外の事物などに興味はないのだ。

小さな地球という殻の中にこもって、自己の周囲だけを見つめながら、些細な物事に悲鳴をあげて暮らしている――。

しかし空間 38 万 km 彼方に浮かぶあの小さな天体から「何者か」が地球を監視しているのかもしれない。そしてつぶやいているのだろう。

「大いなる宿命を背負いながら何も知らずに生きている哀れな地球人！」  
 その声が侮蔑でなくて同情の響きを帯びていれば幸いである。

(完)  
 (本稿掲載の写真は、日本 G A P 提供)

## 精神と秩序とエネルギー 《7つの質問》

- 宇宙とあなたを支配しているものは？
- すべての存在の背後にあるものは？
- 万物は超自然によって創られたか？
- 精神と秩序とエネルギー、これは意識の一言で説明できるのではないか？――そして、その背後には……
- 宇宙の普遍的意識」というものがあるのでは？
- 意識は死後も生存し続けるのだろうか？
- 人間には未使用の未知の自我の力があるのだろうか？



▼バラ十字会は、長い歴史をもち、宗教・政治団体とはまったく無関係の立場で、哲学的探究を目的としている同人組織です。本会は、幾世紀も保存し続けてきた未公開の英知を、希望者に対して通信教育方式により一般公開する活動を現在、世界63カ国で行なっております。

▼古代の奇蹟とカネ秘として伝承されていることの裏面には、古代人が探究した自然の法則、人間の精神の働きの意外さ、人生の諸問題の対処のしかたなど、ユニークな視点、英知の数々が内包されています。

●詳細を説明した小冊子《人生を支配する》(日本語版)を無料でお送りします。下記にハガキでお申込み下さい。勿論、付帯義務や責任はいっさいございません。なお、教材はすべて日本語になっております。

■申込先=〒165 東京都中野区若宮2-49-16 バラ十字会 日本本部AMORC事務局U-3係

## 子供たちの

## 「才能の芽」をつむみな!

UFOや宇宙のこと、宇宙考古学や  
はるか人類出現以前の歴史、あるいは  
超能力や怪奇現象、超常科学などに関  
する教育は、現段階でもまだまだ日本  
の社会全体の中では異端視されてい  
る。世の中において真剣に考えら  
れていないようである。私はこのこと  
を常日ごろから残念だと思い続けてい  
る。

現在の学問はあまりに現実重視で、  
それはいわば地球上の人類の要求して  
きた「地球の学問」体系に合わないとい  
うことが大きなポイントになっている  
のだからけれど、私は、かならずや  
「宇宙教育」が、この私たち人類の真  
剣な学問テーマとしてとりあげられ、  
子どもたちからその教育が欠かせな  
いものになるだろうと信じている。

「子どものいろいろな能力をぞんぶんに  
発揮させることによって、調和的に  
その人間を豊かに育てる」といったの  
は、有名な近代教育の父といわれる、  
あのベスタロッチ(1764~1827)  
である。彼はスイスのチューリッヒ大  
学在学中に、教育ひとすじに生きるこ  
とを決意し、生涯にわたって、子ども  
の人間性、創造性を重視した教育実践

# 宇宙教育の原点を 探る!

宇宙考古学研究者 高坂克魅

家であった。彼の教育館は、今もアル  
プスの山々を遠くのにぞめる美しい公  
園のような町、チューリッヒに残され  
ている。私は、宇宙考古学者のデニケ  
ンをチューリッヒに訪ねたとき、その  
教育館に足をのぼしたことがあった。  
私は、そこでベスタロッチが、一生か  
けて子供たちの教育に情熱を傾け、新  
しい教育の道を切り開いていった様子  
を回想しながら、私たちも宇宙教育の  
分野で、ベスタロッチのようにならな  
ければ、と心を新たにしたものであっ  
た。

現在の日本で、宇宙教育というもの  
がまったく必要とされず、むしろその  
ようなことは趣味の世界のことで、そ  
んなことより、学校の試験に1点でも  
多くとるような勉強をしない、とす  
められる。そしてそれがよしとされ  
る社会の風潮が宇宙教育が異端視され  
ていることに大いに影響を持ち続けて  
いると思われる。

子供は本来、夢やロマンを自由に抱  
き、それを大いにふくらませることに  
よって幅のある人間に育っていくと思  
う。ところが現実には、例えばUFO  
にうつつをぬかしているよりも学習塾  
に行つて勉強を、とけしかけられる。  
これでは宇宙や怪奇現象などに子ども  
たちがまったく夢もロマンも抱けなく  
なってしまうのは当然である。あるい

▼調布市、「UFOサークル」の部屋。



は、そのような子どもたちの夢とロマ  
ンを一時的に満足させるための雑誌や  
その他、ただおもしろおかしくだけ宇  
宙科学や怪奇現象などを書きまくっ  
て、私腹をこやす「教育者」が出たり  
する。

そういうもろもろの「社会的未発達  
さ」が、宇宙教育が、自立した確固と  
した学問として日本に定着できない大  
きな理由になっていると私は思う。

子どもは、いろいろな興味、才能を  
持っている。それをその個性に合わせ  
て大きく伸ばしていく。それが私たち  
のような、宇宙についての学問にたず  
さわっている人間にも、欠かせないこ  
となのだ、ということをもまず考えてお  
かなければ、と痛感するのである。

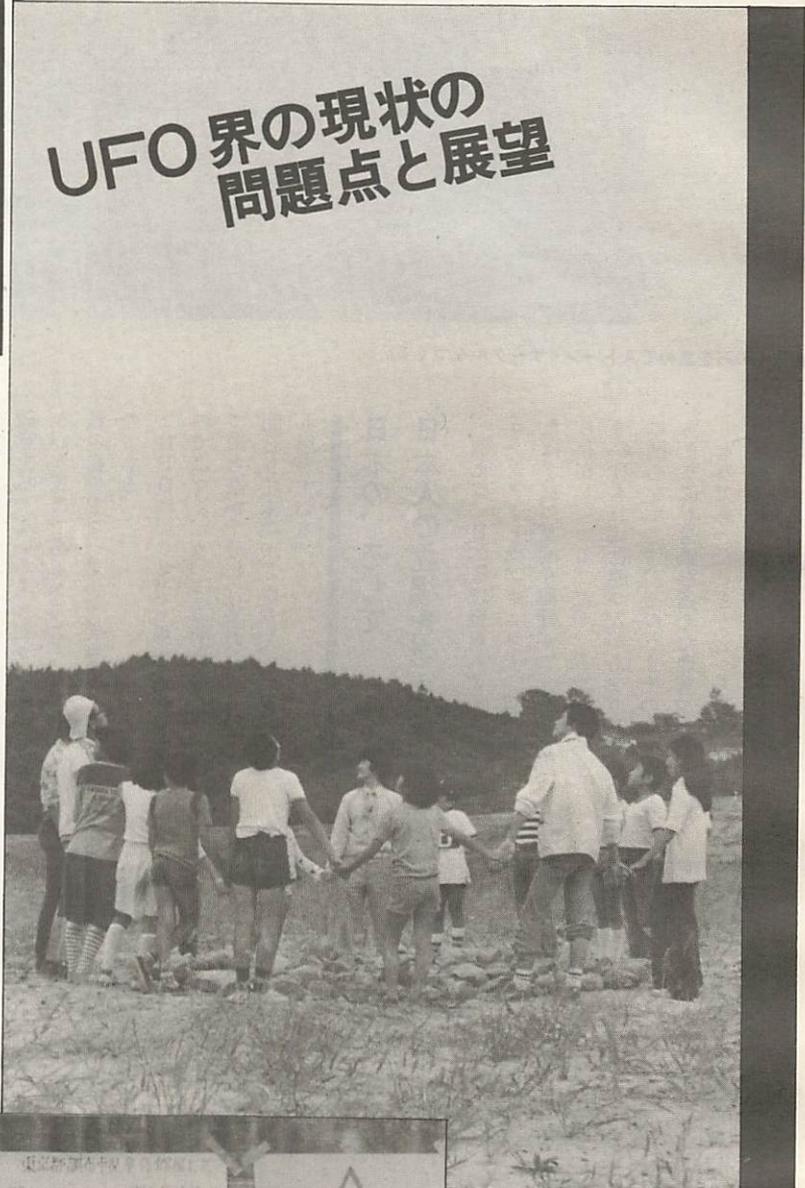
# UFO界の現状の問題点と展望

## UFO研究は現象だけでなく本質的な啓蒙を

私は、この10年間ほど、青少年の宇宙教育を自らの役目と思ってさまざまな活動を続けてきた。しかし正直に言って、その歩みはのろく、成果もこれと

私自身は、この10年間ほど、青少年の宇宙教育を自らの役目と思ってさまざまな活動を続けてきた。しかし正直に言って、その歩みはのろく、成果もこれと

私自身は、この10年間ほど、青少年の宇宙教育を自らの役目と思ってさまざまな活動を続けてきた。しかし正直に言って、その歩みはのろく、成果もこれと



会員なのだ(が)を超え

る哲学がでてこない。

こんな言い方がおかしい

のかもしれないけれど、

宇宙哲学の真実を把握し

ききれない。そういう基本的な

ところで、まだまだ十分な

研究が進んでいない。

あるいは、昨年来日

したフレッド・ステックリング氏が語

▶UFOを呼ぶサークルの子供たち。  
▼「UFO」サークルのメンバー。



したフレッド・ステックリング氏が語っていたように「神は唯一」という考え方が依然として重視されているというような例。たしかに「神は唯一」というのは宗教的にみれば正論であるけれど、神様の世界には、無数の神様がおられる、と私は思う。しかしそういう考え方は認められない。日本の神道では、ヤオヨロズの神々がおられる……と神話にもあり、日本民族の血の中



▲近くの石を集めてストーン・サークルをつくる。

にはそういう考え方が、無意識のうち  
にうけつがれている。欧米人の中  
には、「神は唯一」で他はいっさい認め  
ない、というような、何か狭い考え方  
から脱しきれないというようなところ  
がある。  
そして、日本の研究者の中に、そう  
いう欧米の宇宙哲学にホレこんでしま  
っている人さえいるのである。

私に気になることのひとつは、日本  
という地球の上での、重要な立場を持  
つこの国の特殊性を捨ててしまつて、  
欧米の宇宙哲学一辺倒で、子供達を啓  
蒙しているつもりになっているのは危  
険ではないか、ということなのであ  
る。

この日本のUFO界で、アダムスキ  
ーの宇宙哲学を翻訳され、普及にひと  
役買っているK氏などには、私は常に  
敬意を払っているものだが、ことにそ  
ういうK氏であるからこそ、先ほどの  
私の指摘をご一考いただきたいと思  
うのである。

UFOはいつまでも現象面のみ追  
うのではなく、もっと本質的な面につ  
いての考察が十分になされなければ、学  
問として未熟でしかない、と私はい  
つも思っている。

## 日本の、そして

### 日本人の立場を考える

例えば、日本には金星人オースンと  
コンタクトしたアダムスキー以上のけ  
たはずれに高度な記録が二十数年前か  
ら存在している。だが、残念ながら当  
時の日本では世間の人があまりUFO  
に関心を示さず、そのうえその内容が  
あまりにも常識を超えた理解できかね  
るものであったことなどから、今日ま  
で秘められてきた。当時、何人かの宇  
宙に目ざめた人々が、その事実をより

深く探究しようとしたものだが、多く  
の人々はまったくとりあわなかった。  
宇宙の真相は明らかにされず、わずか  
に某氏による口述書として伝わるにと  
どまっている。

その口述書は、実にすぐれた文体の  
格調の高い名文で、宇宙の中でのこの  
日本の、そして地球人の存在の意味、  
使命というようなものが明らかにされ  
ている。それは私が宇宙考古学の研究  
や地球の太古史の謎を研究する結果と  
してゆきついた結論、例えば日本は地  
球の中心で、天皇陛下は人類のはじま  
りから3千年前まで世界各国を巡幸さ  
れ、教化善導されていたこと。そして  
かつて日本は、神の世界を地球にその  
まま移したような徳の高い礼儀にあつ  
い神のごとき人たちでいっぱい  
であったこと、さらに政治や経済も神  
をいたたくやり方で、地球には万国の  
政法という一つの憲法のもとに、各国  
は治まって平和と統一があったこと……  
：などと同じ結論が、明らかにされて  
いるのである。

私が常に考えている日本や地球人の  
あり方がみごとに浮きぼりにされてい  
る。そういう宇宙哲学を私たちは十分  
に理解し、そして、子どもたちにもぜ  
ひ説明してやりたいものだと思う。  
指導的な役割を持つ人間であればこ  
そ、ひとつの思想にこりかたならず、  
さまざまな領域にまたがって、広く教  
育、啓蒙につとめたいと思うのである。

会員大募集中!

(超常現象研究会)

ULC

■入会費500円 ■年会費1,000円

〒125 東京都葛飾区高砂3-8-15  
アイコーマンション307

神秘の世界に挑戦する!!

神秘の世界に関心のある方ならどなたでも入会できます。

- 死後の意識とは?
- 永遠の魂とは?
- 人間とは何か?
- 人間には超自然的な未知のエネルギーが存在するのか?
- UFO、超能力、失われた文明とは?

神秘の世界のロマンを満載した「ULC」創刊号新年より発売中!

(代表) 小高幹博

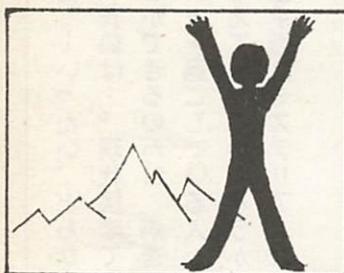
TEL. 03-672-9463  
(電話相談無料)

## 心と体の統一強化

## 超道

## ◆超道師範資格取得講座

●カール・ヘニングラーの指導によりアメリカでブームを呼ぶ画期的運命転換システム「ポータ原理」、大脳生理学、深層心理学による独創的中枢能力開発によって、心と体の統一強化をはかる。



## ●通信講座部 (基礎科3ヵ月)

1日10分の行法練習を自宅で行うだけで充分効果のあがるシステム指導。

受講料:9,000円(スクーリング付)

## ●通学部 (基礎科3ヵ月)

銀座会場で毎月1回直接個人指導を徹底的に行なう。

受講料:15,000円

**申込方法** ハガキに通信、通学の別を明記の上、**超道受講**と書いて申込み下さい。受講料は教材到着後振替又は現金書留でお近くの郵便局からご送付下さい。

## 唯超学会 (UFO係)

〒104 東京都中央区銀座

2の8の17

(中川ビル1号室)

TEL 03 (567) 6718

資料呈:超道資料(通信・通学の別)と書いて、切手50円同封下さい。

## 学問は生きているもの

私は、7年前から公的機関を利用させていたでいて『UFOサークル』を開設し、子どもたちといっしょにさまざまな活動を続けてきた。

これは、世間から偏見をもって扱われがちな、それでいて子ども達の熱々な夢とロマンであるUFOやその他の



▲活動中の子供たち。

宇宙現象を、できうるかぎり子どもたちの立場に立って教え、いっしょに活動していく中から、真実の宇宙教育をしてみたい、という願いから出発したものであった。もちろん、公的機関(いうならば社会的、世間的に)にそういう指導、教育の必要性、妥当性を正しく理解してもらい、親たちの協力も得られなくては、活動の継続はむずかしいものである。

参考までに、私が担当している東京・調布市児童会館『UFOサークル』を紹介してみよう。

市役所の児童教育を担当する係に、青少年の宇宙に対する夢を健全にするために、UFOサークル活動をしたいと申し入れ、連絡業務等を担当する職員一名ほどでスタートしたのであった。サークル員は、親の許可をもらって入会手続きをし、毎月2回、日曜日午前9時半から正午まで(ときには午後まで)話し合いやら研究を続けるの

である。

もちろん親が安心して子どもをサークル活動に出せるように、サークル活動の開会式のときには親も出席してもらい、会報も出したりして情報交換やら、研究結果の発表などをしていく。現在会員は約1000名。

ビルの屋上でUFOの歓迎会を開いたり、スライドや8ミリ映画で、宇宙遺跡の研究や、プラネタリウム見学や博物館などの見学、遺跡での土器ひろいや、ストーン・サークルの見学、あるいは、円盤やピラミッド、天体望遠鏡などを工作でつくったり、未来の地球について話し合ったり、宇宙人の波動をキャッチしようと努力したり……その活動はとりとめもなく、バラエティに富んでいるが、ひとつひとつの活動の中で子どもたちは、特有の夢をひらけ、ロマンを語り合う。そういう中から、真の宇宙についての勉強を進めていくのである。

何ごとにおいてもそうだろうが、学問は常にそのときどきの世の流れとあいまって進んでいく。固定的に学問があるのではなく、よく言われていることだが、「学問は生きている」と思われる。これは、宇宙教育という面においても同じであろうと私は思う。

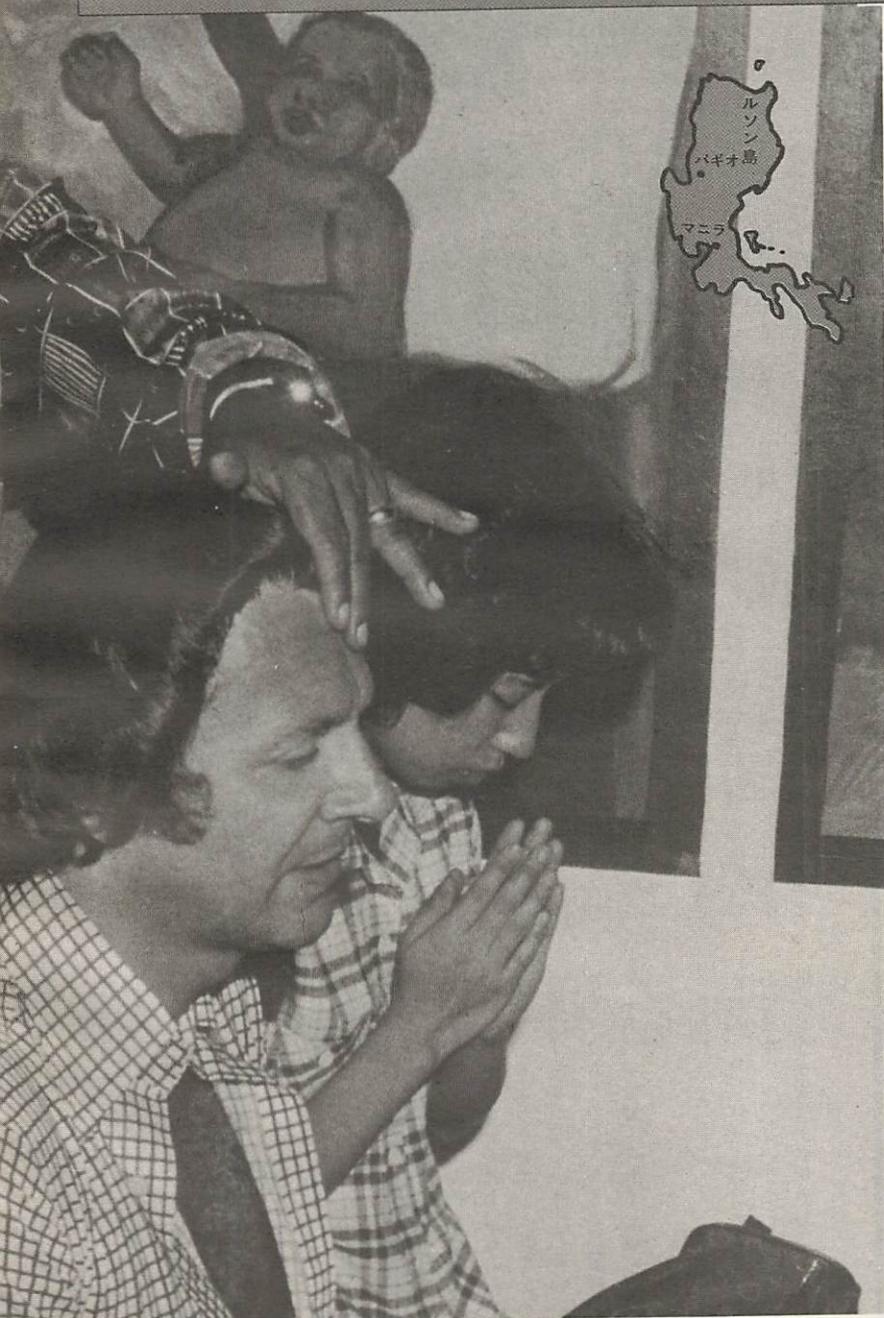
未来を切り開いていく子どもたちが健全にUFOについて、宇宙全般について、あるいは超常現象等について正しく理解していく力を持つようにする。それをになわなければならないのは私たちのような立場の人間であろうと思う。おこがましいけれども『UFOサークル』のようなものが数多くつくられていけば、それも一助にはなると思う。

学問は生きているもの、それを私たちは今、痛切に感じなければならぬのではないか、ということ、私は最後にもう一度だけくりかえしておきたい。

# 「奇跡の力」を訪ねて

—フィリピン・バギオの心霊手術—

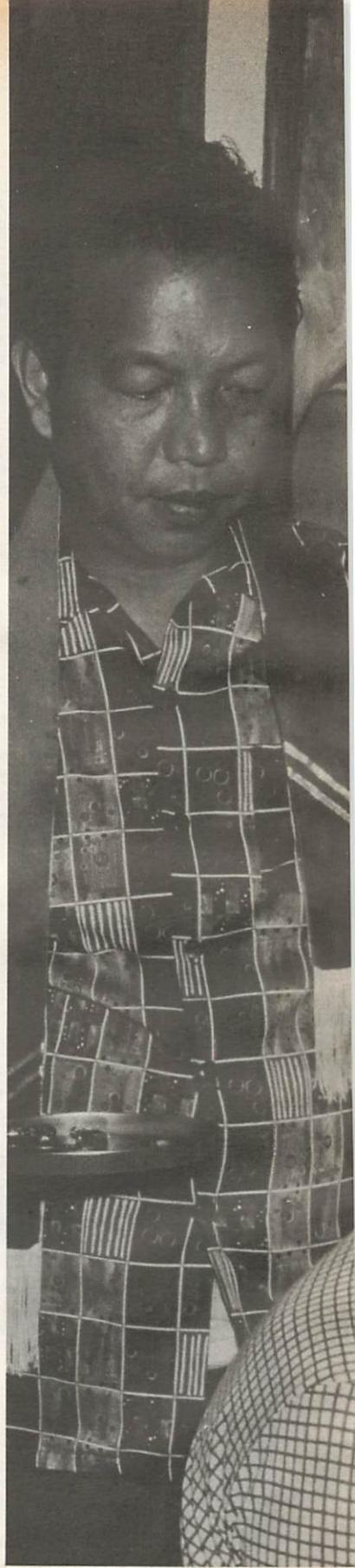
●たま出版社長  
瓜谷侑広



「心霊手術」——— いったい、どんなものなのか？ として、その真偽は…。現代医学でも治せない病気を治すことができるのか？！ 病苦にさいなまれ、重苦しい日々を過ごしている人々にとって、それは希望を与えてくれるのだろうか。世の人々にとって、心霊手術はミステリアスな謎に包まれてい

る。心霊手術のすべてを知ろうと、筆者は心霊手術のメッカ—フィリピン、バギオへと飛んだ。そこで、筆者は心霊手術の様子をつぶさに観察し、さらに自分自身でも体験したのである。このフィリピン、バギオに展開された心霊手術のすべてをここで語ろう。

▲願いごとがかなえられるようにパワーを送りこむ。



## 美しい町

### ——バギオ

私は、長い間フィリピンの心霊手術の調査研究を続けてきた。そのため、何度かフィリピンに赴いた。初めのうちは、私にも少しばかりの疑惑が残った。しかし、バギオ市のトニー・アグバオア師を訪ねるに至って、その疑惑は全く解消したのである。しかも、現代医学を超越した四次元科学的医療—心霊手術—そのものに、ますます確信を深めることができたのである。

バギオ市はマニラから250 km北方に位置する高原地帯の地方都市だ。マニラから飛行機で約50分の距離にあり、マニラ—バギオ間のフライトは毎日、早朝に—便あるだけだ。朝、7時、太陽が昇ったばかりのすがすがしいマニラ空港を飛びたつ。青々とした平原が続く、自然の美しさを噛みしめるよう

だ。やがて、緑の生い茂った山岳地帯を通り抜け、目的地—バギオに到着した。機外に出ると、さつとさわやかな風が吹いた。とにかく、空がきれいだ。どこまでも限りなく青い。空港からのバスから見たバギオの景色は、自然をそのまま生かした広大な公園といった趣きがある。なだらかな丘陵、目にしみる空の色と、木々の緑々。

バギオ市は避暑地として知られ、平常は人口10万人ぐらいたが、4～5月の夏の最盛期には、30万人ぐらになるという。

美しく、さわやかな町—バギオ。ここに世界最大の心霊術師—トニー・アグバオアがいる。

## 手術の成功率を

### 高めるために

日本人は、大体において大変短兵急で、心霊手術といえは、何とか早く手

術を受けて楽になりたいとか、早く自分の眼で不可思議な医療を確かめたいというように、そのことだけに気持ちを集めてしまう。しかし、この心霊手術は、手術そのものと共に、手術の成功率を高めるために行われるいろいろな行事が大変重要とされているのである。

私自身、4日間滞在してみて、つくづく感ずることは、もちろん直接病気を治す手術が大きなポイントになっているのだが、手術のために滞在する4日間というものが、心霊手術の大切な背景となっている、ということである。手術そのものは、「ヒーリング」と呼ばれている。この「ヒーリング」の時間をふくめて、滞在期間中のあらゆる行動、行為—寝起きから食事に至るまで—が、すべて心と身体、さらにその背後にあつて生命体を支えている霊体の浄化と向上のために行われることなのである。この背景があつてはじめて、「ヒーリング」が真の治療

として生きてくるし、治癒率も高く、再発のおそれもなくなるといえる。心霊手術に関する限り、体内の悪い部分を体外に取り出すだけで病気が治るものではなく、人間全体の浄化があつてこそ、病氣も治るといふ考え方なのである。

私の滞在中、ほとんど毎日のように、治療を受けるため、世界各地からいろいろなグループがトニー・アグバオア師のバギオ心霊センターに到着した。各々のグループに対して、その滞在日数に応じたスケジュール表がわたされる。私の属したグループのスケジュール表は、次の通りであった。

#### ・第1日目

午前9時30分—朝の礼拝  
午前10時30分—治療

午後0時 — 昼食  
午後7時 — 夕食

#### ・第2日目

午前7時 — 朝食

午前8時 — 朝の礼拝

午前9時 — 治療

午後0時 — 昼食（中華料理店）

午後1時 — 市内観光

午後7時 — 夕食

・第3日目

午前7時30分 — 治療

午前8時 — 朝食

午前10時 — 朝の礼拝

午後0時 — 昼食

午後2時 — 講義（サニー師）

午後7時 — 夕食

・第4日目

午前7時 — 朝食

午前8時 — 治療

午前9時30分 — 朝の礼拝

午後0時 — 昼食

午後1時30分 — トニー師礼拝堂訪問

午後7時 — お別れパーティ

スケジュール表で、治療とあるのが手術を行うことである。朝の礼拝は午前中必ず行われ、手術の前提とされている重要な行事である。キリストの使徒の像が建つ野外礼拝堂で、「マントラ」の斉唱から始まる。

ババナム ババナム ケーバラム  
 ババナム ババナム ケーバラム  
 ババナム ババナム ケーバラム  
 パーラン ビータ パーバーキー  
 神は絶対です  
 神に全てを捧げます

そうすれば願いはかなえられます

歌と音楽で、まず心を清め、礼拝担当の導師サニーさんの説教を聞く。

「我々、人間は平等に神から神性を与えられています。今や自分の中にその神性を自覚し、神と一体になる時がきているのです。その意味では、トニー師といえども、私たちと同列で、何ら変わることはありません。ただ、神がトニー師を通して、その力を現しておられるのです。神は愛であり、力なのです。愛の実現は、当然人類同胞の一体化をもたらします。人類だけではなく宇宙万物すべてを自らの中に一体化させなくてはならないのです。」

みなさんは、肉体や精神の病を治すために、ここに、来られました。しかし、その病や悩みは肉体だけを対象とした治療では治らないのです。肉体、心、さらに心霊をふくむ全人間性が浄化されることよってはじめて解決するのです。あなたの持つ神性を回復したとき、病も自然に癒えるでしょう。それ故、ここは人々に新しい生命の息吹きを与えるところなのです。」

「ヒーリング」を受ける心構えを整えさせるため、サニー師の力強い説教が続き、祈りの言葉が口ずさまれる。そして、朝の礼拝が終わる。

ニュージブランドやドイツのグルー



▲野外の礼拝堂で、世界各国の人々と手をつなぎ、人類同胞一体化を願う。



▲患者の持ち物にパワーを送りこみ、神の祝福が得られるように祈る。

## 驚異の心霊手術

### “ヒーリング”

プ数十人と一緒に礼拝の朝、各国の人たちと手をつなぎ、人類同胞一体化の感を強めた。これは、教義や教祖を信ずる宗教ではない。すべての人を神の前に一体化する超宗教—宇宙教そのものなのだ。と実感したので。

4日目の午後、私たちは礼拝堂に行き、トニー師による神の祝福を受けるという儀式を行った。祭壇に願い事を書いた紙を供えたり、身につけている物を差し出したりして、神の祈りをこめてもらう。その後、“ヒーリング”が行われるのである。

白い木造2階建の建物の1階に手術室がある。あまり広くはない部屋に手術台が2つ、ロッカー1つ、椅子が2つ3脚置かれただけの簡素な手術室である。術者は、トニー師の他、彼の高弟であるニベスさんという50すぎの婦人、そのご子息のジュディーさんという若い青年の3人だ。この3人が、か

わるがわるに手術を行う。手術中、日本人、アメリカ人、フランス人などの霊能者たちが、被術者の頭に手をおいたり、かざしたりして、プラナを送る。

手術を受ける患者は、2、3人ずつ手術室に呼ばれる。手術台に上る時、通訳を通して、術者に自分の病状を告げ、悪いところを説明する。それを聞くや否や、術者の両の手と指は、患部に入りこむ。一瞬、念ずるような仕草

をするかと思うと、指が動きはじめる。すると、血が滲み出し、すぐ鮮血が流れるが、多量ではない。両手の指は皮膚と肉の中に入りこみ、盛んに動いて

いる。やがて、どす黒い血の塊りが体内から湧いてくるように外に出てくる。まさに、濁血の塊りである。そう

かと思うと、血に染った白い脂肪のように見える筋状のものがずるずると引き出される。それは、助手によって、

コッヘル（小外科用のはさみ）を使って、引っぱり出され、一見、普通の外科手術が行われているようだ。この筋

状のものが医学的に見て、どのようなものかは、私にはわからない。が

何らかの理由で、内臓にたまった老廃物ではないかと思う。これが血液の循環を悪くし、体内の調和を乱す元凶にな

っているのだらう。しかも、このような濁血の塊り、あるいは老廃した病

患組織は、麻酔をかけて行う現代医学の手術では発見できないものである。

私は、特別悪いところはなかったけ

れど、ボディ・チェックの意味で、手術を受けた。私の腹部からも、かなり

多量の老廃物がとり出され、驚いてしまった。指が体の中に入ると思われる

とき、ほんの少し痛みらしいものを感じたが、ほとんど無痛であり、苦痛は全くない。血が流れ出るので、ぬるま湯をかけられているようで、気持ちがいいとさえ思える。

私が滞在した4日間に、5回の“ヒーリング”時間があった。私は、その全部の“ヒーリング”の様子をつぶさに見ることができた。また、同行したカメラマンも“ヒーリング”の様子をかなり克明に撮影したようだ。なにしろ、たくさんの“ヒーリング”の現場に居合わせ、執ように観察したのだから、まちがいない。この心霊手術は本物だ。今だに、心霊手術を認めない人々に思われているような、手品や奇術の類ではない。確かに術者の手が……、指が……、人間の体の中に入り、病患組織がとり出されるのをこの目で何十回となく見たのだから。私は、以前かすかに抱いていた疑惑をすべて、とりのぞかざるをえなくなった。これこそ、まさに「心霊手術」だと確信した。

私の見学した“ヒーリング”の中にたいへん、めずらしいケースのものがあ

った。ある婦人の腹部—おそらく胃のあたりだと思—から、ニワトリの卵

卵くらい大きさの石がとり出されたのである。術者の指が、患者の胃のあ

ら、かなり

多量の老

驚いてし

思われる

感じ

苦痛は

全くない

ぬるま湯

気持ち



▲手術後、きずの跡は全くない。  
▼視力が回復するように手術を行う。  
◀手術中、患部をとり出す。

たりをまさぐっていたかと思うと、指の間から、しま模様のある玉のようなものが見えはじめた。それをすくい上げるように取り出すと、ポーンという音が手術室に響いた。

人間の体から、石の玉のようなものがとり出されたのだ。私はいへんに驚き、それを手にとって見せてもらった。その玉は、カチカチで石のように硬く、表面はなめらかだった。まるで、磨き上げられた大理石にでも触れているような気持ちになる。こんな石が、おなかにあれば、さぞ重苦しいだろうと、つくづく眺めた。「ヒーリング」の後、その患者は、おながが急に柔かく、軽くなったとたいへん喜んでくれた。でも、なぜ、そんなものが体の中からとり出されるのだろうか。まさに、心霊手術の神秘に触れた感がある。

では、心霊手術を受ければ、どんな病気もたちどころによくなり、再発もしないのだろうか。この心霊手術の治療率は高く、治療効果も抜群である。しかし、もちろん治らない場合もあるし、手術を受けて帰宅後、死亡する場合もある。どんな医学、治療にも万能力はないと思う。病気が治るといふことは、万人に備わった自然治癒力が働いて治るので、いかにして、この自然治癒力を引き出し、その働きを活発にさせるかということが、たいへんに重要な点なのだ。心霊手術は、この自然治癒力を活発に、旺盛にするための大きなきっかけをつくる働きをもっているのだと私は思っている。

要するに、手術—ヒーリングを行うべく、術者がその手を患者に触れた瞬間から、手術の間中、術者の手や指を通じて放射されるパワーが、体内の細胞をよみがえらせ、若返らせさせる。その強力なパワーが患者の身体の外から内から、送りこまれるのだ。そして、さらに、霊的な問題を加えて考察すると、濁血、濁毒といわれる老廃組織にいろいろの浮遊霊が憑依しているというところに注目する必要があるのではないだろうか。濁毒に巣喰った憑依霊が病気を悪化させる働きをしているということである。従って、濁毒を体外に出して浄化すれば、憑依霊はその棲家を奪われ、霊障を解消することができるといえる。老廃組織を出すということは、肉体的な次元のものと同時に霊体的なものをも同時にとり出してしまいうことになる。心霊手術によって、端的に、そして確実に身体を浄化を行い、自然治癒力を100%引き出すのである。

ところが、問題は悪い老廃組織を一度とり出してしまえば、もう永久にそれが発生しないとは言いきれないという点だ。生活態度や平生の心がけが悪く、問題が悪く、またいつか体内に濁血・濁毒がはびこってくるのである。悪い想念が病気をつくっていく根本原因なのだ。したがって、生活全体—自らの心や霊を磨くことが、心霊手術によって重要な意味をもつ。

心霊手術の治療率は非常に高いと考えている。おそらく70〜80%ぐらいの治療率だろうと推定する。しかし、この治療の確率は、手術を受ける人が信仰に厚く、霊的な教養の高い場合には、たいへん高いものとなるし、反対の場合には、当然低いものとなる。

心霊手術を受ける際、普通の医学的治療を受けるのと同じ気持ちで、病気を手つとり早く治してほしいという人々の結果は、思わしくないことが多いのである。

## 心霊手術の結果をみる

私がバギオに同行した人たちは、16人のうちの13人が、心霊手術を受けた。13人とも、結果はたいへんに良好である。ここで、数例をあげておこう。

医師から「心筋梗塞」と診断を受けて、働くことを全く禁じられていた、60歳すぎの人が、心霊手術後すっかり元気になり、今でははばりばり働けると喜んでいいる。「胃癌」と診断された人が手術後、病院でレントゲンをとって

▼朝、野外礼拝堂で、サニー師の話を聞く。



もらうと、癌組織がなくなっていると不思議がられたそうだ。「胃潰瘍」とされていた人も、その後、たいへんによくなっていると医師から診断されている。若い女の人で、心臓が悪く、体力もないし、結婚できずにいた人も、手術後、すっかり体力を回復して希望に満ちた生活を送っている。程度の差こそあれ、バギオ同行者のみんなが、快方に向かったのは事実である。とにかく、トニー師の心霊手術はすばらしい治癒率を持っていることは確実なのである。

もはや、心霊手術を奇異なものとしてみる時代は終わったのではないだろうか。

驚異的な力をもつ心霊手術を私は細かに観察し、そして体験したのだ。トニー師の神秘の力を目にして、私はその真髄に触れた。それは、単に肉体的病氣治療だけではなく、霊・心・体の3つ、すなわち人間全体を変革し、浄化させ、向上させていくという意味をもつことだと私は知らされた。

心霊手術が、今日の行詰まっている現代医学を補い、また協力しあって、人類に真の健康と幸福を呼び戻す日があることを私は強く願っている。

現在、トニー・アグバオア師によって、バギオ市の山中に「国際バギオ心霊センター」が建設中である。完成予定である今年の5月には、世界心霊治療者大会が開催されるという。心霊手術が世界中の能力者や学者、研究者によって解明され、その偉大さが明らかになる日が近づいている。その時こそ人類はさらに大きく前進することだろう。

●次号予告●

昨年(昭和52年)12月、前記事に登場し心霊手術の第一人者として高名なトニー・アグバオア氏が来日。本誌とのインタビューに応じて、興味あるお話をいただいた。本誌3月号に掲載の予定。ご期待ください。

各種



洋紙

(御用命には  
迅速、正確、親切にいたします)

# 七洋紙業株式会社

取締役社長 栗田文四郎

東京都中央区八丁堀2-16-5

電話 東京(551)4111(代表)

●ミステリー・トピックス

# ティコスコープ

あなたの超能力を探知する装置



君は超能力を持っているだろうか。遠くから、意志の力だけで物品を動かせるだろうか。

君自身でも、こんな疑問を感じたことがあるだろうか。その答えを教えてください。その装置ができた。ビエール・ジャンナンという人が発明した「ティコスコープ」である。(ギリシア語で「偶然を見る」という意味)

この小さな装置は全くデタラメに動き、白紙の上に動いた跡を残す。もし君がこつちの方向へ行けと念じたら、ひょっとしてそのとおりになるかもしれない。有名な超能力者、ジャン・ビエール・ジラールと同じように!

## ●パリのあるアパートで

昨年7月だった。もう午後といってもかなり遅い。ここはエッフェル塔の近くにあるシックなアパートの3階。そばの道路を行き交う人たちは、そこで何かが起きているなんて、思ってもみなかったろう。だが……。

アパートの中をのぞいてみよう。

かなり広い部屋だが、大勢つめかけているので狭く感じられる。みんな学識豊かな人ばかり。静かに話し合い、議論している。話題はバラサイコロジだ。だが、どうして皆が集まっているのだろうか。

彼らの視線は小さな装置に向けられ

ている。とても美しいブルーをした、コップぐらいの大きさの装置だ。上のほうにいくつか押ボタンがあり、なかなか複雑そう。これが「ティコスコープ」。

電気工学技師のビエール・ジャンナン氏が発明したものである。

その日の午後は、この装置を使って公開実験をするところだった。被験者はフランスのユリ・ゲラーといわれる超能力者、ジャン・ビエール・ジラール氏(彼については、本誌26号「超能力の謎は科学で解けたか」を参照)。全員がテーブルの周りに集まった。

## ●ジラールによる実験

ジラールはティコスコープがなかなか



▲ティコスコープで実験するジラール氏(右)と発明者のビエール・ジャンナン氏。

か魅力的だと思った。ジャンナンも、物体との間に親密な感情を通わすことが大切だとうなずく。

ジャンナンは白紙をテーブルに広げ、その中央にティコスコープを置いた。そしてジラールに、自分の好きな方向に装置を動かそうと念じなさいと言った。ジラールは、自分の方に向かってこさせることにする。上側の面についている押ボタンでティコスコープを作動させた。じつと止まっているかと思うと、急に動き出す。進む方向は突然変化する。まるで小さな動物を見ているようだ。

ジラールは装置の20cmほど上に両手をかざした。数分が過ぎた。すると人々が見守る中で、でたらめに動いていたティコスコープがまるで飼いなされたように思える動きをはじめた。ジラールの命令する方向に従ったのである。本当に驚きだった。装置はついにジラールの方へ向かって真つすぐ進んできた。テーブルから落ちそうになる。あわててジャンナンがつかまえた。これには観客全員が感嘆した。当のジラールさえ、この結果には驚きを隠せなかった。

## ●超能力を探知する

ビエール・ジャンナンは、前にも述べ

たように電子工学の技術者だ。哲学者でもある。でも、数年前からパラサイコロジに熱中している。この分野の権威、レミ・ショーバン教授と共同で研究をしたこともある。

だから、パラサイコロジの科学的な研究が、まだ本当に開始されたとは言えないということ、だれよりもよく知っている。このティコスコープは彼の重要な貢献といえる。

超能力はどうにもとらえどころがない。これまでの科学的研究としては、ライン博士の業績が有名だが、ジャナはこれに不満がある。

ライン博士はさいころやゼナー・カード（いわゆるESPカード）を使って、結果を統計的に処理している。こうした方法では十分とはいえない。超能力はいつもはつきりした形であらわれるとはかぎらないから、というのがジャナンの批判だ。

彼のティコスコープなら、ほんのわずかしか発揮されない超能力でも探知できる。しかも、その記録が一目でわかる形で残るといふ利点がある。

■驚異の電子装置

このティコスコープは、いったいどんな仕組みになっているのだろうか。

この装置をほったらかしにしておく、まるで酔っぱらいみたいでたら

めな動きをする。前に進むかと思えば右に行ったり、左に行ったり。まるで秩序というものがなく、動いた跡は、まさになぐり書きだ。

装置の電源は充電可能な3個のバッテリー。これでモーターが作動し、装置の下側にある3個の車輪が動く。車輪は360度回転するので、どの方向にも自由自在に進んでいく。

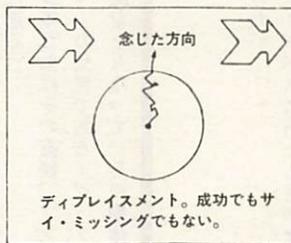
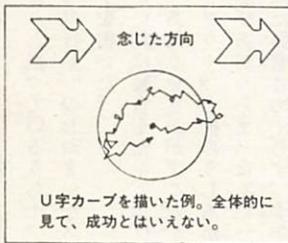
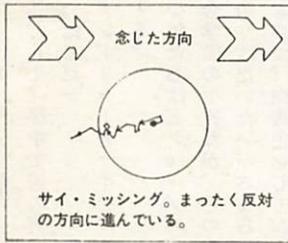
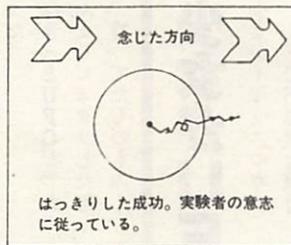
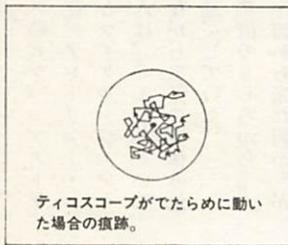
どの方向に進むか、また、その方向にどのくらいの時間進むかは偶然によって決まる。この指令は、ティコスコープの真中におさまっている電子装置

が行う。これが断続的に勝手な電子信号を出しているのだ。

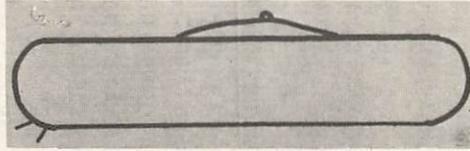
この電子装置で独特といえるのは小さな1個の球である。この球は、モーターで作動する羽根によって押し進められる。そして、じょうご形をした金属のケースに入りこみ、遠心力であちこち動き回る。球がじょうごのてっぺんまではね上がると、その周囲にぐるっと付いているスイッチを押すことになる。スイッチ自体も、その時その時で、でたらめに作動するようになって

大きざっぱに喩えれば、この装置の指令は、カジノにあるルーレットと同じようにして決まるわけだ。

装置のこうした動きを記録するためフェルトペンが取り付けられるようになっていた。紙に書き残された記録はティコグラムという。この記録なら、統計的方法に比べて議論の余地が少なくなる。しかも、直接的な成功だけでなく、意志と正反対の結果や、途中からの変化が一目でわかる。何にもまして、解釈が容易というのが、この超能力探知装置のいい点だ。



## ENGLAND



A

## ① アンソニーとマイケルが見たのは?

イギリスのビショップストンの男子生徒、アンソニー・エヴァソンとマイケル・ジェンキンスの2人は、のんびりといちごを摘みながら去年の夏休み最後の日を過ごしていた。

と、突然柵のうしろから「大気圏外の宇宙から来た何か」が舞い上がった。

「そいつはきつとUFOだったんだ。あんまりビックリしたもんだから、持ったものもみんなに説明するために、記憶には

な落つこととして、夢中で家の方向へ走ったんだ」

と、アンソニーとマイケルは証言する。

この少年たちはビショップストン総合学園の生徒だが、その

「飛行船」はだいたいバスくらいの大きさで、白銀色をしており、てっぺんにドームがあったことも詳細に述べた。

また、彼ら2人は信じない人々に説明するために、記憶には

つきりと残っているうちに、その「飛行船」のおおまかなスケッチを書いた。

「そいつは騒音もたてなければ、あたりをさわがすこともなく、フワッと柵のうしろから

浮かびあがっていったんだ」

未だ興奮さめやらず、少年たちは語る。

少年たちはその後、アンソニーの父親であるエヴァソン牧師をとらえて、その物体が

浮かびあがった牧草地へもどった。すると、

「草の上にもまるで何か置かれていたかのような痕跡があった」

とのことで、少年たちの証言の信びよう性はエヴァソン牧師によって裏付けされている。

この事件はスワンズィー地域の一連のUFO目撃の中での一番新しく、ビショップ地区ではじめてのものである。

## ② 少女がUFOを見た!

2人の少女がイギリスのウェイクフィールドで不思議な飛行物体を目撃した。

エクスペレス紙の読者欄へ、レオナ・バツティという10歳の少女から投書が寄せられた。彼女は自分の住所を明記していないが、飛行物体を見たのは去年の8月15日(月)の午後6時頃、その時友達のエリザベス・フルドちゃんも一緒だった。

彼女は次のように言っている。

「あたしたちが見た空飛ぶ円盤はまわりがギザギザしたノコギリの刃のようだったわ。黄っばい色をしていて、光っていたわ。エリザベスとあたし、はじめはびっくりしてただ見つめていただけでした。でも、そのうち、エリザベスが

「何だか変よ。あたしゾクゾクと寒気がして、ひや汗が出るの」っていうんです。

そうしたら、ノコギリの刃のような所から、何だかよく分からないけれどもまるいものが出てきたんです。

まみたい……」

エリザベスにあたし言ったんです。でも、言ったあたしだつて、エリザベスだつて、それが本物のお月様じゃないこと、ちゃんと知ってたわ。

少ししてから、それはボンヤリとした黄っばい色に変わっていききました。まわりの光の輪は青や緑、黄色や金色、赤などに変わっていったんです。

飛行物体は私たちの見ている前で幾筋もの赤味がかったオレンジ色の光線を発射しました。円形の輪郭の中央部にはタマ

ゴ形ものが半分出ていました……」

しかし、西ヨークシャー州の警察では、そうしたものを目撃したという報告は一切受けていないことを明らかにしている。

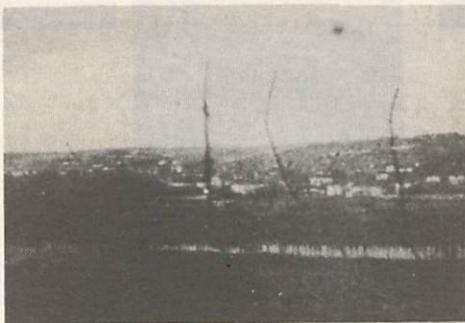
バウトリーの気象観測所のスポークスマンもまた、この事件に関する説明は何らしようとしていない。ただ彼はこう言う

「子供たちの発想は隕石が飛び交うようにユニークだからね」

ポントフラクト地区のUFO目撃者の報告はこの他にも、最近数多く提出されているのだが。

## 情報バック

## 海外



C

## ◎知らぬまに映っていた！

12年前の1966年の冬、イギリス、ペンブロークドックの少年ポール・ウエザローは、その町の記念公園の丘の上からニールランドの方向の風景を撮影しようとしていた。

13歳のその少年はカメラマニアで、ひまな時には必ずカメラを持って出かけることにしていた。だがプリントされた写真が返ってきたとき、彼は驚いた。

公園の風景の中に1個の円盤型物体が空中に写っている。

すぐにその写真を手にしてDPE店へかけつけると、写真専門家のグリフィスさんが調べたうえ、この物体は本物で、手を

加えたものではないと確認した。

この出来事をウェスタン・テレグラフ紙がとり上げると、センセーションが起こった。ポール・ウエザローは世帯を

持つてその町のセントパトリック通りに住んでおり、いままっ未確認飛行体の証拠写真を撮ったと確信している。

「ほかに何を信じたらいいんだ？ あれから数カ月もぼくはあの静かな冬の日に写真を撮りながら公園の高台に立っていたことを考え続けたが、いつも同じ結論に達したんだ。あのときぼくは一人で、他にはだれもい

なかった。正直に言って異常な物は見なかったし音も聞かなかった。だから写真の中に物体が写っていたのを見たときはショックを受けたんだ。12年後のいまでさえも全くわからない」

ウエザローさんが言うところによると、公園で使用したカメラは動く物体を「静止させる」ような製品ではなかったという。

「正直に言うと、あの問題は忘れていたんだ。12年は長いからね。だが今年にはペンブローク州でのUFO目撃があまりに多いので、あの写真をまた引っ張り出して見た」

あれは本当に円盤だったのか、それとも子供たちが投げて遊ぶフリスビーが偶然にレンズにとらえられたのか。

ウエザローさんのすすめにより、この写真をペンブローク州のUFO研究者ランドール・パフ氏に見せたところ、この話は本物のニオイがする、なぜなら統計によると物体を目撃しなくても写真に写る可能性はあるからだ、と言う。

数年前にも、ペンブロークドックの少年が家族の記念写真を撮影したところ、現像後、写真の左上隅に長円形の謎の物体が写っていたという事件がある。

## ◎3機のUFO発見す

イギリスのピーター・ポロ上空で編隊飛行をしている3機のUFOが9月に観測され「1977年はUFOの動きがかなり活発になるであろう」という予測の正しさを裏づけるかっこうとなった。

3機の、大きな葉巻のようなかっこうをしたUFOは高空をものすごい速度で飛行中、ピー

ターボロのドッグスノープ東通り141に在住のクリス・シュネル氏(32歳)によって観測されたもの。

「私は早速デイリー・ミラー紙に電話したんです。すると、デイリー・ミラー紙では「チームズ川の南側でもやはり3機のUFOを見た」という報告があった」と言っていました。

私の見たUFOは、オレンジ・グリーンのかすかな光を発しながら南東の方向へ進路をとっていました」

さらにクリス・シュネル氏は「金曜日(77年9月2日)の午後10時25分ごろでしたか、私はちょうど外出していたんです。私はUFOの光を見て、なんだ

か変な、夢を見ているような感じでした。とてもこの世のものとは思えませんでした。

3機は、最初横一列になって飛んでいましたが、やがて真中の1機が前に出て、三角形の編隊になりました。速度は、私の推測では時速3200kmくらいだったでしょうか……」



E



D

## ⑤ UFO発見ツアーとモザイク

イギリスのウェールズ観光局の休日パッケージ・ツアーのリストに記載されたコースのうち、もつとも風変わりな異様な選択は、ミルフォード・ヘブンのハーブランドストーンにある最新のホテル、サー・ベンフロア・ホテルにおけるUFO発見の週末コースであるという。

観光局はUFOの発見まで保証してはいないが、ホテルのオーナー、モーリン・ダイター婦人は、彼女の所有地がUFOの活発な活動地域であると断言している。

「私自身、実際にホテルの庭から何度もUFOを目撃したことがあります。私はただ単に宣伝

だけの目的でそう言っているわけではありません。7週間程前

でしたか、大学に行っている息子のクリブも一緒にUFOを目撃しました」

ダイター婦人のUFO体験はどのようなものだったのだろうか、彼女は続ける。

「光を放った楕円型の飛行体で、私の視界を横切って、あつという間にセント・ブライド湾の方角に去って行ってしまいました。でも、それほど近い所でなくてがっかりしました」

ホテルの関係者は、

「ある晩、同じようなものを偶然目撃してしまった地元のご婦人はびっくりして逃げ出しまし

たよ」と言う。

田園に囲まれたモダンなつくりのサー・ベンフロア・ホテルは、ウェールズ観光局もバックアップしている秋から春にかけてのパッケージ・ツアーにことのほか力を入れている。

「この計画のもとに、私どもではすでに最初のお客様を、もうお迎えしております。今のところはまだ『UFO発見スペシャル・コース』の方にはご予約をいただいておりますが」

その地域における、不思議な目撃報告の殺到と、ベンブロークシャーでのUFOの観測のための宿泊施設の要請に対応して観光局は、BUFORA(英国

未確認飛行物体研究協会)とその地方での「空の観測」を打ち合わせている。

「基本的には、観測者に対するBUFORAのサービスは、通常の宿泊料金に1日3ポンド追加という形式でおこなわれることになった」と観光局では言っている。

「私どもでは、BUFORAの会長のランドール・パフ氏と緊密な連絡のもと、何とかお客様がUFO発見の良い機会を持てるように取りはからっております。また、私自身の体験からしても、それは不可能ではないと信じております」と前出のオーナーは語る。

## ⑥ UFO、警官に発見される

イギリスで、地方の警官アン・クックが万聖節の夜にストーンブネージュ上空でUFOを見た。1977年の10月30日のことである。

彼が国防省へ電話をかけて問い合わせたら、スタンステッド空港とヒースロー空港で事故があったために、ハートフォード

州上空に飛行機がむらがっているというそっけない回答。

「だがおれは夜間にたぐさんの飛行機が飛んだり着陸するのを見たことがあるが、あの物体はそんなものじゃなかったな」と彼は言う。

事の起こりは午後7時51分である。物体は6ベニー貨ほどの

大きさで、中心部は銀色、外側はかすかなオレンジ色に輝いていた。リットン通りの古い博物館上空へ来て、警察の真上では東から西へ飛んだ。

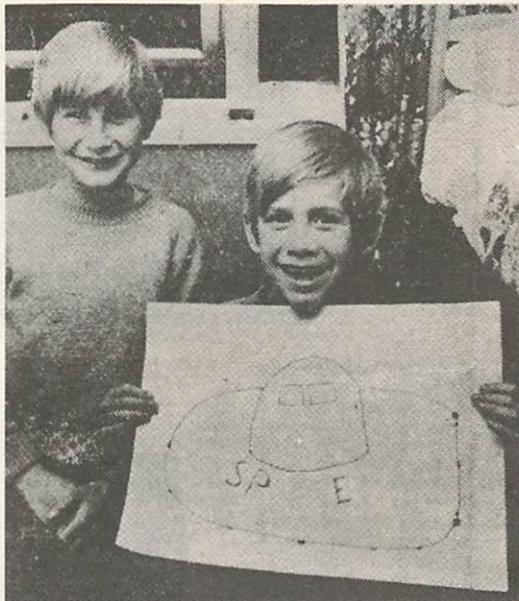
「高度は約1万m、音はハチのようなブーンという音でした。大きさは直径12ないし15m程度。すぐに同僚のポール・ワッ

ツを呼び出したら、彼も空を見上げ、その不思議な物体を目撃しました。

約20秒間見えていたが、ヒューッと飛び去りました。同じ時刻に、ベッドウエルの生徒3名もセントニコラス上空で奇妙な光体を見たと言われている。

## 情報バック

## 海外



G

## ⑥ マークをつけた円盤現わる!

イギリス、ニューベリーに住む兄弟、クリストファーとグレアム・ボーンがターンバイク地のビル建設地で遊んでいた木曜日(77年10月25日)の夕方、UFOが現れた。

恐れた2人はニューベリー、ゲイウッド通りの自宅へ走り込んで父親のジョーフリー・ボーン氏にそのことを告げた。仰天のあまり髪が逆立っている。父親は息子たちに根掘り葉掘り尋ねて、2機の円盤とおぼしき物体の詳細を知ることができた。10歳のクリストファーと8歳のグレアムの話によると、2機

の円盤は銀色で、上部には明かりのついたドームがあり、丸窓もあってその中から青、緑、白、黄色のライトが光っていたという。円盤の上部は回転していたが、下部は動いていなかった。UFOからは気味のわるいブーンという音がしていた。

1機の下部にはSPという文字に似た黒いマークとEというマークがあるのをクリストファーは見たという。大気圏外から来たという登録プレートかな? 円盤の大きさは高さが10m、直径は18mあった。2機の円盤は少年たちが遊んでいた場所から

90m以内に降下し、それから東のリーディングの方向へ消えて行った。

ニューベリー警察は少年たちから詳細な調査をとった。今後同地域にまた似たような目撃事件が発生すれば、少年の記録が役立つかもしれない。

「子供たちは空想力に富んでいるが、あの種の詳細な物語をわざわざあげて私や警察に話したとは思えない。2人はあの夜たしかに恐怖の極に達していたし、あれ以来、夜には外へ出たがらない」と父親のボーンさんは言う。

## ⑦ 輝くマンゴー型の物体

イギリス、ロルベンデンの上空で、マンゴーの形をして強烈なオレンジ色の光を放つ不思議な物体が目撃された。1977年10月27日、午後9時20分にロルベンデン、マニベニー23番地のバシル・フレアーさんが見たのは、マニベニー老人ホームの外を散歩中のこと。

「形はマンゴーみたいで、底の所はオレンジ色に輝いていた。妻は私の言葉を信じなかったが数日後、ロルベンデン・レーンのバブへ入ると、その店主のジェラルド・ホードさんが、週末暇用の別荘をその村に持っているスイスの大使もその物体を見たと話すんだ」

マニベニーの自宅へ帰ったフレアー氏は、そのあと住民のアイビー・チャーチさんに話したところ彼女も同じ夜、同時刻にマンゴー型物体を見たという。「バブのホードさんは、他にも2人の住民の目撃の話をしてくれたが、火曜日には4名の人私の目撃を確認したため、妻も私を信用して、それで警察へ通報に行っただ」

●宇宙人がTVジャック?  
77年12月、イングランド南部一帯で、テレビの定時ニュース番組が突然中断、変わって「アステロン宇宙人の声」とするメッセージが流され、大騒ぎする事件が起きた。  
原因はまだ分っていないが、放送局では、「放送電波より、強力な電波を出すには、相当に高度な装置が必要」と、首をひねっている。

## AMERICA



# ①カーター大統領、UFO再調査を命ず

ホワイトハウスはこのほど、未確認飛行物体(UFO)の調査再開を米航空宇宙局(NASA)に要請した。

しかし、NASAのウイリアムソン特別計画担当官は「個人的な意見だが明確な現象がないのに、調査するのは賢明でない。公費をそのような調査に使うことは疑問だ」とホワイトハウス要請にあまり乗り気でない。

米国では、1947年末にワ

シントン付近で9つの「空飛ぶ円盤」が目撃されて以来、UFOへの関心が高まった。その後、米空軍当局は巨費を投じて、UFO研究の「プロジェクト・ブルー・ブック」を開始したが、「意味のある発見は何もなかった。研究継続の根拠はない」と、10年前、これを打ち切った。

だが、ウイリアムソン氏らが「ノー」の答申をしても、それについて決断を下すのはフロッシ

ュNASA長官であり、最終的にはカーター大統領だ。そのカーター氏は、1973年、UFOを目撃して「初めは青色、やがて赤味がかつた色に変わり、最後は光を放ちながら、飛び去る物体を見た」とのレポートをわざわざUFO研究団体に提出している。

NASA当局は研究を再開する場合の具体的方法として、①UFO目撃者からの情報や資

料の収集、②UFO研究団体の全国シンポジウムの開催、などをあげている。

また、地質、宇宙学者などによる15人の学者チームを編成し、いつでも離陸できる航空機とともにUFO発見の情報が入れば、直ちに現場に急行させるなどのプランも検討されているという。(残念ながら12月27日NASAは再開断念を答申)

# ②NASA(米航空宇宙局)、異星からのニュースを待ち望む

米空軍とNASAがまた闘争を行っている。すこし前にも、この両者はモハーベ砂漠の専有権をめぐる衝突した。今度はNASAによると、マイクロ電波の可聴範囲は異星の知的生物と連絡をとるキイとなるのに、空軍は航行信号で妨害したがっているというもの。

多数の宇宙開発科学者によれば生命を維持する可能性のある惑星をしたがえた恒星の数は莫大なもので、確率は高く、少な

くとも別な惑星の声を聞いて会話を交わせそうな他の文明星が地球の近辺に一つはあるというのだ。

付近にいる知的生物は地球人よりも数百万年も古くて、地球よりはるかに進歩した科学をつかもしれないので、地球人が技術的に生き残るための秘訣を彼らもっているだろうと、多数の科学者は考えている。

「太陽に似た恒星群は太陽よりも数十億年も前に誕生している

ので、我々の存在が一つの典型であるならば、何千年あるいは何百万年も以前に知的社会が存在した可能性があると語るのはジェット推進研究所の大気圏外知性体探査主任のロバート・E・エデルソン。

「あと100年もすればこの社会は完全に消滅するという人もいるので、もし数千年間技術的な社会が存在できるものなら、異星人がそれをなしたとげた方法を発見するべきだ」

一方、米空軍はこの問題で世論をまとめてはいないが、今後8年間に24個の人工衛星を軌道にのせる計画を立てている。これは潜水艦、軍艦、戦闘機、歩兵などの地上の位置を正確につきとめるためのもので、国防省はこれを地上位置決定衛星と呼んでおり、常時地球上のある一点を4個の衛星で監視するには24個の衛星が必要という。

ところが問題が起こった。空軍の衛星から発射されるマイク

## 情報バック

## 海外



K

## ◎ UFOは本当に宇宙から?

口波の周波数帯は、地球人との交信を望む異星人ならまず選ぶだろう周波数帯と同じなのである。これを科学者は「ウォータール・ホール」と呼んでいる。この周波数帯中には水素と酸素が自然の電波信号を宇宙空間へ放射しているの、このようにいわれるのである。

科学者によれば、水がなければ生命は存在しないし、惑星には人間も動物も住めないし、酸素を多量に含む大気や雨がなければ生物は繁栄しない。メッセ

れば生物は繁栄しない。メッセーシを放送できるほどに進歩した異星人なら「ウォータール・ホール」を知っているだろうし、我々と同じ理由でその周波数帯を交信に選ぶだろう。したがってこれは「信号用語」だといわれている。

空軍がこの周波数帯を選んだのは混信がないためで、宇宙科学者たちがこの周波数帯に魅かれるのも同じ理由からである。雑音がなければ、地球へ送られ

てくる異星人の信号をキャッチして、その正体をつきとめるのがずっと容易になる。

空軍は最初の位置決定衛星を来年早々に打ち上げる計画で、24個の衛星によるネットワークは1984年までに完了する予定である。これが実現すれば、異星文明から来る電波信号を追い出してしまおう。

「地球へどくまでにはきわめて微弱になっている信号を検知しようというのに、空軍の衛星

が信号電波を地上に発射すれば、台なしになるんだ」とエデルソンは言う。だがもし異星からの放送だとわかって、相手が地球を破壊しようとしている恐れがあるので応答してはならないと、一部の科学者は警告している。これに対してエデルソンは、異星からの電波をキャッチしても、こちらから応答するまでには相手の電波の分析に数年または数世紀もかかるだろうと言っている。

未確認飛行物体は、確実に大気圏外の宇宙から来たものだと証言が裏付けている——と、UFO着陸跡研究に関するアメリカの第一人者が語った。

イリノイ州エヴァンストンにあるノース・ウェスタン大学のUFO研究センターの準会員である、テッド・フィリップス氏は言う。

「今まで確認されたUFOの目撃には、その全てに共通する3つの特徴がある。第1は、UFOはすべて閃光を発していること。第2は、それらが着陸あるいは接近した地面の木や草は枯

れ、その影響は最低5年間は続いていること。

そして第3は、UFOが上空を通過すると、車のエンジンや家々の電気器具類は一時的に止ってしまふことである。

そして、この証言の一致は、ただひとつの結論だけを暗示している。すなわち、地球は確かに大気圏外の生物の訪問を受けている、という事実である。

さまざまな証言や証拠の研究を通して、UFOの重さはおよそ10トン前後、幅は35フィートくらいだと私は信ずるに至った。

私はアメリカで約1000件に

およぼUFO着陸報告を研究する他、世界の約57カ国における目撃報告をも研究して来た。

そして、信頼できる報告には、必ずそれらすべてに共通する一つのパターンがあることに気付いたのです。

今や世界はもつと真剣にUFOに取りくむべき時なのではないか。これまで多くの人々は、嘲笑を恐れて、目撃を報告せずにいた。科学者たちは、UFOが大気圏外の宇宙から来たものであるという、自らの確信を認めずにいた。

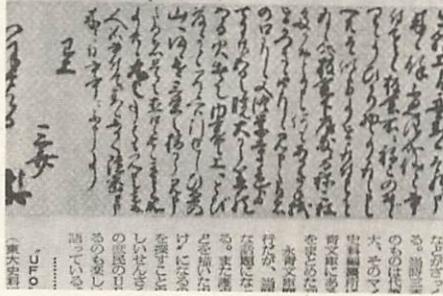
世界中で毎日、約1000件の目撃報告がなされているが、こ

の件数は実際に見た人の件数より、はるかに少ない。人が10人集まれば、大抵の場合、2人はUFOを見たか自認していることだろう。

私はアメリカ政府が近いうち、UFOに関する懐疑的姿勢を捨てるだろうと確信している。また、政府は、年末までにUFOは本当に存在する大気圏外の宇宙の乗物だということを裏付ける、若干の驚くべき情報を明らかにすると考えている。

UFOを見たことがある、と自認しているカーター大統領の勇氣は、きっと政府の重い腰をあげさせるであろう……」

永青文庫古文書から発見



L

# 江戸時代(寛永)にもあった「UFO騒動」

〔東京〕江戸時代にも「UFO騒ぎ」があった？—細川家二代の勇将・忠興(三斎)が息子の越中守忠利にあてた寛永5年(1628)当時の手紙に「江戸と京都で不思議な発光体が空を飛んだ」という意味のくだりがあることが、細川家当主・護貞氏の調べでわかった。UFOの夢を追う「ロマン派」にとっては耳よりな話題になりそうだ。

「光り物」に触れた手紙は2通ある。1通は、寛永5年7月17日付。その一部に「江戸の浅野長重殿(浅野内匠頭)たくみのかみ」の祖父)からの書中であつた話」として「:6月26日之夜、事々敷大成ひかり物飛申候

由候……江戸は寒候で、小袖二ツ着て状をも書候由被申越候、不思議成候候事……」とある。「6月26日の夜に大きな光る物が飛んだそうさ。江戸は異常に寒いらしく、何とも不思議なことだ」というような意味。もう1通は同年8月29日付。こちらは京都での話で「修学寺辺より7月25日之晚、大から笠程なる火出候て、内裏之上へとび、落候かと思候へば、引返しひ糸の山(比叡山)へ帰候を、五条之橋から見申たる者、是も直口之由(直接聞いた)候……」と書かれている。「大きなから笠(直径約1m)程の火が、修学寺あたりから内裏(御所)の

方へ飛び、落ちるかと思つたらこんどは引き返して比叡山の方へ飛んで行つたのを三条の橋から見た者がいて、その者から直接聞いた」というわけだ。これらは、細川家当主・護貞氏が、現在(7月30日)東京・日本橋の高島屋で開催中の「利休・幽斎・三斎の茶道具名品展」(財団法人永青文庫、毎日新聞社主催)のため、永青文庫に保管されている細川家伝来の古文書類を点検して見つけた。

護貞氏によると、これらの私信は現代の電話のようなもの。親から子への話なので、日常の出来事などがざつとばらんに語られていた。当時三斎は目が悪く、手紙そのものは代筆だった。実物は熊本大、そのマイクロフィルムは東大史料編さん所に保管されていて、永青文庫にあるのは、手紙類をまとめた刊行物。永青文庫関係者は「手紙では数行だが、当時の庶民の間では大変な話題になったろう」と推測する。また護貞氏は「当時の風俗などを描いた史料があれば裏付け」になるのだが、そうした文書を探すこと自体困難だろう。堅苦しいせんさくは抜きにして、江戸の庶民のUFO騒動を想像してみるのも楽しいじゃないですか」と語っている。(77年7月30日付、毎日新聞)

## ⑤ 満月の夜空に輝く、オレンジ色の丸い「物体」

〔茨城〕「ええ、そりゃ大きかったですよ。西から東にスーッとね。うしろに乗っていたお客も一緒に見て驚いたんですから」

報が本社取材部に寄せられた。倉持さんの話によると、1日午後10時30分ごろ、同村小張から客を乗せ取手方面に向けて2〜300m走り出したところ、突然、フロントガラスを通して西の空から東の空に1つのキラキラ光る「物体」が流れていくのをみたということだ。目撃し

たのは真上から45度ほど南の空に傾いた地点で、2〜3秒。間もなく東側の林の陰に消えた。倉持さんは、4〜5歳の幼少時代にもやはり、大きく光って流れる「星」を目撃したといい、「ソラ恐ろしい気持ちだ」と気味悪そう。

大きなものを指しているが、大半は尾を引き、中にはそのこん跡が1分間も輝いていることがある(平凡社事典)ということだ。しかし、倉持さんらが目撃した「光」にはそのような尾もみられず、まして当夜の月は満月に近く、星は月の明りに消されて見ることはできなかったと

伊奈村小張のタクシー運転手、倉持敏雄さん(33)から、1日夜にオレンジ色に輝いた丸い大きな「光」を目撃した、との情

味悪そう。「火球」は流れ星の中でも特に

「火球」は流れ星の中でも特に

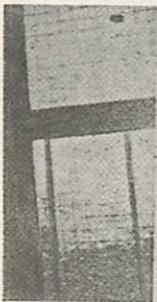
味悪そう。「火球」は流れ星の中でも特に





# 情報バック

## 国内



神戸市生田区、中1男子が撮影したUFOの光。写真には写っていないが、UFOの光はカメラのレンズに写っていた。神戸市生田区、中1男子撮影

R  
い、西の山の陰へ消えました。どなたか同じUFOを見た人はいないでしょうか。  
(1977年9月3日付、神戸新聞夕刊)

**Ⓡ 逆光で真っ黒に見えた**  
〔神戸〕 神戸市生田区、中1男子  
こないだ、UFOの話がイイミミに載ってたでしよう。それで思い出したんですけど、ボクも去年の10月12日の午後4時17分に、大倉山の上空500mぐらいのところを飛んでいるUFOを見たんです。たはなはなで、カメラで撮ったんですけど、逆光だったので、太陽からボールが飛んで来ように真っ黒に見えました。だ円形で、直径は10m以上あるように見えました。ちょっと止まってはすぐいスピードで動くという動作の繰り返しで約1分ぐら

しに出かけた。高ノ森を運んだのは、ここで一番多く目撃されるため。山頂に着くと、会員の2人は早速行動開始。  
『宇宙人の皆さん、どうか姿を見せてください』  
手を高く上げたり、胸の下で指を合わせたり、さまざまなポーズをとりながら、大声で呼び続ける姿は、修行者の一心不乱の祈りとまったく変わらない。数分後――、  
『アッ、あそこへ来た』  
1人が北方上空を指さす。他の1人も『来てる来てる』と相

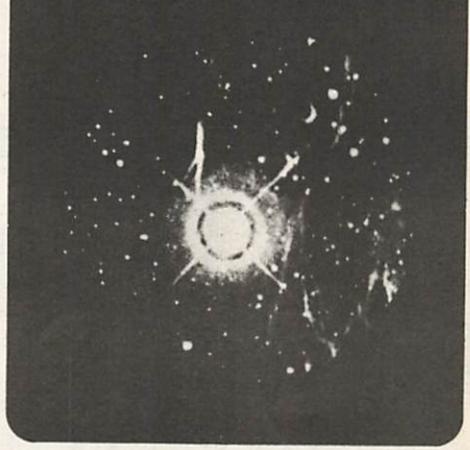


**「スター・ウォーズ」**  
ジョージ・ルーカス 野田昌宏訳 ¥980  
二重太陽が照りつける熱砂の星、タトウイン。今しもその大気圏へ突入しようとする1隻の宇宙船が……と、そのあとからエネルギー・ビームを放ちながら巨大な巡航宇宙艦が襲いかかる！  
大破し、宇宙艦に捕らえられた船内には、戦闘服の兵士にま

づちを打つが、同行の3人には、それらしきものは見えない。説明を願うと、  
『あそこに、円盤型の雲の切れ目が見えるでしょう。あれが円盤の影光(えいこう)。つまり円盤は透明で、円盤から出ている光だけが目に見えるものです』  
たしかに円盤型には見えるがどう見ても、雲の切れ目ではない。  
『UFOは存在を信じなければ絶対に見えませんよ』  
日本大学工学部で現代科学の粋を学んでいる会員、塩田潔君  
じって、1人の美しい娘の姿があった。銀河帝国の王政に抗して立ちあがった共和主義者たちを率いている、レーア・オーガナ姫である。  
宇宙艦からは帝国軍機動歩兵が続々と乗り移ってくる。そしてついにそいつが姿を現した。身長2m、黒いローブに黒い金属長ク。邪気のみならずその姿に接し、震えあがらぬ者はいない。帝国の悪の象徴ダース・ヴェエダーである。暗黒卿の命令に従い、機動歩兵たちはオーガナ姫を探して船内に散った――  
(21)はこう言った。なるほどそのとおりだろう。  
「たしかに他の人から見れば自己陶醉にかかっているかもしれない」  
「UFOを追い、神祕の宇宙に夢を求め続ける彼らこそ『ほんとうにロマンを解する人たち』かもしれない。  
会員は現在11人。高校生、大学生、サラリーマン、主婦など年齢的にも職業的にも比較的幅が広い。  
(1977年8月18日付、高知新聞夕刊)

地球から数万年の彼方、大無辺の大銀河に展開する驚異のサスペンス・ロマン！  
20世紀フォックス映画化(7月公開)  
(角川書店刊)

# 科学ニュース

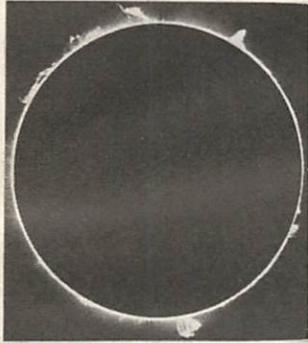


## 太陽の目に見えない兄弟 それはブラックホール？

「太陽には目には見えない『兄弟星』があり、それはブラックホールかもしれない」

米マサチューセッツ大学のE・R・ハリスン教授は、イギリスの科学雑誌「ネーチャー」11月24日号（昨年）でこのような新説を発表している。

同教授の論文によると、太陽は冥王星のあなたに目に見えない伴星を持っている可能性があるという。その証拠としてまず挙げられているのが、変わった振るまいをする5個のパーサー（電王星）である。普通のパーサーは自転速度が



次第に遅くなり、パルス間隔も遅くなりつつある。ところが、この5個のパーサーはパルス間隔の遅くなり方が極めて少なくて、しかも空の同一方向に存在している。

この現象は「地球、つまり太陽系がその方向に近づきつつあるため」ではないか。ハリスン教授はこう考え、太陽系を引き

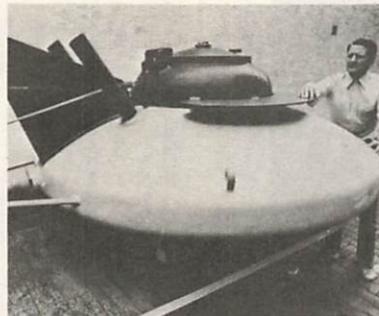
つける天体として、太陽と組をなして回転し合う、目に見えない伴星の存在を仮定している。同教授の計算では、この伴星はもし太陽なみの質量だとすると、約1400億kmほど離れたところがあり、自分の重力でつぶれてしまった天体、「ブラックホール」かもしれない。

## 筑波宇宙センターで 人工オーロラの発生実験

宇宙で人工のオーロラを描き出す実験装置が、11月15日までの1週間、茨城県桜村の筑波宇宙センターでテストされ、地上100km以上と同じような薄い大気の中でオーロラを発生させることに成功した。

この人工オーロラの実験は、「SEPAAC」（粒子加速器による宇宙実験）という名前で、1980年代に実用化するスペースシャトル（宇宙連絡船）上で行う予定にしているもの。日本からは東大宇宙航空研究所の大林辰蔵教授を中心としたグループが参加する。

今回のテストに使ったのは、エンジニアリング・モデルという本番そっくりの装置で、総重量300kg。10キロ電子ボルト



足踏み式で50mまで潜れる

## 13年がかりの手作り潜水艇

まるで空飛ぶ円盤を思わせる奇妙な形をしているが、実はこれ、手作りの潜水艇。西ドイツ・アシュトハイムに住むハンス・ブトゲライトさん（39）が13年がかりで完成させたもの。全長約3m、重さ2・3トンあり、延べ千時間、4万マルク

（約480万円）をついやしたという。これでも水深50mまで潜れるというから大したものだが、動力はなんと足踏みペダル。製作者のブトゲライトさんは、近くカナリア諸島から60日間の大西洋海底探検旅行に出发すると張り切っている。でも、さぞかし足が疲れることでしょう。（写真/AP）

## 初の南極ペビー誕生か

### アルゼンチンの南極基地で

今年早々にも、初の「南極人」が誕生することになりそう。所はアルゼンチン陸軍が南極に開設しているエスペランサ基地。同基地開設25周年を記念して、世界で初めて同基地に婦女子の滞在を許可したのである。

昨年11月10日、基地勤務者夫人7人と、その後3カ月から13歳までの子供13人が、他の要員とともにブエノスアイレスを出港した。こ

## 日本初の静止通信衛星打上げに成功

宇宙開発事業団の実験用静止通信衛星「さくら」が、日本時間12月15日午前9時47分、米フロリダ州ケープカナベラルの東部打ち上げ場から米航空宇宙局(NASA)の手によって打ち上げられた。

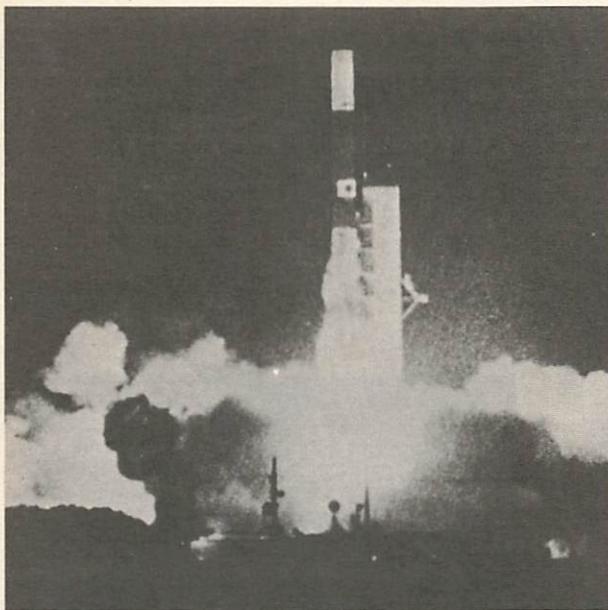
16日午後の時点で「さくら」の飛行は順調で、ほとんど赤道上空の遠地点約3万6千km、近地点約3万5500kmの円軌道に近い形の軌道を、周期23時間58分で回っている。24日早朝に静止の見通しである。

この「さくら」は静止衛星としては「さくら2号」、「ひまわり」の各衛星について3番目、

静止通信衛星としては日本初のものである。

静止後は茨城県鹿島町の郵政省電波研究所に設けられた「地上局」と移動式送受信局との間で、同衛星を中継して通常のマイクロ波と将来衛星通信の主流になるとみられる準ミリ波を使って電話やカラーテレビの中継実験を行う。このうち、準ミリ波は1979年後半に打ち上げられる国際通信衛星インテルサット5号系衛星(米)で使われる計画になっており、実験結果は各国の技術陣から注目されている。

(写真/UPIサン・共同)



のエネルギーを持った電子流を放射する電子銃や、プラズマ流放射装置などが組み合わさっている。

この装置を宇宙センター内の「模擬宇宙空間」「スペースシェンバー」(直径8・5m、高さ25m)内に置き、チェンバー内を宇宙空間とはほぼ同じ真空状態にして、約1週間、発光テストや装置の作動状態を確認した。

実験にはマーシャル宇宙飛行センターのビル・ロバーツ研究員ら米国の科学者3人が立ち合い、「この装置なら、必ずうまくいく。米国側も、日本の装置を観測に組み入れるシステムの開発を急ぐ」と語った。

実際に宇宙で実験するのは1980年12月の予定で、オリョラ現象を宇宙の任意の場所做起こし、宇宙空間のナゾを解くことをねらっている。この実験で日本側が負担する費用は約30億円。

### 宇宙開発技術の副産物

#### 携帯用エックス線透視鏡

携帯用エックス線装置が、アメリカの宇宙開発技術の副産物として作られた。

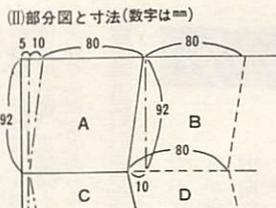
NASAのゴダード宇宙飛行

の中のマリア・シルビアさん(同基地隊長バブルマ大尉夫人)は1月に第3子を出産の予定。その際には、基地の医師のほか、本国からも医師2人が出向き、手伝うことになっているので、初の「南極ベビー」誕生は確実という。(1月7日、元気な男の子が誕生)

### 画期的な地図の折り方

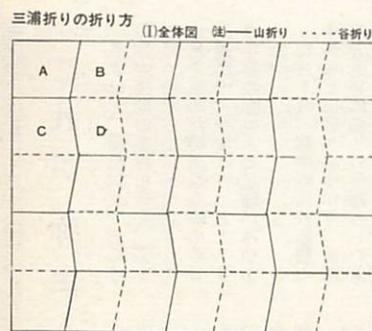
#### 宇宙工学の成果「三浦折り」

地図をワンタッチで縦、横、同時に小さく折りたたんだり、広げたりできる方法が、東大宇宙航空研究所の三浦公亮教授の手で考案された。名付けて「ダブル・コルゲーション——三浦折り」。古代



小型の「三浦折り」ができる。ただし、三浦教授に無断で商業目的等に使用すると、特許法に触れます。

エジプト時代からあまり変わっていない地図の折り方を変える画期的な方法といわれている。

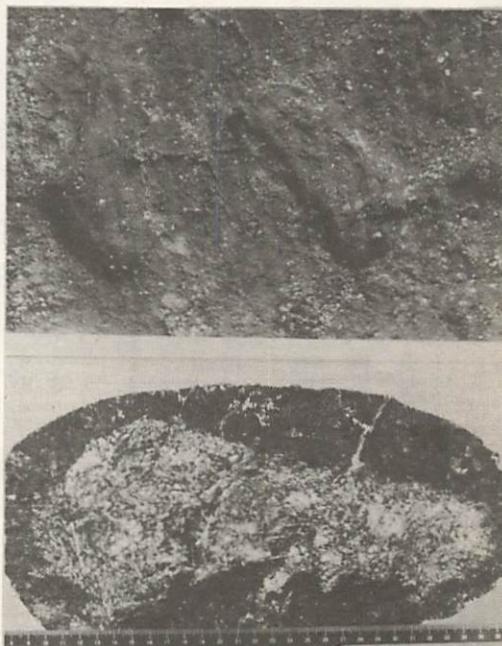
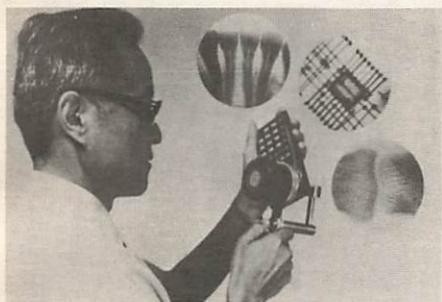


「三浦折り」の画期的な点は、何よりも、紙が上下と、左右の二方向に同時にたためること。三浦教授は「この折り方は、面を『点』にしていくたみ方なんです」と説明している。また、「三浦折り」は折り目が直角でなく、ずれているので折り目や角が破れたり、

センターのロー・イーン博士が開発した「リキンスコープ」(低線量エックス線透視鏡)がそれ。片手で持てる大きさと、検査するものに当ててスイッチを入れると、わずかな量のエックス線が出る。これが物体を透過、リンのスクリーンに吸収されて可視光線に変わる。この光をガラス繊維を使った装置で増幅、誘導すれば、透過像がそのまま見える仕組み。

もともと、宇宙に存在する微弱な自然放射線を検出する研究から考案されただけに、使われる線量は胸部撮影の約1000分の1で無害。

まだ試作段階だが、利用範囲は非常に広く、骨折、虫歯、パイプのガス漏れ個所などを早く



### これが「弥生人」の足跡

さきほど、箱根以北で初めて弥生後期の農村集落と、完全な形で水田遺構が発見されて注目を集めた群馬県高崎市の日高遺跡で、今度はざっと1700年前の弥生人の足跡がみつかった。

12月7日、弥生時代の断層の中から水田跡がみつかり、田んぼとあぜに多くの足跡らしいものがみつかった。県警で鑑定した結果、足の長さは約24cm、足幅10cm前後、歩幅50〜55cmで、足幅や歩幅などからみて、身長

(写真/共同)

見つけるのに威力を発揮するものと期待される。

写真は開発された携帯用エックス線透視鏡を電卓に当てて内部を見るロー博士。円内はこの装置を通して見た(左から)門歯、集積回路、人さし指の関節。

(写真/AP)

### 陽子2つがくっついた

#### 新素粒子ダイプロトン

アルゴンヌ米国立研究所(イリノイ州)の物理学研究グループは、昨年11月22日、電荷プラス2で陽子2つがくっついたような新素粒子「ダイプロトン」

を発見した、と発表した。

このダイプロトンの存在は半年ほど前から関係者の中で話題になっていたが、実際に発見したことは素粒子物理学の最先端の成果の1つといえる。

同研究グループはまず、陽子同士を衝突させる実験で同じスピン(回転)方向を持つ陽子同士は異なるスピン方向の陽子よりも衝突しやすいことを発見、ついで同じ方向のスピンを持つ特定エネルギーの陽子2つが衝突して結びつき、電荷プラス2の新粒子を創り出すことを発見した。

これまでの理論では、陽子は

穴があいたりしにくい。さらに、一度折ると紙が折り目を「記憶」していて、絶対、反対方向に折れないという不思議な性質がある。このため、地図の対角の端を引っ張ればスツと開き、たたむ時も、その端を中心に軽く押すだけでたためる。

### アルコールで生長を促進

#### かなりの野菜にキキメ

アルコールはある種の植物の生長を促進する——昨年の末に米ロックフェラー大学で開かれた科学記者会議で、このような発表が行われた。発表者はミシガン州立大学のリース教授(園芸学)。

同教授は1976年に、石油から人工的に製造されるアルコールの一種「トリアコンタ

天文図書の

**地人書館** 〒112 東京都文京区後楽1-1-10  
☎03(815)4422 振替東京6-1532

新刊

●サマルカンド開都2500年記念復刻版

**ヘベリウス星座図絵**

—付 ウルグベグ星表—

藪内清訳・解説 A 3判 150頁 箱入 定価4500円 千690円

●Nature誌がアマチュア必読の書と激賞

**宇宙の発見** 望遠鏡による  
天文学入門

アシモフ著 斉田博訳 A 5判 330頁 定価2500円 千200円

●「天文の基礎教室」姉妹篇

**天文の計算教室**

斉田博著 A 5判 228頁 定価1500円 千200円

●1年間の総ての天文現象がひと目でバッチリ

**'78天文観測年表**

天文観測年表編集委員会編 B5判 200頁 定価1000円 千160円

●星座早見盤のついた「天文ポケット年鑑」

**'78天文手帳**

「天文と気象」編集部編 A 6判 192頁 定価480円 千120円

好評発売中

●天文学習に役立つ天文ファン待望の書

**天文観測辞典**

古畑正秋監修 A 5判 380頁 定価2900円 千200円

●SFよりおもしろい

**未知の宇宙** ●そのナゾにいどむ

リービット著 斉田博訳 B 5変形 210頁 定価2000円 千200円

●ヘル天文台校閲による天体写真の決定版

**パロマ天体写真集** (永久保存版)

大澤清輝解説 B 4判 定価1700円 千240円

●この1冊で天体写真がバッチリ!

**天体写真入門** 初心者のための  
徹底ガイド

天文と気象別冊 B 5判 144頁 定価800円 千160円

●教師のための天文書

**天文の基礎教室**

土田嘉直著 A 5判 194頁 定価1200円 千200円

クォーク3単位で、3単位を上回る素粒子は存在しないとされてきた。しかし同グループは、ダイプロトンがクォーク6単位で構成されていると見ている。同研究グループのリーダー、横沢昭彦博士は、「われわれは非常に驚いた。物理学者は20年以上も同様な実験をしてきたがこのような劇的な結果を見ることはなかった」と語っている。

この新素粒子は性質が非常に不安定で、寿命も10のマイナス25乗秒ぐらいと非常に短いため、これまで簡単に見つからなかった。

ソ連は12月11日、有人宇宙船「ソユーズ26号」と軌道科学ステーション「サリュート6号」のドッキングに成功した。

**ソ連の有人宇宙船がドッキングに成功**



ソユーズ26号は12月10日午前4時19分(現地時間)に、バイコヌール宇宙基地から打ち上げられた。乗員はユリー・ロマネンコ船長(33)とゲオルギ・グレチコ飛行技師(46)。この2人が、去る9月29日に打ち上げられたサリュート6号に乗り移った。

今後、両宇宙船が何をするかについては明らかにされていないが、米国のスカイラブを上回る長時間飛行をねらっているの見方もある。

写真はソユーズ26号から撮影したサリュート6号。

(写真/タス・共同)

**慢性気管支炎なのに**

禁煙できない人のために

「ノール」を噴霧器で吹きつけると、植物の生成を刺激することを発見。以来、野菜などを対象に調査を続けていたが、白インゲン豆、トウモロコシ、キュウリ、アスパラガスなど、かなりの野菜に効果があるとわかった。平常より24%も収量が増えたものもある。どうして野菜の収量や蛋白質含有量が増えるのか、いまのところ解明されていない。しかし食糧増産や植物の生長メカニズムのナゾを解く役に立ちそうだという。

ぜんそく性気管支病に悩む喫煙者のため、中国・湖南省の医師とたばこ工場労働者が共同して、薬用たばこの開発に成功した。



### 空中に無数のクモの糸

10月11日の朝、米西海岸のサンフランシスコ一帯に奇妙な糸のようなものがおびただしく降りそそぎ、大騒動となった。空中を浮揚するナゾの糸は上空1200mまでぎっしりと広がっていたという。

騒ぎはサクラメント、サンホセにまで広がって問い合わせの電話が殺到。しかし調査の結果これは無数のクモの糸であると判明した。こん虫専門家のエンドワード・ロス博士によると、そ

の侵略者は「気球クモ」。これは沿岸地帯の草の中に生息するもので、大そう小さくて、足を含めて3mmしかないために人間の眼には触れないという。

クモの飛行はこの地域では初めてのことだが、毎年発生することで害はないと、港湾大気汚染防止課のテッド・マクヒューは言う。これで、一時はエンゼル・ヘアードと大騒ぎになった米西部の恐怖映画もどきの一幕も、あつげなくケリがついた。

### 人工の遺伝子を使って初めてホルモンを合成

世界で初めて人工の遺伝子を使ってホルモンを合成する方法が、アメリカで成功した。この研究はロサンゼルスのカリフォルニア大学サンフランシスコ校の共同チームによるもの。

2つのチームは人工遺伝子をバクテリアをコントロールする自然の遺伝子と結び、その相互補完作用によって、動物の脳がいかに化学合成でしか抽出できなかったホルモン「ソマトスタチン」の合成に成功した。

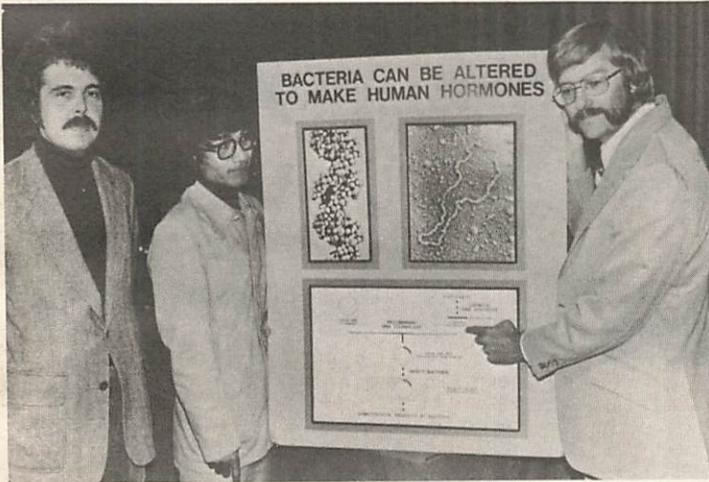
この方法は、当面インシュリンを始め各種ホルモン剤を生産するうえで広く実用化できるので、糖尿病や遺伝性疾患など

の治療に画期的な新分野を開く発見として学界の注目を集めている。

この研究は、いま世界中で賛否が問題になっている「遺伝子組み替え実験」の具体的な成果としては、初めてのものと思われる。

写真は左からハーバート・ポイヤール、板倉恵一、アーサー・リグスの3科学者。

(写真/AP)



## トピックス

新しい巻きたばこの中身は、学名でファイソクライナ・インファンディブリスと呼ばれる多年生薬草の根、キリの木の実、綿の木の根など。地方農村に先祖代々伝わる約1500種の処方せんの臨床実験から、副作用がなく、しかも最も効果のある薬草を選び出す仕事を実をむすんだもの。

### ニューネッシーの正体は

どうとう分からずじまい

ニュージールランド沖のナゾの動物はサメとも首長竜とも断定できず、「未確認動物」のまま終わった。

これまで、怪獣の正体をめぐって生物、化学、魚類、解剖、海獣など各分野の専門家19人が2回にわたる会合を続けたが、その最終報告がまとまったもの。去る12月15日、東京水産大学の佐々木忠義学長から発表された。報告書では、大きく3つの意見に分類されている。

- (1) ヒレのヒゲの化学的組成分析結果から判断するとウバザメまたはこれに近いサメ。
- (2) 乗組員の情報を重視して、今まで知られている魚類ではないとの見解。また、最近、角質のヒレを持つ3、4億年前のサメの化石が発見されており、ヒレに角質を持つ古生代の動物がいる可能性もある。
- (3) 写真や乗組員のスケッチした骨格から解剖学的にみると、これにあてはまる動物はサメ類、爬虫類のいずれでもない。まったく新しい動物である。

連載科学記事

(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤 13

レナード・クランプ

# 斥力場の光学的効果 ウイドビー島の事件

円盤の乗員とのコンタクト事件という、あまり偏見のないUFO研究者でも眉を上げがちである。だが、この種の報告のなかにも妥当なものがあると、科学的に実証できるかもしれないのだ。事実、技術的に素晴らしい収穫をもたらした目撃例は数多くある。

## 斥力場の光学的効果

### ●輝きを増したレーダー像

「レーダーと重力場の諸効果」の章（本誌22号参照）で、私たちはレーダーが関係しているUFO事件をいくつか見てきた。これについて斥力（R）場の観点からつけ加えるべきことはあまりないが、ひとつだけここで指摘しておきたい。それは、場の焦点距離が長く、そのために、ポイント・ソースが地表近くまで降りてきた場合、地表効果以外にも局地的な電波の混乱を予想し得るということである。強力な場が発生すれば、それにもなる輻射のエネルギーも場の強さに応じて増大するからである。いま、たとえばUFOが傾いたとして、そのためにポイント・ソースがある地域を横切ったとしよう。すると、レーダー・アンテナの

近くをポイント・ソースが通過することもあり得るわけで、レーダーの映像が急に輝度を増したとしてもさして驚くにはあたらないのである。たとえば、1952年、ラブラドルのグース・ベイ空軍基地で発生した目撃例の場合、関係者はこう語っている。「赤い光が白にかわり、しばらく空中に浮かんでいたが、やがて揺れたかと思うと、猛スピードで飛んでいってしまった。奇妙なことに、光が揺れたとき、レーダーに映っていた像は急に輝きを増した。だが、すぐに像は元の大きさにもどり、そして消えた」

レーダーに映っていたのはUFOの像で、それが急に輝きを増したのは、ポイント・ソースが弧を描いて空中をよぎったときの局地的効果だろう。このように、レーダーを扱う人々のあい

だで、よく知られている不思議な現象の多くは、斥力場理論によって説明がつくかもしれない。

### ●円盤の円錐効果

質量からエネルギーへの直接交換がさまざまな輻射を伴うようすについてはすでに見てきたが、これは変換過程における、いわば「排気」とも言うべきもので、G場原理についてもR場原理についても等しくあてはまる。すなわち、一般の電磁効果のほかに、光や熱といった物理的效果が予想されるのである。また、放出された光の波長が青方や赤方に偏移することもじゅうぶん考えられる。私は『宇宙・引力・空飛ぶ円盤』のなかで、ある種の円盤に見られる有名な円錐効果について触れたが、この章まで読み進まれた読者のなかには、この円錐効果こそ斥力ポイント・ソースの眼に見える証拠ではなからうかと思いいの方がいらっしやるにちがいない。事実、そうかもしれない。オハイオ州ウィルミントンのクリントン郡陸軍航空基地からの報告にはこう書いてある。

「炎のような赤い円錐体が、緑色のものをたなびかせながら猛スピードで空中を飛んで行った」

1964年6月、英国チェシャー州ワラジのR・W・ランバート氏は沿岸警備隊ハリソン・ドライブ駐屯地に配属されていたが、そこで目撃した奇

妙な物体についてこう報告している。「円錐形の非常に明るい物体が海の上空に静止していた。5分ほどたつとその円錐体はさかさまになり、沖のほうへ飛んで行って見えなくなった」

なお、ランバート氏はこのとき双眼鏡を用いていた。

1950年2月9日、カリフォルニア州リアンドロで、海軍少佐J・L・クラケヴと5人の住民が、海軍アラメダ基地の上空およそ1500mを飛ぶUFOを目撃した。UFOは飛行機雲を引きながら非常にゆっくりと時速110ないし140kmほどの速さで飛んでいた。彼らはこの物体が「9mもあるアイスクリームのコーンのような」形をしていたと言っている。

これに類する目撃例はほかにもたくさんあって、目撃者の証言もだいたいにおいて「物体は5分間ほど空中にとまっていたが、そのあいだ、目もくらむような光を放ち、形は円錐形でした」といったもので代表される。

しかし、R場の眼に見える証拠とも言うべきこれらの目撃例のなかで、とくに興味深いのは米マサチューセッツ州グレート・バーリントンのW・フェルトン・バレット夫人の場合である。

### ●バレット夫人の撮影

1957年7月、バレット夫人はノルウェーの沿岸を航海するステラ・マリス号で、船の旅を楽しんでいた。ノ

ルウエーに上陸した際、夫人はいろいろなものをカメラに収めたが、そのなかにフィヨルドを写したものがあつた。ところが、ずつとあとになってそのカラー・フィルムを現像してみると、驚いたことに、フィヨルドの背景に奇妙な物体が写っていたのである。

その白黒焼きしたものを写真1に示すが、もとのカラー・プリントはこれよりもはるかに強烈な印象を与える。とうてい、レンズのフレアだなどと言って片づけてしまえるものではない。この写真では場の効果が歪んで見えるが、それでも中央部に円錐状のビームのようなものが形成されていることがわかる。バレット夫人はこの写真を撮ったときに、なにか変わったものが見えたりへんな音が聞こえたりした記憶はないという。むしろ、バレット夫人がファインダーをのぞいていたらちょうどそのとき、物体が高速で視界を通過したとすれば、夫人に物体が見えた可能性はまずない。このことを確かめるには、加速度のベクトルを写真の上に重ねあわせて考えればよい。すると、かりに物体が水平に飛行していたとしても、45度という傾斜角からは、かなりの「推力」成分が予想され、従つてとうぜん物体の速度も大きかつたはずである。

だが私はこの物体が上昇していたやうな気がしてならない。もしそうだとすると、斥力の垂直成分は1gよりも

大きく、45度の傾斜角が与える前進速度は前の場合とくらべてさらに大きい。逆に、速度の前進成分が小さかつたと仮定すると、それに比例して垂直上昇成分も減少することになり、従つて物体は非常に高速で落下していたはずである。

しかしこれでは物体がなんのためか傾いてたのかわからなくなってしまう。言いかえれば、写真に写っている物体の姿勢は、バレット夫人が次のふたつの理由で物体を見おとしたと仮定することによつて必然的に導き出すことのでき

る姿勢にはかならない。すなわち、夫人がこの物体を見おとしたのは、ひとつには物体が音を発していなかつたためであり、またひとつには物体が非常

な高速で動いていたためである。また、この写真が高感度カラー・フィルムで撮られたことを考えれば、物体の像がそれほどブレていないこともじゅうぶんうなずける。

### ●ルッチのUFO写真

次に示す例は「UFOインベストイゲーター」誌の1965年8・9月号に掲載されたもので、アメリカのNICAPのご好意により記事をそのまま引用させていただくことにする。この記事には、R場の眼に見える証拠として使えそうなUFOの写真が添えられている。

「ペンシルバニア州ビーバー郡で8月8日撮影されたUFO写真(写真2)は、ネガを鑑定した3人のプロ写真家によつて本物であると確認された(5日間にわたる現地調査にもとづいて署名入りの鑑定書がNICAPに提出された)。これらの写真は近距離(400m)から撮影されたもので、そのためこの種の写真としては異例なほど詳細な点まで写し出されている。

まず、左に見える明るい物体は月である。UFOの下に写っている排気ガスのような白いものは目撃者たちの眼には見えなかつた。(NICAPのある技術顧問によれば、これは力場によるガス状の放射物質をフィルムが捕らえたものらしく、UFOの推進原理を解明するうえで手がかりになるか

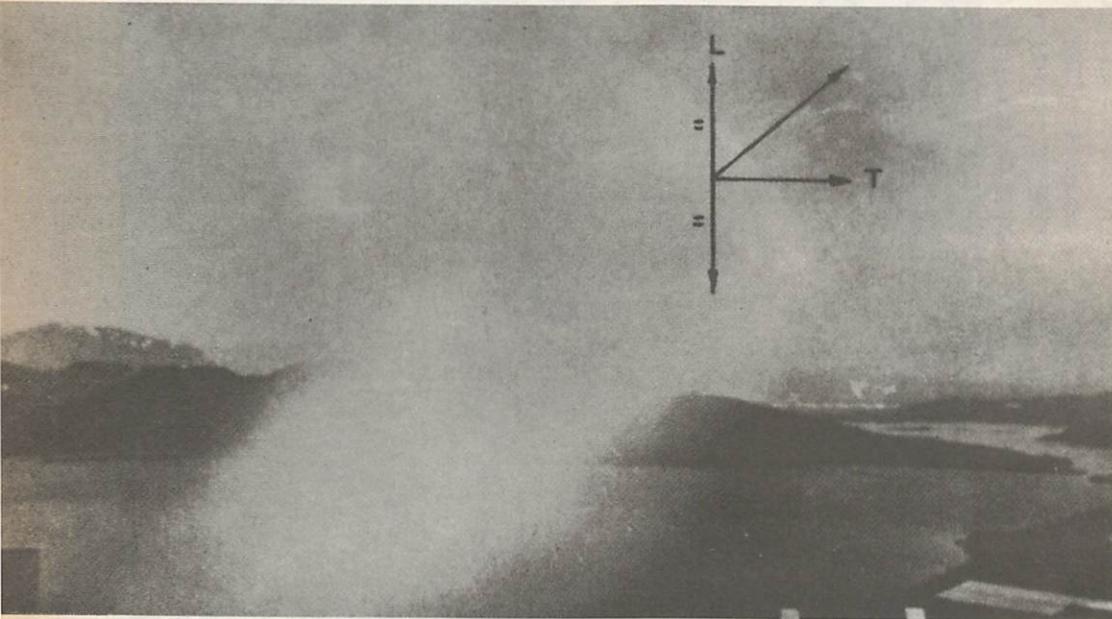


写真1 バレット夫人がノルウェーで撮影したUFO。

もしれないという) UFOの後方のやや低い位置にある条線は、UFOが木立ちの上空を飛んだときに残した飛行機雲と考えられる。

8月8日の夜、航空州兵隊所属のプロ写真家の息子ジェームズ・ルッチは、ペンシルバニア州ビーバー郡ブライトン・タウンシップの自宅の近くで、タイム露出による月の撮影を行っていた。ジェームズはハイスクールの上級生で、このとき兄のジョン(20)もいっしょに居あわせた。また、第3の目撃者としてマイケル・グロープが道路をへだてた自分の家からこのUFOを目撃している。

11時30分ごろ、ジェームズが新たなひとコマの撮影にとりかかってちょうどシャッターを開いたとき、丸いずんぐりしたかっこうの物体が月よりも明るい光を放しながら左手の木立ちの上の方角から近づいてきた。ジェームズはカメラが物体を捕らえたにちがいないと思い、シャッターを閉じ、急いでフィルムを巻いてまたシャッターを切った——このときUFOは400mほど離れたところをゆっくりと飛行していた。だが、3枚目を撮ろうとしたときにはもうこの不思議な機体は急上昇して視界から消えてしまっていた——UFOが急上昇したもようは、マイケル・グロープも目撃している。

(これとはほぼ同時にビッツバーグの近くでUFO目撃の報告があったこと

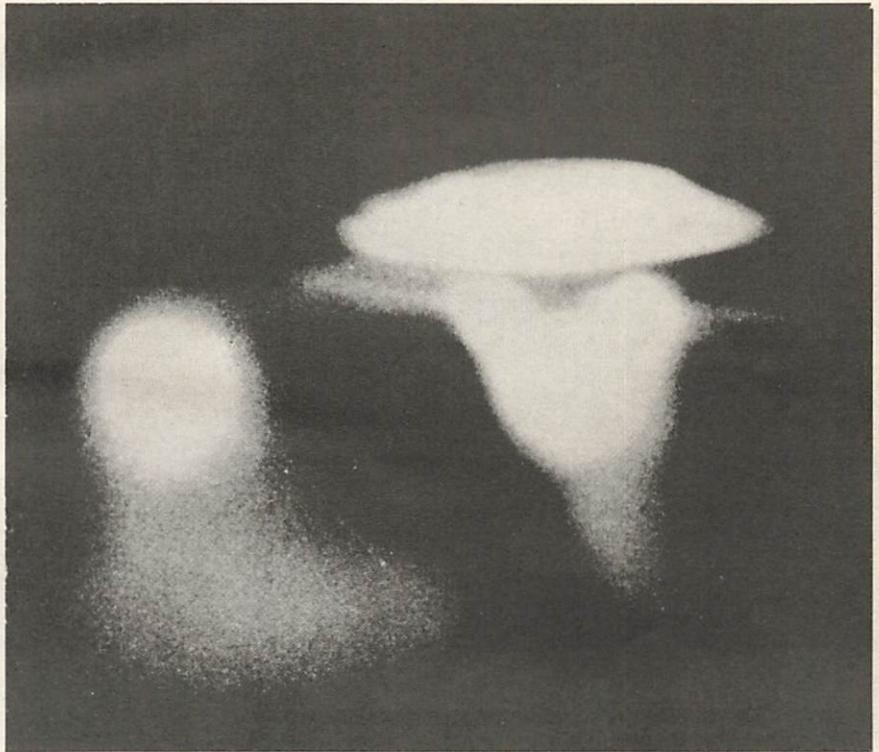


写真2 ペンシルバニア州ビーバーに出現したUFO。

を、空軍はのちになって報道機関に明らかにした。このUFOが11時30分に目撃されたものと同一のものなのか、また11時30分の目撃より前あるいはあとで目撃されたのか、空軍が詳細なデータの公表を拒んでいるため、まだわかっていない。

### ● 専門家による鑑定

はじめのうち、ルッチの一家は冷笑の的になることを恐れて事件の公表を避けていた。だが、友人たちの熱心な勧めで、一家は問題の写真を「ビーバー・カウンティ・タイムズ」紙に提供することにした。新聞社の3人の写

真専門家がネガを重ねあわせたりそのほかいろいろなテストを行った結果、このUFOは目撃者の証言どおり、ゆっくりと近づきながら左から右へ動いていたことがわかった。あらゆる角度から検討を加えたうえで、3人の写真専門家はこれらの写真が本物であるとの判断をくだした。また、このことほちにNICAPの写真顧問ラルフ・ロンカウによっても確認された。

「ルッチ兄弟の話によれば、円盤は飛行機でいうと『バイバー・カブ機よりも大きかった』という」

この話が新聞記事として公表されると、NICAPビッツバーグ支部長ウィリアム・B・ワイゼルはいちはやくネガを入手してNICAP自身による分析にとりかかった。新聞社のスタッフの協力を得たワイゼルと支部の委員ロバート・ブラウンは、5日間をついやして目撃者たちと面接し、写真を航空地図や地形図とつき合わせて検討し、また、撮影時の写真技術的なデータを収集した。ちなみに、「ビーバー・カウンティ・タイムズ」紙はこう述べている。

「当社の知るかぎりにおいて、またわれわれが慎重に判断を下したところによると、これらのネガには写真技術的にも物理的にもなんら細工を施した形跡は見当らず……またそこに写っているUFOの像は、光の反射……レンズのフレア……現象液の気泡その他の偶

然によるものでもなく……けつきよく問題の像は、カメラの視野内に位置していた発光物体が実際に撮影されたものと考えられる」

この声明文には、社会部長ジャック・ミッチェル、写真担当ビーター・D・サベラ、記者トーマス・W・シュライ、編集部長F・N・ホレンデナー、写真担当のハリ・K・フライとJ・C・ガードナーが署名している。さらに目撃者たちの人格については、ブライトン・タウンシップの警察署長、ハイスクールの校長、およびビーバー郡警察が保証している。

ジェームズ・ルッチは空軍にも写真を提供して鑑定を依頼したが、いまのところ空軍は沈黙を守ったままである。同紙は空軍を「とらえどころのない」謎の存在と評し、空軍のあるスポークスマンなどは「公式見解を求められると『口にチャックをかけられるんだ』とぶつきらぼうに答えるだけだった」と報じている。同紙はこれを「お役所のレンガの壁」と評し、さらにこうつけ加えている。

「ことUFOに関するかぎり、空軍にとつて協力とは一方通行……そちらからはどうぞ、こちらからはお断り……を意味する言葉でしかない」

ルッチの撮影データは次のとおりである。カメラはヤシカ635、アルテイペン120フィルム(ASA100)使用、絞りf3.5、距離は無限定、

露出時間6秒。また、現像時間は12分、新しいD76現像液を使用し、華氏70度(摂氏21.1度)で攪拌しながら現像した。ここに掲載した写真は細部をはつきり出すために特別な方法でプリントしたものである。UFOは動いていたためにややボケて見えるが、テレビ塔(掲載したプリントには写っていない)ははつきりと写っていた。

この写真をさらに詳しく分析すればおもしろい結果が得られることだろう。だが、紙面の都合でそれは割愛することにする。しかし、ルッチの撮影したUFOの下に見える円錐の形をし

## ワイドビー島の事件

このコンタクト事件の詳細な報告は米ワシントン州のエヴァレット空飛ぶ円盤クラブのメンバーで、熱心なUFO研究者でもあるマービン・W・スミス氏から寄せられたものである。

スミス氏は友人とのふとした会話のなかでたまたまこの話を聞きつけたらしい。だがその後スミス氏がおこなった調査は、とうていふとした思いつきなどでできるしろものではない。電話帳を何冊も丹念に調べ、心当りに片っぱしから電話をかけ、手紙のやりとりをしたあげく、ようやくスミス氏はエヴァレットから海峡を越えてワイドビー島に招かれざる客として渡り、やつ

たものを斥力場理論と結びつけて考えることは読者にとつてさほど難しいことではないだろう。かりに円盤を縦に2等分したとすると、斥力場があるとすればその焦点は白いもやの中心で見つかるはずである。これによって私たちは、円盤の下にある球状の形を容易に見分けることができる。この球状の形からは、2本のガス状物質が円盤に向かって突き出ている。ここでも、ワイルドマン氏の目撃例に見られた「月のカサ」や降ってきた霜の話を思い出さないうけにはいかない。

この思いでいやがるコンタクティとの面会にこぎつけたのである。ここで「いやがる」という言葉を使ったのはちゃんとした理由がある。スミス氏によれば、このコンタクティ

は内気な中年の女性で、世間の評判になるのを好まないタイプだった。さらに、この女性のほうからスミス氏を招いて話をきかせたわけではなく、スミス氏のほうでこの女性をたずねあてたという事実を氏は強調している。スミス氏はこの女性を評して「社会生活の経験豊かなごく常識的で理性的なひと」だったと述べ、また、話題がUFO写真全般におよんだときなど、この

女性が他の多くのコンタクト事件についていかに懐疑的であったかを明らかにしている。つまり、コンタクティと称するひとたちのなかには、話を捏造してそれを公表することで「ひともうけ」しようとするくらん連中がいるのではないかとこの女性は語ったという。

### ●ブラウン夫人が見たもの

スミス氏が初めてワイドビー島を訪れたのは1964年2月はじめのことである。ルイス・ブラウン夫人はいちばん近い家からも400mあまり離れた一軒家に住んでいた。

いくつか質問をした結果、夫人のところへ正体不明の飛行物体が2回訪れており、1回目は1963年7月はじめ、2回目は同じ年の10月であることがわかった。

最初の「コンタクト」はややあつさりしたもので、それが起きたのは夜、夫人がテレビを切って寝室へひきあげようとしたときのことだった。その夜夫人はずつとだれかに「見られている」ような落ちつかない、胸さわぎにも似た気分におそわれていたが、なにか異常なことが起こっているのがはっきりわかったのは、たまたま寝室の窓から外を見たときのことである。夫人

の眼には家の近くの空中に浮かぶ奇妙な飛行物体が映った。夫人はこれを見て怖がるどころか好奇心を起し、もつとよく見ようと思つて外へ急いだ。だが残念なことに、庭に出たときにはもうUFOの姿はなかった。

これにたいして2回目の訪問はじつにすばらしいもので、7月の肩すかしをつくなつてあまりあるものだった。こんどのコンタクトは朝食時、白日のもとで起きたのである。

このときブラウン夫人が見たのも、7月のときと同じようなUFOだった。長さは約10フィート、色は灰色で、飛行機から翼、尾部、垂直安定板、それに着陸装置を取りはずしたようなかっこをしていた。見たところ、推進装置らしいものはないも見あたらなかった。

UFOは北から近づき、家の東側のごく近いところで地上約5フィートの空中に停止した。夫人の証言によると、前部は透明で、なかに少なくとも3つの人影のようなものが見えたという。UFOが空中に静止しているあいだ、その下の草は地面になぎ倒されていった。(傍点は筆者による)

するといつのまにか、人間の形をして人間と同じ大きさの乗組員のひとりが地上に立っていた。機体の側壁からしみ出るように出てきたらしい。「その男」の服装について夫人はこう語つたという。

「石綿布のカーブオーバーで足も、手も、顔も、ぜんぶ覆われていたんです。ただ、眼があるはずのところだけは開いていたんですが、そこには眼らしきものはなくて……」

UFOは、地上に降りた乗組員に誘導されてゆつくりと家の周囲をまわりはじめた。ブラウン夫人は急いでドアのところへ行き、地上の乗組員に大声で言った。

「あなたたち、なにをしようつていうの？」

すると男は機内の仲間たちと相談しているようだったが、やがてふりむいて非常にはつきりした口調で言った。

「仲間のひとりがあなたを知っているのです。ではまた来ます」

言いおわると、男は出てきたときと同じ不思議なやりかたで機内にもどつていった。

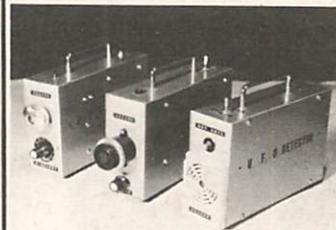
UFOはなおも家の周囲をまわりつづけ、ブラウン夫人もそのあとを追つて家のまわりをまわっていたが、そのとき、また奇妙なことが起きたのである。なんの前ぶれもなしに、UFOはいきなり目に見えて小さくなり、おまけに傾いたのでうしろの部分で地面にもぐつた。驚いた夫人は、はじめのうち水を汲んでいるのだらうと思つてしたが、あとで落ちついて考えてみるとなにか燃料を探しているようでもあつたという。

# UFO探知機

超高感度

国産唯一の本格的磁気探知機!

現在230台が全国で活躍中!!  
既にUFO探知成功18件!!



- T-5型……¥ 9,000
- T-3a型……¥ 18,000
- T-3b型……¥ 19,000

\*\*\*\*\*

■その他、連続観測用のACアダプター及び、補助電池ボックス(新製品)があります。

左からT-5・T-3a・T-3b型

申込先: 〒213 神奈川県川崎市高津区長尾1606

折田 至

Tel. 044-866-8347

●カタログ請求は100円切手をお送り下さい。

乗組員たちはブラウン夫人に、機体にさわつたり近づいたりしないようにと指示を与えた。夫人にはこの指示が「よくわかった」という。また、夫人の考えでは、これを伝えたのは何らかのかたちの思考伝達、つまりテレパシーによるものではないかという。

「穴掘り」作業が終わると、UFOは膨張してもとの大きさにもどり、東の方角を指して飛び去つたが、このようすを夫人は次のように語っている。

「…煙と蒸気をもくもく吐いて、閃光をきらめかせ、音をひびかせながら、あつというまに見えなくなつてしまいました」

この訪問のあとしばらくたって、「穴掘り」があつた現場の地面から奇

妙なキノコが1本生えてきた。

## ●不思議な出来事の解釈

マービン・スミス氏は以前から、UFO来訪の目的は土地のようすを調べるためではなく人間とのコンタクトの成果を見るためであるとの説をとんでいた。宇宙からの訪問者が自分たちはブラウン夫人を知っていると、言い、再訪を約束したことは、自説を裏付ける証拠になると氏は受けとっている。

だがこの事件を技術的観点から見たときにもっと重要なことは、まず、空中に浮かんだUFOの下では草がなぎ倒されたという目撃者の証言であり、また、このUFOはおそらく円盤状の形をしていてそれがほほま横から見ら

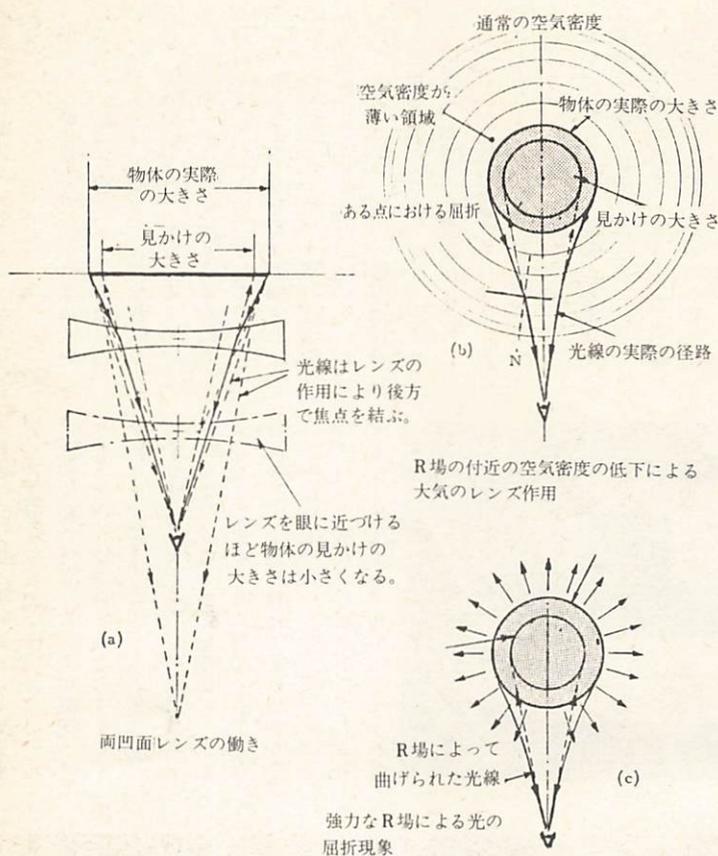


図1 R場の持つ光学的縮小効果

必要であるが、これでは機体の縦・横の割合が5フィート対10フィートになってしまっ、これが「飛行機」を連想させたとはとうてい思えない。そこで私は無礼を覚悟のうえであえて言わせていただくのだが、機体の長さは実は10フィートよりもかなり長かったのではないだろうか。控えめに見ても「長さ」は最低12フィートはあったと考えるが、これにはいま述べたように

●新たな手がかりの検討

以上考察してきたかぎりでは、ウィドビー島事件はR場理論によって解釈することができた。しかし、ここまではいわば自明の展開と言ってよい。問題は、この事件がほかにもいくつかの手がかりを含むものであるのか、またそうだとすれば、それらの手がかりはR場理論と矛盾しないのか、という点

れたということ、つまり、「地上約5フィートの空中に停止した」ことである。目撃者によれば円盤の「長さ」は10フィートで、乗組員のひとりがある少し前を歩いていったという。ここで、円盤の厚さは少なくとも5フィートあって、質量中心はそのままなかあたりであったと仮定してさしつかえないだろう。すると、目撃者の言う空中停止の高さ5フィートが正しいとすれば、円盤の質量中心は地上からおおよそ7・

5フィートの位置にあったことになる。また、草がなぎ倒されたという事実は、R場が使用されていたにちがいない、そのポイント・ソースは円盤と地面とのあいだの適当な位置、そのどちらにもあまり近すぎないところであったと考えられる。ここではその位置を地上1・5フィートとしておくが、これは妥当な判断と言っていだろう。すると、円盤の質量中心に1gの加速度が加わっていたとすれば、草

に加わる下向き加速度は次の式で与えられる。

$$G_g = \frac{R^2 G_s}{R_p^2} = \frac{6 \times 6 \times 1}{1.5 \times 1.5} = 16g$$

まえにも見てきたように、これは円盤の直下の草を「なぎ倒す」のに十分な値である。だが、これで果たして円盤の乗員が地上に降り、空中で停まっている円盤の近くに立っていることが可能だったのであろうか？

目撃者の証言では機体の長さは約10

一応の根拠がある。すると、機の外周から3フィート離れたところ、つまり場の焦点から9フィートの位置に人間が立っていたとしたら、そのひとは半径方向にちょうど0・5gの加速度を受けたはずである。言い換えれば、もしそのひとがあらかじめこのことを知っていたら、ちょうど遠心力を受けたときのように力にさからって「内側に」少し体を倒すことで簡単に平衡を保てたにちがいない。

乗組員が円盤を出入りしたときの不思議なやりかたについて言えば、R場のなかでの行動に慣れているひとはR場を手ごろな「踏み台」として使うことができただろうし、またこの目撃例では円盤の乗降口は目撃者に見えないようになっていたのかもしれない。

これについてはいまままで私がしてきたあたりまえの説明などよりずっとおもしろい説明が考えられるが、ここでそれを持ち出しても本稿をいたすにわがりにくくするだけであろう。

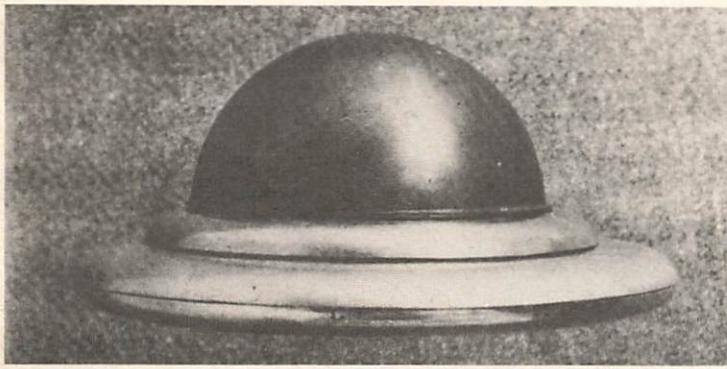
にある。この点について少し考えてみる。

以前、G場理論の立場から光について考察した際、G場によってその付近の大気がレンズの働きをし、それによる光学的效果がさらに重力による光の屈折やその他の場の効果により強められる可能性について述べた。また、こういった現象が、空気密度の増大とそれにつづく温度低下による霧の発生でおおい隠されてしまう可能性についても見てきた。このように、強力なG場が大気圧を局所的に増大させるとすれば、同様に、強力なR場が存在するところでは大気圧が減少するはずで、R場にもなる光学的效果が発見されたとしても驚くにはあたらぬ。

たいがいのひとは、道路から熱気が立ちのぼる夏の日中などに車を運転していて、行くてをいちめんにか水が覆い、車がそこにさしかかったときにはもう消えてなくなっているという、いわゆる「逃げ水」現象に出会ったことがあるだろう。これは、空気密度が局所的に減少すると、それにもなって光の屈折率が変化するためである。つまりこれは一種の蜃気楼である。そしてこの蜃気楼こそあのメンゼル博士が、ほとんどの空飛ぶ円盤の正体はこれだ、と断じた現象にほかならない。話はすこし横道にそれるかもしれないが、本稿で明らかにしたさまざまな目撃例が示す技術的証拠について、博士

がこれまでと同じようにいささか時代遅れの気温逆転や幻日や蜃気楼といった武器を使ってどんなふうにも説明してくれるのか興味のあるところである。それとも、『宇宙・引力・空飛ぶ円盤』については「くだらない！」のひとこととでかたづけしてしまった博士のことだから、ここでもそれに優るとも劣らない挑戦的かつ刺激的なことばのみを発し、それ以上は口をつぐんで何も語らないのであろうか。私はあのひとこと

を決して忘れない。しかしそれだから



といつて博士に悪い感情をいだいてい

むことができる。仲間に見せればなおさら楽しい。そのなかに、私のためのひらにある小石を見ることさえできない者がいるとしたら、私たちはそれを残念に思い、悲しむはかない。

### ● R場で生じる現象

さて、「逃げ水」現象が空気密度のわずかな減少によっても生じ得るものであれば、R場のあるところで似たような光学的效果が認められても驚くにはあたらぬ。だがこれはどのような現象としてあらわれるだろうか。

まず、G場の場合には付近の気圧が増加したのたいていして、R場の場合には気圧の低下が見られるだろう。従って、この場合G場とは正反対の効果が予想される。

これを示したのが図1・aで、眼と物体とのあいだの円錐状視野領域に置かれた両凹面レンズが像を小さくしている。この効果はレンズが眼に近づくほど著しい。

いま図1・bを用いて、これをR場と関連づけて考えてみよう。この場合レンズの働きをするのはR場によってまわりよりも密度の薄くなった空気である。このために光線が曲げられて、ふつうならば見ている者の眼にとびこんでくるはずの光線はもつとうしろで焦点を結び、逆に、眼の手前で焦点を結ぶはずの光線がちょうど眼にとびこんでくることになる。従って、物体は

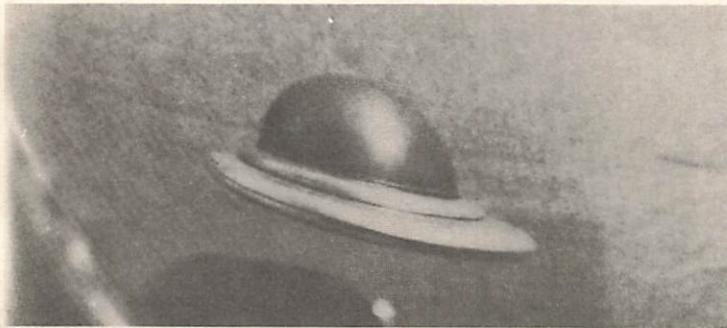


写真3 円盤の模型を使ったR場の光学的变化の実験

## 世紀の謎 UFO に挑む!!

製作 東宝株式会社



**これが UFO だ!!**  
スーパー8カラー(55m=9分) 光学録音  
(テープ別売)  
¥9,800 (千共)



**宇宙人は地球にきた!!**  
スーパー8カラー(55m=9分) 光学録音  
(テープ別売)  
9,800 (千共)



**地球は青かった!!**  
スーパー8カラー(55m=9分) 光学録音  
(テープ付)  
¥9,800 (千共)



**人類月に立つ!!**  
スーパー8カラー(55m=9分) 光学録音  
(テープ付)  
¥9,800 (千共)

**東宝 8ミリ 映画大好評 発売中**

未確認物体/友好か、侵略か? 空飛ぶ円盤の実態を捉えた驚異のドキュメント!

今すぐ現金書留でお申し込み下さい

**ヤングショップ・ツクダ UFO係**  
電(03)543-2733 東京都中央区築地1-3-4

実際よりも小さく見えるはずである。さらに図1・cに示すように、R場自体が光線に及ぼす効果もある。この効果は、G場が光線の収斂をさらに強めたのと全く同様に、光線の屈曲をさらに大きくする。

以上をまとめると、G場には物体を拡大して見せる性質があるのに対して、R場には物体を縮小して見せる性質が備わっていると言いうことができる。ブラウン夫人の目撃例に見られる草がなぎ倒された現象がR場の存在を示しているとするれば、UFOが「小さくなった」という夫人の証言はさらにそのことを科学的に裏付けるものである。この光学的効果が場の変化によってもたらされたことは、乗組員が目撃

者に機体から離れているよう注意した事実からみても明らかであろう。さらにつけ加えると、凹レンズが物体の側または目撃者の側に傾いていれば像は垂直方向にさらに「縮む」はずであるし、またレンズが垂直に立っていてもその向きが斜めであれば、像は水平方向によい「縮む」はずである。そこでここでは、この両方向の傾きが同時に起こった場合を考えてみよう。するとおもしろいことに、物体は全体として縮んで見えるばかりでなく「地面に穴を掘ってもぐっていく」ようなかっこうに見えるのである。このようすを写真3に示したが、これは円盤の模型を水平に吊し、凹レンズを両方向に傾けた状態と全く傾けない状態

とのそれぞれについて撮影したものである。もし円盤の背後に目印になるようなものがあれば、これもとうぜん傾いて見えるはずであるが、ブラウン夫人の家はいなかの一軒家で、まわりの草木はこの効果をかえってカムフラージュしてしまふ。そこでこの実験では背景をわざとボカしておくことにした。

R場がそれにもなる気圧の低下により大気のレンズ効果をひきおこすという関係をさらに裏付ける証拠として、私はR場に付随して予想される温度変化について指摘しておきたい。すなわち、斥力場が存在するところでは常に気温が低下するという法則が成りたつのである。ここで、フランスのプ

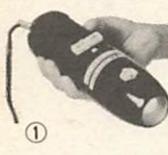
レマオーという村でロマン兄弟が出会った奇妙なできごとを思い出していた。このとき、納屋のそとに駆け出したレイモン少年は得体のしれない物体にもう少しでぶつかりそうになった。

「少年は勇気をふるいおこして前へ進み、その物体にさわろうとしたが、『氷のように冷たい目に見えない力』で、あつという間に地面にたたきつけられた」

この事実は前に述べたことを裏付けるばかりでなく、小規模なR場発生装置が使用されていることの証拠でもあるのだが、これについてはあとで詳しく説明しよう。

(以下次号)  
遠山峻征 訳

## 情報コーナー



①



②

●ぜひ備えておきたい紫外線治療器  
頑癬(いんさん・たむし)・水虫・円形脱毛症(毛根残存・痔瘻・創傷・足のいやなニオイに悩み狂っているキミに勧めたいのがこれだ。一日数分間OK! 23,000円①  
②室内で日焼けが出来る「太陽灯」  
●男の魅力は褐色の肌。それを簡単に作るのが「紫外線健康ランプ」。一日数分ずつ一週間も続けるとクダ。白なますで困っているヒトも医師と相談の上。8,000円より②

**宇宙戦艦 大和**

**1978年度カレンダー**

型式	ブックタイプ
枚数	16枚
価格	2500(千共)

イスカンダルをめざすヤマトをアート紙にカラー写真により再現。日を追ってヤマトの航海をすべて記録した、夢のカレンダー! 大好評発売中!!

品切れ近しお早く!!

商品のご注文は現金書留又は振替で  
案内書請求は商品名を書き左記へ。  
〒104 東京都中央区築地一三三四  
ヤングショップ・ツクダ  
UFO係  
03-543-2733(代)  
地下鉄築地駅上野寄り出口3分



## 楽しさバツグンのHAM

『JA1ZEAさん、こちらJR6△△△。あなたの電波は59(ファイブ・ナイン)で沖縄県是那覇シティに入感しております……お初にお耳にかけますが、QSO(交信)よろしくおねがいいたします。どうぞ……』

### HAMになるのはカンタン

『電話級HAM免許』は○×式のやさしい試験、小中学生の合格者も多数います。ラジオ、模型、BCL等の好きな方なら短期間の準備でOK。

▶HAM初心者のための『普及会』通信講座では日本短波(全国)放送にて『必勝!!国試対策教室』を放送中。国試最新情報をつかんだ重点速習指導で会員を一発合格へプッシュします。

——こんなふうに『電波の声』で仲間を呼び出して自由にラグチュー(おしゃべり)を楽しめるHAM(アマチュア無線)が、いまヤングの間ですごい人気。マイクにむかって呼びかけるキミの声が大空を駆け一瞬のうちに世界各地の仲間(100万人以上!!)

にとどいて、楽しい交信が始まります。

↑クルマとHAMを結びつけた『カー無線』は人気最高! 運転免許を取ったらキミもぜひやろう。



### 楽しみつきないHAMの世界

●海外交信で外国の友達もたくさんできるし●ローカル(近辺)の仲間とのラグチューもゴキゲン●また学校その他のクラブ局や野外交信でも活躍できる●カラフルなQSL(交信)カードあつめの楽しさはBCLファンなら見逃せないところ●HAMコンテストやフォックスハンティング等各種の催しも盛ん●手がるで予算少々のハンディー局も急増中!

●HAM受験から開局までの総合指導システム



HAMガイド集 無料贈呈中!!

▶今すぐ右のようにハガキに書いてお申込み下さい。  
▶読むだけでも楽しい『最新HAM資料表』急送します。

「HAMガイド」送れ  
〒番・住所  
氏名・年令

〒158 東京玉川局  
私書箱19号  
CQアマチュア無線  
普及会C7係

CQアマチュア無線普及会

QTH. 東京都世田谷区尾山台3-9-5  
[CQHAMサービス 03・704・4986]

# OPINIONS OPINIONS 声 読者の

UFOはこの地球上の  
あらゆる「謎」を解明  
できる！

佐藤正幸  
〒039 青森県青森市篠田3丁目  
11の9

幽霊—昔の人は死者の再来として  
恐れた。俗に、恨みの念と共に夜な  
夜な出没するのだが、私はこういう  
類の幽霊は決して存在しないと断言  
する。人々は昔から、不思議な何か  
を見た時、それをすべて幽霊と考  
えざるをえなかった。しかし、おぼ  
け、幽霊とはUFOの乗員に他なら  
ない、私は考える。近頃、宇宙人の  
写真やスケッチがよく見られるが、  
おぼけ、幽霊と比較してみると、な  
んとよく似ているではないか。

怪獣—ネッシーでも、ニージー  
ランドの謎の生物でもいい。怪獣に  
関する謎とは、何故、超古代の生物  
それもごく一部だけが現在まで生き  
てこれたのかという点にある。私  
はUFOが彼等に餌を与えたなどと



●阪上 清久<茨城県土浦市>

ください。

「自由」と「正義」に  
ついて、みなさんも考  
えてみませんか！

佐藤 龍<22>  
〒985 宮城県塩釜市山の寺  
10の1

この本を今読んでいる方、こんに  
ちは。私は法律を学んでいる関係も  
あって、毎日「自由」と「正義」につ  
いて考えています。わが日本国憲法は  
国民に自由を保障しており、誰もが  
幸福の追求をすることができま  
す。法律は人々の生命、財産を守ると同  
時に、ある特定の行為を禁止してい  
ます。現社会では「自由」は「制限的  
自由」ということになりました。これ  
は不自由にも思えますが、実は全く  
の自由と考えてもいいのです。善悪  
の自由を選べますが、本当に「自由」  
を理解している人は決して悪を選ば  
ないでしょう。  
「すべて国民は個人として尊重され

る。……」憲法第十三条。皆さん、  
尊重されていますか。「この憲法が  
国民に保障する自由及び権利は、国  
民の不断の努力によって、これを保  
持しなくてはならない（この文句が  
とても気に入っている。又、国民は  
これを濫用してはならないのであ  
って、常に公共の福祉のためにこれ  
を利用する責任を負う）」（憲法第十  
二条。学問の自由も保障されてい  
るのだから、勉強しないと損だな。  
「正義」の問題は自然法の理論問題  
に包含され、遠くギリシア哲学者に淵  
源します。大勢の哲学者や法律家が  
正義の本体を求め続けてきました。  
何が正義で、どうしてそうなのかと  
たくさん問題が残っています。みな  
さんもひとつ考えてみてはいかが  
ですか、私の考えでは、何かすごく簡  
潔なもののような気がしています。  
思考を続けていると、行きつづまり、  
不安・絶望・恐怖に襲われることが  
あります。そんな、どうしようもな  
い時、私はこの本や「円盤同乗記」  
を読むのです。「UFOと宇宙」誌  
や「同乗記」などの書物は希望を与  
えてくれ、法律を学ぶ上でも大変役  
立ちました。私の人生は私自身が決  
めます。苦しみを覚える時、所詮人  
は独りぼっちなんだと感じます。

地球人も宇宙家族の一  
員なのです！  
波谷今日子<中2>  
〒359 埼玉県所沢市三ヶ島  
1440-16  
ねえ、みなさんは不思議に思うこ  
とはないのですか。そう、よく宇宙

予言とは、運命が存在  
する故に、成り立つの  
かも……  
吉田 宏<14>  
〒037 青森県五所川原市平井町  
132

ぼくは何故ノストラダムスのよう  
な大予言者の予言は99%という超高  
率で的中するんだらうと考えていま  
した。すると、なんと次のような結  
論に達しちゃうたのです。時間に  
は始めも終わりもない。つまり、我  
々は別の世界に無限に近い数、生ま  
れ変わりを体験し、はたまた今日の  
世界に生まれてきて、今と全く同じ  
生活をするのだということ。また、  
我々は気の遠くなるような昔から今  
のこの生活を飽きるほど体験してい  
るといふことにもなるのです。

ある人が「A山が大爆発して、大  
勢の人が死ぬだろう」と予言をして  
みごとに当たったとします。彼は無  
限にそういう時代を生きたことがある  
ので、何かのショックで潜在意識  
がよみがえり、彼に未来を感じさせ

人だ、UFOだと騒ぎたてます。で  
も、それはおかしくありませんか。  
だって、地球人も宇宙人の一員でし  
ょ？ あまり、ガヤガヤ騒ぎたてると  
宇宙人も困ってしまうのではない  
かしら。地球人は、どこに宇宙人が  
現われたとか、どこにUFOが飛ん  
できたとか、ちょっぴり、うるささ  
ぎはしませんか。研究旅行かもしれ  
ないし、ちょっととした観光旅行の途  
中かもしれない。  
でも、異星人が現われたら、友好  
的に迎えてあげたいなあ。

たのだとはくは思うのです。彼の意  
志によらず、A山の爆発を予言す  
ことはずっと昔からの習慣です。か  
らは、彼は今後もこの世界に生まれ  
なら、火山の大爆発の予言をするこ  
とでしょう。それが宇宙の摂理だか  
ら。要するに、予言とは、運命が存  
在する故に成立するのです。

ノストラダムスには人間のオーラ  
を見る力があって、人間の運命をス  
パズルと当てたそうすね。このオ  
ーラに人の運命を示す霊波的なもの  
が含まれていて、ひとつ昔の今の世  
界? にいる人間から発射された運  
命波(ぼくの造語なのダ)が、時間  
軸を一周し、今のその人間が生まれ  
る瞬間、オーラにとりつくのだと思  
うわけです。ぼくの意見、ジョウダ  
ンきつかったかな。そんじゃ、バイ  
バイ。

### 宇宙人の地球人救出説 にはどうしても納得い かない

山下江里 <16>  
〒796-07 愛媛県西宇和郡三崎  
町釜木792

本誌10月号に掲載された私の意見  
に、憶測だとか根拠がないとかいう  
手紙をいただきました。ここで、そ  
の根拠とはっきりした自分の意見を  
述べたいと思います。

宇宙人が地球人を救出するという  
説、賛否両論—たかさんの手紙を頂  
きました。私はやはり、この説を否  
定します。今ここに、地球を破壊に  
追いやるような宇宙内の変化、また  
は内部からの崩壊が起こると仮定し  
ます。それを知った宇宙人はその危  
機を警告に、もしくは救出すること

を伝えるにきている...と救人説を唱  
える人は考えるのだと思います。し  
かし、私にはそれを伝える方法が納  
りきません。なぜ、個人ではなく  
組織へ連絡を入れてこないのでしょ  
うか。どうして、もつと権力のある  
地位の人に伝えるのでしょうか。  
宇宙人はそうして伝えた個人にす  
ら、確かな証を与えず去ってしま  
す。まさか38億人中の10人ばかりに  
確固たる証拠も残さずコンタクトし  
て、彼らから思想が広がっていくと  
思っているとは思えられません。も  
し、思っているとしたら、地球人に  
ついての研究不足です。そうする  
と、どうしても矛盾が生じてきま  
す。地球人の本質を見抜けない宇宙  
人に地球人の性格の優劣を決められ  
るのかという事です。

### ●さがしています●

本誌12月号「声」欄に掲載し  
た、中原秋実「さんやーい!!」  
たかさんの方々が、あなたに  
お手紙を出しても、宛先不明  
で返送されるのだそうです。編  
集部でも努力して捜したのだす  
が、わかりません。

ぜひぜひ、これをお読みにな  
った、正しい住所をお知らせ  
ください。待ってまーす!!

私が「UFOと宇宙」に期待する  
のは、自分本位の宇宙を創造する  
ことではなく、人間が宇宙単位にも  
のびること、地球の発展につとめ  
る事です。そうすれば、いつか宇宙  
交流時代がやってくると思います。  
たとえ地球が減る日がきても、私  
は地球人としてその運命と戦いた  
いと思います。10月号の私の意見に  
は自分勝手なところがあつたこと  
をお詫言すると共に、いろいろなご  
見をお待ちしています。

### UFOを飛ばしている のは元ナチスの科学者 たちでは?

番掛勝哉 <17>  
〒921 石川県金沢市久安町4丁  
目369

私はUFOを飛ばしているのは宇  
宙人であると、決めてかかることは  
非常に好ましくないと考えます。あ  
まりに目撃回数が多く、それぞれ形  
や大きさなども違うからです。私は  
1つの説を考え、地球に目を向けて  
みました。つまり人類の誰かがUFO  
を飛ばす可能性についてです。

第二次世界大戦中、プロペラ機時  
代にドイツ軍はV1号型ロケット、  
同2型ロケットでイギリスを攻撃し  
た事実はありません。また、ドイツ空軍は世界最初のジェ  
ット戦闘機隊を実戦に使用したそう  
です。それらを発明したメッサーシュ  
ミット博士、ハインケル博士は戦後  
ソビエトもしくはアメリカに連れ去  
られたそうですが、戦中彼等の研  
究に協力した多くの部下達の行方が  
全くわからないこと。特にハインケ

ル博士はジェットとロケットを発明  
した後、ある重大な研究に没頭して  
いたこと。彼はそれがソビエト軍の  
手に落ちることを恐れ、部下にもた  
せてドイツ脱出を命じたがその後の  
ことは不明です。もしも、それがU  
FOの原理レポートで、部下達によ  
つてその研究が完成させられていた  
ら.....

元ナチスのアイヒマンはアルゼン  
チンで捕らえられ、たかさんの元ナ  
チス隊員が南アメリカへ亡命してい  
ることも興味深く思います。ソビエ  
ト軍に包囲されたベルリンをいった  
いどうやって脱出したのでしょうか。  
プロペラ機の時代にジェットを飛  
ばしたナチスドイツの科学力、ジェ  
ット時代の今日、UFOを飛ばして  
いるとしてもおかしくないと感  
じているのですが.....

## 読者イラスト集

●読者から寄せられた  
イラストをご紹介します。  
みなさん、いろい  
ろなイラストをどしど  
しお送りくださいね。



▲美しき宇宙旅行者  
熊沢田鶴子 <神奈川県横浜市>  
◀記念写真  
深沢和之 <静岡県浜松市>

### 宇宙人と神とは、全く 別物と考える

高田育宏  
〒542 大阪府大阪市南区高津  
七番丁29番地

「UFOと宇宙」が月刊誌となつた  
ことを大変喜んでいました。  
毎号、この本を読んでいますと  
ときどき、神と宇宙人が同一のもの  
のように思える記事にぶつかること  
があります。やはり、私は神と宇宙  
人は全く別物で、宇宙人も神から創  
られた一個の人間であると考えてお  
ります。私自身、「神」とはどのう  
いものであるか、わかりません。ま  
た、わかぬが故に神であると結論  
していません。

# ●文通しましよ(り)●

**超** 能力、心霊、UFOなどに深い興味と関心を持っています。

同年以上の方で、気軽にお話しできる方、どうぞお便りをください。  
久保由美子(中2)

(〒747 山口県防府市大字西浦小茅 2334)

**ぼ** くは、宇宙、古代文明、心霊、超能力などについて、たいへんな関心を寄せています。

また、フォークやポップスの音楽も大好きです。

みなさん、お手紙を待っています。  
菊池博文(高1)

(〒319 茨城県那珂郡大宮町野中3124の13)

**U** FOの飛行コース、そして、よくUFOが出現する方向などを知らず、ぼくは、ぼくに教えてください。お便り待っています。  
河野利光(高3)

(〒332 埼玉県川口市大字芝3958)

**占** い師の私。目下、超常現象研究中です。占いのすきな女性の方、文通しませんか。

また、私に占ってほしい方は生年月日と質問を記入の上、封書にてお送りください。五百円から二千元まで、くわしく占います。  
大塚貞子(20)

(〒186 東京都国立市谷保6665の9の306)

**富** 山県内にお住まいの女子高校生の方、ぼくと文通しませんか。UFOや超能力などについて、いろいろと話し合っています。

お手紙を待っています。  
石黒功一(高2)

(〒933 02 富山県新湊市本江足洗2302)

**宇** 宙哲学というものが、私にはよくわかりません。これについてくわしい方、よくご存知の方、私に教えてください。

お手紙を待っています。  
織田幸子(高1)

(〒321 02 栃木県下都賀郡壬生町上田700の2)

**無** 限に広がる大宇宙、UFO、謎について、知る限り私と話しませんか。近景の方で、油絵を描く方お便りください。

下山浩之(高1)

(〒379 23 群馬県新田郡等懸村大字阿左美1082)

**U** FOは宇宙船ではないと主張する、ジョン・A・キールやプラッド・スタインガーの説に同感する方、文通しましょう。

平野泰敏  
(〒431 33 静岡県天竜市二俣町南鹿島58-118)

**未** 知について興味のある方、お便りください。活動している研究会の方や今から会をつくらうと思っ

ている方、ご連絡ください。  
山上康裕(高19)

(〒673 04 兵庫県三木市末広2丁目11-6)

**宇** 宙文明と関係あると思われる日本古代文字を探しています。北海道、茨城、富山各県以外の方、

巨石・遺跡・発掘物などに漢、朝鮮系文字以外の象形文字が記された物をご存知の方、ぜひともご一報ください。  
井川義次(高16)

(〒186 東京都昭島市拜島町1000-86)

**宇** 宙、UFO、ESP、その他、この世の謎に関心のある方、お手紙ください。SF、機械科学に興味のある方も大歓迎。

小川勉  
(〒285 千葉県佐倉市生谷1555-20)

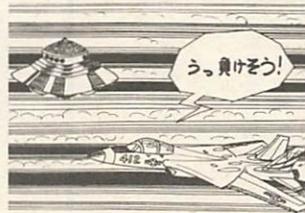
**毎** 日、古代文明と宇宙人について頭を悩ませている私です。アトランティス大陸の人々は惑星間飛行に成功していたのだろうか。人間の祖先は宇宙人だったのか。こんな疑問がつきつき湧いてきます。みなさんと疑問を投げ合いたいと思います。お便りを待っています。

梅本保博(高19)

(〒574 大阪府大東市野崎1丁目28-5)

**全** 国のUFOファン、あなたが夢の中で、宇宙人と話したり、UFOを見たりしたことがありますか、その時の様子をくわしく教えて

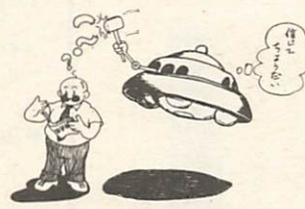
## 読者イラスト集



▲惑星間運動会  
国島好治(東京都八王子市)



▲ベーターペンの月光  
岩崎義雄(千葉県富津市)



▲信じてほしいの!  
村山祐一郎(静岡県静岡市)



▲なぜかおちる...  
平山敬二(茨城県常陸太田市)

ください。統計を取りたいので、なるべく克明にお書きください。ハガキでも封書でも結構です。お便り、お待ちしております。

加藤野男  
(〒420 静岡県静岡市千代田215の8)

**私** は、宇宙人とのコンタクトをめざしています。あなたも夜空に向かつて、テレビを通してみませんか。お便りをお待ちしています。

山野井和美(高16)

(〒340 埼玉県草加市松原3-1C7-1402)

**U** FOやアダムスキーの宇宙哲学に興味をお持ちの女性の方、ぼくと文通してください。

月に一度くらいずつ、お会いして話し合えるといいなあと思っています。  
高野公夫(高16)

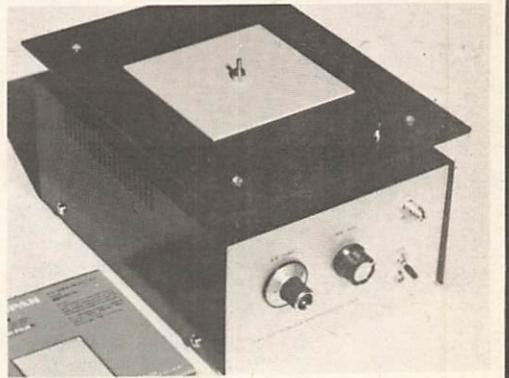
(〒329 25 栃木県矢板市山田1066)

**U** FOの存在を信じている方、ぜひ、お手紙ください。私は中学2年生です。

田中美由紀(高14)

(〒675 13 兵庫県小野市片山町)

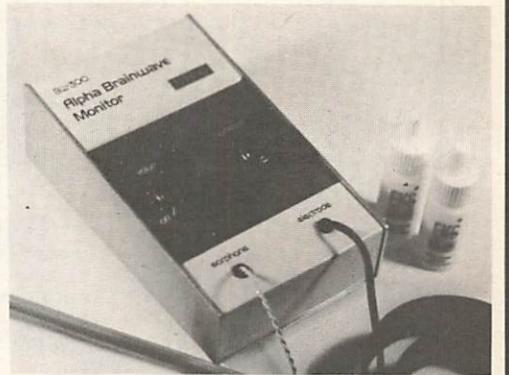
## キルリアン写真 & バイオフィードバック



**キルリアン写真セットTKP-101**(写真)  
素晴らしいキルリアン写真の世界をその目で確かめて下さい。カメラは必要ありません。  
¥28,650(送料共)付属品、説明書付。

**キルリアン写真キットTKP-102K**  
キルリアンセットTKP-101の高压コントロール部及び付属品のキットです。あなたのセットを組み立てて下さい。  
¥12,200(送料共)説明書付。

**ESPテスター TES-03**  
エレクトロニクスを応用したESPテスターです。あなたの予知能力を測定できます。  
¥3,500(送料共)説明書付。



**バイオフィードバック・モニターBW-300**(写真)  
アルファ波を感知し、トレモロ音で知らせます。ストレスを取り除き、集中力を養えます。  
¥21,600(送料共)説明書付。(輸入品)

カタログの御請求は下記まで

**(株) テクノニクス**

〒326 足利市鹿島町1156 ☎0284(62)8073

1540の1)

**U**FOに興味をお持ちの女の方、  
UFOやSFが大好きなほどと  
文通してください。なるべく、同じ

くらいの年齢がいいと思います。  
星 達男(13)  
(〒329-28 栃木県塩谷郡塩原町金  
沢1662)

★ ★ ★

# UFOファン集まれ!

**日** 本の無線UFO網を作っています。  
この無線はハムでなくCB  
です。年齢性別関係なく、どなたで  
も。また、漫画やアニメの同好会も  
考えています。50円切手を同封の上  
ご連絡ください。  
小和田祥久  
(〒253 神奈川県茅ヶ崎市共恵2-1  
5-38)

**新** 東北超常現象研究会では、UFO  
O、超能力、心霊などに対する  
人間の心理を研究。また、それらを  
土台にして超常現象を研究します。  
入会ご希望の方は、50円切手同封の  
上、ご連絡ください。  
心霊科学を重点的に研究している  
「YPRS」も会員募集中です。  
村井雅彦  
(〒013 秋田県横手市大屋新町字中

野424-1)

**南** 部心霊研究会では、今会員を募  
集中です(会費・入会金なし)。  
いろいろな情報をお持ちの方はお知  
りください。その他、心霊につい  
ての質問もお受けします。  
河原木良幸(南部心霊研究会)  
(〒031 青森県八戸市大字売市字熊  
野堂12)

**女** が23にもなって、宇宙人だ、お  
ばけだと言を輝かせて言おうも  
のなら、「この人、バカか」と思われ  
る。もうもう、ひどい時には、相手  
にされない。集え同志、結婚がな  
んだ。愛がなんだ。できれば……、  
金星人オーソンと結婚したい。  
お近くの同性の方、しろうと同志  
の、将棋の会」を作りませんか。

金星人オーソンと結婚したい。

お近くの同性の方、しろうと同志  
の、将棋の会」を作りませんか。

柏田幸子(23)

(〒033 青森県三沢市花園町2丁目  
1の5)

**U**FOに興味をお持ちの方、私と  
その推進原理、超心理学、そし  
て宇宙哲学などを研究してみませ  
んか。1人で考えてきた問題をみな  
さんの協力を得て、問題が山積され  
た社会に希望を与えることができ  
たらと思います。また、ダイナモ理論を  
よく知っている方、超能力をお持ち  
の方、ご連絡ください。たくさん  
の方からの情報を持っています。

私の究極の目的は理想社会の実現  
ですが、むずかしいことなので、ま  
ずは、研究、話し合いをしましょう。  
八鐵論司  
(〒990 山形県山形市江俣4丁目  
7-11 武田様方)

### 編集部からのお願

読者のページをもっとも  
っと楽しいものにしていき  
たいと思っています。みな  
さんの意見交換・情報交換、  
編集部宛のお便りを多くお  
待ちしています。

なお、本誌に対するご意  
見、ご希望を自由に編集部  
まで、お知らせください。  
ご投書の際、ご住所・ご  
氏名はわかりやすく、お書  
きください。





▼S社のステレオ・ラジオカセット、オリジナルのステレオ。半年間使用。無傷、性能外観とも良好。当方希望価格3万5000円〜4万円。連絡は電話でも手紙でも結構。菅野 進(〒960-07 福島県伊達郡梁川町大関中ノ内74 ☎02457715060)

▼睡眠学習器(カバ、コード、本付き、新品同様、定価1万9800円)を1万円以上で。連絡は往復はがきで。

門間 務(〒989-61 宮城県古川市福浦土手内27)

▼写真の引伸機LPL66Sと現像用品を送料共2万円。新品同様です。また、ブルワーカー12を4000円(送料別)で譲る。電話か往復はがきで連絡を。



武田政美(〒087 北海道根室市汐見町88)

▼「片目猿」1、2巻、「標準切手カタログ」(77年後期)「新、恐怖の心霊写真集」「星雲星団写真集」「星雲星団ガイドブック」(ペ1ジがとれているところもある)「追跡、推理、空飛ぶ円盤」を送料共で各8000円で譲ります。

佐賀哲哉(〒0102 北海道小樽市銭函1の50)

▼「マンガ少年」9、10号を送料共1000円で譲る。「世界のUFO」「宇宙人飛来の謎」「バミューダ海域はブラックホールか」「謎のタイムトンネル」「UFO事典」「続、私は宇宙人を見た」「聖書とUFO」「UFO追跡」「空とぶ円盤」以上を送料共6500円で。バラ売りも可。「火の鳥」1、2、3巻を送料共22000円で。連絡は往復はがきで。

小笠原康広(〒993 山形県長井市本町北2134)

大畑博之(〒673-14 兵庫県加東郡社町上鴨川)

▼まだ半年も使用していない新品同様のブルワーカー1万円をカタログ、ケースつきで6000円で。

渡辺徹(〒964 福島県二本松市根崎1の136)

▼ライフイングリッシュニューナウ(英会話テープ、未使用)1巻1700円(送料共)で4巻有り。コダックポケット50型(新同)ケ1ス、ストロボ他付属品付きで2万1000円(送料共)。サービ5品有り。10倍双眼鏡(新同)ケ1ス付き5000円。本誌他UFO、心霊関係図書、洋画パンフ100冊以上有。漫画の古書、各リストは切手50円同封。他は往復はがきで連絡を。

杉山 巖(〒231 神奈川県横浜市中央区本牧2-1349)

▼ミザール製望遠鏡、接眼レンズHM20mm、HM125mmを送料共15000円で。

稲岡 修(〒675-22 兵庫県加西市三口町740)

▼アサヒペンタックスSV、標準レンズ付きを1万5000円で。105mm F2.8を1万円譲る。

長目実雄(〒651-11 神戸市北区鈴蘭台北町5-18-21 神戸市職員寮内)

▼宇宙戦艦ヤマトの第2話から26話までのテレビを映した写真カラー、各平均24枚有り。希望の話を書いて、1話につき20円切手1枚と50円切手1枚同封のうえ連絡を。

大久保利明(〒332 長野県須坂市九反田100)

▼アラン・ドロン、オードリー・ヘップバ格的な生の声を吹きこんだテープ(非売品)を格安で譲る。連絡は返信用切手同封で。

加藤ヒロシ(〒286-02 千葉県印旛郡富里村七栄251-4)

▼英国製XPウェルダーク溶接機を2万3000円(送料共)で譲る。連絡は往復はがきで。

望月隆昭(〒499-14 山梨県東八代郡一宮町金田)

▼新宿局のローラー印のついた(44年5月27日)染井吉野の使用済み切手1シート(100枚)を送料共2500円で。神奈川県

内54局の風景印、54枚(52年7月〜8月の日付、はがき切手の部分に押印)を送料共4000円で。県外の方優先。連絡は、はがきで。

井上静江(〒230 神奈川県横浜市鶴見区下末吉6-16-37 美鶴荘E号室)

▼新品の双眼鏡(未使用)1万8000円を1万4000円で。数台あり。いつでもOK。連絡は往復はがきで。日数かかる。大向一昭(〒028-67 岩手県二戸市似鳥字大向3)

▼「自律訓練法」のテープ、テキストを2000円。「IQ開発テープ」を3000円。「試験にでる英単語カセット」No.1、4、同じく「熟語カセット」No.1を各3800円で譲る。またLP20枚(ロック)を適価で(バラ売り可)。「宇宙戦艦ヤマト」No.1の資料、情報との交換も可。連絡は往復はがきで。

河野 敦(〒652 神戸市兵庫区塚本通8丁目1の32)

▼剣道着を半額位でお譲りします。身長をお書きのうえ、はがきで連絡ください。

香山美恵(〒272 千葉県市川市南八幡3-22-11)

▼UFO(3種)と心霊写真(1種)を4枚1組で送料共8000円で譲る。バラ売りも可。デジタル、シズン時計(新品、連絡ください)は資料など送る。2万円、「欽ちゃんのドンといつてみよう」(非売品)を20000円で、「記憶術」(魔判、美品)を20000円で、「記帳術」(魔判、美品)を20000円で譲る。いずれも送料はサービス。また催涙ガス(スプレー式)を500円(他に送料が2000円)で。連絡は電話でもはがきで可。

丹羽利一(〒454 名古屋市中川区愛知町29-10 ☎052-135116898)

▼UFOの写真4枚10000円(送料共)で譲る。4枚とも明確です。またデジタル腕時計定価4万5800円を2万円、男性用、女性用、保証書付き。男性用、女性用ペアで、3万5000円で譲る。キャンデーアイスベスアルバム(テープ)定価3000円を15000円(送料共)で。原石水晶80gを4500円(送料別)で譲る。

藤岡圭一(〒350 埼玉県川越市市場2877-146)

▼巨人軍選手のアニメキャラクター写真を譲る。種類豊富です。宇宙に関する資料のコピーを5000円で譲る。また、UFO、天文、心霊、アニメの研究会の会誌との交換も可。いろいろなレコード、漫画(単行本、カメラ、望遠鏡を安価で譲って。「ファンタジー」1〜7号、「OUT」2〜6号を定価程度で譲って。往復はがきで。山本圭子(〒156 東京都世田谷区羽根木1-14-16)

▼昔のテレビ漫画のレコード、まとめて3000円相当を20000円で。種類は、「スベトルマン」「怪獣王子」「ウルトラマン」「キャプテンウルトラ」など多数。早いもの勝ち。また、海のトリトンや科学忍者隊ガッチャマンのポスターを適価で譲る。往復はがきで、連絡を。

津下貴式(〒871-41 熊本県熊本市上ノ郷町4)

▼口径6cmの屈折天体望遠鏡一式を送料共6000円、9000円で譲る。相談も可。往復はがきで連絡を。

阿部弘人(〒059-04 北海道登別市富浦町1の30の1)

▼「全国アニメ放送状況表」を1部2000円(送料共)譲る。切手でも可。往復はがきで連絡を。

庭田 純(〒031 青森県八戸市柏崎3-13)

●勝又英嗣 北海道札幌市



庭田 純(〒031 青森県八戸市柏崎3-13)

●勝又英嗣 北海道札幌市





▼日本GAP機関誌のNo.1756までのいずれでもよいかから譲って。コピーでも結構。ただし、代金は本代、またはコピー代ぐらしかかれませんので申しからず。長尾俊明(〒631 奈良市西登美ヶ丘5丁目2-12)

▼「マンガ少年」創刊号7月号(去年の)を2500円で譲って。はがきで連絡を。村田千里(〒356 埼玉県上福岡市公務員住宅4-504)

▼本誌No.177を5000円以内で譲って送料は当方負担。美品を希望。いづれか一部でも結構。はがきで連絡。船見悦通(〒940-02 新潟県栃尾市金沢4丁目)

▼日本サイコロノクス研究協会、国際宗教・超心理学会、日本P.S.学会、超心理研究会、その他の研究団体の機関誌を安価で譲って。送料当方負担、支払いは切手で。往復はがきで連絡ください。また、UFO、超能力、心霊の体験をした方、体験談を知らせてください。

▼石川修(〒326 栃木県足利市千蔵町47番地)

▼「文芸春秋デラックス、古代遺跡、UFOの中村絵里(〒998 山形県酒田市亀ヶ崎1丁目4-35)

▼「UFO事典」写真で見える空飛ぶ円盤200集」を送料共各5000円で譲って。本誌No.8~12のいづれかを無料で譲って。また、他の「UFO」の本をお持ちの方、ほかのUFO4枚連続写真と交換して。なお写真の欲しい方には譲ります。往復はがきで連絡を。木下茂(〒329 28 栃木県塩谷郡塩原町野沢41の1)

▼テレビアニメのキューティハニーのセル譲って。電話は0467-8512210 小和田祥久(〒253 神奈川県茅ヶ崎市共恵2-5-38)

▼本誌No.1送料共800円(美本)で譲って下さい。また各記念貨を扱います。札幌600円、天皇、万国300円、五輪1000円、円銀5000円(各未使用)、一分銀2000円、一朱銀600円、天保通宝300円、寛永通宝1000円、常永通宝(当百文)1000円、二朱金2000円、一分金1万円、地方貨1000円、円銀(明治3年)3万円で買います。連絡は、はがきで。

▼下山浩之(〒379 23 群馬県新田郡笠懸村大字阿左美1082)

▼本誌No.577を適価で譲ってください。また、「マンガ少年」10月号を5000円以内で譲って。「九ツラフィク」23号以前も譲って。本誌24号無料で差し上げます。人里利一(〒056 01 北海道静内郡静内町字農屋)

▼写真で見える空飛ぶ円盤200集」UFO写真集」を送料共各5000円で譲って。星 達男(〒329 28 栃木県塩谷郡塩原町金沢1662)

▼本誌No.177まで1冊50円で譲ってください。切り抜きや落書き、折りめのない物に限ります。原口敏明(〒359 埼玉県所沢市南永井883)

▼「宇宙大作戦」関係の本や資料、安価で譲ってください。また、UFOや超自然現象などの研究会も教えてください。小松和夫(〒311 24 広島県芸北町荒伸原1106)

▼本誌No.178と「空飛ぶ円盤実見記」を安価で譲ってください。はがきで連絡を。井口敏夫(〒833 福岡県筑後市馬間田)

▼本誌No.25、23を譲ってください。はがきで連絡を。佐々木雅基(〒605 札幌市東区北21条東2丁目)

▼「宇宙戦艦ヤマト」に関する本、資料、ポスター、プラモデルなどを高価で譲って。「太陽の王子」ホルモンのポスターも譲って。中谷杉久(〒673 兵庫県明石市富美町13-8)

●平林 操 静岡県富士宮市



▼小椋 佳のファーストLP「青春」を適価で譲って。送料当方負担、はがきで連絡ください。

▼田中道俊(〒826 福岡県田川市西区新生町4組)

▼大田裕美のポスター、切りぬきなど譲って。たくさん譲ってくれた人には送料を倍にして返します。田島哲哉(〒470 23 愛知県知多郡武豊町字元貫山213番地の7)



▼UFOの写真をお持ちの方、ほかの持っている小説「SF真昼の侵入者」「SFその列車を止めろ」「SF二十四時間の侵入者」「われら受難特攻隊」と交換して。または一枚1000円前後で譲って。往復はがきで連絡を。星 達男(〒329 28 栃木県塩谷郡塩原町金沢1662)

▼「海のトリトン」の台本のコピー、4、15、20話を各4000円で、5話の絵コンテのコピーを1800円でお譲りします。またホルスに関するものを適価でお譲りください。原画、セル、脚本などの交換も可。往復はがきで連絡を。横田純子(〒560 大阪府豊中市末広3-3-24 三谷方)

▼「宇宙戦艦ヤマト」のLPレコード、または、カセットテープをお持ちの方、「UFO大襲来」、「パニユード海域はブラックホールか」と交換してください。拓植由次(〒509 82 岐阜県恵那市中野方町3554の1)

▼霊力を増す神秘的シンボル・マスコット(金張りのお守り、輸入品)を1500円でお譲り下さい。または本誌バックナンバー15冊と交換して下さい。

▼早川成女(〒605 札幌市東区北12条東2)

▼本誌No.1710を持っている方、「サイボーグ009」、「切手」と交換して。連絡は往復はがきで。また、切手90枚を1000円でお譲りします。薩摩忠美(521-12 滋賀県神崎郡能登川町能登川)

▼「蚤の市」に皆様様の投稿をお待ちしています。どしどしお寄せ下さい。(編集部)

レンズ片方無料でおなじみの

# 東京 新宿西口メガネが レイバン・ サングラスを 5割引!!

**通信販売**

を開始!  
店頭にても  
販売

	スモーク	グリーン
金	¥16,000→8,000	¥16,000→8,000
ブラック	¥17,000→8,500	¥17,000→8,500



CARAVAN<キャラバン>

	スモーク	グリーン	濃スモーク
金	¥18,000→9,000		
ブラック	¥19,000→9,500		



METALII<メタルII>

	スモーク	グリーン	濃スモーク	フォトサン
金	¥16,000→8,000			¥20,000→10,000
ブラック	¥17,000→8,500			



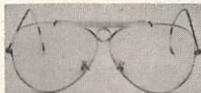
METAL<メタル>

	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン	ミラー
金	¥18,000→9,000	¥20,000→10,000	¥22,000→11,000	¥21,000→10,500	¥21,000→10,500
ブラック			¥23,000→11,500		



OUTDOORSMAN<アウトドアズマン>

	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン
金	¥20,000→10,000	¥22,000→11,000	¥24,000→12,000	¥25,000→12,500
ブラック				



SHOOTER<シューター>

	スモーク	グリーン	イエロー
金	¥21,000→10,500	¥23,000→11,500	



DECOT<デコット>

- 申込方法  
ご希望のモダル名・レンズの色と住所・氏名を明記し現金書留又は代金引換にて申込み下さい。送料はサービスいたします。
- 申込先  
〒160 東京都新宿区西新宿1-11-6 協立ビル  
新宿西口メガネ レイバンUFO係

店頭特別企画  
好評実施中!

メガネレンズ  
片方無料!  
コンタクトレンズ  
クリニック併設!

学生割引も致しております

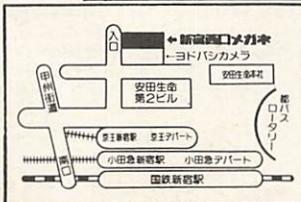
各種メガネフレーム  
ローアンストック・  
マルヴィッツ・  
メッツラー他  
各種メガネレンズ  
HOYA・ニコン・ツアイス他

私もTVCMで  
放映中ですよ。

週刊ポスト連載中

**忘れ苦兵衛**

おことわり  
品切れの際は、入荷予定日をお知らせ致します。  
又、御返金も致します。



## 新宿西口メガネ

東京・新宿西口・安田生命第2ビル裏・ヨドバシカメラ並び  
営業時間 AM10:00~PM8:00 年中無休

でんわ東京 03-348-3360

# 本誌バックナンバー紹介

■1〜7号は売切れ、8号は残部僅少  
■送料 50円（1冊に付き）

## ●No. 8 (1974年9月発売) ¥330

◇マンテル大尉の悲劇／荒井欣一◇イタリアの不思議な小人出現事件◇ネス湖における悪魔ばらいの儀式◇UFOの着陸◇天体オーラと宇宙電界の謎／内田秀男◇宇宙・引力・空飛ぶ円盤(3)◇L.クランプ◇その他

## ●No. 9 (1974年11月発売) ¥400

◇UFOによる米空軍機追尾事件◇UFOは人類を宇宙へ導いている◇スペインに出現した円盤と乗員◇ジョージ・アダムスキーはまだ影を投げかけている◇G.クレイトン◇宇宙・引力・空飛ぶ円盤(4)◇その他

## ●No. 10 (1975年1月発売) ¥360

◇銀色の服を着た宇宙人／高梨純一◇科学を曲げる男ユリ・ゲラー◇月世界の謎の現象を探る 高木正太郎◇宇宙・引力・空飛ぶ円盤(5)◇宮崎県のUFO現象を分析する◇UFOの推進法について◇その他

## ●No. 11 (1975年3月発売) ¥360

◇月面は円盤の中継基地か◇ニューヨーク州の着陸事件◇1980年代の宇宙連絡船◇原子・銀河系・理解(1)◇D.フライ◇東北、関東東をよぎったUFOの大編隊◇アダムスキー型円盤、尾道市に出現◇宇宙・引力・空飛ぶ円盤(完)◇その他

## ●No. 12 (1975年5月発売) ¥360

◇甲府市にUFO着陸◇古代の天空人／E. V. デニケン◇オーストリアの光るカタツムリ状物体◇原子・銀河系・理解(2)◇ソ連圏のUFO現象(1)シベリアの謎の大爆発◇長野県に落下した小型円盤◇北海道で撮影されたUFO◇その他

## ●No. 13 (1975年7月発売) ¥360

◇千葉市にアダムスキー型円盤出現◇円盤に乗った宇宙人を見た◇宇宙交信のためのテレパシー通信◇炎をぶく不思議な物体◇原子・銀河系・理解(3)◇円盤現象を解釈するために欠かせない「アインシュタイン」の三つの基本事項◇ソ連圏のUFO現象(2)◇その他

## ●No. 14 (1975年9月発売) ¥390

◇1897年の謎の飛行船◇私は金星文字を解読した◇大気圏外生命体とのコンタクト◇実在する超感覚と念力◇関英男◇円盤と人体保護装置◇原子・銀河系・理解(4)◇ソ連圏のUFO現象(3)◇その他

## ●No. 15 (1975年11月発売) ¥390

◇ステラ・ランシング夫人の不思議な写真◇ドラギニャンの怪事件◇ワルトンの奇怪なロボット◇G.クレイトン◇聖書の予言とスペース・プログラム(1)◇原子・銀河系・理解(完)◇ソ連圏のUFO現象(完)◇その他

## ●No. 16 (1976年1月発売) ¥390

◇その他

◇テレポーテーションとテレパシー／平野威馬雄◇聖書の予言とスペース・プログラム◇X博士の怪UFO事件◇作図によるアダムスキー型円盤解折の試み◇三原市の驚異コンタクト事件◇UFOと日本列島構造線◇その他

## ●No. 17 (1976年3月発売) ¥390

◇月面の謎アポロ飛行士が撞ったUFO写真初公開◇UFOは地球の救済にくるのか◇奇跡を起こす方法・宇宙人とのコンタクト◇ピーター・フルコスの驚異的大発見◇アポロの飛行士は月で地球外文明を見た◇その他

## ●No. 18 (1976年5月発売) ¥390

◇トラビス・ウォルトンのUFO同乗事件◇私は宇宙人のクビをすげかえた◇UFOは地球の救済に来るのか(完)◇マヤと飛鳥を結ぶ宇宙人の遺産◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(1)◇その他

## ●No. 19 (1976年7月発売) ¥390

◇横尾忠則・私はUFOを何度も見た◇チャールズ・ムーディ軍曹、砂漠で円盤に誘拐される◇世界の12の魔の墓場◇宇宙人はなぜ人類と正式に交流しないのか◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(2)◇その他

## ●No. 20 (1976年9月発売) ¥430

◇絵巻・火星の大地◇トラビス・ウォルトン事件の真相◇東北地方UFO事件特別取材◇UFOインタビュー・久里洋二◇月世界はUFOの中継基地か(2)◇D.ウィルソン◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(3)◇その他

## ●No. 21 (1976年11月発売) ¥430

◇絵巻・ピレネーの怪物◇日本を代表するUFO研究者3人の主張展開◇精密UFO大図鑑◇UFO事件完全年譜◇空飛ぶ円盤の推進原理を探る◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(4)◇その他

## ●No. 22 (1977年1月発売) ¥430

◇UFOは石を食べていた◇チベット山中の金星基地◇金髪的女性宇宙人としばしば接触◇女性三人を身体検査した巨大UFO◇着陸した円盤に宇宙人の死体◇UFOアメリカ◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(5)◇その他

## ●No. 23 (1977年3月発売) ¥430

◇(特集)ジョージ・アダムスキー◇闇夜に牛が殺された? 矢道純一◇UFO写真のコンピュータ分析◇女性宇宙人セムジャーゼとの会話◇星・生命の始まるころ◇その他

## ●No. 24 (1977年5月発売) ¥430

◇(特集)戦後UFO30年史◇ウィンチェスターに出現したUFOと不思議な人間◇謎のニューヨークの大停電／荒井欣一◇驚くべきコンタクトの全貌◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(6)◇UFOに家族をさらわれた◇その他

## ●No. 25 (1977年7月発売) ¥430

◇(特集)謎の黒い影◇宇宙人の言葉の解読に成功◇私は円盤に乗った宇宙人に救われた◇UFOと謎の奇怪な生物(1)◇G.パーカー◇聖書と宇宙人◇C.ホリロン◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(7)◇その他(月刊8月号)

## ●No. 26 (1977年8月発売) ¥430

◇宇宙人と、地球の新人類=超能力少年◇怪物ビッグフットとUFO◇UFOと謎の奇怪な生物(完)◇怪物かサメか◇奇跡! ルードの聖泉(1)◇超能力の謎は科学で解けたか◇中岡俊哉◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(8)◇その他(月刊9月号)

## ●No. 27 (1977年9月発売) ¥430

◇ワシントンのUFOパニック◇宇宙人からテレパシー・メッセージを受ける科学者たち(1)◇怪死した青年実業家／中岡俊哉◇謎の第10番惑星／斎藤守弘◇奇跡! ルードの聖泉(完)◇この眼で見た現代の怪物◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(9)◇その他(月刊9月号)

## ●No. 28 (1977年10月発売) ¥430

◇驚異の宇宙人撮影事件◇宇宙人からテレパシー・メッセージを受ける科学者たち(完)◇スパイに使われる超能力者◇中岡俊哉◇灼熱の密林より永遠に(1)◇久保田八郎◇海溝に消えた太古の首長電◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(10)◇その他(月刊11月号)

## ●No. 29 (1977年11月発売) ¥430

◇札幌市で異星人との驚異コンタクト発生◇雲は未来の出来事を語る◇アフリカの超能力研究◇中岡俊哉◇星のささやく新宇宙◇斎藤守弘◇灼熱のジャングルより永遠に(完)◇海溝に消えた太古の首長電(完)◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(11)◇その他(月刊12月号)

## ●No. 30 (1977年12月発売) ¥430

◇宇宙の美女とUFO◇創刊30号記念あゝの写真をもう一度◇各界著名人特別寄稿◇札幌市で異星人との驚異コンタクト発生(2)◇聖書と宇宙人(完)◇ハロー、異星人、こちら地球／斎藤守弘◇(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(12)◇その他(月刊新年号)

## 特製バイナダー

本誌保存用  
¥400

荷造送料  
1〜2冊 ¥350  
3〜4冊 ¥700

「UFOと宇宙」を破損・紛失しないためにバイナダーをご利用ください。6冊をとりまとめることができます。

■当社出版物が書店にない場合は振替・現金書留・小為替・低額切手などで当社宛直送ご注文ください。

## ユニバース出版社

# エエゴロ バックナンバー

■送料・1冊 ¥160  
2〜3冊 ¥200  
4〜6冊 ¥240

## 創刊号 (1976, 11-12月) ¥430

◇(特集)巨大地震予知最前線◇よみがえれ冷凍人間／田辺純◇ヒマラヤの雷男・イエティを訪ねて／谷口正彦◇恐怖の動物と怪物／黒沼健◇金を生み出す「生きた原子炉」／斎藤守弘◇矢道純一 不思議考「ナスカの巨大地上絵」◇日本にもピラミッドがあった!?／高坂勉◇その他

## 創刊第2号 (1977, 1-2月) ¥390

◇キミは氷河期を生きたらるか◇細菌兵器／小橋良夫◇多重人格者／斎藤守弘◇大作曲家がとり憑いた女性ロズマリー／ブラウン◇和田則彦◇モーゼは日本で死んだ? 高坂勉◇クロワゼットとフルコス◇中岡俊哉◇航空機事故は23日周期で起こる!／井上超夫◇その他

## 創刊第3号 (1977, 3-4月) ¥390

◇(特集)人の進化・過去と未来◇現代の拷問／佐々木雅子◇日本列島島探し／桑田忠親◇大空へ蒸発した2人の男サンテグジュペリとギヌメル／小橋良夫◇ポルターガイストの家／中岡俊哉◇巨石は念力でとばされた!?／矢道純一◇その他

## 第4号 (1977, 5-6月) ¥390

◇(特集)現代の売春◇コンピュータ犯罪／松木修平◇オリバーの謎に挑む／斎藤守弘◇現代忍術大研究序説／名和弓雄◇ソ連・超能力研究の秘密◇日本の最高秘密結社／赤間明◇タイの超能力者スーチャン僧◇中岡俊哉◇パピュア海域に潜入する／矢道純一◇その他

## 第5号 (1977, 7-8月) ¥430

◇(特集)超能力◇失われた大陸アトランティスの謎／ジョン・ネーカー◇恐怖の幽霊屋敷／住可浅水◇ヒトラーと秘密結社／赤間明◇パピュア海中に人工建造物を発見! 矢道純一◇キリストは日本で死んだ! 高坂勉◇驚異のピラミッド・パパー／久保田八郎◇その他

3月号予告!

# 国連に“UFO研究”を 提案した、あのゲャーリー 首相に直撃インタビュー!

- 現地取材!この眼で見た現代の怪奇  
大型バスを呑み込んだUFO!南  
米から本誌へ徹底報告!矢追純一
- クボタ・ミステリーシリーズ  
ネス湖に未確認動物は実在するか?

全米のUFO研究家一覧  
宇宙構造大奇説とは?  
世界宇宙考古学会議報告  
その他、諸々の情報満載!

2月20日発売! 3月号予告!

## 編集後記

編集部はいつその緊張感を禁じ  
得ません。

★国連の会議場やホワイトハウス  
内で、UFO。ということばがと  
び交い、ニューヨークでは映画  
『スターウォーズ』が大群集を呼  
び、週刊誌タイムやニュースウイ  
ークが新作映画「未知との遭遇」の  
前評判をおおる……今年にUFO  
観が大きな転換を遂げる年になる  
のかも知れません。ただでさえ懸  
然とした空気が漂う背景の中で、

★本誌の記事内容、掲載写真等に  
ついて編集部の意見を付すように  
という読者のハガキが相当数にの  
ぼります。UFOは名の通り未確  
認です。現時点では編集部として  
も明確な白黒をつけることは非常  
に困難です。ただ、特定の解釈に  
陥ることは、今後厳密に避けてい  
きたいと思えます。(Y)

## 投稿歓迎

本誌はUFOおよび一般ミステリー問題に関する原稿・写  
真・研究発表等を広く募集しています。原稿はなるべく原稿  
用紙(タテ書き)をご使用ください。なお、投稿された原稿  
類はお返し致しません。

掲載分には規定の原稿料を差し上げます。  
あて先

〒110 東京都台東区上野五―一―六 ヤマトビル  
ユニバース出版社「UFOと宇宙」編集部

UFOと宇宙 1978年1月号 第30号

定価 四三〇円 送料五〇円

発行 昭和五十二年一月一日

(月刊)毎月(二〇日発売)

編集人 矢沢 潔

発行人 大木 茂男

発行所 株式会社 ユニバース出版社

住所 〒110 東京都台東区上野五―一―

六 ヤマトビル

電話 〇三(八三二)―一三四一―四四

振替 東京一―一九四七八

印刷所 三晃印刷株式会社

年きめ購読料 五一六〇円(送料サ―ビス)

書店で入手できない場合は、本社へ直接ご注  
文ください。

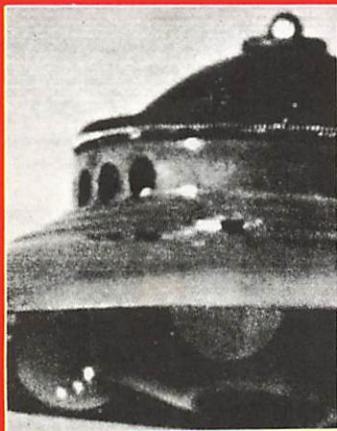
本誌掲載記事・写真の無断転載を禁じます。  
海外の記事はすべて翻訳転載権取得済。

# UFOと宇宙

絶賛発売中!

定価 **1300円**  
(〒160)

●空飛ぶ円盤は実在する! 遠い惑星から、偉大な進化をとげた人類が、大宇宙船を駆つて地球の救援に飛来……壮大な宇宙空間の大スペクタクルと驚異的事実をつたえた本書は、まさに20世紀最大のドキュメントだ!



# 宇宙からの訪問者

■米ジョージ・アダムスキー財団より翻訳合本出版権獲得!

|| 偉大な惑星人との会見記 ||

ジョージ・アダムスキー / 著

久保田 八郎 / 訳

●「空飛ぶ円盤実見記」「空飛ぶ円盤同乗記」として名高い一点の記録書をアダムスキー研究者として著名な久保田八郎が流麗平易な訳文により全面的に改訳、「実見記」のうちアダムスキーの手記と「同乗記」全文を合本として事件の理解を容易ならしめ、また未発表写真を含め50点以上の写真・図解を一挙掲載した決定版である!

ユニバース出版社

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル  
☎832-1341~44 振替・東京1-119478

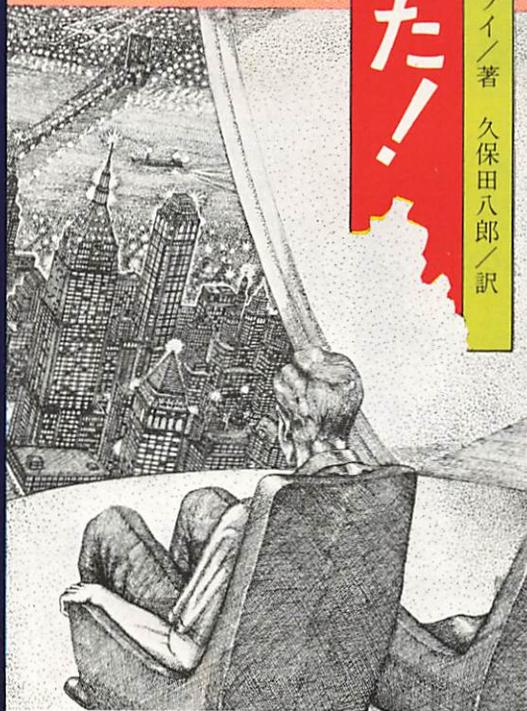
●書店にない場合は直接当社営業部までご注文ください。

B6判 272頁  
定価750円  
送料160円

# 私は円盤に乗った!

●驚異のホワイトサンズ事件 ダニエル・フライ / 著 久保田八郎 / 訳

1950年7月4日夜、米ニューメキシコ州ホワイトサンズのロケット実験場に突如一機の円盤が着陸し、内部から響く不思議な声に誘われて乗り込んだ科学者フライは、ニューヨーク上空までを30分間で往復する / その間、円盤の推進法や宇宙人の故郷と超絶した科学、哀れな地球の現状等を知らされるというこの驚異の物語は「UFOと宇宙」第2号に掲載され当時の読者を熱狂せしめたが、いま新装なった単行本として同著者によるすばらしい関連記事三篇をあわせ収録しあらためて読者に贈る / UFO研究者必読の書。



付■宇宙人アランのメッセージ / 進歩の曲がり道 / 原子・銀河系・理解

ユニバース出版社

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル  
電話(832) 1341~1344 振替・東京1-119478

●書店にない場合は直接当社営業部までご注文ください。

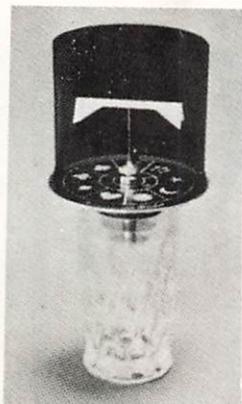
# あなたにも“念力”がある!!

## 念力開発器

(ロジクルツシャン・ダイヤレット)

人はだれでも潜在的に念力を持っています。ただそれに気がつかないことが殆んどです。このダイヤレットであなたは自分に念力があることが自分自身で確認できますし、訓練によってそれが強化されてゆくのが分ります。バラ十字団の団員は現にダイヤレットを使って自己の念力を強化して実生活で幸福をつかむ手段としていました。

¥7,000 (送料共)

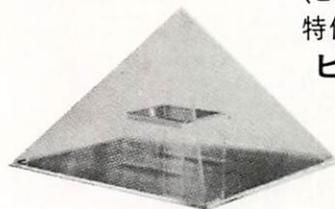


## ピラミッドーA

アクリル製底辺約24cm  
(ピラミッドパワー実験用)  
特価 ¥6,000(送料共)

## ピラミッドーB

実験だけ楽しみたい方には普及型ピラミッドーB  
(¥1,000送料共)もあります。



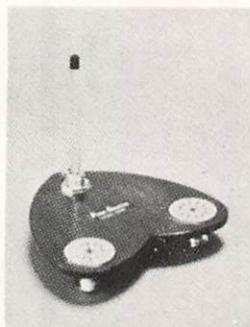
不思議なピラミッド・パワーの実験ができます。中の台に色々な物を置いてみましょう。カミソリの刃は再び切れるようになります。生花は外のものより長持ちします。ミルクや果物も腐敗が遅くなります。魚や虫など小動物がミイラ化します。その他色々面白い実験ができます。

## プランセット

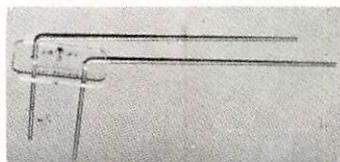
(西洋式こっくりさん)

プランセットとはそれを行う人の意志とは関係なく自然に動き文章や図形が記されるもので、プランセットの実験は精神統一にも有益で家族や友人と一諸に楽しめます。

¥5,000 (送料共)



## 宝探しロッド (ダウジング・ロッド)



¥3,000 (送料共)  
セパレーター付

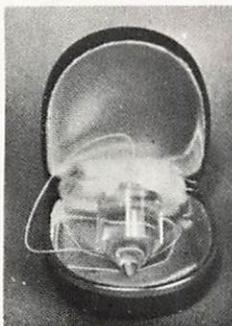
このロッドであなたは不思議な力が発揮できるようになります。比較的短期間の練習で多くの人が、紛失物やかくされた物を発見できるようになります。この道具は実際に地下のガス管や水道管を探すのに実用されています。さあ、あなたも自分の潜在能力を試してみましょう。

## 魔法の振子

(シュプロール振子)

魔法の振子は、潜在能力開発のもっとも基本となる道具の一つです。魔法の振子で自分のかくれた能力を発見して下さい。占いにも使えます。

¥2,000 (送料共)  
携帯用ケース付



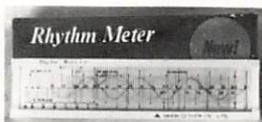
## カシオ・バイオレーター



あなたのバイオリズムがワンタッチで出ます。健康管理、セールス、受験勉強、事故防止、スポーツ等に应用できますし、相性判断もできます。

特価 ¥6,000(定価は ¥7,500です)

## リズム・メーター



バイオレーター同様、簡単にあなたのバイオリズムが求められます。又、グラフに表されますので大変便利です。

¥1,500(送料共)

## ジョーズの口

本物です。室内の装飾に最適!



A 約20cm ¥5,000  
B 約25cm ¥7,000  
C 約30cm ¥10,000  
D 約35cm ¥15,000

価格はいずれも送料共です。ジョーズのAとゆうように御注文下さい。

シャーク←写真のものより平たく歯がや、短い。約30cm ¥3,000

## 消えるボールペン



西独製の消えるボールペンです。紙でも布でも手でも書いた後反対側のインク消してサッと消せます。あまりいたずらしないように。

¥300(送料共・切手も可)

※上記商品には、詳しい説明書、練習方法の解説がついています。

●カタログ請求・お問合せは

〒103 東京都中央区日本橋小舟町2-7

発売元

**ポラックス株式会社 U 係**

TEL (03) 666-0511(代)

技術指導

**潜在能力開発研究所**

ご注文は

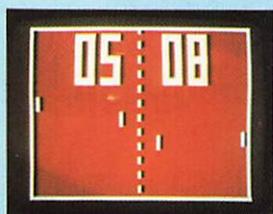
紙に商品名、住所、電話番号、氏名を書き捺印の上代金を現金書留封筒又は郵便振替(東京・4-8703)でポラックス株式会社 U 係にお送り下さい。

新発売

衝撃のカラービデオゲーム

信頼の MOP 8 × 30 を従えて

熱い期待の中を遂に登場



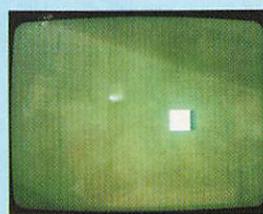
テニス  
2人ゲーム  
4人ゲーム



スカッシュ  
1人  
2人



サッカー  
2人  
4人



ライフル I、II  
1名



コメット8000

ライフル銃 ACアダプター  
切換スイッチ MOP 8 × 30含む  
新発売

特別価格 ¥19,800

送料 ¥1,200

MOP 8 × 30



カスタムマイクロコンピュータ搭載(MOS7600)  
ビデオゲームマシン/MODEL COMET 8000

ご注文方法 広告価格はすべて現金価格です。ご注文の場合は品名・住所  
電話番号・氏名を明記し、現金書留でお申し込みください。

お求めは……



(株)インターナショナル・サイエンティフィック (旧社名株インテル)

〒193 東京都八王子市小比企町2957-9 ☎0426(25)7941



# ピラミッド製品発売中!!

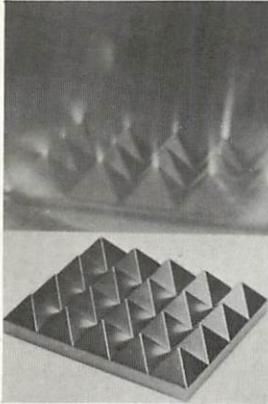


——— ピラミッド・エネルギーをあなたのものに! ———

ピラミッド・エネルギーの発見以来、この力を実用化しようと数々の研究が行なわれてきたが、ついにアメリカのパット・フラナガン博士を中心とするピラミッド・プロダクツ社の研究員達によって“ピラミッド・エネルギー発生器”の開発に成功した。そして次々に新製品が開発された。以下は当社が自信をもって皆様におすすめするピラミッド製品(アメリカ製)の数々である。

## エネルギー発生器

(ピラミッド・エネルギー・ジェネレーター)



ジェネレーターとエネルギーの発生している瞬間。(キルリアン写真による)

多方向磁場内蔵の結果南北の磁軸に合わせる必要がありません。ピラミッド模型より数倍のエネルギーが発生します。この上に置くだけで、コーヒー、タバコは味がマイルドに、食物は新鮮さを長く保つようになります。

- ポケットサイズ (3×5インチ) ¥3,200(送料共)
- メディアムサイズ (4×5インチ) ¥4,150(送料共)

## エネルギー放射板

(ピラミッド・エネルギー・プレート)

ピラミッド・エネルギー(18ヵ月分)が注入してある特殊なアルミ板で、ジェネレーターと同じ働きをします。一週間に一度12時間、ジェネレーターの上に置くだけで100%エネルギーを放射します。枕の下に置けばこちよい睡眠ができます。

- ポケットサイズ (3×5インチ) ¥1,650(送料共)
- メディアムサイズ (4×5インチ) ¥1,950(送料共)
- キングサイズ (8×10インチ) ¥3,500(送料共)

## アクセサリ

(ピラミッド・メダル)



エネルギーをよく吸収し、放射しやすい特殊合金でできています。一晩ジェネレーターの上に置いて体につけると、あなたに宇宙生体エネルギーを補給することができます。

- ピラミッド・メダル (男性用) ¥3,950(送料共)
- ピラミッド・ペンダント (女性用) ¥3,150(送料共)

## ピラミッド・テント

(モジュール・ピラミッド一式)

(組立式)

¥22,600(送料共)



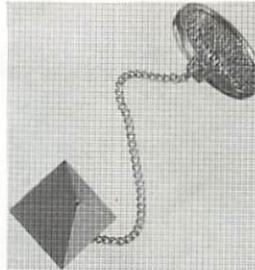
ギゼーの大ピラミッドを正確に縮小し、ピラミッド・エネルギーで処理した特殊アルミ管製。ワンタッチで開くと四角錐の表面にエネルギー・スクリーンができ、方位を合わせると中にエネルギー場が出現する。植物の発育や、深い瞑想、安眠に役立ち、あなたの宇宙生体エネルギーを強化させます。

## ピラミッド振り子

(ペンデュラム)

ピラミッド・エネルギー振り子を使うと潜在意識が呼びさまされ、振子が四通りの動きをすることによって様々な問題の解答が得られます。

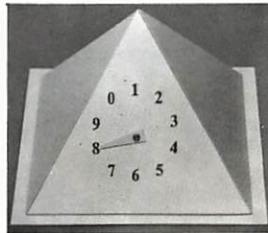
¥2,650(送料共)



## パワーダイヤル

あなたの潜在能力を強化し肯定的な希望を実現に導く働きをします。1~10までのある一つの数があなたの自己数になりますが、その数をセットして目的実現のため、ピラミッドに向かって潜在意識に呼びかけるのです。

¥1,850(送料共)



## ピラミッド・レプリカ

¥2,450(送料共)

底辺13インチ、高さ8インチのアルミ貼り厚紙製ピラミッド。

## ピラミッド・エネルギー研究セット

¥1,700(送料共)

パット・フラナガン著「ピラミッドと宇宙生体エネルギーとの関連」とコンパス、高さ4インチ、底辺6インチの厚紙丸窓付ピラミッド模型3個がセットになっています。実験に最適です。

(上記の商品は全てアメリカのピラミッド・プロダクツ社の製品で、それぞれ詳しい日本語の説明書が付いています。)

(総輸入元)  
マンカインド株式会社

(〒150) 東京都渋谷区宇田川町12-3 ニュー渋谷コーポラス1104  
TEL. 03-464-8075

●ご注文は現金書留か郵便振替(東京4-21690)に商品名を明記して当社までお申し込み下さい。カタログ請求の場合は50円切手を同封して下さい。

# 35mm一眼レフ用



2倍テレコンバーター  
¥7,000~¥8,800

200mm ¥14,000



300mm ¥18,000

400mm ¥21,000 500mm ¥24,000

# スリコール リライアンス交換レンズ は1台3役

驚異的低価格

- 1カメラ用望遠レンズが (300%・400%・500%)
- 2ズーム式望遠鏡に (別売部品) アイビスアダプター ¥1,500 ズーム式地上アイビス ¥4,500 300%の倍率: 17倍・50倍 400%の倍率: 22倍・67倍 500%の倍率: 28倍・83倍
- 3天体望遠鏡に (別売部品) アイビスアダプター ¥1,500 天体用アイビス各倍率 ¥1,500 300%の倍率: 24倍・50倍・60倍・75倍 400%の倍率: 32倍・50倍・80倍・100倍 500%の倍率: 40倍・62倍・100倍・125倍

## ●リライアンス交換レンズ仕様 (プリセット絞り・絞込測光・マウント交換式)

品番	LP135	LP200	LP300	LP400	LP500	WP35
焦点距離	135%	200%	300%	400%	500%	35%
明るさ	F:2.8	F:4.5	F:5.6	F:6.3	8	F:2.8
レンズ構成(群/枚)	4/4	3/4	3/4	3/4	3/4	5/6
全長・重量	80・340	140・420	230・550	315・700	410・790	52・150
価格	¥13,000	¥14,000	¥18,000	¥21,000	¥24,000	¥12,000
付属品	フード・マウント・ケース					マウントケース

●価格は付属品を含んだ価格です。35mm一眼レフ専用

## マルチコート2倍テレコンバーター

標準レンズ50%に付ければ100%に、200%なら400%の2倍の望遠レンズに成ります。アサヒペンタックスSシリーズ用¥7,000(フジカ・マミヤ・リコーヤシカにも使用可能)・キヤノン用¥8,500・ミノルタ用¥8,000・オリンパスOM用¥8,500・ニコン・ニコマート用¥8,500・コニカ(新)用¥8,800・アサヒペンタックスM・Kシリーズ用¥8,500(アサヒペンタックス用のみ自動絞、絞込測光) 他は自動絞、開放測光、AE 連動は絞優先カメラのみ可能。

カメラの有力専門誌「日本カメラ」51年6月号特集「常用交換レンズ総点検」より(原文のまま)スリコールLP135・135% F2.8 中心部はコンラドもほぼ良好でシャープさもじゅうぶんである。周辺部はわずかに画質が低下するが自立つぼではない。全般的に見て各取差がバランスよく補正され画質のよいレンズである。しかも13,000円という普及価格は魅力がある。

## 使用出来る35mm一眼レフカメラ

アサヒペンタックス(S・K・Mシリーズ)・ニコン・ニコマート・キヤノン・ミノルタ・オリンパスOM・コニカ(新)・ベトリ・ミランダ・トプコンエキザクタ(フジカ・ミミヤ・リコー・ヤシカはネジ込み式)

★ご注文は必ずカメラ名をお知らせ下さい。精密光学製品に付ご購入後の返品はご容赦下さい



★リライアンスはマウント交換式ですので、2台以上のメーカーの異なるカメラをお使いの場合でもマウントのみに別購入すれば、ご使用に成れます。リライアンスPマウント 別売価格¥1,500

# ものすごいやつが現れた!! この性能 この機能 この低価格

月々分割でお求めになれます  
現金価格 ¥14,800  
分割払価格 ¥15,800  
初回金 ¥6,800  
¥4,500  
×2回



標準レンズ内蔵ワンタッチ望遠レンズ蔵切替式ストロボフラッシュ内蔵のポケットカメラ ¥14,800

- (仕様)★使用フィルム・ポケットカメラ用フィルム13×17mm  
★レンズ固定焦点 標準25% F9.5 望遠40% F11  
★シャッター 1/125秒メカニカルシャッター  
★ストロボ ガイドナンバー16  
★大きさ 59%×30%×166%

- もっと大きく写したい時... ワンタッチで望遠レンズに切換えわずか0.5秒、同時にファインダーも切換ります。ぐんと引つける望遠レンズの迫力!
- 暗い室内や夜間でもかんたんです... めんどうなフラッシュ球の交換の必要ないストロボ内蔵です。(単3乾電池2本使用)
- ピント調節の必要ありません... レンズの焦点深度が深い1mから無限大までピントが合います。
- カラー写真も白黒写真も鮮明に写せます... 軽く作動し、シャッターブレの無いメカニカル定速シャッターです。
- 軽量コンパクト・わずか205g... ポケットに入れて、抜き打ち速写OK、チャンスを逃がしません。
- フィルム装てんはかんたん... フィルムカートリッジを入れてノブを押すだけ、フィルムは市販のポケットカメラ用フィルム使用

今ご注文の方に 特急プレゼント コダックカラーフィルム ストロボ用乾電池連呈7ソフトケース・ストラップ付



# カラー・白黒



# 35mmフィルム現像と7×10cm判への引伸しが カラーフォトセット

- ★わずか¥8,800で楽しめるカラー現像セットです
- ★フィルム現像、引伸し現像の両方ができるので秘密の写真もOK!
- ★むずかしいフィルム現像も明るい所でかんたんに出来ます
- ★カラー写真も白黒写真もお好み次第に、7×10cmに引伸し出来ます
- ★現像液・印画紙等は後日追加購入ができます

カラーフォトセット ¥8,800 (白黒用7点セットは¥5,500) だれにでもかんたんに出来る (ごらんになってご不満の場合は5日以内に返品下さい)

- 【カラーフォトセット内容】  
①フォトプリンター ②引伸しレンズ2枚構成 ③カラーフィルム現像液 ④カラーフィルム定着液 ⑤現像液パット ⑥カラー印画紙12枚 7×10cm判 ⑦カラー引伸用フィルム7枚 ⑧白黒フィルム用現像剤セット ⑨白黒引伸用現像剤セット ⑩ネガサシ(ガラス板) ⑪フィルム現像ビニールタンク ⑫計量カップ ⑬赤色シート <説明書付>

■ご注文は電話又はハガキで! 東京都03(850)6110・(859)1331 (全品送料無料) 営業時間 午前10時~12時 午後1時~5時・日曜、祭日は休業

ハガキのうら 18才未満は保護者署名各添

お申込みハガキ

品名: スリーピーチ UFO係

〒121 東京都足立区平野3-7-17 (株)スリーピーチ UFO係 東京都03(850)6110・(859)1331

78の焦点・早くも全世界に轟然たる話題を呼ぶ世紀の巨弾!

若さとエネルギーを誇るキミたちの本年度のターゲットは先づこのスターウォーズにしよう!

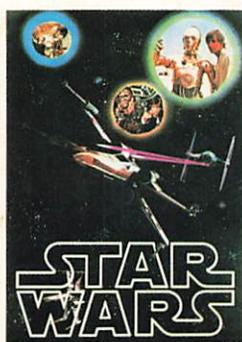
—話題の商品—

# スターウォーズ

映画とサウンドと  
ファッションとの  
強力な握手!

ポスター・Tシャツ

オリジナル



トレーナー  
&レコード

アメリカ直輸入!!  
「スター・ウォーズ」の  
オリジナルB2判  
ポスター 2枚1組  
¥1500 (送料共)



Tシャツ ¥1800  
(送料共)

A-Eのいずれか1点

トレーナー ¥3800  
(送料共)

A-Eのいずれか1点  
(サイズはSMを指定して下さい)



■アメリカ空前のSF映画「スターウォーズ」のNo.1ヒットシングルをメインとしたミーコの話題のアルバム。  
●RVP6244 ¥3,050  
発売元 RVC (送料共)

■オリジナルサウンドトラック・ジョンウイリアムス指揮/ロンドン交響楽 (2枚1組) ¥4,150  
●FMW35-6 (送料共)  
発売元キングレコード(株)  
附録ポスター付

お申込みは  
右の要領で  
現金書留にて  
お願いします!

ご希望の商品名 ○○○○○

住所 〒

氏名 年 令 才

TEL ①

TEL (03)543-2733

ヤングショップ・ツクダ

UFO係  
〒106 東京都中央区築地1-3-1  
(日比谷線地下車3分) (築地警察裏)